

板橋区  
ヤングケアラーに関する実態調査報告書

令和5年9月



# 目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	2
II	結果の概要、結果のまとめ及び課題について	3
1	小学生	3
I	結果の概要	3
II	結果のまとめ及び課題	3
2	中学生	4
I	結果の概要	4
II	結果のまとめ及び課題	4
3	高校生	5
I	結果の概要	5
II	結果のまとめ及び課題	5
4	関係機関	6
I	結果の概要	6
II	結果のまとめ及び課題	6
III	調査結果	7
1	小学生	7
I	回答者属性	7
II	あなたのふだんの生活について	11
III	あなたの家庭や家族について	23
IV	ヤングケアラーについて	77
2	中学生	108
I	回答者属性	108
II	あなたのふだんの生活について	112
III	あなたの家庭や家族について	124
IV	ヤングケアラーについて	178
3	高校生	204
I	回答者属性	204

II. あなたの普段の生活について .....	208
III. あなたの家庭や家族について .....	224
IV. ヤングケアラーについて .....	276
4 関係機関.....	296
I. 基本情報.....	296
II. 支援が必要と思われる子どもへの対応について .....	297
III. ヤングケアラーについて .....	300
IV 調査票.....	312
1 小・中学生.....	312
2 高校生.....	323
3 関係機構.....	329

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

ヤングケアラーに関する実態調査を行うことで、実態の把握、支援ニーズを抽出・分析し、ヤングケアラー対策に係る施策の検討に活用することを目的とする。

## 2 調査対象

小・中学生調査：区立小・中学校に在籍する4年生から6年生までの児童、区立小・中学校以外の学校へ通う児童及び生徒

高校生調査：区内在住の高校生世代

関係機関調査：関係機関教職員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・民生児童委員・その他要保護児童対策地域協議会関係機関等

## 3 調査期間

令和5年5月8日～6月2日

## 4 調査方法

小・中学生調査 (区立) 配布タブレットからのオンライン回答による回収  
(私立) 各学校より依頼文を配布し、オンライン回答による回収

高校生調査 郵送により依頼文を配布し、オンライン回答による回収

関係機関調査 郵送により依頼文を配布し、オンライン回答による回収

## 5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
小・中学生調査	約 21,500 通	7731 通	35.9%
高校生調査	11,693 通	1536 通	13.1%
関係機関調査	約 4,500 通	526 通	11.6%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

## Ⅱ 結果の概要、結果のまとめ及び課題について

### 1 小学生

#### I. 結果の概要

- ・ 家族の中にお世話をしている人がいる子どもは 9.9%。(問8) (※国の調査では、世話をしている家族の有無については、6.5%の回答者が「いる」)
- ・ お世話をしている人は、「きょうだい」が最も高く 57.8%、次いで「お母さん」が 30.2%、「お父さん」が 20.9%となっている。(問9①) (※国の調査では、「きょうだい」が 71.0%と最も高く、次いで「母親」が 19.8%)
- ・ 世話を必要としている家族ごとに、世話の内容について聞いたところ、「家事」が最も高くなっている。(問9④×問9①)
- ・ 世話を一緒にしている人は、「自分のみ」の割合が 39.6%、「お母さん」の割合が 33.8%、「きょうだい」の割合が 32.4%。(問9③) (※国の調査では、「母親」(64.2%)と最も高く、次いで「父親」(47.1%)、「きょうだい」(36.0%) )
- ・ 世話をすることによる生活への影響は、「とくにない」の割合が 65.0%、「友だちと遊べないことがある」が 14.1%、「自分の時間が取れない」が 10.0%、「勉強する時間がない」が 7.8% (問10) (※国の調査では、「特にない」(63.9%)が最も高く、そのほかでは、「自分の時間が取れない」(15.1%) )

#### Ⅱ. 結果のまとめ及び課題

- ・ 家族の中にお世話をしている人がいる子どもは 9.9% (国 (令和3年度) : 6.5%)。
- ・ お世話をしている人が 「きょうだい」の割合が高く半数を超えている。
- ・ お世話をしている頻度が高い子どもは、負担感を感じる子どももいるものの、肯定的にとらえる子どもの割合が高くなる傾向となっている。
- ・ 父母のお世話をすることによる生活の影響は、「友だちと遊べないことがある」「自分の時間が取れない」の割合が高く、平日の世話の時間が長いほど「友だちと遊べないことがある」「部活動や習いごとが思うようにできない」の割合が高くなる傾向が見られる。お世話をしている対象や時間によって、生活への影響への差がある。

※国の調査は小・中学生を合算した数値となっています。

## 2 中学生

### I. 結果の概要

- ・家族の中にお世話をしている人がいる子どもは 5.6%。(問8) (※国の調査では、世話をしている家族の有無については、5.7%の回答者が「いる」)
- ・お世話をしている人は、「きょうだい」が最も高く 60.7%、次いで「お母さん」が 24.9%、「お父さん」が 14.5%となっている。(問9①) (※国の調査では、「きょうだい」が 71.0%と最も高く、次いで「母親」が 19.8%)
- ・世話を必要としている家族ごとに、世話の内容について聞いたところ、「家事」が最も高くなっている。(問9④×問9①)
- ・世話を一緒にしている人は、「自分のみ」の割合が 44.2%、「きょうだい」の割合が 32.6%、「お父さん」の割合が 27.9%。(問9③) (※国の調査では、「母親」(64.2%)と最も高く、次いで「父親」(47.1%)、「きょうだい」(36.0%) )
- ・世話をすることによる生活への影響は、「とくにない」の割合が 53.2%、「自分の時間が取れない」が 19.1%、「勉強する時間がない」が 14.5%、「友だちと遊べないことがある」「すいみんが十分に取れない」が 9.8% (問10) (※国の調査では、「特にない」(63.9%) が最も高く、そのほかでは、「自分の時間が取れない」(15.1%) )

### II. 結果のまとめ及び課題

- ・家族の中にお世話をしている人がいる子どもは 5.6% (国 (令和3年度) : 5.7%)。
- ・お世話をしている人が 「きょうだい」の割合が高く半数を超えている。
- ・お世話をしている頻度が高い子どもは、肯定的にとらえる子どももいるものの、負担感を感じる子どもの割合が高くなる傾向となっている。
- ・父母のお世話をすることによる生活の影響は、「自分の時間が取れない」「勉強する時間がない」の割合が高く、平日の世話の時間が長いほど「自分の時間が取れない」の割合が高くなる傾向が見られる。お世話をしている対象や時間によって、生活への影響への差がある。

※国の調査は小・中学生を合算した数値となっています。

### 3 高校生

#### I. 結果の概要

- ・家族の中にお世話をしている人がいる子どもは5.3%。(問17)(※国の調査では、世話をしている家族の有無については、4.1%の回答者が「いる」)
- ・お世話をしている人は、「きょうだい」が最も高く62.2%、次いで「お母さん」が34.1%、「お父さん」が13.4%となっている。(問18①)(※国の調査では、「きょうだい」が44.3%と最も高く、次いで「父母」が29.6%)
- ・世話を必要としている家族ごとに、世話の内容について聞いたところ、「母親」、「父親」、「祖母」、「祖父」では、「家事」が最も高くなっている。一方、「きょうだい」では「見守り」が最も高くなっている。(問18④×問18①)
- ・世話を一緒にしている人は、「お母さん」の割合が67.1%、「お父さん」の割合が63.4%、「きょうだい」の割合が51.2%。(問18③)(※国の調査では、「母親」(52.1%)と最も高く、次いで「きょうだい」(34.5%)、「父親」(28.3%)、)
- ・世話をすることによる生活への影響については、「特にない」が57.3%、「勉強する時間がない」(19.5%)、「友達と遊べないことがある」「自分の時間が取れない」(18.3%)となっている。(問19)
- ・家族の中にお世話をしている人がいる子どもは「進路のこと」「自分と家族の関係のこと」「友達との関係のこと」「学校生活に必要なお金のこと」「自分のために使える時間が少ないこと」に悩んだり、困っている人の割合が高い。(問9×問17)
- ・お世話を必要としている家族のことや、お世話についてこまったことを相談したことが「ある」人は25.6%。相談相手は、「友達」が57.1%「家族」が42.9%、「学校の先生」が28.6%。(問24)
- ・相談していない人の理由は、「だれかに相談するほどの悩みではない」が44.8%、「悩みはない」が43.1%、「相談しても状況が変わると思えない」が13.8%。(問25)

#### II. 結果のまとめ及び課題

- ・家族の中にお世話をしている人がいる子どもは5.3%。(国(令和2年度):4.1%)
- ・お世話をしている人が「きょうだい」の割合が高く半数を超えている。
- ・家族の中にお世話をしている人がいる子どもは、「進路のこと」「学校の成績のこと」「友達との関係のこと」に悩んだり、困っている人の割合が高くなっている。お世話をしている頻度が高い子どもは、特に「進路のこと」「友達との関係のこと」に悩んだり、困っている人の割合が高い。
- ・お世話を必要としている家族のことや、お世話についてこまったことを相談したことが「ある」人は25.6%となっており、相談していない人の理由は、だれかに相談するほどの悩みではないが44.8%、「悩みはない」が43.1%、「相談しても状況が変わると思えない」が13.8%となっている。ヤングケアラーに対しての周知(お世話をしている人ほど認知度が低い)や、SNS等を活用した相談等、関係機関と連携した子どもに寄り添った相談・支援を行うことが必要。

## 4 関係機関

### I. 結果の概要

- ・「ヤングケアラー」の認知度については「言葉を知っており、意識して対応している」が43.9%、「言葉は知っているが、特別な対応をしていない」が42.4%、「言葉は聞いたことあるが、具体的には知らない」が10.3%となっている。(問6)
- ・「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態の把握については「該当する子どもはいない(これまでいなかった)」が36.8%、「把握している」が32.0%、「ヤングケアラーと思われる子どもはいるが、その実態は把握していない」が30.7%となっている。(問7)
- ・貴校・貴所・身近にヤングケアラーと思われる(可能性含めて)子どもについては「わからない」が45.6%、「いない」が29.1%、「いる」が23.6%となっている。(問9)
- ・「わからない」と回答した理由については「家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい」が78.8%となっている。(問11)
- ・ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことについては「大人がヤングケアラーについて知ること」が78.1%、「子どもが大人に相談しやすい環境」が70.5%、「子ども自身がヤングケアラーについて知ること」が68.4%となっている。(問12)

### II. 結果のまとめ及び課題

- ・「ヤングケアラー」の認知度について「言葉は聞いたことあるが、具体的には知らない」が10.3%、「言葉を知らない」が2.9%となっている。
- ・「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態の把握については「ヤングケアラーと思われる子どもはいるが、その実態は把握していない」が30.7%となっており、理由については「家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい」が78.8%となっている。アセスメントシートやチェックリストなどのツールや、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応を行うことが必要。
- ・ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことについてはヤングケアラーに対しての周知(お世話をしている人ほど認知度が低い)や、SNS等を活用した相談等、関係機関と連携した子どもに寄り添った相談・支援を行うことが必要。

### Ⅲ 調査結果

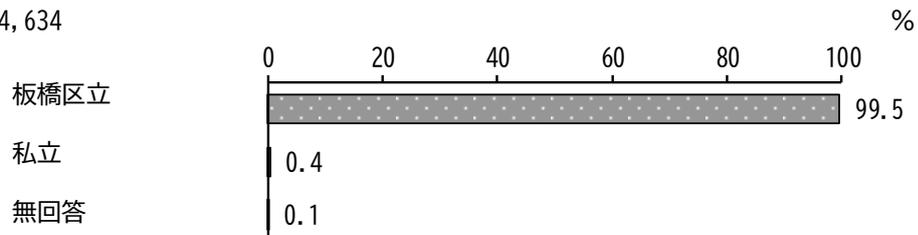
#### 1 小学生

##### I. 回答者属性

問1 あなたが通っている学校について教えてください。

「板橋区立」の割合が99.5%、「私立」の割合が0.4%となっています。

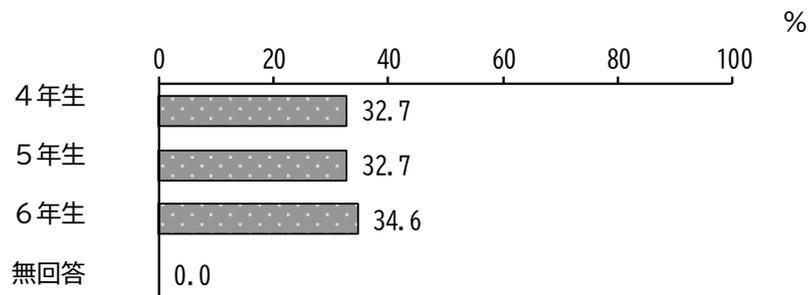
回答者数 = 4,634



問2 あなたの学年を教えてください。(小学生用)

「6年生」の割合が34.6%と最も高く、次いで「4年生」の割合が32.7%、「5年生」の割合が32.7%となっています。

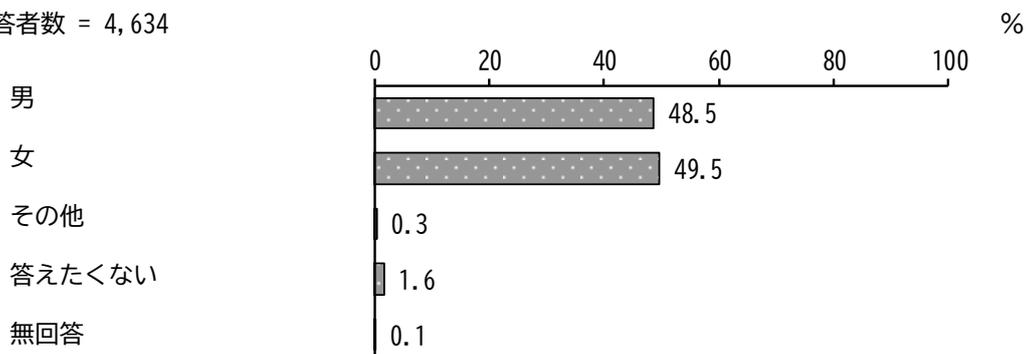
回答者数 = 4,634



問3 あなたのせいべつを教えてください。

「女」の割合が49.5%と最も高く、次いで「男」の割合が48.5%となっています。

回答者数 = 4,634



### 【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、お父さん、おじいさん、お母さんで「男」の割合が高くなっています。

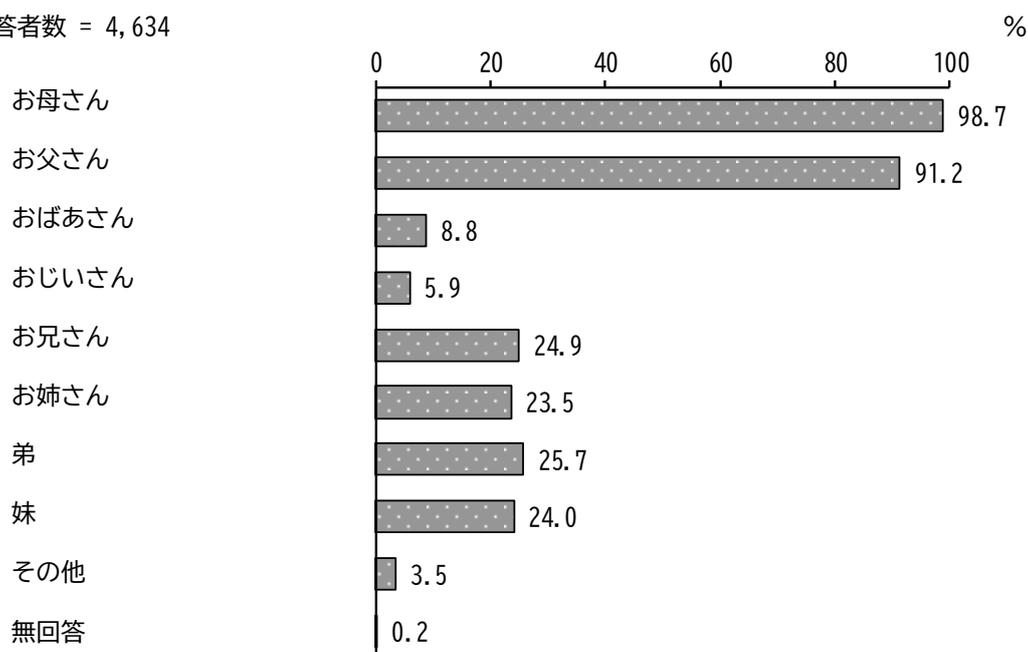
単位：%

区分	回答者数 (件)	男	女	その他	答えたくない	無回答
全 体	460	51.7	45.4	0.7	2.2	—
お母さん	139	69.1	28.1	1.4	1.4	—
お父さん	96	72.9	22.9	1.0	3.1	—
おばあさん	39	53.8	43.6	2.6	—	—
おじいさん	20	70.0	30.0	—	—	—
きょうだい	266	43.6	53.4	0.4	2.6	—
その他	40	47.5	50.0	—	2.5	—

### 問4 あなたが今、いっしょに住んでいるのはだれですか。

「お母さん」の割合が98.7%と最も高く、次いで「お父さん」の割合が91.2%、「弟」の割合が25.7%となっています。

回答者数 = 4,634



【世話の有無別】

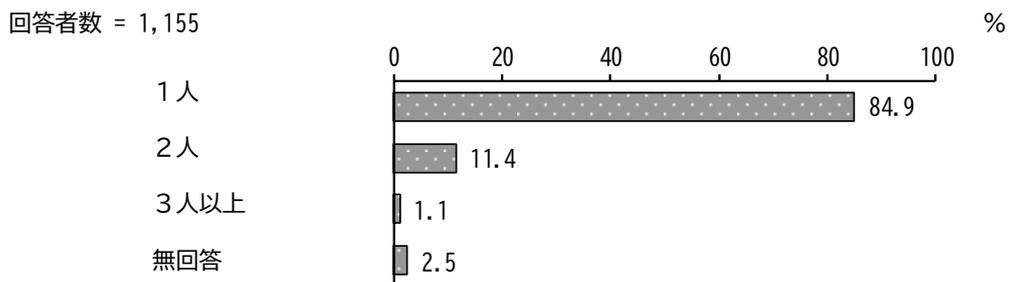
世話の有無別にみると、いるで「弟」「妹」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	お兄さん	お姉さん	弟	妹	その他	無回答
全体	4634	98.7	91.2	8.8	5.9	24.9	23.5	25.7	24.0	3.5	0.2
いる	460	98.0	91.5	11.3	6.5	20.7	19.3	42.0	38.5	6.7	—
いない	4099	98.9	91.1	8.5	5.8	25.4	23.9	23.8	22.2	3.0	0.2

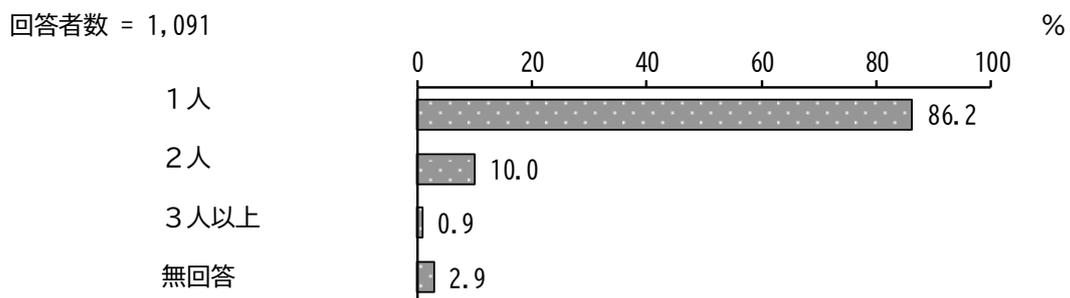
お兄さん 人数

「1人」の割合が84.9%と最も高く、次いで「2人」の割合が11.4%となっています。



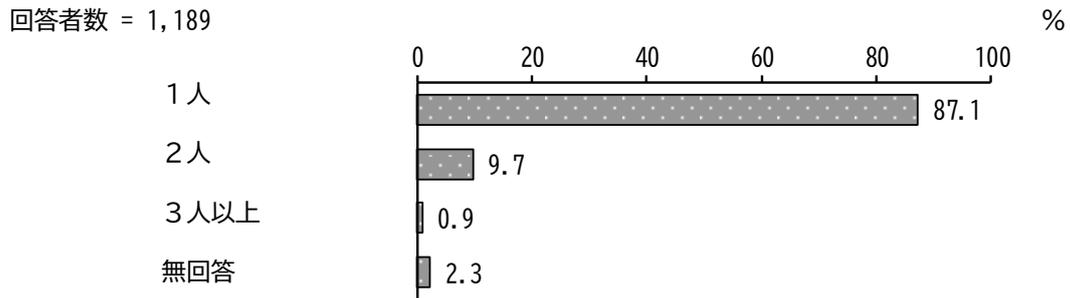
お姉さん 人数

「1人」の割合が86.2%と最も高く、次いで「2人」の割合が10.0%となっています。



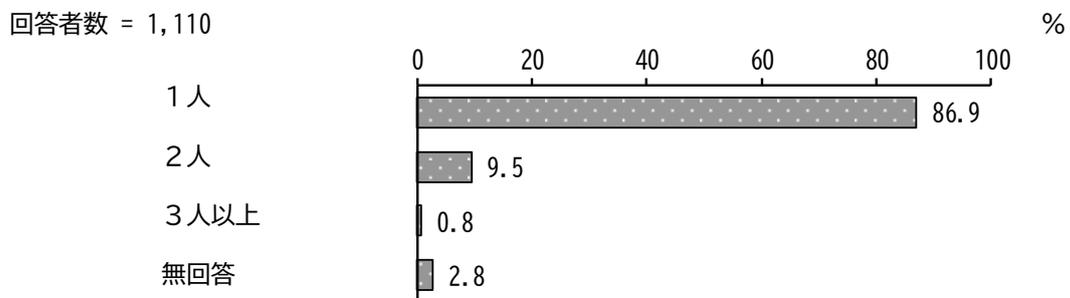
### 弟 人数

「1人」の割合が87.1%と最も高くなっています。



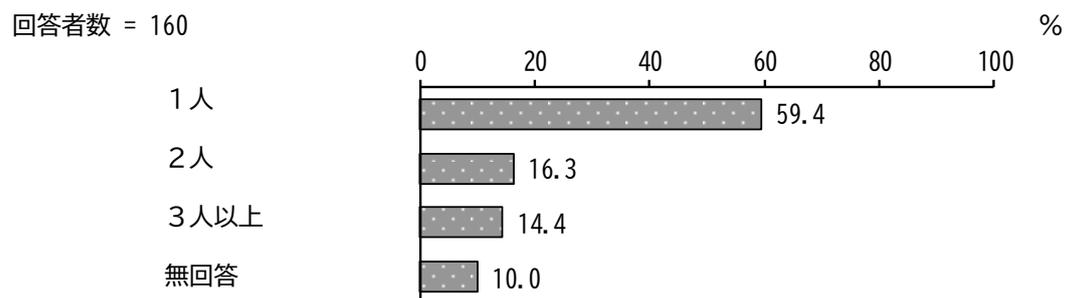
### 妹 人数

「1人」の割合が86.9%と最も高くなっています。



### その他 人数

「1人」の割合が59.4%と最も高く、次いで「2人」の割合が16.3%、「3人以上」の割合が14.4%となっています。

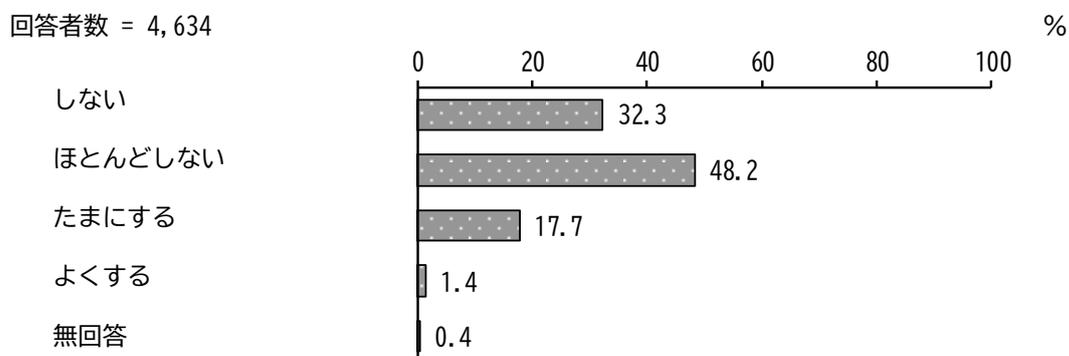


## Ⅱ あなたのふだんの生活について

### 問5 学校生活について教えてください。

① あなたは学校をけっせきすることがありますか。

「ほとんどしない」の割合が48.2%と最も高く、次いで「しない」の割合が32.3%、「たまにする」の割合が17.7%となっています。



#### 【世話の有無別】

世話の有無別にみると、いるで「たまにする」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	しない	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答
全体	4634	32.3	48.2	17.7	1.4	0.4
いる	460	25.9	45.4	26.3	2.2	0.2
いない	4099	33.0	48.5	16.8	1.2	0.4

【平日の世話の時間別】

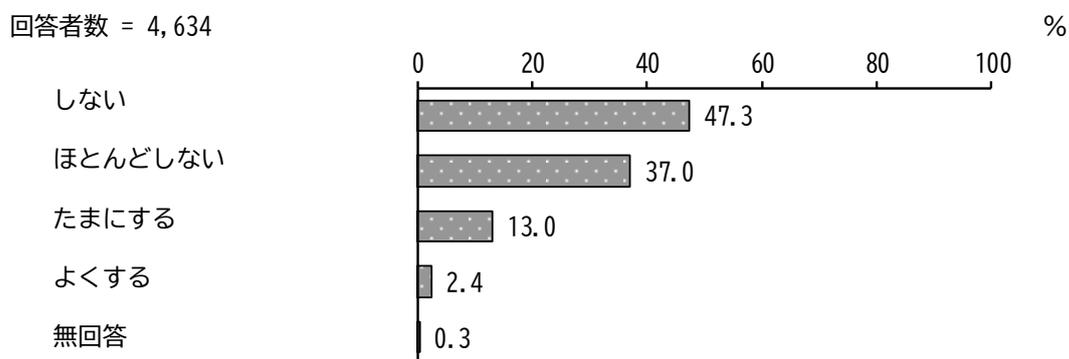
平日の世話の時間別にみると、3時間で「しない」「ほとんどしない」の割合が、1時間で「たまにする」の割合が、2時間で「ほとんどしない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	しない	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答
全 体	139	29.5	36.7	31.7	2.2	—
1時間未満	51	31.4	43.1	25.5	—	—
1時間	19	36.8	21.1	42.1	—	—
2時間	11	27.3	45.5	27.3	—	—
3時間	11	45.5	45.5	—	9.1	—
4時間	6	33.3	16.7	50.0	—	—
5時間	2	50.0	50.0	—	—	—
6時間	3	—	33.3	66.7	—	—
7時間	—	—	—	—	—	—
8時間	1	—	100.0	—	—	—
9時間	2	100.0	—	—	—	—
10時間	4	—	50.0	50.0	—	—
11時間	—	—	—	—	—	—
12時間	1	—	—	100.0	—	—
13時間	1	—	—	100.0	—	—
14時間	—	—	—	—	—	—
15時間	—	—	—	—	—	—
16時間	—	—	—	—	—	—
17時間	—	—	—	—	—	—
18時間	—	—	—	—	—	—
19時間	—	—	—	—	—	—
20時間	3	—	100.0	—	—	—
21時間	1	—	—	100.0	—	—
22時間	—	—	—	—	—	—
23時間	—	—	—	—	—	—
24時間	6	—	16.7	66.7	16.7	—

② あなたは学校をちこく・そうたいすることがありますか。

「しない」の割合が47.3%と最も高く、次いで「ほとんどしない」の割合が37.0%、「たまにする」の割合が13.0%となっています。



【世話の有無別】

世話の有無別にみると、いるで「たまにする」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	しない	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答
全体	4634	47.3	37.0	13.0	2.4	0.3
いる	460	38.9	35.7	21.1	4.1	0.2
いない	4099	48.4	37.0	12.0	2.3	0.3

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、2時間、3時間で「ほとんどしない」の割合が、1時間で「しない」の割合が高くなっています。

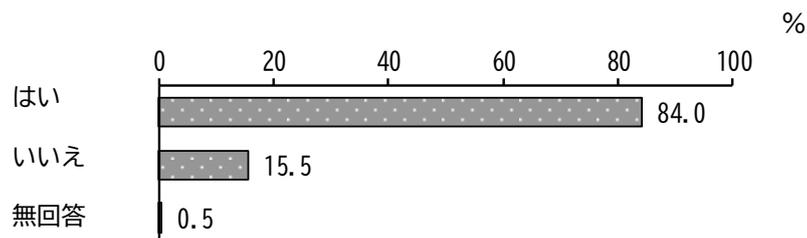
単位：％

区分	回答者数(件)	しない	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答
全 体	139	37.4	32.4	24.5	5.0	0.7
1時間未満	51	31.4	31.4	27.5	7.8	2.0
1時間	19	47.4	26.3	21.1	5.3	—
2時間	11	27.3	54.5	9.1	9.1	—
3時間	11	36.4	54.5	9.1	—	—
4時間	6	50.0	16.7	33.3	—	—
5時間	2	50.0	50.0	—	—	—
6時間	3	—	—	66.7	33.3	—
7時間	—	—	—	—	—	—
8時間	1	—	—	100.0	—	—
9時間	2	50.0	50.0	—	—	—
10時間	4	75.0	—	25.0	—	—
11時間	—	—	—	—	—	—
12時間	1	100.0	—	—	—	—
13時間	1	—	—	100.0	—	—
14時間	—	—	—	—	—	—
15時間	—	—	—	—	—	—
16時間	—	—	—	—	—	—
17時間	—	—	—	—	—	—
18時間	—	—	—	—	—	—
19時間	—	—	—	—	—	—
20時間	3	33.3	66.7	—	—	—
21時間	1	—	—	100.0	—	—
22時間	—	—	—	—	—	—
23時間	—	—	—	—	—	—
24時間	6	50.0	16.7	33.3	—	—

③ あなたは放課後やお休みの日に、部活動やじゅく・習いごとをしていますか。

「はい」の割合が84.0%、「いいえ」の割合が15.5%となっています。

回答者数 = 4,634



【世話の有無別】

世話の有無別にみると、いるで「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	はい	いいえ	無回答
全体	4634	84.0	15.5	0.5
いる	460	77.2	22.0	0.9
いない	4099	84.8	14.8	0.4

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、2時間、1時間で「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

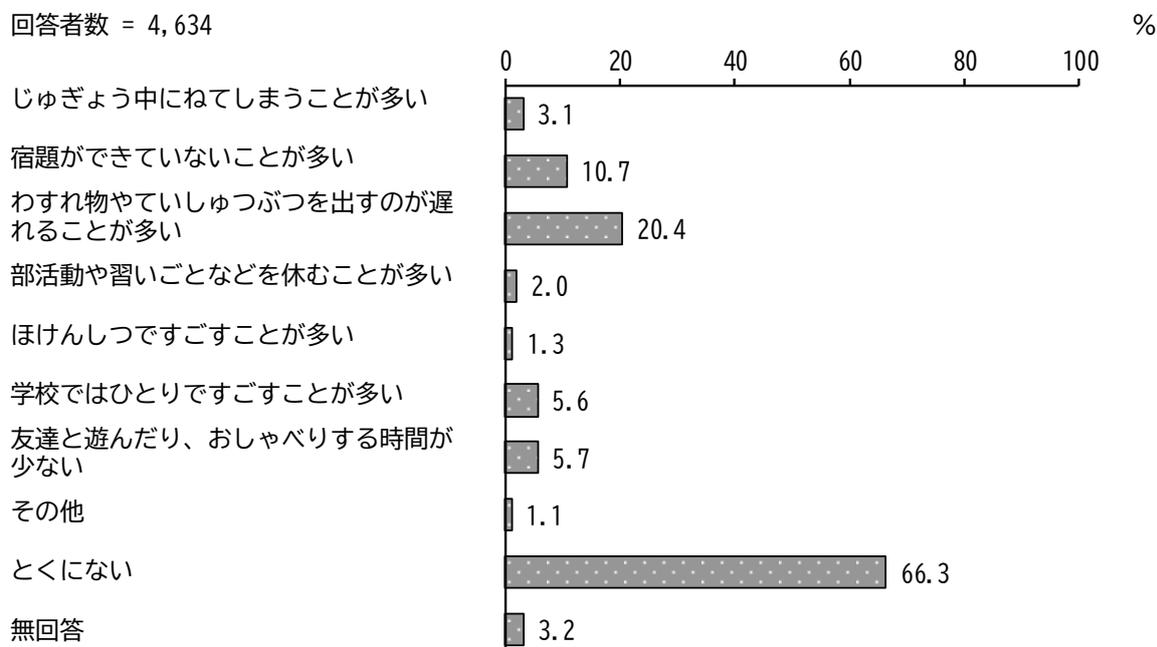
区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	139	71.9	26.6	1.4
1 時間未満	51	70.6	25.5	3.9
1 時間	19	68.4	31.6	—
2 時間	11	63.6	36.4	—
3 時間	11	72.7	27.3	—
4 時間	6	83.3	16.7	—
5 時間	2	50.0	50.0	—
6 時間	3	66.7	33.3	—
7 時間	—	—	—	—
8 時間	1	100.0	—	—
9 時間	2	50.0	50.0	—
10 時間	4	75.0	25.0	—
11 時間	—	—	—	—
12 時間	1	100.0	—	—
13 時間	1	100.0	—	—
14 時間	—	—	—	—
15 時間	—	—	—	—
16 時間	—	—	—	—
17 時間	—	—	—	—
18 時間	—	—	—	—
19 時間	—	—	—	—
20 時間	3	66.7	33.3	—
21 時間	1	100.0	—	—
22 時間	—	—	—	—
23 時間	—	—	—	—
24 時間	6	100.0	—	—

④ あなたのふだんの学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてを選択)

「とくにない」の割合が66.3%と最も高く、次いで「わすれ物やていしゅつづつを出すのが遅れることが多い」の割合が20.4%、「宿題ができていないことが多い」の割合が10.7%となっています。

回答者数 = 4,634



【世話の有無別】

世話の有無別にみると、いるで「宿題ができていないことが多い」「わすれ物やていしゅつづつを出すのが遅れることが多い」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	じゅぎょう中にねてしまうことが多い	宿題ができていないことが多い	わすれ物やていしゅつづつを出すのが遅れることが多い	部活動や習いごとなどを休むことが多い	ほけんしつですごくすことが多い	学校ではひとりですごくすことが多い	友達と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない	その他	とくにない	無回答
全体	4634	3.1	10.7	20.4	2.0	1.3	5.6	5.7	1.1	66.3	3.2
いる	460	6.3	20.0	28.9	3.7	3.0	9.1	8.5	1.5	51.5	3.3
いない	4099	2.6	9.6	19.2	1.8	1.1	5.1	5.3	1.1	68.3	3.1

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、3時間で「とくにない」の割合が、2時間で「宿題ができていないことが多い」の割合が、1時間で「わすれ物やていしゅつづつを出すのが遅れることが多い」の割合が高くなっています。

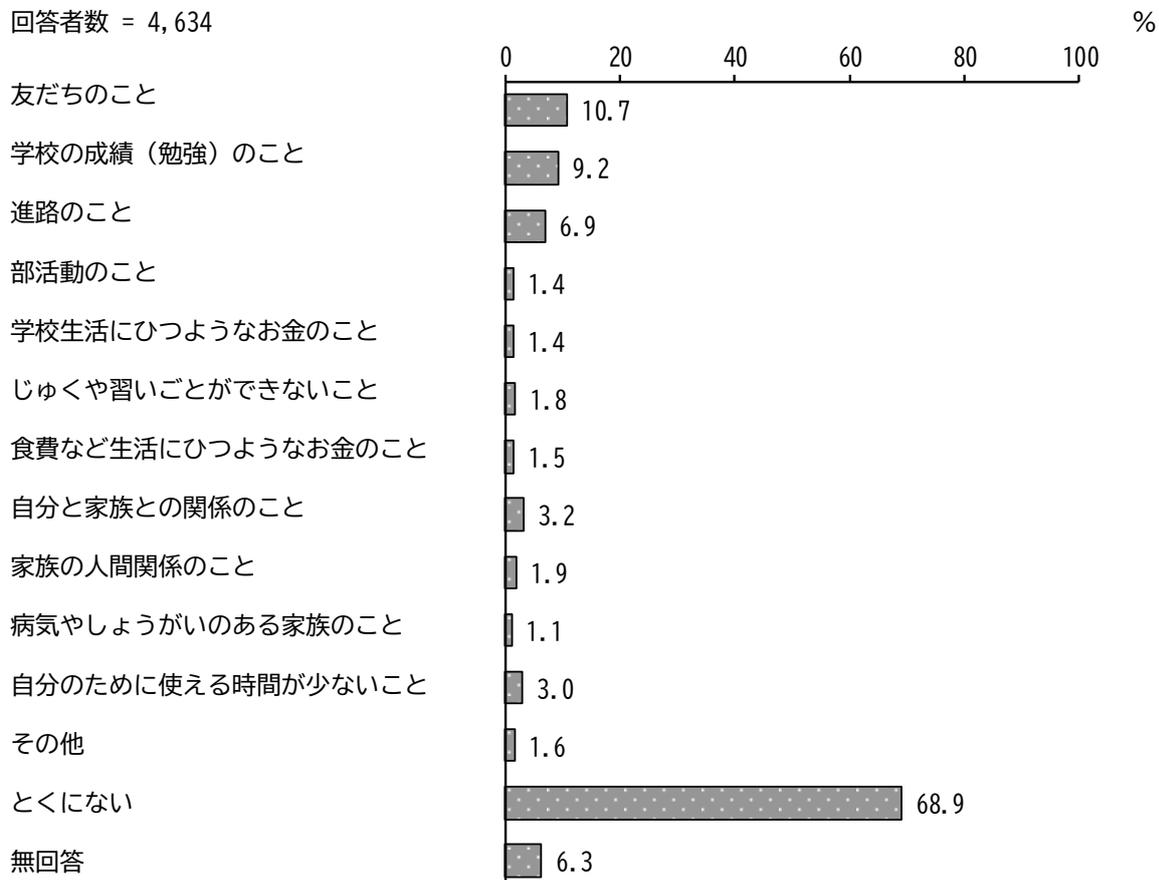
単位：%

区分	回答者数(件)	じゅぎょう中にねてしまうことが多い	宿題ができていないことが多い	わすれ物やていしゅつづつを出すのが遅れることが多い	部活動や習いごとなどを休むことが多い	ほけんしつですごすことが多い	学校ではひとりですごすことが多い	友達と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない	その他	とくにない	無回答
全 体	139	7.2	25.2	30.9	2.9	2.2	7.9	8.6	—	48.9	3.6
1時間未満	51	5.9	25.5	27.5	2.0	—	5.9	7.8	—	54.9	3.9
1時間	19	5.3	21.1	47.4	—	—	—	10.5	—	36.8	5.3
2時間	11	18.2	45.5	27.3	—	9.1	9.1	—	—	45.5	—
3時間	11	—	—	18.2	—	—	—	—	—	81.8	—
4時間	6	—	33.3	50.0	—	—	16.7	33.3	—	16.7	—
5時間	2	—	—	50.0	—	—	—	—	—	50.0	—
6時間	3	—	66.7	—	—	—	33.3	—	—	33.3	—
7時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8時間	1	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
9時間	2	—	50.0	—	—	50.0	—	—	—	—	—
10時間	4	—	—	25.0	—	—	—	—	—	75.0	—
11時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12時間	1	—	—	100.0	100.0	100.0	—	100.0	—	—	—
13時間	1	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—
14時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20時間	3	—	—	—	—	—	33.3	33.3	—	66.7	—
21時間	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
22時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24時間	6	16.7	50.0	50.0	16.7	—	33.3	—	—	33.3	—

問6 あなたは今、なやんだりこまったりしていることはありますか。  
 (あてはまるものすべてを選択)

「とくにない」の割合が68.9%と最も高く、次いで「友だちのこと」の割合が10.7%となっています。

回答者数 = 4,634



【世話の有無別】

世話の有無別にみると、いるで「友だちのこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	友だちのこと	学校の成績(勉強)のこと	進路のこと	部活動のこと	学校生活にひつようなお金の こと	じゅくや習いごとが できないこと	食費など生活にひつような お金のこと	自分と家族との関係のこと	家族の人間関係のこと	病気やしょうがいのある 家族のこと	自分のために使える時間が 少ないこと	その他	とくにない	無回答
全 体	4634	10.7	9.2	6.9	1.4	1.4	1.8	1.5	3.2	1.9	1.1	3.0	1.6	68.9	6.3
いる	460	18.3	17.2	7.2	4.6	3.3	3.7	3.3	7.4	3.9	3.9	6.5	2.0	51.3	7.0
いない	4099	9.8	8.3	6.8	1.0	1.2	1.6	1.3	2.7	1.7	0.7	2.7	1.5	71.1	6.0

【平日の世話の時間別】

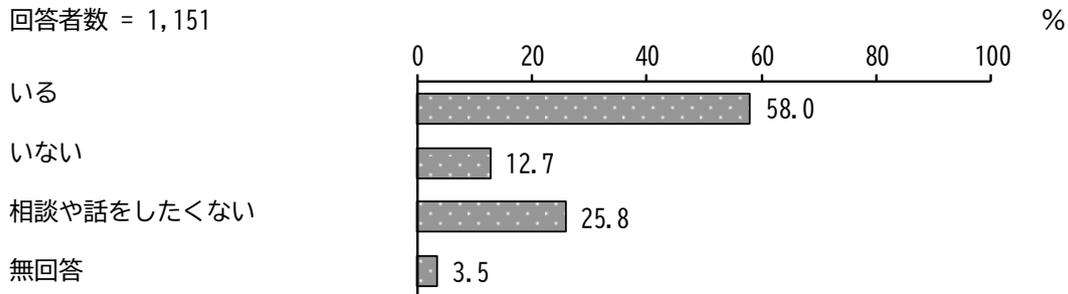
平日の世話の時間別にみると、3時間で「とくにない」の割合が、2時間で「学校の成績（勉強）のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	友だちのこと	学校の成績（勉強）のこと	進路のこと	部活動のこと	学校生活にひつようなお金のこと	じゅくや習いごとができないこと	お金のこと	食費など生活にひつようなこと	自分と家族との関係のこと	家族の人間関係のこと	病気やしょうがいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	とくにない	無回答
全体	139	17.3	17.3	3.6	3.6	5.0	2.9	4.3	5.8	2.9	2.2	5.0	2.2	53.2	7.2	
1時間未満	51	17.6	15.7	5.9	5.9	2.0	—	2.0	3.9	3.9	—	3.9	2.0	54.9	3.9	
1時間	19	21.1	15.8	—	—	—	5.3	—	10.5	—	5.3	—	5.3	42.1	15.8	
2時間	11	—	27.3	9.1	—	9.1	9.1	—	—	—	—	—	—	54.5	9.1	
3時間	11	9.1	18.2	—	—	9.1	9.1	9.1	—	—	—	—	—	63.6	—	
4時間	6	33.3	16.7	16.7	—	16.7	—	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	
5時間	2	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	—	
6時間	3	—	33.3	—	33.3	—	—	—	—	—	—	33.3	—	33.3	—	
7時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8時間	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	
9時間	2	50.0	—	—	—	—	—	—	50.0	—	—	—	—	50.0	—	
10時間	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	
11時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
12時間	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
13時間	1	100.0	100.0	—	100.0	100.0	100.0	100.0	—	100.0	—	100.0	—	—	—	
14時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
15時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
16時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
17時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
18時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
19時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
20時間	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	
21時間	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	
22時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
23時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
24時間	6	16.7	16.7	—	—	—	—	—	—	—	—	16.7	—	33.3	16.7	

問7 問6で1～12のいずれかを回答した人におたずねします。回答したなやみやこまりごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

「いる」の割合が58.0%と最も高く、次いで「相談や話をしたくない」の割合が25.8%、「いない」の割合が12.7%となっています。



【世話の有無別】

世話の有無別にみると、いるで「いない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	いる	いない	相談や話をしたくない	無回答
全体	1151	58.0	12.7	25.8	3.5
いる	192	52.1	19.8	26.0	2.1
いない	939	59.5	11.4	25.6	3.5

【「ヤングケアラー」という言葉の認知度別】

「ヤングケアラー」という言葉の認知度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

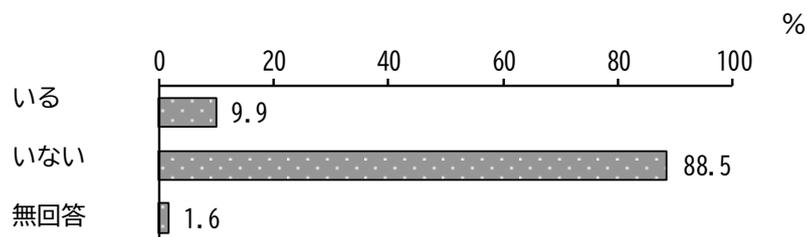
区分	回答者数(件)	いる	いない	相談や話をしたくない	無回答
全体	1151	58.0	12.7	25.8	3.5
聞いたことがあり、内容も知っている	249	62.2	10.4	26.1	1.2
聞いたことがあるが、よく知らない	233	62.2	10.3	24.5	3.0
聞いたことはない	650	54.8	14.2	26.6	4.5

### Ⅲ. あなたの家庭や家族について

#### 問8 家族の中に、あなたがお世話をしている方はいますか。

「いる」の割合が9.9%、「いない」の割合が88.5%となっています。

回答者数 = 4,634



#### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

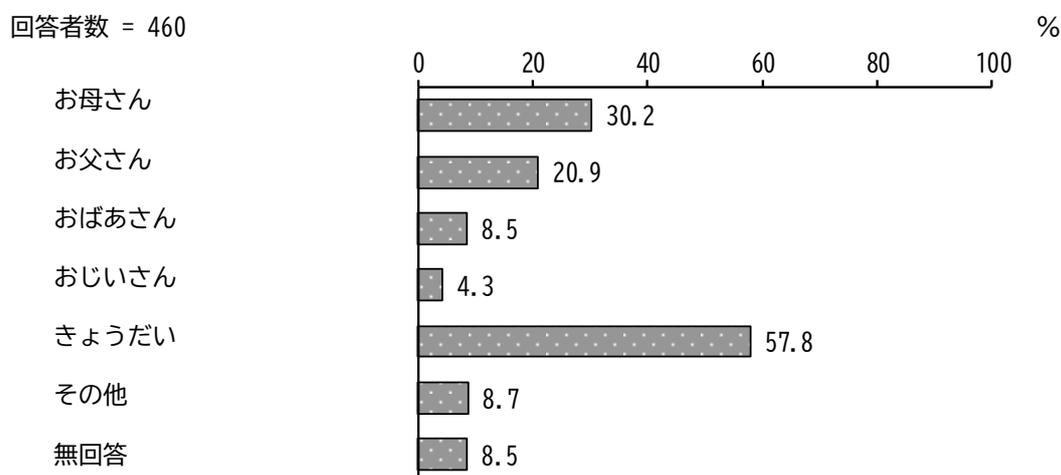
単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	4634	9.9	88.5	1.6
男	2249	10.6	87.2	2.2
女	2294	9.1	89.8	1.0
その他	15	20.0	80.0	—
答えたくない	72	13.9	84.7	1.4

問9 問8で「いる」と回答した方におたずねします。

① あなたがお世話をしている方はどなたですか。(あてはまるものすべてを選択)

「きょうだい」の割合が57.8%と最も高く、次いで「お母さん」の割合が30.2%、「お父さん」の割合が20.9%となっています。



【性別】

性別にみると、答えたくない、女で「きょうだい」の割合が、男で「お母さん」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	その他	無回答
全 体	460	30.2	20.9	8.5	4.3	57.8	8.7	8.5
男	238	40.3	29.4	8.8	5.9	48.7	8.0	10.5
女	209	18.7	10.5	8.1	2.9	67.9	9.6	6.7
その他	3	66.7	33.3	33.3	—	33.3	—	—
答えたくない	10	20.0	30.0	—	—	70.0	10.0	—

【同居家族別】

同居家族別にみると、弟、妹で「きょうだい」の割合が、お姉さんで「お母さん」の割合が高くなっています。

単位：％

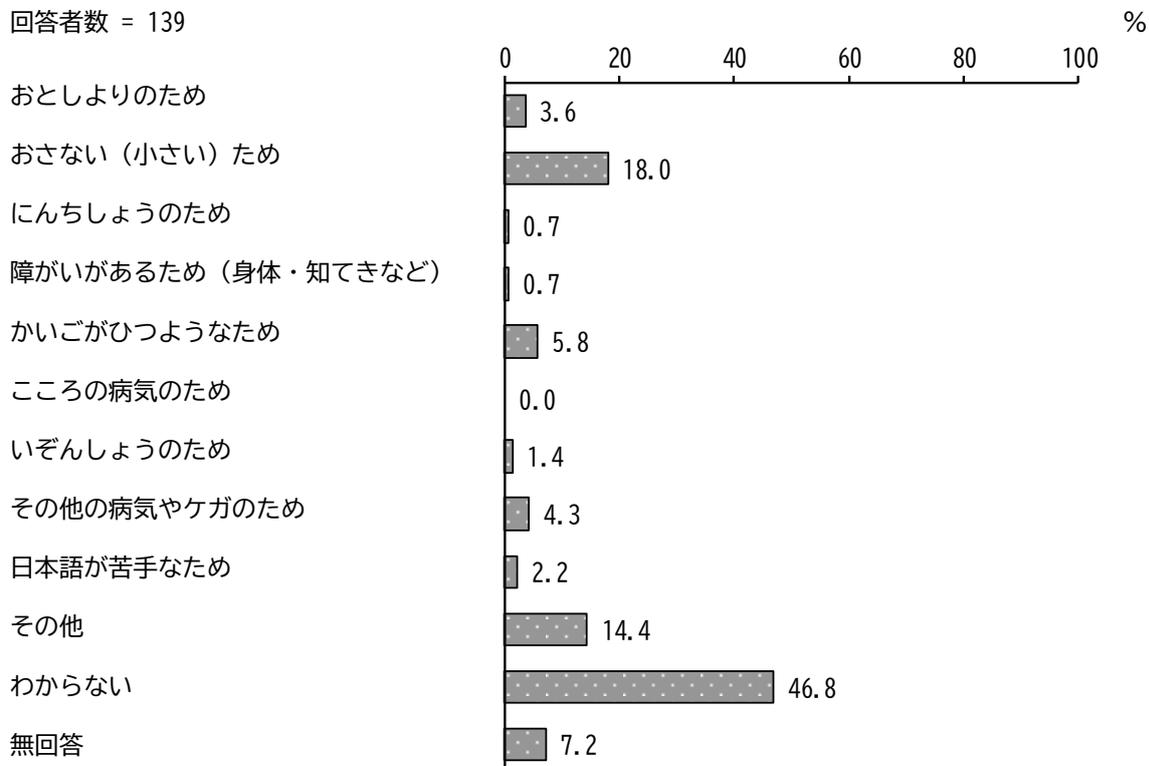
区分	回答者数(件)	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	その他	無回答
全 体	460	30.2	20.9	8.5	4.3	57.8	8.7	8.5
お母さん	451	30.2	20.2	8.2	4.0	58.5	8.4	8.6
お父さん	421	28.5	22.1	7.6	4.0	61.0	7.8	8.3
おばあさん	52	26.9	17.3	25.0	9.6	46.2	5.8	15.4
おじいさん	30	20.0	13.3	13.3	20.0	60.0	3.3	16.7
お兄さん	95	38.9	24.2	11.6	8.4	48.4	10.5	12.6
お姉さん	89	41.6	28.1	13.5	9.0	49.4	9.0	12.4
弟	193	16.1	10.4	4.7	2.6	81.3	4.1	4.7
妹	177	14.7	13.0	4.5	2.3	76.3	8.5	6.8
その他	31	16.1	16.1	9.7	3.2	25.8	35.5	12.9

② その方がどのような理由でお世話をひつようとしているのか教えてください。

(あてはまるものすべてを選択)

「わからない」の割合が46.8%と最も高く、次いで「おさない(小さい)ため」の割合が18.0%となっています。

回答者数 = 139



【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、おじいさん、きょうだい「おさない（小さい）ため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	おとしよりのため	おさない(小さい)ため	にんちしょうのため	障がいがあるため (身体・知てきなど)	かいごがひつようなため	こころの病気のため	いぞんしょうのため	その他の病気やケガのため	日本語が苦手なため	その他	わからない	無回答
全 体	139	3.6	18.0	0.7	0.7	5.8	—	1.4	4.3	2.2	14.4	46.8	7.2
お母さん	139	3.6	18.0	0.7	0.7	5.8	—	1.4	4.3	2.2	14.4	46.8	7.2
お父さん	90	1.1	22.2	—	1.1	6.7	—	1.1	3.3	1.1	10.0	48.9	8.9
おばあさん	25	4.0	24.0	—	—	4.0	—	—	8.0	—	4.0	52.0	4.0
おじいさん	15	—	26.7	—	—	—	—	—	—	—	—	66.7	6.7
きょうだい	36	2.8	36.1	2.8	—	—	—	2.8	5.6	2.8	19.4	30.6	8.3
その他	6	—	16.7	—	—	—	—	—	—	—	—	66.7	16.7

【世話をすることについて感じていること別】

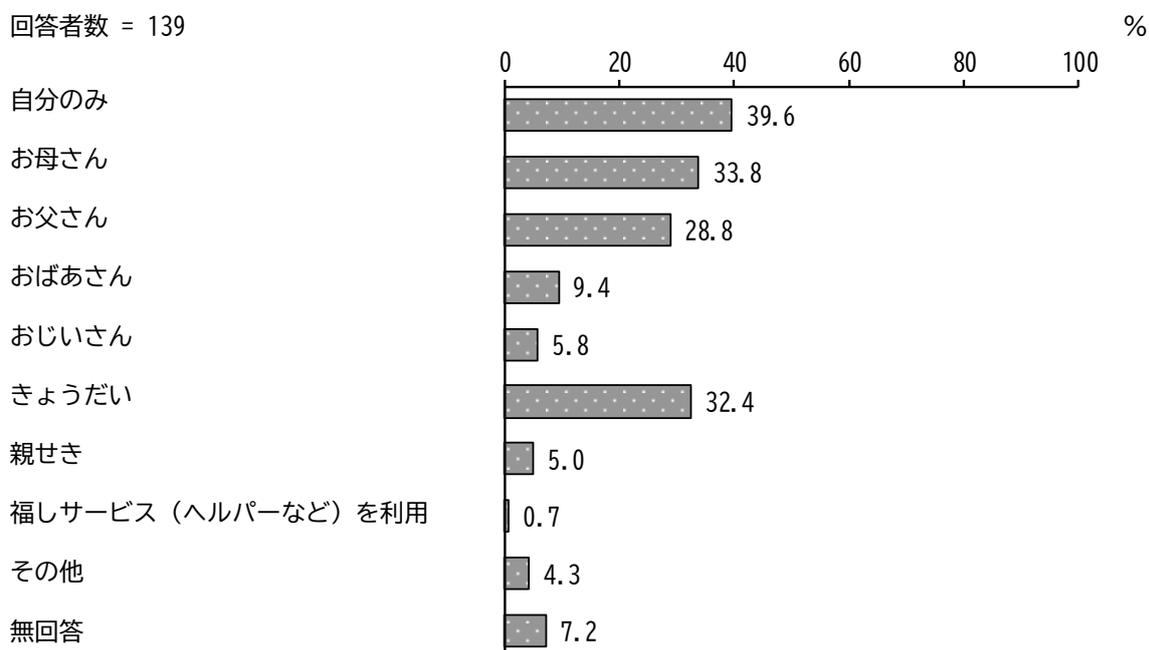
世話をすることについて感じていること別にみると、とくに何も感じていないで「わからない」の割合が、やりがいを感じているで「おさない（小さい）ため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	おとしよりのため	おさない（小さい）ため	にんちしょうのため	障がいがあるため （身体・知てきなど）	かいごがひつようなため	こころの病気のため	いぞんしょうのため	その他の病気やケガのため	日本語が苦手なため	その他	わからない	無回答
全 体	139	3.6	18.0	0.7	0.7	5.8	－	1.4	4.3	2.2	14.4	46.8	7.2
やりがいを感じている	29	－	24.1	3.4	3.4	3.4	－	－	6.9	3.4	17.2	37.9	3.4
楽しい	53	1.9	17.0	－	－	3.8	－	－	7.5	1.9	13.2	47.2	7.5
充じつしている	6	－	16.7	－	－	16.7	－	－	16.7	－	16.7	33.3	－
体力てきにつらい	8	12.5	12.5	－	－	12.5	－	12.5	－	－	12.5	50.0	12.5
せいしんてきにつらい	7	14.3	14.3	－	－	14.3	－	14.3	14.3	－	14.3	28.6	14.3
時間のよゆうがない	6	－	50.0	－	－	16.7	－	－	－	－	16.7	33.3	－
とくに何も感じていない	34	5.9	11.8	－	－	2.9	－	－	2.9	2.9	11.8	61.8	2.9
その他	2	－	50.0	－	－	－	－	50.0	－	－	－	50.0	－

- ③ あなたはその方へのお世話をだれかといっしょにしていますか。(あてはまるものすべてを選択)  
「自分のみ」の割合が39.6%と最も高く、次いで「お母さん」の割合が33.8%、「きょうだい」の割合が32.4%となっています。

回答者数 = 139



【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、きょうだい、おじいさん、おばあさんで「きょうだい」の割合が高くなっています。

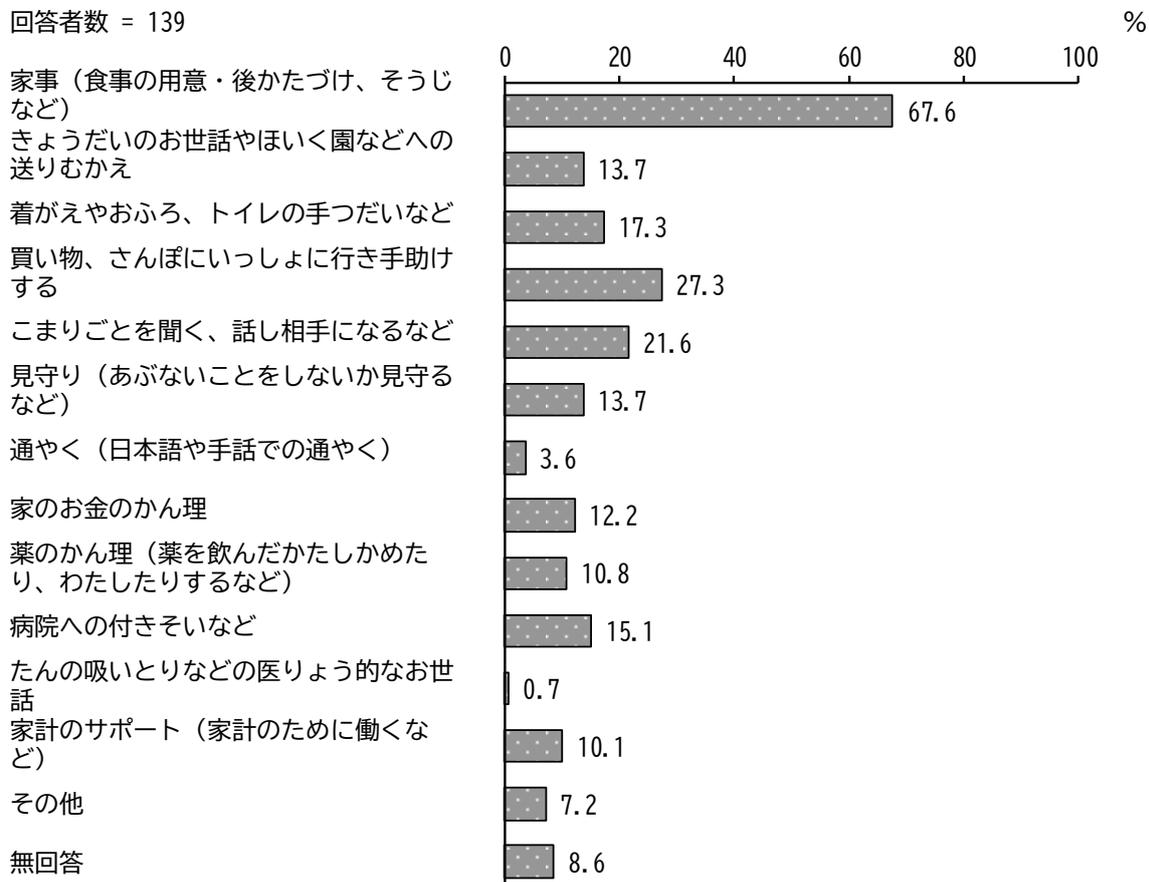
単位：%

区分	回答者数(件)	自分のみ	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	親せき	福祉サービス(ヘルパーなど)を利用	その他	無回答
全体	139	39.6	33.8	28.8	9.4	5.8	32.4	5.0	0.7	4.3	7.2
お母さん	139	39.6	33.8	28.8	9.4	5.8	32.4	5.0	0.7	4.3	7.2
お父さん	90	35.6	38.9	40.0	10.0	5.6	34.4	4.4	—	5.6	11.1
おばあさん	25	28.0	40.0	40.0	36.0	12.0	44.0	12.0	—	—	12.0
おじいさん	15	26.7	33.3	40.0	20.0	26.7	46.7	6.7	—	—	13.3
きょうだい	36	30.6	25.0	38.9	8.3	8.3	50.0	5.6	—	2.8	16.7
その他	6	50.0	33.3	50.0	—	—	—	—	—	16.7	16.7

④ あなたはその方にどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものすべてを選択)

「家事（食事の用意・後かたづけ、そうじなど）」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「買い物、さんぽにいっしょに行き手助けする」の割合が 27.3%、「こまりごとを聞く、話し相手になるなど」の割合が 21.6%となっています。

回答者数 = 139



【性別】

性別にみると、女で「買い物、さんぽにいっしょに行き手助けする」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	家事(食事の用意・後かたづけ、そっじなど)	きょうだいのお世話やほいく園などへの送りむかえ	着がえやおふろ、トイレの手つだいなど	買い物、さんぽにいっしょに行き手助けする	なるなど	こまりごとを聞く、話し相手になるなど	見守り(あぶないことをしないか見守るなど)	通やく(日本語や手話での通やく)	家のお金のかん理	薬のかん理(薬を飲んだかたしかめたり、わたしたりするなど)	病院への付きそいなど	たんの吸いとりなどの医りよう的なお世話	家計のサポート(家計のために働くなど)	その他	無回答
全 体	139	67.6	13.7	17.3	27.3	21.6	13.7	3.6	12.2	10.8	15.1	0.7	10.1	7.2	8.6	
男	96	68.8	12.5	16.7	22.9	22.9	11.5	2.1	11.5	9.4	16.7	—	10.4	6.3	8.3	
女	39	64.1	15.4	17.9	35.9	15.4	15.4	7.7	10.3	10.3	7.7	2.6	7.7	10.3	7.7	
その他	2	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	
答えたくない	2	100.0	50.0	50.0	100.0	100.0	100.0	—	100.0	100.0	100.0	—	50.0	—	—	

【同居家族別】

同居家族別にみると、妹、弟で「きょうだいのお世話やほいく園などへの送りむかえ」の割合が、お兄さんで「家事（食事の用意・後かたづけ、そうじなど）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	家事（食事の用意・後かたづけ、そうじなど）	きょうだいのお世話やほいく園などへの送りむかえ	着がえやお風呂、トイレの手つだいなど	買い物、さんぽにいつしよに行き手助けする	こまりごとを聞く、話し相手になるなど	見守り（あぶないことをしないか見守るなど）	通やく（日本語や手話での通やく）	家のお金のかん理	薬のかん理（薬を飲んだかたしかめたり、わたしたりするなど）	病院への付きそいなど	たんの吸いとりなどの医りよ的なお世話	家計のサポート（家計のために働くなど）	その他	無回答
全 体	139	67.6	13.7	17.3	27.3	21.6	13.7	3.6	12.2	10.8	15.1	0.7	10.1	7.2	8.6
お母さん	136	67.6	14.0	17.6	27.2	22.1	13.2	2.9	12.5	11.0	15.4	0.7	10.3	7.4	8.8
お父さん	120	70.8	15.8	19.2	28.3	21.7	12.5	1.7	13.3	12.5	16.7	0.8	11.7	5.8	8.3
おばあさん	14	71.4	14.3	21.4	35.7	7.1	14.3	7.1	7.1	14.3	14.3	—	7.1	14.3	7.1
おじいさん	6	100.0	16.7	16.7	50.0	16.7	—	16.7	—	16.7	16.7	—	—	—	—
お兄さん	37	86.5	16.2	18.9	21.6	18.9	18.9	—	10.8	8.1	10.8	—	8.1	8.1	5.4
お姉さん	37	75.7	—	16.2	35.1	27.0	10.8	2.7	13.5	13.5	16.2	—	10.8	8.1	5.4
弟	31	58.1	22.6	16.1	32.3	16.1	12.9	6.5	12.9	12.9	3.2	—	3.2	3.2	9.7
妹	26	65.4	42.3	15.4	26.9	19.2	15.4	—	3.8	3.8	23.1	—	15.4	3.8	15.4
その他	5	60.0	—	20.0	—	—	—	—	—	20.0	20.0	—	20.0	—	40.0

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、おじいさん、きょうだいで「家事（食事の用意・後かたづけ、そうじなど）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家事(食事の用意・後かたづけ、そうじなど)	きょうだいのお世話やほいく園などへの送りむかえ	着がえやお風呂、トイレの手つだいなど	着がえやお風呂、トイレの手つだいなど	買い物、さんぽにいつしょに行き手助ける	こまりごとを聞く、話し相手になるなど	見守り(あぶないことをしないか見守るなど)	通やく(日本語や手話での通やく)	家のお金のかん理	薬のかん理(薬を飲んだかたしかめたり、わたしたりするなど)	病院への付きそいなど	たんの吸いとりなどの医りよう的なお世話	家計のサポート(家計のために働くなど)	その他	無回答
全 体	139	67.6	13.7	17.3	27.3	21.6	13.7	3.6	12.2	10.8	15.1	0.7	10.1	7.2	8.6	
お母さん	139	67.6	13.7	17.3	27.3	21.6	13.7	3.6	12.2	10.8	15.1	0.7	10.1	7.2	8.6	
お父さん	90	67.8	14.4	16.7	31.1	21.1	13.3	2.2	13.3	15.6	20.0	1.1	12.2	5.6	11.1	
おばあさん	25	76.0	8.0	4.0	32.0	16.0	16.0	4.0	8.0	12.0	12.0	—	4.0	4.0	16.0	
おじいさん	15	80.0	6.7	6.7	40.0	13.3	13.3	6.7	6.7	6.7	20.0	—	—	—	13.3	
きょうだい	36	77.8	22.2	11.1	25.0	8.3	11.1	2.8	5.6	11.1	11.1	—	2.8	5.6	11.1	
その他	6	33.3	—	16.7	33.3	33.3	16.7	—	—	—	16.7	—	—	—	33.3	

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、3時間で「きょうだいのお世話やほいく園などへの送りむかえ」「買い物、さんぽにいっしょに行き手助けする」「家のお金のかん理」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家事(食事の用意・後かたづけ、そうじなど)	きょうだいのお世話やほいく園などへの送りむかえ	着がえやお風呂、トイレの手つだいなど	買い物、さんぽにいっしょに行き手助けする	こまごごとを聞く、話し相手になるなど	見守り(あぶないことをしないか見守るなど)	通やく(日本語や手話での通やく)	家のお金のかん理	薬のかん理(薬を飲んだかたしかめたり、わたしたりするなど)	病院への付きそいなど	たんの吸いとりなどの医りよつ的なお世話	家計のサポート(家計のために働くなど)	その他	無回答
全 体	139	67.6	13.7	17.3	27.3	21.6	13.7	3.6	12.2	10.8	15.1	0.7	10.1	7.2	8.6
1時間未満	51	72.5	7.8	15.7	19.6	15.7	5.9	—	7.8	9.8	15.7	—	9.8	7.8	2.0
1時間	19	73.7	15.8	10.5	21.1	26.3	5.3	5.3	—	5.3	5.3	—	5.3	5.3	5.3
2時間	11	72.7	18.2	27.3	36.4	9.1	18.2	9.1	9.1	18.2	9.1	—	—	18.2	—
3時間	11	72.7	36.4	27.3	45.5	36.4	27.3	—	27.3	9.1	9.1	9.1	9.1	—	—
4時間	6	66.7	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	—	33.3	—	—	—	16.7
5時間	2	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6時間	3	100.0	33.3	66.7	—	33.3	—	—	—	33.3	—	—	66.7	—	—
7時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8時間	1	100.0	—	—	—	—	—	—	100.0	100.0	100.0	—	100.0	—	—
9時間	2	50.0	—	—	50.0	50.0	50.0	—	50.0	50.0	50.0	—	—	—	—
10時間	4	25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—
11時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12時間	1	100.0	—	—	100.0	—	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—
13時間	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
14時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20時間	3	100.0	—	—	33.3	—	—	33.3	33.3	—	—	—	33.3	—	—
21時間	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24時間	6	66.7	16.7	16.7	50.0	66.7	50.0	16.7	33.3	16.7	50.0	—	16.7	16.7	16.7

【世話をすることについて感じていること別】

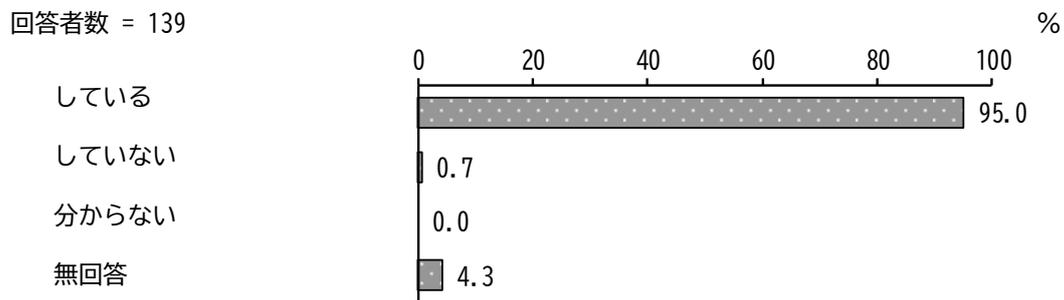
世話をすることについて感じていること別にみると、やりがいを感じているで「家事（食事の用意・後かたづけ、そうじなど）」の割合が、楽しいで「買い物、さんぽにいっしょに行き手助けする」の割合が、とくに何も感じていないで「着がえやおふろ、トイレの手つだいなど」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	家事（食事の用意・後かたづけ、そうじなど）	きょうだいのお世話やほいく園などへの送りむかえ	着がえやおふろ、トイレの手つだいなど	買い物、さんぽにいっしょに行き手助けする	こまりごとを聞く、話し相手になるなど	見守り（あがなないことをしないか見守るなど）	通やく（日本語や手話での通やく）	家のお金のかん理	薬のかん理（薬を飲んだかたしかめたり、わたしたりするな	病院への付きそいなど	たんの吸いとりなどの医りよ	たんの吸いとりなどの医りよ	家計のサポート（家計のために働くなど）	その他	無回答
全体	139	67.6	13.7	17.3	27.3	21.6	13.7	3.6	12.2	10.8	15.1	0.7	10.1	7.2	8.6	
やりがいを感じている	29	82.8	20.7	17.2	20.7	24.1	17.2	6.9	13.8	13.8	17.2	—	10.3	3.4	—	
楽しい	53	71.7	9.4	22.6	41.5	28.3	18.9	3.8	13.2	17.0	17.0	1.9	13.2	5.7	5.7	
充じつしている	6	50.0	50.0	16.7	16.7	16.7	33.3	—	16.7	—	—	—	16.7	—	—	
体力できにづらい	8	75.0	25.0	12.5	37.5	—	—	—	12.5	—	12.5	—	—	—	—	
せいしんてきにつらい	7	42.9	—	14.3	42.9	—	—	—	14.3	—	14.3	—	—	14.3	14.3	
時間のよゆうがない	6	66.7	16.7	33.3	66.7	50.0	16.7	—	50.0	16.7	16.7	—	—	—	—	
とくに何も感じていない	34	70.6	11.8	29.4	11.8	20.6	11.8	5.9	8.8	8.8	14.7	—	5.9	11.8	2.9	
その他	2	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	—	

⑤ お世話をひつようとしている方は、区がていきょうするサービス（ホームヘルパーなど）を使っていますか。

「している」の割合が95.0%と最も高くなっています。



【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	している	していない	分からない	無回答
全 体	139	95.0	0.7	—	4.3
お母さん	139	95.0	0.7	—	4.3
お父さん	90	94.4	—	—	5.6
おばあさん	25	88.0	—	—	12.0
おじいさん	15	86.7	—	—	13.3
きょうだい	36	97.2	—	—	2.8
その他	6	83.3	—	—	16.7

【世話の理由別】

世話の理由別にみると、おさない（小さい）ため「している」の割合が高くなっています。

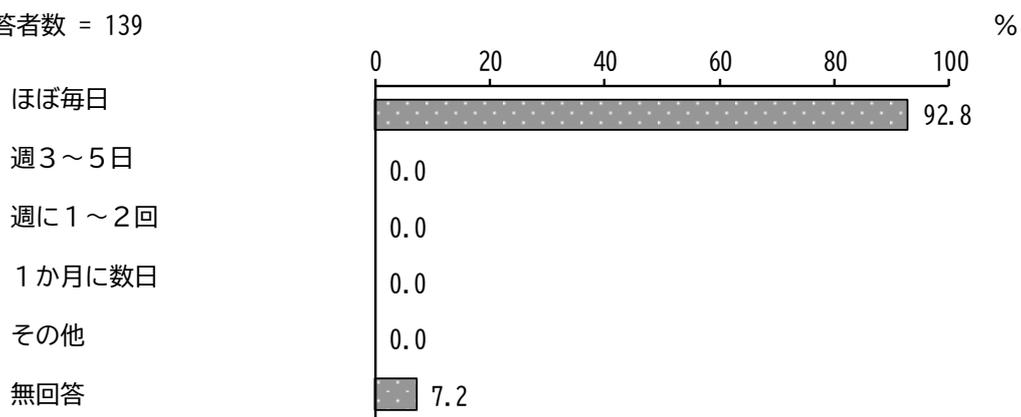
単位：%

区分	回答者数 (件)	している	していない	分からない	無回答
全 体	139	95.0	0.7	—	4.3
おとしよりのため	5	100.0	—	—	—
おさない（小さい）ため	25	100.0	—	—	—
にんちしょうのため	1	100.0	—	—	—
障がいがあるため(身体・知てきなど)	1	100.0	—	—	—
かいごがひつようなため	8	100.0	—	—	—
こころの病気のため	—	—	—	—	—
いぞんしょうのため	2	100.0	—	—	—
その他の病気やケガのため	6	100.0	—	—	—
日本語が苦手なため	3	100.0	—	—	—
その他	20	100.0	—	—	—
わからない	65	93.8	—	—	6.2

⑥ あなたはその方へのお世話をどのくらいしていますか。

「ほぼ毎日」の割合が 92.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 139



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	ほぼ毎日	週3～5日	週に1～2回	1か月に数日	その他	無回答
全 体	139	92.8	－	－	－	－	7.2
男	96	91.7	－	－	－	－	8.3
女	39	97.4	－	－	－	－	2.6
その他	2	50.0	－	－	－	－	50.0
答えたくない	2	100.0	－	－	－	－	－

【同居家族別】

同居家族別にみると、おばあさんで「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ほぼ毎日	週3～5日	週に1～2回	1か月に数日	その他	無回答
全 体	139	92.8	－	－	－	－	7.2
お母さん	136	92.6	－	－	－	－	7.4
お父さん	120	93.3	－	－	－	－	6.7
おばあさん	14	100.0	－	－	－	－	－
おじいさん	6	100.0	－	－	－	－	－
お兄さん	37	91.9	－	－	－	－	8.1
お姉さん	37	97.3	－	－	－	－	2.7
弟	31	90.3	－	－	－	－	9.7
妹	26	92.3	－	－	－	－	7.7
その他	5	60.0	－	－	－	－	40.0

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ほぼ毎日	週3～5日	週に1～2回	1か月に数日	その他	無回答
全 体	139	92.8	—	—	—	—	7.2
お母さん	139	92.8	—	—	—	—	7.2
お父さん	90	91.1	—	—	—	—	8.9
おばあさん	25	84.0	—	—	—	—	16.0
おじいさん	15	80.0	—	—	—	—	20.0
きょうだい	36	88.9	—	—	—	—	11.1
その他	6	83.3	—	—	—	—	16.7

【世話に関する悩み相談の有無別】

世話に関する悩み相談の有無別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

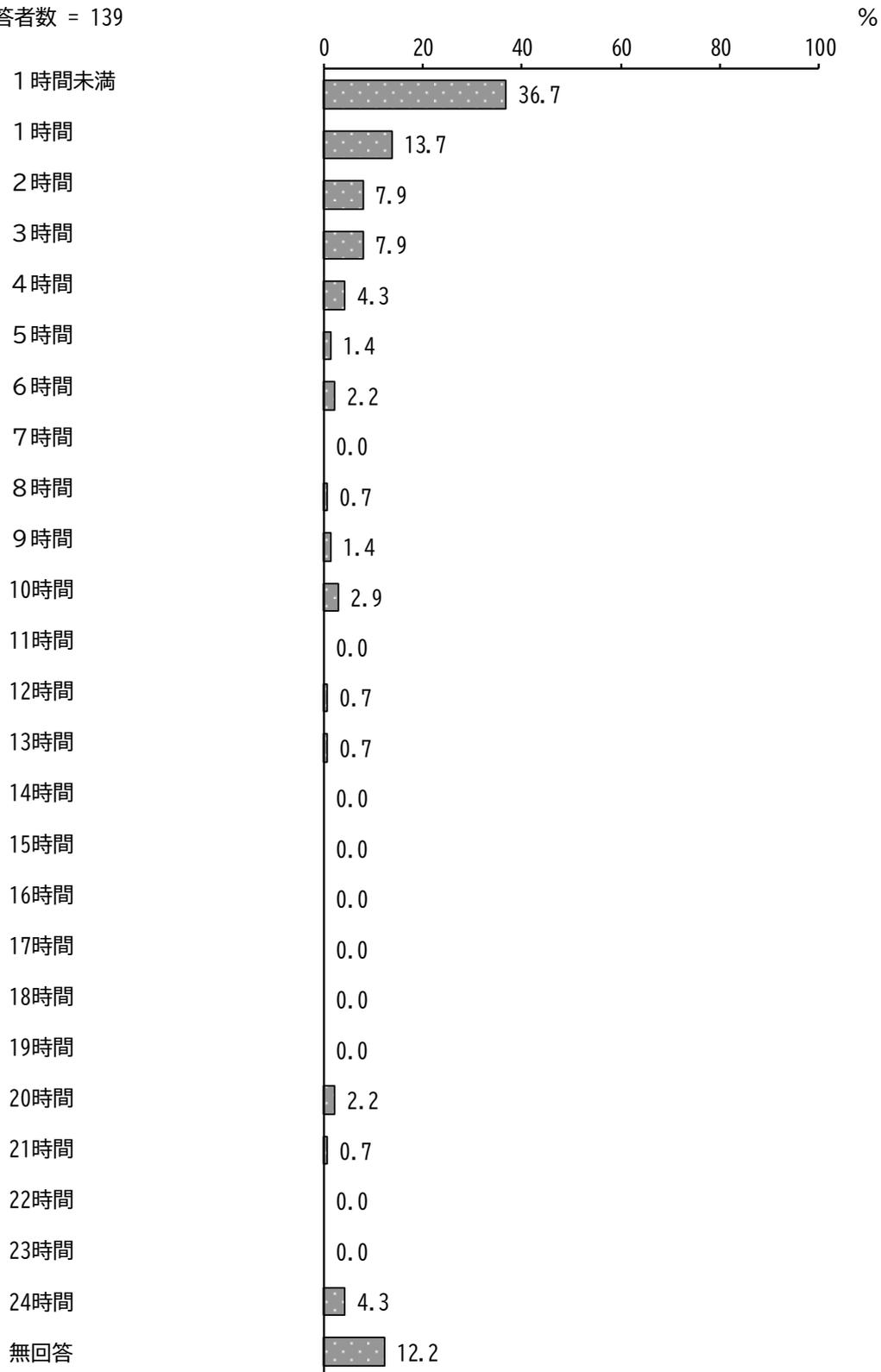
区分	回答者数 (件)	ほぼ毎日	週3～5日	週に1～2回	1か月に数日	その他	無回答
全 体	139	92.8	—	—	—	—	7.2
ある	36	97.2	—	—	—	—	2.8
ない	82	96.3	—	—	—	—	3.7

⑦ あなたは平日と土日それぞれで、1日何時間くらいその方へのお世話をしていますか。

平日

「1時間未満」の割合が36.7%と最も高く、次いで「1時間」の割合が13.7%となっています。

回答者数 = 139



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	139	36.7	13.7	7.9	7.9	4.3	1.4	2.2	-	0.7	1.4	2.9	-	0.7
男	96	38.5	12.5	7.3	9.4	4.2	2.1	2.1	-	1.0	2.1	3.1	-	1.0
女	39	35.9	17.9	10.3	5.1	2.6	-	2.6	-	-	-	2.6	-	-
その他	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
答えたくない	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	0.7	-	-	-	-	-	-	2.2	0.7	-	-	4.3	12.2
男	1.0	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	3.1	11.5
女	-	-	-	-	-	-	-	5.1	2.6	-	-	5.1	10.3
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
答えたくない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0

【同居家族別】

同居家族別にみると、妹で「1時間未満」の割合が、お兄さん、お姉さんで「1時間」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	139	36.7	13.7	7.9	7.9	4.3	1.4	2.2	－	0.7	1.4	2.9	－	0.7
お母さん	136	37.5	14.0	8.1	8.1	3.7	1.5	2.2	－	0.7	0.7	2.9	－	0.7
お父さん	120	36.7	14.2	7.5	9.2	3.3	1.7	2.5	－	0.8	0.8	3.3	－	0.8
おばあさん	14	35.7	7.1	14.3	14.3	－	－	－	－	－	－	－	－	7.1
おじいさん	6	33.3	33.3	－	16.7	－	－	－	－	－	－	－	－	－
お兄さん	37	37.8	18.9	5.4	8.1	－	－	－	－	－	－	5.4	－	－
お姉さん	37	35.1	18.9	8.1	8.1	2.7	5.4	2.7	－	－	2.7	－	－	－
弟	31	38.7	6.5	12.9	12.9	－	－	－	－	3.2	3.2	－	－	－
妹	26	50.0	11.5	－	3.8	3.8	－	－	－	－	－	3.8	－	－
その他	5	60.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	0.7	－	－	－	－	－	－	2.2	0.7	－	－	4.3	12.2
お母さん	0.7	－	－	－	－	－	－	1.5	0.7	－	－	4.4	12.5
お父さん	－	－	－	－	－	－	－	1.7	0.8	－	－	5.0	11.7
おばあさん	7.1	－	－	－	－	－	－	7.1	－	－	－	7.1	－
おじいさん	－	－	－	－	－	－	－	16.7	－	－	－	－	－
お兄さん	2.7	－	－	－	－	－	－	2.7	－	－	－	8.1	10.8
お姉さん	－	－	－	－	－	－	－	5.4	－	－	－	5.4	5.4
弟	－	－	－	－	－	－	－	3.2	－	－	－	3.2	16.1
妹	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	26.9
その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	40.0

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、おじいさんで「1時間」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	139	36.7	13.7	7.9	7.9	4.3	1.4	2.2	-	0.7	1.4	2.9	-	0.7
お母さん	139	36.7	13.7	7.9	7.9	4.3	1.4	2.2	-	0.7	1.4	2.9	-	0.7
お父さん	90	31.1	12.2	6.7	8.9	4.4	2.2	2.2	-	1.1	2.2	3.3	-	1.1
おばあさん	25	28.0	16.0	16.0	8.0	-	4.0	4.0	-	-	-	-	-	-
おじいさん	15	26.7	26.7	6.7	6.7	-	6.7	-	-	-	-	-	-	-
きょうだい	36	33.3	13.9	8.3	8.3	2.8	2.8	2.8	-	-	-	5.6	-	-
その他	6	33.3	16.7	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	0.7	-	-	-	-	-	-	2.2	0.7	-	-	4.3	12.2
お母さん	0.7	-	-	-	-	-	-	2.2	0.7	-	-	4.3	12.2
お父さん	-	-	-	-	-	-	-	3.3	1.1	-	-	5.6	14.4
おばあさん	4.0	-	-	-	-	-	-	4.0	-	-	-	-	16.0
おじいさん	-	-	-	-	-	-	-	6.7	-	-	-	-	20.0
きょうだい	-	-	-	-	-	-	-	2.8	-	-	-	2.8	16.7
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	16.7

【世話の頻度別】

世話の頻度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

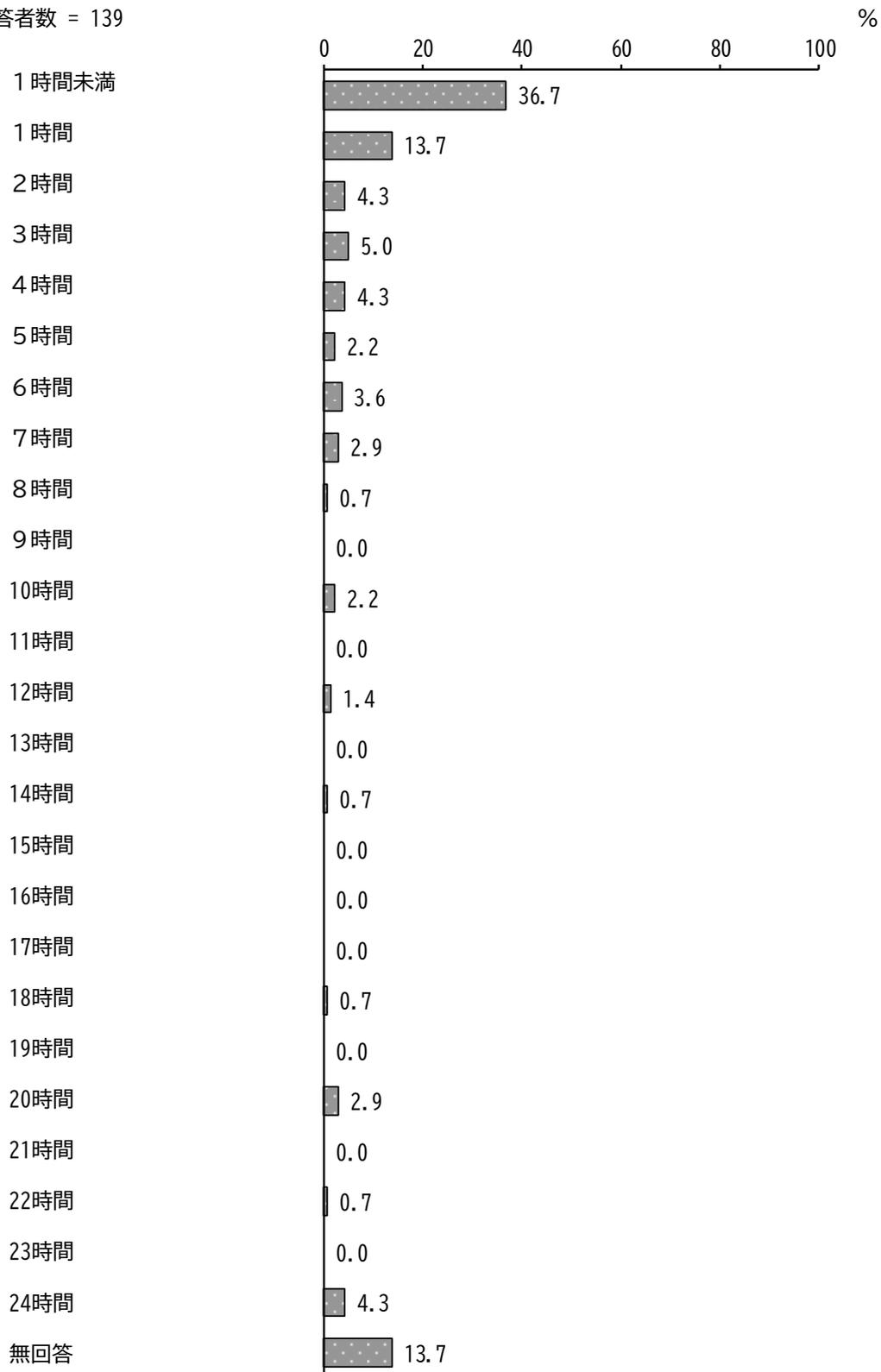
区分	回答者数 (件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全 体	139	36.7	13.7	7.9	7.9	4.3	1.4	2.2	－	0.7	1.4	2.9	－	0.7
ほぼ毎日	129	39.5	14.7	8.5	8.5	4.7	1.6	2.3	－	0.8	1.6	3.1	－	0.8
週3～5日	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
週に1～2回	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
1か月に数日	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全 体	0.7	－	－	－	－	－	－	2.2	0.7	－	－	4.3	12.2
ほぼ毎日	0.8	－	－	－	－	－	－	2.3	0.8	－	－	4.7	5.4
週3～5日	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
週に1～2回	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
1か月に数日	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

## 休日

「1時間未満」の割合が36.7%と最も高く、次いで「1時間」の割合が13.7%となっています。

回答者数 = 139



【性別】

性別にみると、女で「1時間」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	139	36.7	13.7	4.3	5.0	4.3	2.2	3.6	2.9	0.7	-	2.2	-	1.4
男	96	39.6	10.4	5.2	7.3	2.1	2.1	4.2	4.2	1.0	-	1.0	-	1.0
女	39	33.3	23.1	2.6	-	10.3	2.6	2.6	-	-	-	2.6	-	2.6
その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-
答えたくない	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	-	0.7	-	-	-	0.7	-	2.9	-	0.7	-	4.3	13.7
男	-	1.0	-	-	-	1.0	-	3.1	-	-	-	3.1	13.5
女	-	-	-	-	-	-	-	2.6	-	2.6	-	5.1	10.3
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
答えたくない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0

【同居家族別】

同居家族別にみると、お兄さん、お姉さんで「1時間未満」の割合が、妹で「1時間」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	139	36.7	13.7	4.3	5.0	4.3	2.2	3.6	2.9	0.7	—	2.2	—	1.4
お母さん	136	37.5	14.0	4.4	5.1	4.4	2.2	3.7	2.2	0.7	—	2.2	—	1.5
お父さん	120	37.5	13.3	4.2	5.0	4.2	2.5	4.2	3.3	0.8	—	1.7	—	1.7
おばあさん	14	42.9	21.4	—	7.1	—	—	14.3	—	—	—	—	—	—
おじいさん	6	33.3	16.7	—	16.7	—	—	16.7	—	—	—	—	—	—
お兄さん	37	51.4	5.4	5.4	8.1	2.7	—	—	—	2.7	—	—	—	2.7
お姉さん	37	48.6	8.1	5.4	2.7	2.7	5.4	2.7	2.7	—	—	—	—	—
弟	31	35.5	16.1	3.2	6.5	—	3.2	3.2	—	—	—	3.2	—	—
妹	26	30.8	26.9	—	3.8	—	—	3.8	3.8	3.8	—	—	—	—
その他	5	60.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	—	0.7	—	—	—	0.7	—	2.9	—	0.7	—	4.3	13.7
お母さん	—	0.7	—	—	—	0.7	—	2.2	—	0.7	—	3.7	14.0
お父さん	—	—	—	—	—	0.8	—	2.5	—	0.8	—	4.2	13.3
おばあさん	—	—	—	—	—	—	—	7.1	—	—	—	7.1	—
おじいさん	—	—	—	—	—	—	—	16.7	—	—	—	—	—
お兄さん	—	—	—	—	—	—	—	2.7	—	2.7	—	5.4	10.8
お姉さん	—	—	—	—	—	—	—	8.1	—	—	—	5.4	8.1
弟	—	—	—	—	—	3.2	—	3.2	—	—	—	6.5	16.1
妹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	26.9
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40.0

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、おばあさん、おじいさんで「1時間」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	139	36.7	13.7	4.3	5.0	4.3	2.2	3.6	2.9	0.7	－	2.2	－	1.4
お母さん	139	36.7	13.7	4.3	5.0	4.3	2.2	3.6	2.9	0.7	－	2.2	－	1.4
お父さん	90	31.1	12.2	3.3	3.3	5.6	3.3	4.4	4.4	1.1	－	2.2	－	－
おばあさん	25	32.0	28.0	8.0	4.0	－	－	－	8.0	－	－	－	－	－
おじいさん	15	26.7	26.7	－	13.3	－	－	－	6.7	－	－	－	－	－
きょうだい	36	36.1	13.9	2.8	2.8	5.6	5.6	2.8	2.8	2.8	－	－	－	2.8
その他	6	16.7	33.3	－	－	－	－	－	16.7	－	－	－	－	－

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	－	0.7	－	－	－	0.7	－	2.9	－	0.7	－	4.3	13.7
お母さん	－	0.7	－	－	－	0.7	－	2.9	－	0.7	－	4.3	13.7
お父さん	－	－	－	－	－	1.1	－	4.4	－	1.1	－	5.6	16.7
おばあさん	－	－	－	－	－	－	－	4.0	－	－	－	－	16.0
おじいさん	－	－	－	－	－	－	－	6.7	－	－	－	－	20.0
きょうだい	－	－	－	－	－	－	－	2.8	－	－	－	2.8	16.7
その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	16.7	16.7

【世話の頻度別】

世話の頻度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

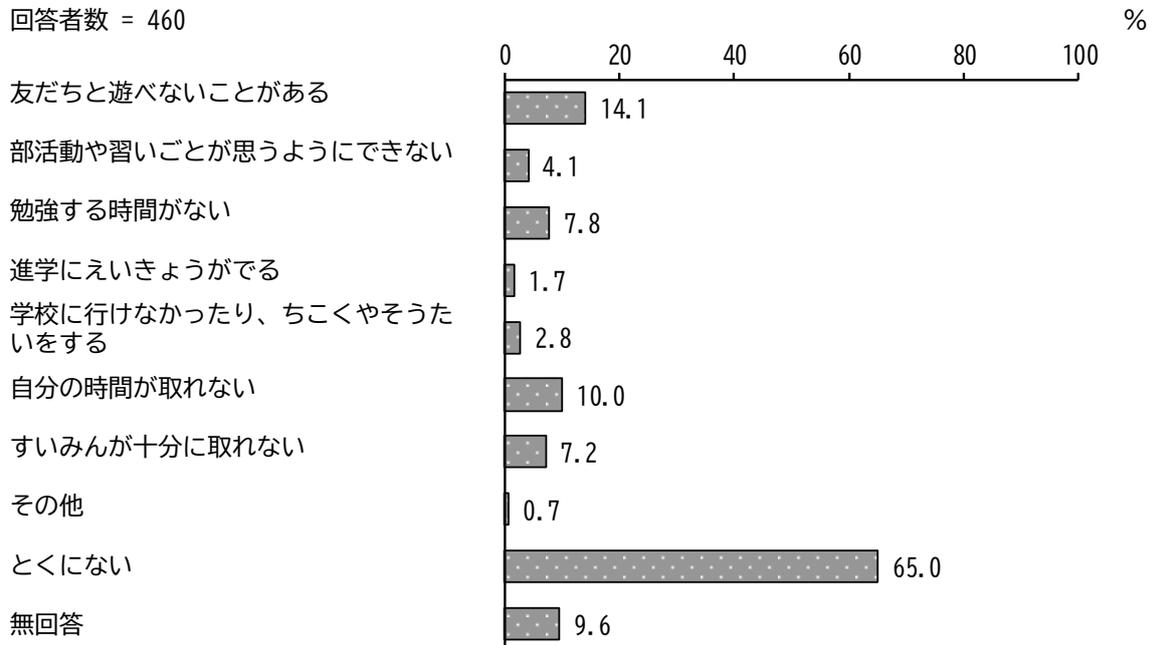
区分	回答者数 (件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全 体	139	36.7	13.7	4.3	5.0	4.3	2.2	3.6	2.9	0.7	—	2.2	—	1.4
ほぼ毎日	129	39.5	14.7	4.7	5.4	4.7	2.3	3.9	3.1	0.8	—	2.3	—	1.6
週3～5日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
週に1～2回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1か月に数日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全 体	—	0.7	—	—	—	0.7	—	2.9	—	0.7	—	4.3	13.7
ほぼ毎日	—	0.8	—	—	—	0.8	—	3.1	—	0.8	—	4.7	7.0
週3～5日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
週に1～2回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1か月に数日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問10 あなたは家族のお世話をしていることで、以下のようなけいけんをしたことはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「とくにない」の割合が65.0%と最も高く、次いで「友だちと遊べないことがある」の割合が14.1%、「自分の時間が取れない」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 460



【性別】

性別にみると、答えたくないで「友だちと遊べないことがある」「自分の時間が取れない」の割合が、女で「とくにない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	友だちと遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	進学にいきょうがでる	学校に行けなかったり、ちこくやそうたいをする	自分の時間が取れない	すいみんが十分に取れない	その他	とくにない	無回答
全体	460	14.1	4.1	7.8	1.7	2.8	10.0	7.2	0.7	65.0	9.6
男	238	14.3	5.9	8.0	2.9	1.7	9.7	6.3	0.4	61.3	13.4
女	209	12.9	1.4	7.2	—	4.3	9.6	6.2	1.0	70.8	4.8
その他	3	—	—	—	—	—	—	—	—	66.7	33.3
答えたくない	10	40.0	20.0	20.0	10.0	—	30.0	50.0	—	30.0	10.0

【同居家族別】

同居家族別にみると、おじいさん、お姉さんで「とくにない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	友だちと遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	進学にえいきょうがでる	学校に行けなかったり、ちこくやそつたいをする	自分の時間が取れない	すいみんが十分に取れない	その他	とくにない	無回答
全 体	460	14.1	4.1	7.8	1.7	2.8	10.0	7.2	0.7	65.0	9.6
お母さん	451	13.7	3.5	7.5	1.3	2.7	10.0	7.1	0.7	65.4	9.8
お父さん	421	13.8	3.8	8.1	1.2	2.6	10.2	6.9	0.7	65.8	8.8
おばあさん	52	11.5	3.8	1.9	1.9	3.8	7.7	3.8	1.9	69.2	9.6
おじいさん	30	6.7	3.3	—	3.3	—	6.7	10.0	—	80.0	3.3
お兄さん	95	13.7	2.1	5.3	1.1	3.2	5.3	4.2	—	63.2	16.8
お姉さん	89	12.4	2.2	6.7	1.1	1.1	5.6	7.9	1.1	70.8	10.1
弟	193	12.4	4.7	8.3	1.6	3.6	12.4	6.2	0.5	64.8	7.3
妹	177	18.6	4.5	8.5	2.3	3.4	11.3	11.3	1.1	65.5	5.1
その他	31	16.1	3.2	9.7	3.2	—	6.5	—	—	61.3	16.1

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、おじいさんで「とくにない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	友だちと遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	進学にえいきょうがでる	学校に行けなかったり、ちこくやそつたいをする	自分の時間が取れない	すいみんが十分に取れない	その他	とくにない	無回答
全 体	460	14.1	4.1	7.8	1.7	2.8	10.0	7.2	0.7	65.0	9.6
お母さん	139	14.4	6.5	8.6	0.7	3.6	7.2	7.9	—	61.2	11.5
お父さん	96	14.6	7.3	10.4	2.1	2.1	6.3	7.3	—	60.4	13.5
おばあさん	39	12.8	—	10.3	—	5.1	5.1	—	2.6	66.7	10.3
おじいさん	20	5.0	—	5.0	—	5.0	10.0	—	—	70.0	10.0
きょうだい	266	13.9	3.8	7.1	1.9	3.4	10.5	8.3	0.4	69.2	5.6
その他	40	20.0	2.5	7.5	2.5	—	12.5	15.0	2.5	70.0	2.5

【世話の理由別】

世話の理由別にみると、わからないで「とくにない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	友だちと遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	進学にいきようがでる	学校に行けなかったり、ちこくやそつたいをする	自分の時間が取れない	すいみんが十分に取れない	その他	とくにない	無回答
全体	139	14.4	6.5	8.6	0.7	3.6	7.2	7.9	—	61.2	11.5
おとしよりのため	5	20.0	—	20.0	—	—	—	20.0	—	40.0	20.0
おさない(小さい)ため	25	16.0	12.0	8.0	—	—	4.0	4.0	—	56.0	16.0
にんちしょうのため	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
障がいがあるため(身体・知てきなど)	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
かいごがひつようなため	8	—	—	12.5	—	—	12.5	—	—	62.5	12.5
こころの病気のため	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
いぞんしょうのため	2	—	—	50.0	—	—	—	50.0	—	50.0	—
その他の病気やケガのため	6	50.0	—	16.7	—	16.7	16.7	16.7	—	33.3	—
日本語が苦手なため	3	—	—	—	—	—	33.3	—	—	33.3	33.3
その他	20	—	—	10.0	—	5.0	5.0	5.0	—	75.0	5.0
わからない	65	15.4	6.2	6.2	1.5	4.6	9.2	9.2	—	67.7	9.2

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、1時間未満で「とくにない」の割合が、2時間、3時間、1時間で「友だちと遊べないことがある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	友だちと遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	進学にいきやすい	学校に行けなかったり、ちこくやそつたいをする	自分の時間が取れない	すいみんが十分に取れない	その他	とくにない	無回答
全 体	139	14.4	6.5	8.6	0.7	3.6	7.2	7.9	—	61.2	11.5
1時間未満	51	7.8	—	5.9	—	5.9	2.0	3.9	—	74.5	3.9
1時間	19	21.1	5.3	10.5	—	—	10.5	5.3	—	63.2	—
2時間	11	27.3	9.1	18.2	9.1	18.2	27.3	18.2	—	63.6	—
3時間	11	27.3	—	9.1	—	—	18.2	9.1	—	54.5	—
4時間	6	50.0	50.0	33.3	—	—	—	33.3	—	33.3	16.7
5時間	2	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
6時間	3	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
7時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8時間	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
9時間	2	—	50.0	—	—	—	—	—	—	50.0	—
10時間	4	—	25.0	—	—	—	—	—	—	75.0	—
11時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12時間	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
13時間	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
14時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20時間	3	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
21時間	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
22時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24時間	6	16.7	16.7	—	—	—	16.7	16.7	—	33.3	33.3

【世話をすることについて感じていること別】

世話をすることについて感じていること別にみると、時間のよゆうがない、体力てきにつらいで「自分の時間が取れない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	友だちと遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	進学にえいきょうがでる	学校に行けなかったり、ちこくやそつたいをする	自分の時間が取れない	すいみんが十分に取れない	その他	とくにない	無回答
全体	460	14.1	4.1	7.8	1.7	2.8	10.0	7.2	0.7	65.0	9.6
やりがいを感じている	125	17.6	4.8	7.2	2.4	3.2	9.6	9.6	—	71.2	0.8
楽しい	203	14.8	3.9	8.9	1.5	3.0	7.4	6.9	—	73.9	1.0
充じつしている	40	20.0	—	10.0	2.5	2.5	15.0	12.5	—	70.0	2.5
体力てきにつらい	28	46.4	17.9	25.0	14.3	10.7	46.4	39.3	3.6	17.9	10.7
せいしんてきにつらい	19	47.4	15.8	26.3	15.8	5.3	42.1	31.6	10.5	26.3	—
時間のよゆうがない	38	50.0	18.4	39.5	10.5	10.5	57.9	34.2	2.6	13.2	5.3
とくに何も感じていない	105	11.4	1.9	5.7	1.9	2.9	6.7	3.8	—	80.0	1.9
その他	14	21.4	7.1	14.3	—	—	14.3	7.1	14.3	57.1	—

【世話に関する悩み相談の有無別】

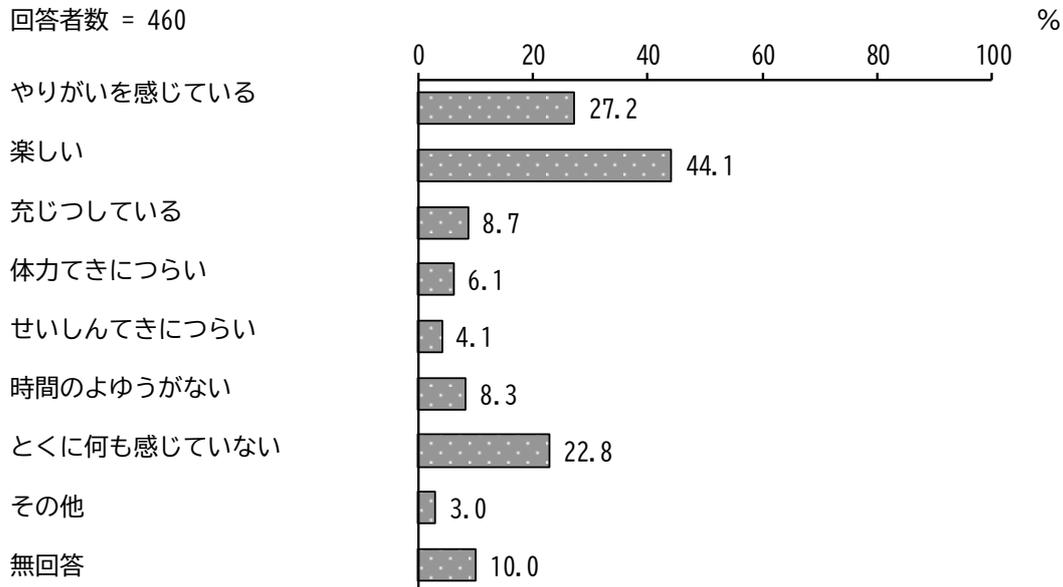
世話に関する悩み相談の有無別にみると、ないで「とくにない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	友だちと遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	進学にえいきょうがでる	学校に行けなかったり、ちこくやそつたいをする	自分の時間が取れない	すいみんが十分に取れない	その他	とくにない	無回答
全体	460	14.1	4.1	7.8	1.7	2.8	10.0	7.2	0.7	65.0	9.6
ある	96	17.7	9.4	12.5	2.1	5.2	13.5	8.3	—	63.5	4.2
ない	317	12.6	2.2	7.6	1.9	1.9	10.4	6.9	0.9	71.9	3.8

問11 あなたはお世話をすることについて、どのようなことを感じていますか。  
(あてはまるものすべてを選択)

「楽しい」の割合が44.1%と最も高く、次いで「やりがいを感じている」の割合が27.2%、「とくに何も感じていない」の割合が22.8%となっています。



【性別】

性別にみると、女で「楽しい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	やりがいを感じている	楽しい	充じつしている	体力てきにつらい	せいしんてきにつらい	時間のよゆうがない	とくに何も感じていない	その他	無回答
全体	460	27.2	44.1	8.7	6.1	4.1	8.3	22.8	3.0	10.0
男	238	29.4	38.2	8.0	7.1	4.6	8.0	24.8	2.1	11.8
女	209	24.9	51.7	9.6	3.8	2.4	7.7	22.0	3.3	7.7
その他	3	33.3	33.3	33.3	—	33.3	—	—	—	33.3
答えたくない	10	20.0	30.0	—	30.0	20.0	30.0	—	20.0	10.0

【同居家族別】

同居家族別にみると、おじいさん、妹で「楽しい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	やりがいを 感じている	楽しい	充 じ つ し て い る	体 力 で き に つ ら い	せ い し ん で き に つ ら い	時 間 の よ ゆ う が な い	と く に 何 も 感 じ て い な い	そ の 他	無 回 答
全 体	460	27.2	44.1	8.7	6.1	4.1	8.3	22.8	3.0	10.0
お母さん	451	27.7	43.7	8.6	5.8	4.0	8.2	23.1	3.1	10.0
お父さん	421	28.3	44.4	9.0	5.9	3.6	8.1	22.3	3.3	9.7
おばあさん	52	23.1	44.2	13.5	3.8	7.7	5.8	28.8	—	13.5
おじいさん	30	26.7	53.3	13.3	3.3	—	6.7	23.3	—	10.0
お兄さん	95	30.5	43.2	8.4	5.3	3.2	5.3	23.2	1.1	11.6
お姉さん	89	28.1	40.4	10.1	5.6	4.5	7.9	25.8	2.2	12.4
弟	193	29.0	46.6	8.3	6.7	3.1	10.9	23.8	2.1	5.7
妹	177	34.5	52.0	11.3	8.5	4.5	10.7	18.6	2.3	6.8
その他	31	29.0	58.1	12.9	—	6.5	6.5	16.1	6.5	19.4

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、きょうだい「楽しい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	やりがいを 感じている	楽しい	充 じ つ し て い る	体 力 で き に つ ら い	せ い し ん で き に つ ら い	時 間 の よ ゆ う が な い	と く に 何 も 感 じ て い な い	そ の 他	無 回 答
全 体	460	27.2	44.1	8.7	6.1	4.1	8.3	22.8	3.0	10.0
お母さん	139	20.9	38.1	4.3	5.8	5.0	4.3	24.5	1.4	12.2
お父さん	96	24.0	39.6	5.2	4.2	3.1	3.1	21.9	3.1	12.5
おばあさん	39	28.2	35.9	2.6	—	5.1	5.1	25.6	2.6	10.3
おじいさん	20	30.0	35.0	5.0	—	—	10.0	10.0	—	10.0
きょうだい	266	31.2	49.6	10.2	7.1	3.0	10.2	22.6	2.6	4.5
その他	40	27.5	60.0	12.5	2.5	10.0	7.5	17.5	10.0	2.5

【世話の頻度別】

世話の頻度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	やりがいを 感じている	楽しい	充 じ つ し て い る	体 力 て き に つ ら い	せ い し ん で き に つ ら い	時 間 の よ ゆ う が な い	と く く に 何 も 感 じ て い な い	そ の 他	無 回 答
全 体	139	20.9	38.1	4.3	5.8	5.0	4.3	24.5	1.4	12.2
ほぼ毎日	129	22.5	39.5	4.7	6.2	5.4	3.9	26.4	1.6	7.8
週3～5日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
週に1～2回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1か月に数日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、1時間で「楽しい」の割合が、3時間で「やりがいを感じている」の割合が、1時間未満で「とくに何も感じていない」の割合が高くなっています。

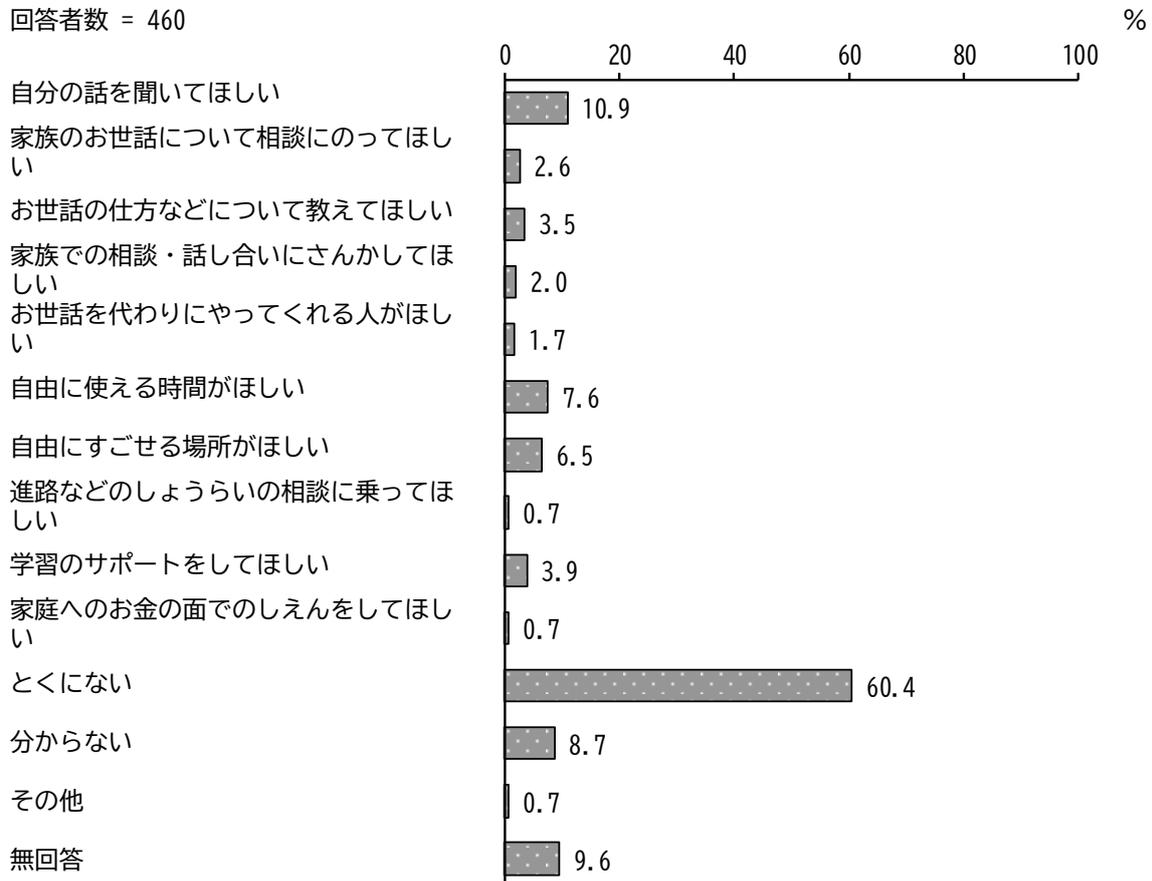
単位：%

区分	回答者数(件)	やりがいを感じている	楽しい	充じつしている	体力てきにつらい	せいしんてきにつらい	時間のよゆうがない	とくに何も感じていない	その他	無回答
全 体	139	20.9	38.1	4.3	5.8	5.0	4.3	24.5	1.4	12.2
1時間未満	51	15.7	29.4	3.9	3.9	3.9	—	41.2	2.0	7.8
1時間	19	26.3	63.2	—	10.5	—	10.5	5.3	—	—
2時間	11	36.4	45.5	9.1	9.1	9.1	9.1	27.3	9.1	—
3時間	11	45.5	45.5	27.3	9.1	9.1	9.1	—	—	9.1
4時間	6	16.7	33.3	—	16.7	16.7	—	16.7	—	16.7
5時間	2	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—	—
6時間	3	33.3	33.3	—	—	—	—	66.7	—	—
7時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8時間	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
9時間	2	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
10時間	4	25.0	50.0	—	—	—	—	25.0	—	—
11時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12時間	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
13時間	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—
14時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20時間	3	33.3	33.3	—	—	—	—	33.3	—	—
21時間	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
22時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24時間	6	16.7	—	—	—	16.7	—	33.3	—	33.3

問 12 あなたが学校やまわりの大人に助けてほしいことや、ひつようとしているしえんはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「とくにない」の割合が 60.4%と最も高く、次いで「自分の話を聞いてほしい」の割合が 10.9%となっています。

回答者数 = 460



【性別】

性別にみると、答えたくないで「自分の話を聞いてほしい」の割合が、女で「とくにない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分の話を聞いてほしい	家族のお世話について相談の つてほしい	お世話の仕方などについて教え てほしい	家族での相談・話し合いにさんか してほしい	お世話を代わりにやってくれる 人がほしい	自由に使える時間がほしい	自由にすごせる場所がほしい	進路などのしゅうらいの相談に 乗ってほしい	学習のサポートをしてほしい	家庭へのお金の面でのしえんを してほしい	とくにない	分らない	その他	無回答
全 体	460	10.9	2.6	3.5	2.0	1.7	7.6	6.5	0.7	3.9	0.7	60.4	8.7	0.7	9.6
男	238	12.2	2.5	2.5	1.3	1.7	8.0	5.9	1.3	2.9	1.3	58.0	7.1	0.4	13.4
女	209	8.1	2.9	4.8	2.4	1.4	6.2	6.2	—	3.8	—	65.6	10.0	1.0	4.8
その他	3	33.3	—	—	—	—	33.3	33.3	—	33.3	—	33.3	—	—	33.3
答えたく ない	10	30.0	—	—	10.0	10.0	20.0	20.0	—	20.0	—	20.0	20.0	—	10.0

【同居家族別】

同居家族別にみると、おじいさん、妹、弟で「とくにない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分の話を聞いてほしい	家族のお世話について相談の つてほしい	お世話の仕方などについて教え てほしい	家族での相談・話し合いにさんか してほしい	お世話を代わりにやってくれる 人がほしい	自由に使える時間がほしい	自由にすごせる場所がほしい	進路などのしゅうらいの相談に 乗ってほしい	学習のサポートをしてほしい	家庭へのお金の面でのしえんを してほしい	とくにない	分らない	その他	無回答
全 体	460	10.9	2.6	3.5	2.0	1.7	7.6	6.5	0.7	3.9	0.7	60.4	8.7	0.7	9.6
お母さん	451	10.9	2.4	3.3	2.0	1.8	7.5	6.4	0.4	3.8	0.4	61.0	8.4	0.7	9.5
お父さん	421	10.5	2.6	3.1	1.9	1.9	7.6	6.2	0.5	3.6	0.5	62.0	8.1	0.7	9.3
おばあさん	52	7.7	—	5.8	—	—	7.7	3.8	1.9	1.9	—	65.4	5.8	—	7.7
おじいさん	30	3.3	—	10.0	—	—	—	—	3.3	3.3	—	73.3	10.0	—	3.3
お兄さん	95	14.7	—	1.1	3.2	—	5.3	2.1	—	2.1	—	53.7	13.7	1.1	12.6
お姉さん	89	14.6	1.1	2.2	2.2	—	9.0	4.5	1.1	3.4	1.1	59.6	9.0	—	11.2
弟	193	7.8	3.6	4.7	1.0	2.6	7.8	6.2	0.5	3.1	0.5	65.8	7.3	—	7.3
妹	177	10.2	3.4	4.5	1.7	2.8	7.9	7.9	1.1	4.5	0.6	66.1	6.8	—	6.2
その他	31	6.5	—	3.2	—	—	3.2	—	—	3.2	—	64.5	9.7	3.2	12.9

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、きょうだいで「とくにない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	自分の話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	お世話の仕方などについて教えてほしい	家族での相談・話し合いにさんかしてほしい	お世話を代わりにやってくれる人がほしい	自由に使える時間がほしい	自由にすごせる場所がほしい	進路などのしゅうらいの相談に乗ってほしい	学習のサポートをしてほしい	家庭へのお金の面でのしえんをしてほしい	とくにない	分からない	その他	無回答
全体	460	10.9	2.6	3.5	2.0	1.7	7.6	6.5	0.7	3.9	0.7	60.4	8.7	0.7	9.6
お母さん	139	15.8	5.0	4.3	3.6	1.4	6.5	6.5	0.7	4.3	0.7	49.6	13.7	0.7	12.2
お父さん	96	10.4	5.2	4.2	4.2	2.1	6.3	6.3	—	4.2	—	49.0	13.5	1.0	14.6
おばあさん	39	12.8	2.6	2.6	—	—	7.7	5.1	—	5.1	—	53.8	12.8	—	10.3
おじいさん	20	5.0	—	5.0	—	—	5.0	5.0	—	5.0	—	50.0	20.0	—	15.0
きょうだい	266	8.6	1.9	4.1	0.8	2.6	7.1	5.6	0.4	3.0	0.8	68.0	7.9	—	5.3
その他	40	17.5	—	—	5.0	—	7.5	5.0	—	2.5	—	62.5	10.0	2.5	5.0

【世話の理由別】

世話の理由別にみると、わからないで「とくにない」の割合が、おさない（小さい）ため「自分の話を聞いてほしい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	自分の話を聞いてほしい	家族のお世話について相談の つてほしい	お世話の仕方などについて教え てほしい	家族での相談・話し合いにさんか してほしい	お世話を代わりにやってくれる 人がほしい	自由に使える時間がほしい	自由にすごせる場所がほしい	進路などのしょうらいの相談に 乗ってほしい	学習のサポートをしてほしい	家庭へのお金の面でのしえんを してほしい	とくにない	分からない	その他	無回答
全 体	139	15.8	5.0	4.3	3.6	1.4	6.5	6.5	0.7	4.3	0.7	49.6	13.7	0.7	12.2
おとしよりのため	5	20.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40.0	20.0	—	20.0
おさない（小さい）ため	25	24.0	4.0	12.0	4.0	—	—	4.0	4.0	12.0	4.0	32.0	12.0	—	20.0
にんちしょうのため	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
障がいがあるため（身体・知てきなど）	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—
かいごがひつようなため	8	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5	—	—	12.5	25.0	12.5	50.0	—	—	12.5
こころの病気のため	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
いぞんしょうのため	2	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	—	—	—
その他の病気やケガのため	6	50.0	16.7	—	—	16.7	16.7	33.3	—	16.7	—	16.7	16.7	—	—
日本語が苦手なため	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66.7	—	—	33.3
その他	20	15.0	5.0	—	5.0	—	15.0	15.0	—	—	—	60.0	15.0	—	5.0
わからない	65	10.8	4.6	3.1	3.1	—	4.6	4.6	—	1.5	—	58.5	15.4	1.5	7.7

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、1時間未満、3時間で「とくにない」の割合が、2時間で「分からない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分の話を聞いてほしい	家族のお世話について相談の つてほしい	お世話の仕方などについて教え てほしい	家族での相談・話し合いにさんか してほしい	お世話を代わりにやってくれる 人がほしい	自由に使える時間がほしい	自由にすごせる場所がほしい	進路などのしょうざいの相談に 乗ってほしい	学習のサポートをしてほしい	家庭へのお金の面でのしえんを してほしい	とくにない	分からない	その他	無回答
全体	139	15.8	5.0	4.3	3.6	1.4	6.5	6.5	0.7	4.3	0.7	49.6	13.7	0.7	12.2
1時間 未満	51	11.8	2.0	3.9	-	-	2.0	2.0	-	5.9	-	66.7	11.8	2.0	2.0
1時間	19	21.1	10.5	10.5	10.5	-	21.1	15.8	-	-	-	52.6	5.3	-	5.3
2時間	11	18.2	-	-	-	9.1	-	9.1	-	-	-	45.5	27.3	-	-
3時間	11	27.3	18.2	9.1	-	-	-	-	9.1	9.1	9.1	63.6	-	-	9.1
4時間	6	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3	-	16.7	-	16.7	16.7	-	33.3
5時間	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-
6時間	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-
7時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
9時間	2	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-
10時間	4	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	25.0	-	-
11時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
13時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
14時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20時間	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3	-	-
21時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
22時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24時間	6	16.7	-	-	33.3	-	33.3	16.7	-	-	-	16.7	-	-	33.3

【世話をすることについて感じていること別】

世話をすることについて感じていること別にみると、充じつしているで「とくはない」の割合が、時間のよゆうがない、せいしんてきにつらいで「自分の話を聞いてほしい」の割合が高くなっています。

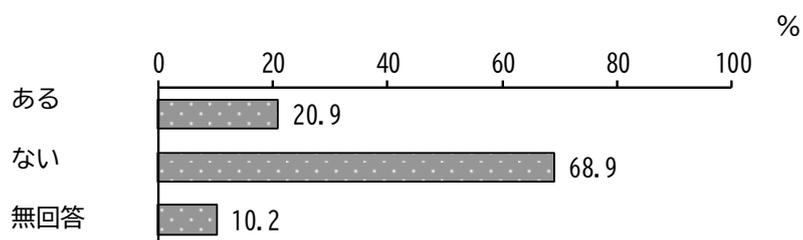
単位：%

区分	回答者数(件)	自分の話を聞いてほしい	家族のお世話について相談の つてほしい	お世話の仕方などについて教え てほしい	家族での相談・話し合いにさん かしてほしい	お世話を代わりにやってくれる 人がほしい	自由に使える時間がほしい	自由にすごせる場所がほしい	進路などのしよつらいの相談に 乗ってほしい	学習のサポートをしてほしい	家庭へのお金の面でのしえんを してほしい	とくはない	分らない	その他	無回答
全 体	460	10.9	2.6	3.5	2.0	1.7	7.6	6.5	0.7	3.9	0.7	60.4	8.7	0.7	9.6
やりがい を感じて いる	125	11.2	2.4	4.0	0.8	1.6	5.6	4.8	—	4.0	—	70.4	7.2	0.8	1.6
楽しい	203	10.3	3.4	3.9	2.0	1.5	3.0	3.0	—	3.4	—	69.0	8.9	0.5	3.0
充じつし ている	40	5.0	2.5	—	—	—	2.5	—	—	—	—	85.0	5.0	—	2.5
体力てき につらい	28	25.0	10.7	21.4	10.7	14.3	32.1	28.6	7.1	14.3	7.1	39.3	7.1	—	7.1
せいしん てきにつ らい	19	31.6	10.5	10.5	5.3	5.3	42.1	31.6	10.5	15.8	10.5	36.8	15.8	—	—
時間のよ ゆうがな い	38	34.2	7.9	15.8	10.5	7.9	36.8	26.3	7.9	13.2	7.9	36.8	5.3	—	—
とくに何 も感じて いない	105	8.6	—	1.0	1.9	1.0	6.7	7.6	—	2.9	—	72.4	8.6	—	1.9
その他	14	21.4	—	—	7.1	14.3	14.3	14.3	—	7.1	—	50.0	7.1	7.1	—

問13 あなたはお世話をひつようとしている家族のことや、お世話のなやみをだれかに相談したことはありますか。

「ある」の割合が20.9%、「ない」の割合が68.9%となっています。

回答者数 = 460



【性別】

性別にみると、答えたくないで「ある」の割合が、女で「ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	460	20.9	68.9	10.2
男	238	21.0	63.9	15.1
女	209	20.1	75.1	4.8
その他	3	33.3	33.3	33.3
答えたくない	10	30.0	70.0	—

【同居家族別】

同居家族別にみると、妹、弟で「ない」の割合が、おばあさんで「ある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	460	20.9	68.9	10.2
お母さん	451	20.8	69.4	9.8
お父さん	421	21.4	69.4	9.3
おばあさん	52	26.9	65.4	7.7
おじいさん	30	23.3	73.3	3.3
お兄さん	95	24.2	62.1	13.7
お姉さん	89	24.7	69.7	5.6
弟	193	19.2	74.6	6.2
妹	177	16.9	75.1	7.9
その他	31	16.1	67.7	16.1

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、おじいさん、お父さん、おばあさんで「ある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	460	20.9	68.9	10.2
お母さん	139	25.9	59.0	15.1
お父さん	96	31.3	50.0	18.8
おばあさん	39	30.8	61.5	7.7
おじいさん	20	35.0	55.0	10.0
きょうだい	266	21.4	73.3	5.3
その他	40	12.5	77.5	10.0

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、2時間、3時間で「ある」の割合が、1時間未満、1時間で「ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	139	25.9	59.0	15.1
1時間未満	51	19.6	76.5	3.9
1時間	19	10.5	73.7	15.8
2時間	11	45.5	54.5	—
3時間	11	45.5	36.4	18.2
4時間	6	50.0	16.7	33.3
5時間	2	100.0	—	—
6時間	3	33.3	66.7	—
7時間	—	—	—	—
8時間	1	—	100.0	—
9時間	2	50.0	—	50.0
10時間	4	50.0	25.0	25.0
11時間	—	—	—	—
12時間	1	—	—	100.0
13時間	1	100.0	—	—
14時間	—	—	—	—
15時間	—	—	—	—
16時間	—	—	—	—
17時間	—	—	—	—
18時間	—	—	—	—
19時間	—	—	—	—
20時間	3	33.3	66.7	—
21時間	1	—	100.0	—
22時間	—	—	—	—
23時間	—	—	—	—
24時間	6	33.3	50.0	16.7

【世話をすることについて感じていること別】

世話をすることについて感じていること別にみると、体力てきにつらいで「ある」の割合が、充じつしている、せいしんてきにつらいで「ない」の割合が高くなっています。

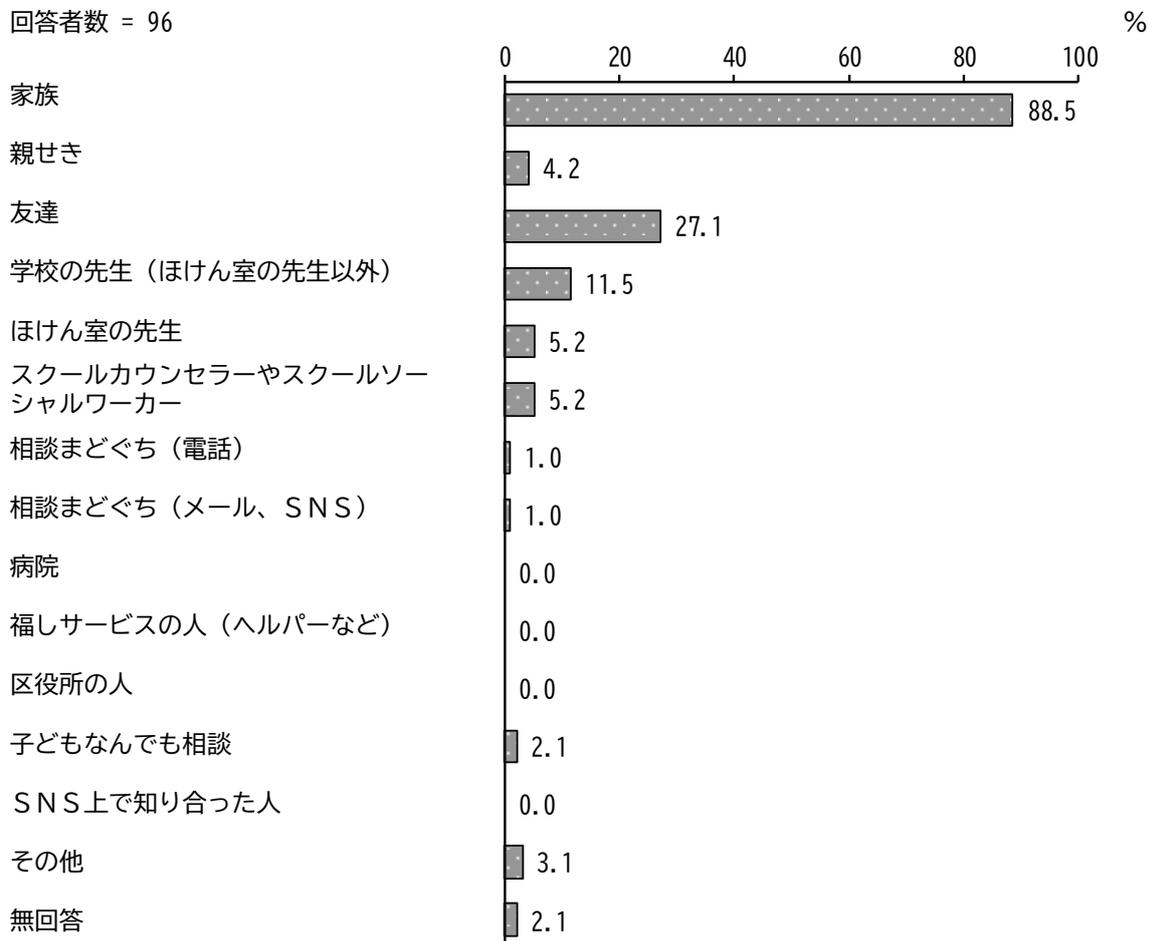
単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	460	20.9	68.9	10.2
やりがいを感じている	125	24.0	70.4	5.6
楽しい	203	21.2	74.4	4.4
充じつしている	40	12.5	82.5	5.0
体力てきにつらい	28	35.7	57.1	7.1
せいしんてきにつらい	19	21.1	78.9	—
時間のよゆうがない	38	26.3	68.4	5.3
とくに何も感じていない	105	21.0	75.2	3.8
その他	14	21.4	71.4	7.1

問 14 問 13 で「ある」と回答した方におたずねします。あなたはだれに相談しましたか。(あてはまるものすべてを選択)

「家族」の割合が 88.5%と最も高く、次いで「友達」の割合が 27.1%、「学校の先生（ほけん室の先生以外）」の割合が 11.5%となっています。

回答者数 = 96



【性別】

性別にみると、女で「友達」の割合が高くなっています。

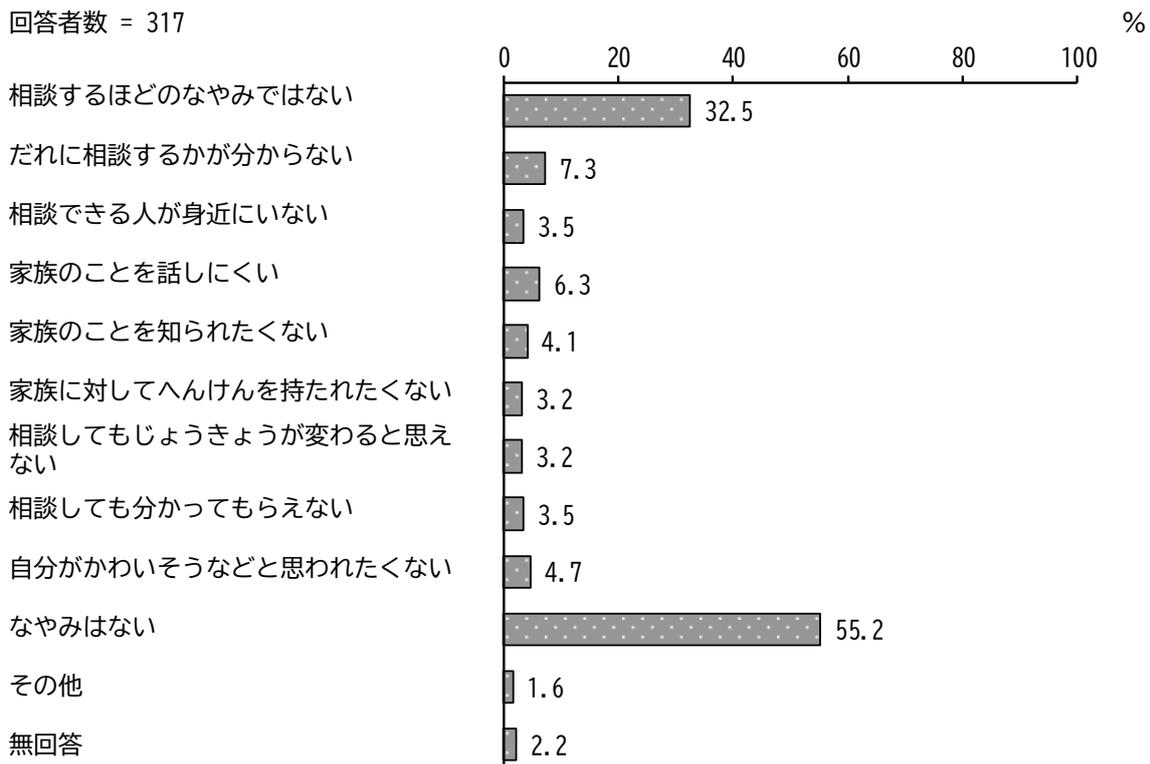
単位：%

区分	回答者数(件)	家族	親せき	友達	学校の先生(ほけん室の先生以外)	ほけん室の先生	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー	相談まどぐち(電話)	相談まどぐち(メール、SNS)	病院	福祉サービスの人(ヘルパーなど)	区役所の人	子どもなんでも相談	SNS上で知り合った人	その他	無回答
全体	96	88.5	4.2	27.1	11.5	5.2	5.2	1.0	1.0	-	-	-	2.1	-	3.1	2.1
男	50	90.0	4.0	24.0	12.0	4.0	4.0	2.0	2.0	-	-	-	2.0	-	2.0	-
女	42	85.7	4.8	33.3	11.9	4.8	7.1	-	-	-	-	-	2.4	-	4.8	4.8
その他	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
答えたくない	3	100.0	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問15 問13で「ない」と回答した方におたずねします。あなたが相談しない理由を教えてください。(あてはまるものすべてを選択)

「なやみはない」の割合が55.2%と最も高く、次いで「相談するほどのなやみではない」の割合が32.5%となっています。

回答者数 = 317



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	相談するほどのなやみではない	だれに相談するかが分からない	相談できる人が身近にいない	家族のことを話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対してへんけんを持たれたくない	相談してもじょうきようが変わると思えない	相談しても分かってもらえない	自分がかわいそうなどと思われるたくない	なやみはない	その他	無回答
全体	317	32.5	7.3	3.5	6.3	4.1	3.2	3.2	3.5	4.7	55.2	1.6	2.2
男	152	34.2	5.3	2.6	4.6	2.6	1.3	0.7	2.6	2.0	53.9	1.3	1.3
女	157	30.6	7.6	3.8	5.7	4.5	4.5	4.5	3.8	5.7	58.0	1.9	3.2
その他	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
答えたくない	7	28.6	42.9	14.3	57.1	28.6	14.3	28.6	14.3	42.9	28.6	—	—

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、おじいさんで「なやみはない」の割合が、お母さんで「相談するほどのなやみではない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	相談するほどのなやみではない	だれに相談するかが分からない	相談できる人が身近にいない	家族のことを話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対してへんけんを持たれたくない	相談してもじょうきようが変わると思えない	相談しても分かってもらえない	自分がかわいそうなどと思われるたくない	なやみはない	その他	無回答
全体	317	32.5	7.3	3.5	6.3	4.1	3.2	3.2	3.5	4.7	55.2	1.6	2.2
お母さん	82	40.2	8.5	4.9	11.0	7.3	2.4	1.2	1.2	4.9	46.3	—	2.4
お父さん	48	33.3	4.2	4.2	12.5	10.4	4.2	2.1	4.2	6.3	52.1	—	4.2
おばあさん	24	25.0	16.7	4.2	4.2	—	—	4.2	4.2	—	58.3	4.2	—
おじいさん	11	36.4	—	—	—	—	—	—	—	—	63.6	—	—
きょうだい	195	32.3	7.2	2.6	6.7	4.6	3.1	3.6	2.6	6.7	56.4	1.5	1.0
その他	31	16.1	12.9	9.7	6.5	3.2	6.5	6.5	9.7	3.2	74.2	—	—

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、1時間で「家族のことを話しにくい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	相談するほどのなやみではない	だれに相談するかが分からない	相談できる人が身近にいない	家族のことを話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対してへんけんを持たれたくない	相談してもじょうきようが 変わると思えない	相談しても分かってもらえない	自分がかわいそうなどと 思われたくない	なやみはない	その他	無回答
全体	82	40.2	8.5	4.9	11.0	7.3	2.4	1.2	1.2	4.9	46.3	-	2.4
1時間未満	39	43.6	5.1	2.6	7.7	2.6	-	-	-	-	46.2	-	-
1時間	14	42.9	7.1	7.1	21.4	14.3	7.1	-	-	14.3	50.0	-	-
2時間	6	33.3	16.7	-	16.7	16.7	-	-	-	-	33.3	-	-
3時間	4	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-
4時間	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6時間	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
7時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
9時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
11時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20時間	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
21時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
22時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24時間	3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3

【世話をすることについて感じていること別】

世話をすることについて感じていること別にみると、時間のよゆうがないで「相談するほどのなやみではない」の割合が、やりがいを感じている、楽しいで「なやみはない」の割合が高くなっています。

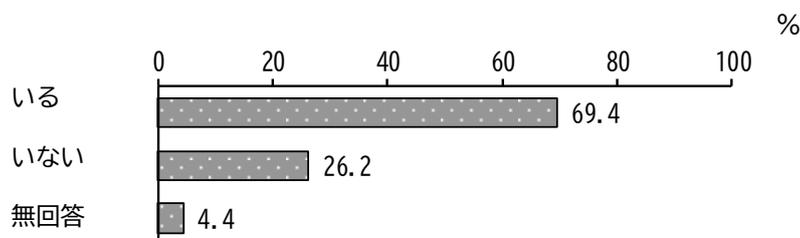
単位：%

区分	回答者数(件)	相談するほどのなやみではない	だれに相談するかが分からない	相談できる人が身近にいない	家族のことを話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対してへんけんを持たれたくない	相談してもじょうきょうが変わると思えない	相談しても分かってもらえない	自分がかわいそうなどと思われたくない	なやみはない	その他	無回答
全体	317	32.5	7.3	3.5	6.3	4.1	3.2	3.2	3.5	4.7	55.2	1.6	2.2
やりがいを感じている	88	29.5	4.5	3.4	5.7	3.4	3.4	2.3	2.3	4.5	64.8	2.3	—
楽しい	151	29.8	6.0	2.0	4.6	4.0	2.6	1.3	2.6	3.3	63.6	—	1.3
充じつしている	33	36.4	3.0	—	3.0	6.1	6.1	3.0	—	3.0	57.6	—	3.0
体力できにつらい	16	25.0	25.0	12.5	12.5	6.3	12.5	18.8	12.5	18.8	43.8	—	—
せいしんてきにつらい	15	33.3	26.7	13.3	6.7	6.7	20.0	13.3	13.3	26.7	20.0	13.3	6.7
時間のよゆうがない	26	46.2	26.9	15.4	15.4	7.7	15.4	15.4	15.4	19.2	23.1	—	—
とくに何も感じていない	79	32.9	6.3	3.8	7.6	2.5	1.3	3.8	3.8	3.8	60.8	—	—
その他	10	40.0	20.0	20.0	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0	20.0	40.0	—	—

問 16 問 13 で「ない」と回答した方におたずねします。今後、あなたが話したいと思ったときに、お世話をひつようとしている家族のことや、お世話のなやみを聞いてくれる人はいますか。

「いる」の割合が 69.4%、「いない」の割合が 26.2%となっています。

回答者数 = 317



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	317	69.4	26.2	4.4
男	152	67.8	28.3	3.9
女	157	72.6	22.9	4.5
その他	1	－	100.0	－
答えたくない	7	42.9	42.9	14.3

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、おばあさん、お母さん、おじいさんで「いない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	317	69.4	26.2	4.4
お母さん	82	58.5	36.6	4.9
お父さん	48	58.3	35.4	6.3
おばあさん	24	54.2	37.5	8.3
おじいさん	11	45.5	36.4	18.2
きょうだい	195	74.4	22.6	3.1
その他	31	61.3	38.7	－

【世話をすることについて感じていること別】

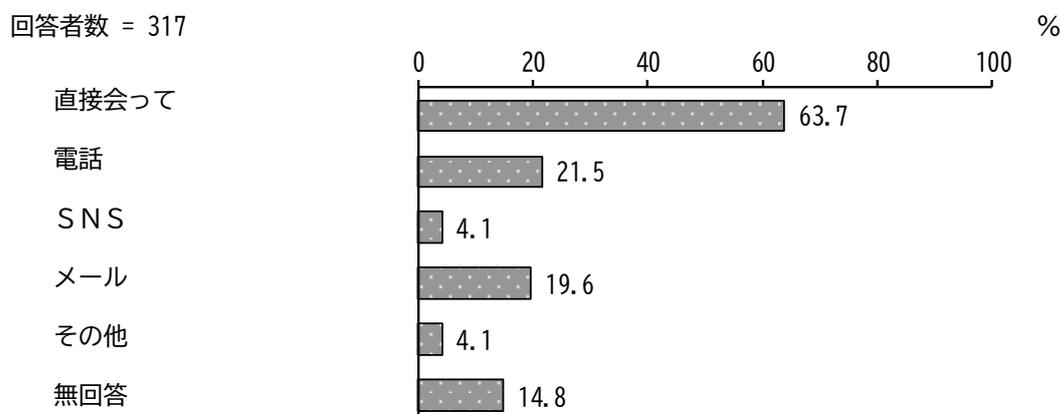
世話をすることについて感じていること別にみると、体力てきにつらい、せいしんてきにつらい、時間のよゆうがないで「いない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	317	69.4	26.2	4.4
やりがいを感じている	88	84.1	14.8	1.1
楽しい	151	78.1	18.5	3.3
充じつしている	33	87.9	9.1	3.0
体力てきにつらい	16	37.5	62.5	—
せいしんてきにつらい	15	33.3	60.0	6.7
時間のよゆうがない	26	42.3	57.7	—
とくに何も感じていない	79	70.9	26.6	2.5
その他	10	70.0	30.0	—

問 17 問 13 で「ない」と回答した方におたずねします。今後、あなたが話したいと思ったときに、どのような方法で話や相談をしたいですか。  
(あてはまるものすべてを選択)

「直接会って」の割合が 63.7%と最も高く、次いで「電話」の割合が 21.5%、「メール」の割合が 19.6%となっています。

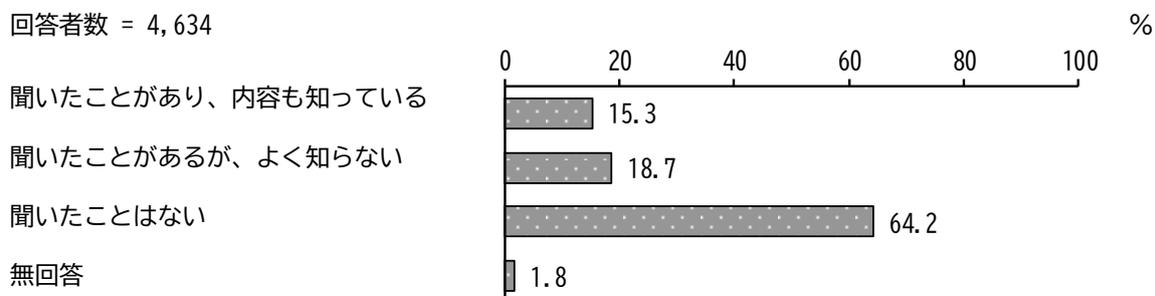


#### IV. ヤングケアラーについて

問 18 「ヤングケアラー」という言葉を、あなたはこれまでに聞いたことがありましたか。

「聞いたことはない」の割合が 64.2%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、よく知らない」の割合が 18.7%、「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が 15.3%となっています。

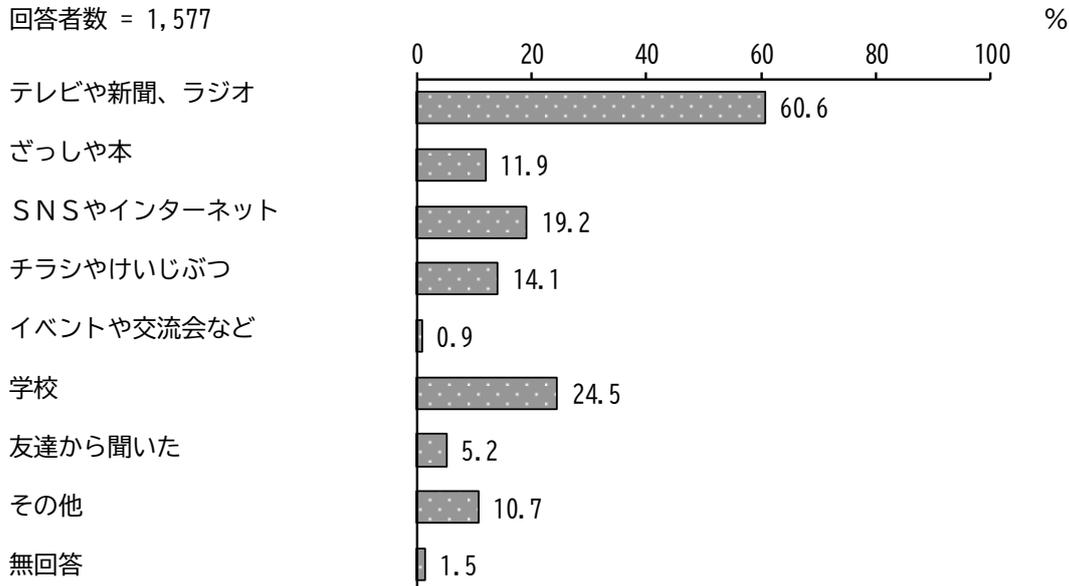
回答者数 = 4,634



問 19 問 18 で「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことがあるが、よく知らない」と回答した方におたずねします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてを選択)

「テレビや新聞、ラジオ」の割合が 60.6%と最も高く、次いで「学校」の割合が 24.5%、「SNS やインターネット」の割合が 19.2%となっています。

回答者数 = 1,577



## 自由回答（小学生）

分類回答	件数
1 家族や周囲の人たちのサポート	132
2 認知度、理解促進	110
3 相談しやすい環境づくり	74
4 支援・補助について	129
5 施設・環境整備の充実	71
6 悩みごと、意見	107
7 要望	112
8 アンケートについて	68
9 ヤングケアラーについて思っていること	56
10 自分の自由な時間を増やす	46

### 【分類別の意見】

#### 1 家族や周囲の人たちのサポート

- ・ 大人が子供の手伝いをする。
- ・ しょうがいをもったひとをたすけてほしい。
- ・ 周りのともだちがもしかしていじめにあっているかもしれないから大人たりが先に気づいてほしい。
- ・ みんなの助け合いが必要だと思う。
- ・ 必要なことは、みんなが助けてあげることだと思います。
- ・ みんなで助け合うこと。
- ・ 周りの大人と協力し合うこと。
- ・ 周りにいる大人たちがお世話を手伝ってヤングケアラーに自分の時間を取らせてあげる。
- ・ ヤングケアラーのための寄付や、周りの大人が気づくこと。
- ・ 家族のお世話をしている子どもの世話をする。
- ・ ヤングケアラーのことを助けたいと思った。
- ・ ヤングケアラーの子が周りにいたらすぐ来づけるように頑張ろうと、思いました。
- ・ お年よりにやさしく対応する。
- ・ まわりの人やしりあいなたすけてもらう。
- ・ 1番大切な事は周りの人の支えだと思います。
- ・ ヤングケアラーのこどもたちを守れるように大人の人達がヤングケアラーのこどもたちを守れるように見えない所で見守ってほしい。
- ・ 自分の代わりに、家族のお世話をしてくれる大人が必要。親代わりの人が必要。

- ・ 成人者が頑張ってヤングケアラーの子がいなくなったらいいと思った。
- ・ 看病できる専用の大人の人が見てあげたほうがいいと思う。
- ・ ヤングケアラーの子達のために全国で協力すること。
- ・ ヤングケアラーの人がいたら手伝ったり、手助けをしたりすることが大切だと思った。
- ・ 学校の人がその人に話を聞いてあげて、学校側が警察とかに相談してその子の親のお世話を  
してあげてほしい。暴力をされていたりしたら、一回離れて生活したりその子にあったことを  
積極的に取り組んでほしい。
- ・ 補助をしたり、学校に行けない人たちに、少しでも学習ができるように大人にも手伝ったりし  
てほしいと思いました。
- ・ 一番いいのはそういう状態を作らないことだけど、そうなったらまわりの大人がヤングケア  
ラーを助けてあげること。
- ・ ヤングケアラーの人が周りの人と同じようなことができるようにしたい。
- ・ ヤングケアラーの子供たちが変わって介護してくれる人が必要であると思う。
- ・ もっと他の人を頼ってもいいと思う。
- ・ こどもがやるんじゃなくて、大人で手伝える人を増やしたほうがいいと思う。
- ・ 家族のお世話をしている子供は家庭によっては楽しい人もいると思うけれど、私は全員が助  
け合える家族にしたいと思います。
- ・ ヤングケアラーのためにサポートなどをしてあげるといいと思いました。
- ・ ヤングケアラーの人たちは、自分の時間をもてず、家族の世話をしているとテレビで見たこと  
があります。私はそういう環境ではないので分かりませんが、私達と同じ年齢の子が私達のよ  
うに外で遊んだりゲームをしたりできないと知って、やはり周りの人の手助けが必要なのだ  
と思いました。
- ・ 好きなことができるように、地域のひとがきょうりょくしたり、周りの人が協力する。
- ・ 他の大人の人をお願いする。
- ・ 家族のお世話をするのはとてもいいことだと思いますが、子供一人がほとんどするのではな  
く、身近な大人の方などが協力してあげればヤングケアラーのストレスを少しでも減らす事  
ができるのではないかなと思いました。
- ・ 家族の世話などをしている子供がいたら近くの人やその学校の先生に手伝ってもらうこと。
- ・ 必要だと思うのは、その子が大変などと感じた時、周りに進んでお手伝いをしてくれる大人  
(近所など)があればいいのではないかと思います。
- ・ まわりの人がつつだってあげる。
- ・ ヤングケアラーになっている人の手伝いをしてほしい。
- ・ みんなが協力すればいいと思いました。
- ・ ヤングケアラーの人を見たら手伝える。
- ・ みまわりがひつようだと思います。
- ・ 子どもがやるんじゃなくて大人がもっと子どもをサポートした方がいいとおもう。
- ・ 家族の世話をしているヤングケアラーの人のために、周りの大人が話を聞いてあげることや  
ヤングケアラーの人がしていることを周りの大人がしてあげることが必要だと思う。
- ・ 色々な人がサポートする。
- ・ ヤングケアラーの人達に必要なと思うことは、大人の人達に少しだけでも手伝ったりしても  
らって助けてあげたりしたいと思いました。
- ・ サポートしてくれる人場所があるといい。
- ・ その子を達助けてあげる。

- ・ 視覚障害の人は、前が見えなくて子供だけだと学校に行く時間あるので、一人だと、前が見えないから、大人が必要だと思う。
- ・ 気づいたりしたら助けてあげてほしい。
- ・ 子供の自由のためにも、家族を支える人が必要だと思う。
- ・ 大人は子供に頼るんじゃなくて周りの大人に頼ってもらったほうがいいと思う。
- ・ 周りの人の支えが必要だと思う。
- ・ 私が、ヤングケアラーのために必要だと思うのは、ヤングケアラーを知っている人を増やして、子供がお世話をするのではなく、大人の方達が協力ってしあうことだとうことだと思いません。
- ・ なるべく子供が自由に過ごせるように、身の周りの人も協力出来たら良いと思います。
- ・ ヤングケアラーの子たちのために、休みや暇なときに、手伝ってあげる。
- ・ 困っている子がいたら、市や区の人が手伝ってほしいと思います。
- ・ お手伝いしてほしい。
- ・ 手伝う。
- ・ お助けの大人が必要だと思う。
- ・ 手伝ったり教えてあげることがひつよう。
- ・ 何か手伝ってくれる大人がいるとヤングケアラーの人も嬉しいし自分の時間が作れると思う。
- ・ 家族と助け合う。
- ・ 手伝うこと。
- ・ 他の大人たちが手伝いをする。
- ・ 子供の他に家族の世話をしてくれる大人。
- ・ 僕も家族が病気などになってしまったらたすけたい。
- ・ こまっている人がいたらあらためてたすけてあげたいと思いました。
- ・ 手助けをしてあげたい。
- ・ 子供どうしてもたすけあっていく。
- ・ ヤングケアラーのことを知った時、遊びたいのに、遊べないのが可哀想だと思いました。私は、保育園の時、福祉施設に行って、おばあちゃんの世話をした時また世話をしたいな！とずっと思っていたので、手伝いたいな！と思いました。
- ・ その家族の親戚などに任せる。
- ・ 誰かが手伝いをしないといけない。
- ・ 家族だから1人でやるんじゃなくてみんなが協力してやったほうがいいと思います。
- ・ ヤングケアラーのために大人の助けが必要だと思う。
- ・ ヤングケアラーのために大人の手助けが必要だと思う。
- ・ ヘルプさんに頼む。
- ・ 他の大人や知り合いなどの支えが必要だと思う。
- ・ 周りの大人がちゃんとヤングケアラーの人に寄り添うことが大事だと思う。
- ・ みんなの協力！
- ・ 周りの人も一緒になって助けてあげることが必要だとおもう。
- ・ 養護の方に頼む。
- ・ ヤングケアラーをサポートしたり助けることができる人がいれるようにしたいと思った。

- ・ ヤングケアラーの、お助けする人が必要だと思う。相談窓口が子供にも分かりやすくしてほしい。
- ・ 障害や病気の人のごとも助けてあげてほしい。また、その子供も助けてあげてほしい。
- ・ 子供がやっていることを大人たちが手伝ってほしい。
- ・ 誰か手伝ってくれる大人がいるといいんじゃないかと思います。
- ・ 子供がやっていることを大人たちが手伝ってほしい。
- ・ そういうお友達がいたら力になりたい。
- ・ 私は、悩み・ヤングケアラーなどはないので、その人達のため私に出来ることがあれば協力・助けになることをしたいです。
- ・ 地域のサポートがもっとあるといいと思います。
- ・ このアンケートを答えて、これからはもっと家族のお世話をしようと思いました。
- ・ このアンケートを通して、ヤングケアラーの人を見つけてあげてサポートしてあげたりしたら、いいと思う。
- ・ お手伝いをする。
- ・ このアンケートをやって、自分の周りにヤングケアラーがいたら、できる限り力になってあげたいと思いました。
- ・ 優しく見守ってあげながら手伝うことなどを聞いてあげる。
- ・ 全面的なサポートをする。
- ・ 街のみんなで助け合う。
- ・ 周りの大人の協力。
- ・ 助ける人が、子供以外にも必要だと思う。
- ・ 一つでも家族のお手伝いが大切だと思った。
- ・ 周りの人の気遣い。
- ・ 事務所の人や係の人が助けてあげる。
- ・ ヤングケアラーのために代わりにお世話をしてあげる人。
- ・ ヤングケアラーをしてる人に手助けしたいです。
- ・ 日本でヤングケアラーの人を、助けたい。
- ・ お母さんなども介護やお世話に参加してほしいです。
- ・ ヤングケアラーの人を助ける制度があったほうがいいと思う。
- ・ ヤングケアラーの子たちの代わりに大人がやる。
- ・ 助け合いをしよう。
- ・ 私の周りにはいないと思うけど、気づいてあげたり、分かってあげれるといいと思いました。助けてあげたいです。
- ・ 疲れすぎずに疲れたら少し休憩してからまたお手伝いやなんやらをする。
- ・ 大人がやるべきことはやったほうがいいと思った。
- ・ ヤングケアラーの人のためにサポートをしたらいいとおもいます。
- ・ もし自分がヤングケアラーだったら頼れる大人がほしいです。
- ・ いいおとなをふやしたい。
- ・ 大人がてつだってあげる。

- ・ ヤングケアラーのように子どもが大人を世話するのはあまり良くないと思います。大人が子どもを世話しながら助人を呼んで手伝ってもらえば良いと思います。子どもが大変な思いをして、学校を休むとなると勉強ができなくなってしまうので社会人になった時も困ってしまいます。
- ・ 困っていたらすぐに声をかける。
- ・ ヤングケアラーは子供がやりたいことができないから、周りの大人に知らせて、手伝ってほしいなと思った。
- ・ なるべく協力する。
- ・ ヤングケアラーの事が知れて協力したいと思った。
- ・ きちんと助けてほしい。
- ・ ヤングケアラーの子を助けてあげたい。
- ・ 家族のお世話をしている子どもにかわって、お世話をしてくれるおとながひつようだと思います。
- ・ ヤングケアラーの人の生活が少しでもよくなるように努力したいと思った。
- ・ 助けてあげたい。
- ・ ヤングケアラーの人を助ける人がいたら安心する。
- ・ 手伝う。
- ・ 手伝い。
- ・ わからないけど、盲導犬とかに任せるしかないと思うけど、自分が大人になったらそういう人を助けたいと思う。
- ・ 周りの人の助け。
- ・ お手伝いさん。

## 2 認知度、理解促進

- ・ ヤングケアラーという人たちのことは初めて知ったけど大変だなと思った。
- ・ 感想 ヤングケアラーのことが少しわかった。
- ・ 自分の意見を、尊重してもらうようにする。
- ・ 初めて、聞いた言葉だけど、良い人だと思った。
- ・ ヤングケアラーと言う言葉を初めて知ってこれから色々な人を助けようと思いました。
- ・ ヤングケアラーについて知ることができたので困っている人がいたら助けたいです。
- ・ ヤングケアラーの立場を理解して接していきたいです。
- ・ 色々な人に、ヤングケアラーという人がいることを知ってもらいたいです。ヤングケアラーの子には、幸せになってもらいたいです。応援しています！ヤングケアラーの代わりに家事をやってくれる職業があったら素敵だな、と感じました。
- ・ ヤングケアラーについてしれてよかった。
- ・ ヤングケアラーってとても大変なんだなと思いました。
- ・ ヤングケアラーの子供達はとても大変だと思ったしそのことについての仕事をやってる人達は頑張ってるなと思った。
- ・ ヤングケアラーはきいたことなかったけど相当大変なんだなっておもいました。
- ・ 18歳未満の子供が他の人のお世話をしている子供がいることがわかりました。
- ・ 子供なのに家族の世話をしている人がいると知って驚きました。
- ・ もっとヤングケアラーなどの言葉について学習したい。

- ・ 知ってもらおう。
- ・ ヤングケアラーについて知れた。
- ・ ヤングケアラーを初めて聞きました。
- ・ 家族のお世話をしている人がいて初めて知りました。
- ・ ヤングケアラーという言葉は初めて聞いたので、そんなことをしている人がいるんだなと思った。
- ・ 大人がやるべきことをしている人がいるとはあまり思わなかったの、知れてよかった。
- ・ ヤングケアラーの子たちのためには、一人ひとりの理解も大切だと思います。
- ・ ヤングケアラーということの意味がしれてよかった。
- ・ ヤングケアラーという言葉をしれてよかった。
- ・ このアンケートで、初めてヤングケアラーという言葉を知りました。
- ・ ヤングケアラーのことがよくわかった。
- ・ ヤングケアラーのために、やさしくふれあうことがたいせつだと思いました。
- ・ ヤングケアラーというのは体や足や手とか不自由な人のことを言います。
- ・ ヤングケアラーをよく知らなかったけど小さい子供などが大変という事がわかった。
- ・ ヤングケアラーの事がよくわかりました。そういう事情がある人達を平等に扱うべきだと改めておもいました。ありがとうございました。
- ・ 必要だと思う。ヤングケアラーという言葉は初めて知った。
- ・ ヤングアケラーを初めて知った。
- ・ ヤングケアラーのある人はまだまだいると思うからそういうことを色んな人に理解を持って支援をして欲しい。
- ・ こうゆうことをしている人もいるということが分かった。
- ・ ヤングケアラーの人にもっと寄り添えるようになるといいですね。
- ・ ヤングケアラーという言葉をしれてよかったです！
- ・ ヤングケアラーの人達のことが知れて良かった。
- ・ ヤングケラーの意味がよくわかった。
- ・ 感想・ヤングケアラーと立ち向かう子供がいることがわかりました。
- ・ ヤングケアラーのことを知った。
- ・ 私は、ヤングケアラーのために、ヤングケアラー向けの支援をしていくべきだと思います。また、学校や周りの大人たちはヤングケアラーについて私はヤングケアラーではありませんが、ヤングケアラーの人のために、更に理解を深めてほしいと思います。
- ・ ヤングケアラーのことがよくわかった。
- ・ ヤングケアラーの意味を初めて知ることができた。
- ・ ヤングケアラーは大変だということがわかった。
- ・ ヤングケアラーをしている人をすごいな~と思いました。
- ・ 子供がお世話しているなんてすごいと思った。
- ・ ヤングケアラーのことをもっと色んな人に知ってもらいたいと思いました。
- ・ ヤングケアラーをいろんな人に知ってほしい。
- ・ ヤングケアラーの意味を知っておきたい。
- ・ ヤングケアラーは良いことだと思います。
- ・ 子供でも仕事をしたり、介護をしたりしている人がいるんだなあ、と思いました。
- ・ そうゆう人がいると初めて知った。かわいそうだと思った。

- ・ 感想 ヤングケアラーの人はどういう人か、知らなかったから、どういう人か、知れて良かったです。
- ・ ヤングケアラーの子たちは大変そうだなと思いました。
- ・ 感想無理をしない。
- ・ ヤングケアラーという言葉とその意味を知った。
- ・ ヤングケアラーについてなんとなく分かった。
- ・ ヤングケアラーという言葉の意味を理解することができた。
- ・ ヤングケアラーについてよく分かるようになった。
- ・ ヤングケアラーへの関心を高めること。
- ・ ヤングケアラーのことをみんなに 知って、分かち合ってもらいたい。
- ・ ヤングケアラーについてよく分かりました。
- ・ このアンケートでヤングケアラーについて知った。
- ・ 周りの人でヤングケアラー、家族のお世話などを行っている人がいると改めて知りました。
- ・ この取り組みについて、知ってもらおう。このように、学校でアンケートを取る。
- ・ ヤングケアラーがよくわからないです。
- ・ ヤングケアラーはひつような物だと思った。
- ・ 初めて知ってヤングケアラーは、大変なことがわかりました。
- ・ ヤングケアラーはこういう人たちなんだと初めて知りました。
- ・ ヤングケアラーをはじめてしりました。ヤングケアラーをやっている人は、たいへんだなと思いました。
- ・ ヤングケアラーという言葉始めて知りました。
- ・ ヤングケアラーのことがよく知れました。
- ・ 初めてヤングケアラーという言葉を知りました。
- ・ ヤングケアラーの事を色々な人にしてもらいたい大変な事を知って欲しい。
- ・ ヤングケアラーの人はたいへんだなと思いました。
- ・ 必要だと思うこと—このようなアンケートを取ったりして、困っていたり悩んでいる 18 歳未満の人たちの考えを尊重しながら寄り添って解決していくべきだと思う。学校やその他の公共施設で、相談窓口や講演会などを開けばその人の気持ちも少し楽になるだろうし、知らない人にも知ってもらいきっかけになると思う。実際にこのような自体が起きているのは大変残念だと思うし、きちんと解決をするべきだと思った。ヤングケアラー協会らが、イベントなどを開いて「身近な人にもヤングケアラーはいませんか」などと声掛けをして広めていったり、街の掲示板に張り出させていたり、実際に学校でイベントを開くのはいいと思う。ヤングケアラーの皆様—あなた方は本当に悲歌慷慨しているでしょうし、実際憲法でも自由権や幸福追求権がある中幸せになれないのは残念だと思います。このような因果を悔やむのではなく、こんな私が言うのもですが…楽しく生きてほしいなと思います。あなた方の幸せを祈ります。誰でもいいです、相談をしてみてください。心を軽くして生きてください。あなた方の幸福をいつまでも信じています。この声が届きますように。
- ・ ヤングケアラーの意味をもっと知らないのだめだなと思った。
- ・ ヤングケアラーのことがよく知れました。
- ・ 世界には、ヤングケアラーで困っている人がいることを知っておくことが必要だと思う。
- ・ ヤングケアラーが大変でかわいそうなことということがからためてわかった。
- ・ 周りの大人にこういう子がいるんだって伝えてあげる。
- ・ 感想 ヤングケアラーは、大変なことがよくわかりました。
- ・ ヤングケアラーの人が可愛そうと思った。

- ・ そんな子がいるんだと思った。
- ・ ヤングケアラーは、聞いたことがあったけどすごく苦勞してるんだなとわかりました。
- ・ この世の中にそんな子供がいるのがしらなかった。
- ・ ヤングケアラーは本当に大変だと思います。助けてあげてください。
- ・ ヤングケアラーがわかった。
- ・ その家族への給付金や福祉サービスなどがあることを世の中にもっと広く知って貰う必要がある。
- ・ ヤングケアラーという言葉を知らなかったけど、知れることができました。
- ・ ヤングケアラーをもっと知りたい。
- ・ そうだんにのって、しっかり理解して欲しいです。そして、努力をしてほしい
- ・ ヤングケアラーがたくさんいると知って「なんで子供が手伝いをしなければならない家庭が多いのだろう」と思いました。
- ・ ヤングケアラーという言葉を知りました。
- ・ ヤングケアラーという言葉は聞いた事がなかったのでこのような事があてはまるのか、知りました。
- ・ ヤングケアラーというのがあることをしれて良かった。
- ・ ヤングケアラーを初めて知った。
- ・ ヤングケアラーの子たちは、大変だと思いました。
- ・ ヤングケアラーがあまりよく分からないから、なんとも言えないところがあった。
- ・ ヤングケアラー、というのがあることを周りの人に知ってほしい。
- ・ ヤングケアラーについてよく知ることができた。
- ・ ヤングケアラーという言葉を知って意味もわかってびっくりした。
- ・ 「ヤングケアラー」のことがしれた。
- ・ 感想・ヤングケアラーの内容を初めて知れました。
- ・ はじめて知った。
- ・ ヤングケアラーがどれだけ頑張っているかを知ってほしい。
- ・ ヤングケアラーというものはじめてきいてたいへんだなおもった。
- ・ ヤングケアラーというのを初めて聞きました(´・ω・`)
- ・ 感想 ヤングケアラーのことがよく知れました。
- ・ ヤングケラーのことを初めて知りました！1歳の弟と遊んだりしたりするお世話的なものはやったことがあるけどあまり他人のことをお世話したことが先生に言われて1年生にお世話したことぐらいしかありません！！

### 3 相談しやすい環境づくり

- ・ 悩みで、もっとお母さんお父さんが家にいてほしいから、仕事スルジカンをみじかく。
- ・ 相談したいことなどは特にありません。
- ・ 本人の意思を聞けば少しは減るとおもいます。
- ・ 本人の意思などを聞けば少しは減るとおもいます。
- ・ 悩み事は一人で解決しようとしなくて無理やもう嫌だってときは誰かに相談をする事が必要だと思います。
- ・ 支援、いつでもどんなことでも気軽に相談できる環境。

- ・ ヤングケアラーは一人で悩み困っていることが多い。だから、ヤングケアラーをサポートするわけなのだが、ヤングケアラーは1人で悩んでいる人が多いのでまずは知ること。心を開けるようにしてほしいと思った。
- ・ その子に頼らずに悩みを聞いてあげたりしたほうがいいのかなと思いました。
- ・ [ヤングケアラー]という子たちがいるのは知っていたけれど「ヤングケアラー」という言葉を初めて知りました。必要だと思うことは小学生などが電話で相談できるやつをしたら良いと思いました。理由は「ヤングケアラー」の子たちの心が少しでも楽に慣れれば良いなと思ったし、自分の悩みを聞いてくれるので心がスッキリすると思ったからです。
- ・ 周りにヤングケアラーの人がいたら、その人の相談に乗ってあげたいと思います。
- ・ 児童相談所へ相談をする。
- ・ ヤングケアラーの人がいたら、声などをかけたり、悩みなどを聞いてあげてほしい。
- ・ スクールカウンセラーに相談したいか迷っています。スクールカウンセラーの話をあまり聞かないので、怖いです。スクールカウンセラーの価値が低いのではないのでしょうか。
- ・ 周りの大人の方は、家族のお世話をしている子供の相談に乗ったりしたほうがいいと思います。
- ・ 必要だと思うことヤングケアラーの人たちがなやみを相談して、それを解決できる場所が必要だと思います。
- ・ 家族のお世話をしている子供やヤングケアラーの人のために手伝ってくれたり、お世話をしている子やヤングケアラーの人の相談にのってくれる人いると良いと思いました。ヤングケアラーの人を応援してくれたり、大事にしてくれると良いと思いました。
- ・ ヤングケアラーは自分のために使える時間が少ないから、学校の先生などに相談して見るといいと思う。
- ・ ヤングケアラーはたくさんいるから相談できる場所とかを作ればいいと思う。
- ・ 人のお世話をするという事は簡単なことじゃないから、悩みを溜め込まないように相談しやすいような環境をつくってあげてください。
- ・ 安心して相談できる場所があったほうがいいと思う。
- ・ ヤングケアラーの子が周りに相談できる環境を整える事が大事。
- ・ ヤングケアラーの子が悩んでいることが相談できるようなところが必要だと思います。
- ・ 私は友達にヤングケアラーはいないと思うのでよくわかりませんが誰かに相談する機会が多いほうがヤングケアラーの人も少し楽になると思います。
- ・ 積極的に話しかけて（ヤングケアラーなど、）大人の人に相談し協力してもらおう。
- ・ 定期的にカウンセラーの人と話したほうがいいと思う。
- ・ ひとりではがまんせず、大人に相談したほうがいいと思います。
- ・ 悩みを聞くこと。
- ・ 悩んでいる人を親切にしたいと思います。
- ・ 気軽に相談できる場所が必要だと思います。特に電話とか直接会話するのではなくインターネットとか手紙で相談できるのならもっと気軽にできると思った。
- ・ ヤングケアラーの人たちは、一度家族から離れ、自分がどういう環境下に置かれていたのかを教え、その上でその子がどうしたいかを聞き、その子の自主性を尊重する。と言うのがいいと思います。
- ・ そうだんする人がひつようだと思います。
- ・ 友達とかにヤングケアラーのことを話せるようなきっかけが必要だと思う。
- ・ 介護の事の相談に乗る。

- ・ ヤングケアラーの子のために先生が話を聞いてあげてほしい。
- ・ 人に相談する。
- ・ ヤングケアラーのために相談できる施設や支援する施設を作ったほうが良いと思います。
- ・ ヤングケアラーの子たちにはしっかり自分の意志や考えを誰かに伝えることや、相談することが大事だなと感じました。自分の権利というのを改めて考えました。
- ・ ヤングケアラーの子の周りにいる友達や大人が相談に乗ってあげたり、困っていることの手伝いなどをすること。
- ・ 感想は悩んでいるけれど相談できない人が相談できるから、いいと思います。
- ・ ヤングケアラーの子たちなどに、そうだんにのってほしい。
- ・ 自分が世話をしているということを誰かに相談する。
- ・ 話を聞いてあげる。
- ・ ヤングケアラーの人は近くの人などに相談したり 近所の人など親しみやすい人と相談することで悩みが解消され他の人たちも手伝ってくれると思います。
- ・ 抱え込まないでください。誰かに相談してほしいです。
- ・ 周りの人に相談する。
- ・ 悩みがあったら担任の先生とかに相談する。
- ・ 私は家族のお世話などもしていないけれど、親や兄弟、家族のお世話をして、自分のやりたいことができない人は、心の底ではとても苦しんでいるかもしれないから、相談所や、支援してくれるところが増えたら、そんな子たちも少しは楽になるんじゃないかな、と思った。
- ・ 学校にヤングケアラーの相談窓口を作ったほうが良いと思う。
- ・ 困っている人がいたらすぐに相談に乗ってもらうことがひるようであります。
- ・ ヤングケアラーのためにも相談できる人や、相談窓口が必要だと思う。周りの人のサポートも必要だと思った。
- ・ 家族のお世話をしている子供のためには、話せる相手を作る。相談できる場所を作ること。
- ・ 気軽に相談できる場所を作り問題を解決するために相談を聞く人が解決しに行けば良い。
- ・ 相談をする人。
- ・ 友達にヤングケアラーの子がいると気付いたらこっそり学校の先生に相談する。
- ・ ヤングケアラーということは、家族にも頼れずに、一人で抱え込んでいるということだと思うので、相談できる友達や場所が必要だと思います。周りの大人は、そのひとが相談しやすいように、様々な工夫が必要だと思います。
- ・ 大人に相談する。
- ・ その人がそれでいいならそのまま良いと思うけど、なにか不満があったらそれをまわりの人に相談したら良いと思う。
- ・ 相談に乗ったり、おかねをすこしわけたりすること。
- ・ もっともっと色々な悩みを抱えている人々を支えてあげてほしいと思った。
- ・ 子供は他にやることがあるから他の人に頼めばいいと思う。もし他の人がいないのなら誰かに相談すればいいと思う。
- ・ 相談する。
- ・ 相談する。
- ・ 友人の話を進んで聞いてあげることが必要だと思う。
- ・ 身の回りにもしもヤングケアラーの可能性のある子どもがいたらまずは話を聞くことが大切だと思う。
- ・ ヤングケアラーは毎日が楽しいのかな？と思った。相談に乗ってあげる。

- ・ お世話をしている子どもたちのために相談をしてほしい、人に頼って欲しい。と思った。
- ・ 今なやんでいることが、相談をすることがあまりないけれど、本当に悩んだとき、相談することができるのいいな、と思いました。
- ・ 一人で悩まない事が大事。
- ・ できることだけ手伝ったり悩みを聞いたり話したりして多くの人の悩みを解決してほしい。
- ・ ヤングケアラーの方の悩みを話したりできる環境作りが必要だと思います。そう簡単にはできないことかもしれないけど、少しずつそういう環境を作れるようにみんなで協力したいです。
- ・ ヤングケアラーの人たちには「信頼できる相談相手」が必要だと思う。
- ・ ヤングケアラーの子が悩み事があったら、それに気づいて、対応することが必要だと思う。
- ・ その子の保護者の話をよく聞いて必要な助けを届けてあげる。
- ・ ヤングケアラーに気づいて話を聞くことが大事だと思う。

## 4 支援・補助について

- ・ 補助金・大人の人の介護。
- ・ 支援。
- ・ 家族のお世話をしている子供たちに必要なお金をあげる。
- ・ 優しくしてあげる。
- ・ ヤングケアラーに支援をすることが必要だと思う。
- ・ がんばってできることだけいろいろ手伝える。
- ・ できないと思うけど、お手伝いさんを雇う。
- ・ ヤングケアラーへの支援などが必要ななと思いました。
- ・ 支援物や支援金。
- ・ 援助やお金の寄付など。
- ・ 意外と気にならないことだけどとても大変なことだしヤングケアラーの人が近くにいたらたすけたい。
- ・ ヤングケアラーは手助けが必要だと思う。
- ・ ヤングケアラーについてよく知らなかったので、もしこの中に当てはまる家族などが出たら手伝ったりしたいです。
- ・ ヤングケアラーに補助金。
- ・ 募金が、家族のお世話をしている子供や、ヤングケアラーのために必要だと私は思います。
- ・ 周りが支援する。
- ・ ヤングケアラーの子どもたちを手伝える。
- ・ 子供達が楽にさせてあげたい。
- ・ もしお家にヤングケアラーの人がいたら嫌がらずにお世話をする。
- ・ 家族のお世話をしている子がいたら、まだ子供で大変そうだから、障害のあるおとなのためにせわをする仕事があったら、世話をしている子がやらないといけないこと（学校の宿題など）をできていいと思います。
- ・ 困っているとき、お手伝い。
- ・ 働いている子どもたちのために募金活動をおこなうことが必要だと思います。
- ・ お金にこまってる人にお金をあげる。

- ・ 無料でお手伝いさんなどに手伝ってもらえるようにすると思う。
- ・ 家族のお世話をしている子のために、お世話をお手伝いしてあげることが必要だと思う。
- ・ ヤングケアラーの子たちに食べ物などを支援したほうがいいと思います。
- ・ 介護の人を国がお金をしはらってやとってその子どもの家について子どもがやっていること（上の絵のこと）をやってあげるといいと思います。
- ・ 近所にそのような人がいたら手伝ってあげる。
- ・ そういう子がいたら助けてあげる。
- ・ ヤングケアラーはすごく大変だと思うし、ヤングケアラーや家族のお世話をしている子どもは、自分のために時間を使えてないと思うから、そういう子どもが少なくなると思う。ヤングケアラーや家族のお世話をしている子どもがいたら、周りの人が、気付いて、話を聞いてあげたり、手伝ってあげたり、なにかやってあげられたらいいなと思った。
- ・ お世話をしている子供たちにお金をあげたり、誰かがたすけてあげてほしい。
- ・ 助け合い。
- ・ 団体に保護してもらおう。
- ・ 寄付金など。
- ・ ヤングケアラーの人を助ける人がいたら、ヤングケアラーの人がもっと楽になると思う。
- ・ 困っている人を優しく声をかけて手伝うこと。
- ・ ヤングケアラーにおかねをきふする。
- ・ ヤングケアラーの子たちは可哀想。お金をあげたい。
- ・ お金。
- ・ 手伝う。
- ・ もっとヤングケアラーを支援する団体と国との繋がりを強化していけばいいんじゃないかなと思います。
- ・ みんなにヤングケアラーの手助けをしてもらいたい。
- ・ ヤングケアラーの子どもたちに給付金を出してほしい。
- ・ お金や介護をしてくれたりする支援が必要だと思います。それを国が法律とかで作ったら、家族のお世話をしている子供やヤングケアラーの人たちにも便利で住みやすい環境になると私は思います！（子供も前より楽しめる♪(´▽｀)
- ・ その人のために私達ができることはしたいと思った。
- ・ 介護をするための人をやとってお金を募金する。
- ・ 困っている人がいたらその人のことを助けてあまり嫌がらないでほしい。
- ・ 他の人も手伝ってあげてほしい。
- ・ 意外と手伝ってなかった。
- ・ この人達のためにも、できることはしてあげたいです。
- ・ もし、家族のお世話をしている子供やヤングケアラーのために、自分たちでできることがあったら、何かしてあげたい。（家族の誰かがもし病気でホームセンターに行くお金がなかったら、募金とか。）
- ・ 補助金を渡す。
- ・ 給付金をしてあげたいなと思いました。
- ・ 補助金を出してあげてください。
- ・ ヤングケアラーの人を支援する活動をする。
- ・ そういうことをしていて大変だと思うからなにかためになりたい。
- ・ 執事。

- ・ お金を給付すること。
- ・ 寄付金が必要。
- ・ 支援。
- ・ 助け合い。
- ・ 自由とお金が必要だと思います。ユニセフ募金みたいにヤングケアラーの子たちにも募金をしてあげたらいいと思います。
- ・ ヤングケアラーのために、支援のような物や、ヘルパーさんなどがいたほうがいいと思います。
- ・ ヤングケアラーの子たちをもっと手伝ってあげてほしいです。
- ・ ヤングケアラーの子たちのために周りの人たちが手伝ってあげられるといいと思った。
- ・ 困っている子いたら、手伝ったり、助けることが大切。
- ・ 充実した教育を受けられていない人の援助。
- ・ 障害がある家族の世話などで自分に使える時間が少なくなっていると思うので、世話の手伝いを行う団体を作ればいいと思う。
- ・ 勉強や世話の手伝いをする。
- ・ お金を寄付すること。
- ・ 介護施設に行くお金の募金。
- ・ お金。
- ・ ユニセフみたいに、募金活動をすればいいと思います。
- ・ 募金活動を少しでもする。
- ・ 助けてあげる。
- ・ 兄弟のお兄ちゃんとしてお世話がすごく大変だからお世話をする人がもっとほしいと思いました。
- ・ その生活がいやな子は支援（話したり）する。
- ・ ヤングケアラーが教育を受けられるように、家族のお世話を代わりにしてくれる人がいるといいと思います。または、周りの大人が代わりにお世話をするボランティアを行う。
- ・ ヤングケアラーの子たちは大変だと分ったので募金のときがあれば募金したいです。
- ・ ヤングケアラーにほけん金。
- ・ お金。
- ・ ヤングケアラーの人にお金や、食べ物などをあげたい。
- ・ 救ってあげてください。
- ・ 家計を支えるために働く人に支援金をだすこと。
- ・ ヤングケアラーの人を助けたい。
- ・ お金などを寄付する。
- ・ ヤングケアラーの人を支援する。
- ・ 周りの支援。
- ・ 家族のお世話をしている子供に困っていることを聞いて、できることがあったら手伝ってあげる。
- ・ お金。
- ・ お金をあげる。
- ・ ボランティアが必要だと思います。
- ・ 支援。

- ・ ヤングケアラーに、募金をする。
- ・ 自治体などが支援をすればいいと思う。
- ・ 支援が必要だと思う。
- ・ どんな障害の人でもできることはあると思うからできることはしたい。
- ・ 支援をした方がいいと思う。
- ・ 周りの大人に、ボランティアのような活動をしてもらいたいです。たくさん困っている人がいるので、かわいそうだなと思いました。でも、それでも頑張っている人たちは、すごいなと思いました。兄弟の世話などをしながら学校などに行っている人は本当にすごいなと思ったし、偉いなと思いました。
- ・ 募金活動。
- ・ 支援や世話をする。
- ・ 板橋区のお金でヤングセラーの人を救った方がいいと思う。
- ・ お金などの支援。
- ・ 税金を使って支援してあげること。
- ・ お金を送ったり相手が嫌でなければ保護したりして支援する。
- ・ 子供への支援。
- ・ ヤングケアラーの人には支援の人が必要だと思う。
- ・ 生活必需品やお金の支援。
- ・ 支援する。
- ・ 相談をしたくてもできない人はいっぱいいると思います。そういう人は勇気を出して助けを求めたり、手伝ってもらうことがいいと思います。辛いときは助けてもらうことが大切です。
- ・ 大人の代わりにバイトをしている子達にお金をあげたほうがいいと思います。
- ・ その子供の代わりに家族を世話してくれる人が区や国の資金で必要。
- ・ 必要だと思うことは、お金のきふ、手伝いなどをしたほうがいいなと思いました。
- ・ ヤングケアラーの子に、十分な睡眠や生活をしてもらうためのヤングケアラーの子への援助。
- ・ 支援金を出してあげて欲しい。
- ・ 補助、支援。
- ・ 補助金を出して、ヘルパーさんなどに自分がいつもやっていた仕事を任せて、子供が本来受けなければならない教育を受けられるようにしてもらいたい。
- ・ ヤングケアラーがあっても、他の大人や友達ができる限り助けたり募金をしてお金に困らないようにしたり努力して、できる限りみんなでがんばって行きたいと思いました。
- ・ 家族の世話をしている子どもたちの支援。
- ・ 募金がヤングケアラーのために必要だと思う。
- ・ お年寄りや病気を患っている人などに席を譲ったり手伝えることを聞いてそれを実行する事をやってほしい。
- ・ お金と助けてくれる人。
- ・ 募金をしてあげることが大切だと思いました。
- ・ お金を寄付するべきだと思った（ヤングケアラーために）
- ・ 大変な子たちがいるということを知って、周りに困っている子がいたら、手伝って、少しでも楽にしてあげたいと思いました！
- ・ お金を寄付してほしい。

- ・ 区の支援。
- ・ お世話をするヤングケアラーの子たちへの支援制度などを導入するべきだと思う。
- ・ ヤングケアラーなどを支えられる取り組み。

## 5 施設・環境整備の充実

- ・ ヤングケアラーの人が、気軽に相談できる環境を作ることが大切だと思う。
- ・ お世話がしやすいような設備が必要だと思う。
- ・ 補助できる施設を作る。
- ・ 家事代行サービス。
- ・ 無料で介護の人がお世話する制度を作って欲しい。
- ・ ヤングケアラーさんにはヤングケアラーさんを介護？手伝う人がいたらいいと思いました。ありがとうございました。
- ・ ボランティアとして活動したいです。
- ・ どんな子でも自由に学校に行けるように大人に保護してあげられる仕事をする人を多くするために工夫してほしい。時間を決めていける学校などをたくさん作って欲しい。
- ・ ヤングケアラーの子が気軽に相談できる施設などがあるといいと思います。
- ・ 家族のお世話をして生活リズムが乱れてしまうとだめだからお年寄りや体が不自由な人は介護センターに入るといいとおもいます。
- ・ 障害の人などの世話をする人を雇うこと。
- ・ 障害の人の世話をする人を雇うこと。
- ・ ヤングケアラーの人たちが通えるような学校。
- ・ 家族のお世話をしている子供やヤングケアラーのために、必要だと思うこと介護してくれる人を雇うための費用。
- ・ 設備を充実させる。
- ・ ヤングケアラーの人が、安心して生活できるような場所を作ってくれるようお願いする
- ・ 困っている人達を助ける職業を作ったらいいと思う。
- ・ 私とヤングケアラーの子とは不公平だと思うので介護みたいなそういうセンターを作ってもいいと思った。
- ・ ヤングケアラーの子が正直に友達に相談できるようにみんなと同じように暮らせる施設を作ったほうがいいと思う。
- ・ ヤングケアラーの子たちが集まる会など、ヤングケアラーの子だけで交流できる場所や時間の用意。
- ・ 無償で家族の人の介護をして、子供が学校に行けるような環境づくり。
- ・ ヤングケアラーをしている子どもの支援をしたり、老人ホームをすすめたりしたらいいと思う。介護保険などをすすめる。
- ・ 家族の世話をしている子供のために、施設みたいな物があればいいと思う。
- ・ しょうがないけど施設に入れたほうがいいと思う。
- ・ ただで手伝いさん来てくれる様にする。
- ・ ヤングケアラーで苦しんでいる小学生がいるのであれば、病気や障がいを持つ人を介護する施設を少しでも増やせばいいと思います。
- ・ 保険金介護施設（特別な方だけが無料の）
- ・ 家族のお世話をしている人が通えるような施設や学校を作るのがいいと思う。

- ・ 介護施設の費用を安くする。
- ・ 学校に通えていないヤングケアラーがちゃんと学校に通えるようにすること。
- ・ ヤングケアラーに介護してもらっている人は、介護施設に入る料金を無償化する。ということが必要だと思う。
- ・ 設備を用意する。
- ・ 子供がやらなくていいように老人ホームの整備をもっとする。
- ・ 介護をする人が必要だと思う。
- ・ 介護をする人が必要だと思う。
- ・ ヤングケアラーの人のための公共施設が必要だと思う。
- ・ ヤングケアラーの人がゆとりのある暮らしができるように公共施設を、作って欲しいです。
- ・ 家族の世話をしている18歳未満のなやみやわからないことを聞く施設（行けたら世話をしてもらっている人も）
- ・ 国がお金を出して施設で面倒見てもらえばいい。
- ・ 家族の世話をしている子供には学校に行ってほしいと思った。
- ・ 子供にはもう少し休んでほしいし、そのために、親には他の誰か（介護士）にお世話してもらった方がよい。
- ・ 介護は子供がするべきではないから介護する大人を増やす。
- ・ 家に障害のある家族がいたらその専門の人を呼ぶまたは作る。
- ・ 介護の施設。
- ・ 公園を大きく作って欲しい。
- ・ ヤングケアラーのために、ボランティアを作る。
- ・ 家族で支え合うことが家族のお世話をしている子どもやヤングセラーの子達にとって大切なことだと思います。最近、いろいろななやみを持つ小学生が増えてきている気がします。これ以上、なやみをかかえさせないようにその子ども達がリラックスできる休み場が必要だと思います。近年では、なやみをかかえすぎて命を絶つ子も少なくはありません。少しでもなやみをかかえないように明るい未来のために様々な取り組みを行なってほしいです。わたしの母と父は仲があまり良くありません。父は母に言葉の暴力を、ふるいます。私はその光景を見ただけで心が痛くなります。4人姉妹の面倒を見ることこそが大変な母に父は気楽そうです。少しでも家の雰囲気良くなるように祈ります。
- ・ ホームヘルパーなどを自由に呼べるようにしたい。
- ・ 国自体がヤングケアラーに関することについて会議をしてどのような対策をすればいいかを議論をしてヤングケアラーの人についての社会保険を作ればいいと思う。
- ・ 学校などで、気軽に相談できるような場所や時間を設ける。
- ・ ボランティアみたいな感じでお金を払わずに介護や施設、病院に入れられる的なことが必要だと思う。
- ・ やりたくてやってるわけじゃないと思うからそういう人のためのしせつが必要だと思います。
- ・ 無料で代わりに世話を上げてあげる。
- ・ 介護施設。
- ・ 無料で休める公共の場みたいなものが必要だと思う。
- ・ 介護に必要なお金をもっと減らしたほうがいいと思います。
- ・ かよってる保育園や老人ホームを近くに建てる。
- ・ しせつに電話したら施設の人が家に行って連れて行ってあげる。
- ・ お手伝いをしてあげる施設を作る。

- ・ ヤングケアラーの人たちのために、老人ホームのお値段を安くしてあげたい。
- ・ その、お世話をしている子に楽をさせてあげられるように、ケアをされている人の施設を作る。
- ・ しょうがいしゃに対応できる病院やしせつをふやす、しょうがいしゃ手当金等をもっと多くする。
- ・ 給食代を安くしてほしい。
- ・ ヤングケアラーに寄り添う教育方針を作って欲しい。
- ・ 施設などをもっと作った方が良いと思います。チラシだけではなく、たくさんの人が見るものに、ヤングケアラーのことを載せたら良いんじゃないかと思います。私たち子供にもできることがあるならば、教えてほしいです。ぜひ協力したいと思っています。私の感想ですが、私はこのようなアンケートに答えることが好きなのでアンケートに答えられて良かったです。また、このような機会をお待ちしています。
- ・ 子供のためにヤングケアラーの人の施設などがあればいいなと思った。
- ・ その人に合う施設や病院などに行き、お世話する必要がないようにする。
- ・ 施設にあずける。
- ・ ヤングケアラーの子がいる家に、ヘルパーさんをつける。
- ・ ヤングケアラーは大変だから施設を作ればいいと思う。
- ・ 無料の介護サービスや、育児サービスがあるといいと思う。

## 6 悩みごと、意見

- ・ 妹を守ってるだけだし、普段ママがいる。
- ・ 勉強が難しくなってきた、今までより授業のときの問題を考えるとときや、宿題に時間がかかるようになってしまい、これからもっと難しくなっていくのが今から不安です。
- ・ 勉強が前より難しくなってきたいて授業の考えるときや、宿題を終わらせるのが夜遅くになってしまっています。これから難しくなっていくので不安です。
- ・ 自分の心配がなくなった。
- ・ 勉強をもっと教えてもらいたい。
- ・ 父がすぐにおこってほぼ毎日、口を利かない。
- ・ 家族の為に手伝う事は大切だけど家族の事だけじゃなくて自分の事も考えないと大変だとわかった。
- ・ じぶんのことがちゃんと話せた。
- ・ みんなで楽しくしたいです。
- ・ 大人のことは大人がやる。
- ・ 子供は自分に専念する。
- ・ 負担を減らす。
- ・ 管理をする。
- ・ 面倒くさいと思わないで、頑張ること。
- ・ タブレットをもっていかれる。
- ・ ヤングケアラーのために友だちと遊べるような機会を作ることが大事だと思った。
- ・ サッカーの事。
- ・ できるだけ自分でできる家の仕事などを、てっいてきに、やっていこうと思います！
- ・ 大人がやることを昔からやっていて、好きな事ができないには可哀想と思った。

- ・ 大人にそういうことをやらせる。
- ・ 子供の話を聞くこと。
- ・ お世話をしている人に優しく接する。
- ・ 子供は、優しい子供だとおもう。
- ・ 病気じゃないのに子供に任せる大人はだめだと思う。
- ・ 精神が止んでるなら精神科医にいけばいいのになんで子供が世話をしなくてはいけないのだろう。
- ・ 子供でなく大人を世話することでしっかり見守っていいと思います。
- ・ ヤングケアラーのためにずっと保管できる食べ物が必要だと思います。
- ・ 家族のお世話をする人（大人）が必要だと思う。
- ・ 疲れを取ることに。
- ・ 未成年の子供がそのような大変なことをしているということを知ったので、このように幸せで勉強をさせてもらえてるということを常に感謝しつつ、過ごしたいと思います。
- ・ してない。
- ・ もっと友達と触れ合う。
- ・ 自分のことをよく考えて、したので自分のことを前よりよくしました。
- ・ じゅぎょうのしゅうちゅうをするためどうしたらしゅうちゅうできますか。
- ・ 学校は6年しかいられないから、1番は毎日楽しく過ごす。
- ・ ちゃんと、世話などをして欲しいと思いました。
- ・ ストレスを溜めない。
- ・ 弟の暴力を止めたい。
- ・ 学校の宿題をなくしてほしい。
- ・ どの家族も平等に暮らすことが大切だと思う。
- ・ ペットも家族の一員だと思います!!
- ・ それ以前にすぐ見つけられないと勉強する機会を取り戻すことができないと思います。これからも頑張ってください。
- ・ ヤングケアラーまでとは言わないけど自分のことは自分でやりたいです。
- ・ 悩みはあるけど、答えたくない。
- ・ 正直、今まで疲れました。仕方ないから学校にいつているが、本当は行きたくないです。
- ・ もうちょっと宿題を減らしてほしい。
- ・ 悩み、家族の関係を直したい。
- ・ 大人がやったほうが良いと思う。
- ・ 優しい声をかけてあげれば良いと思う。
- ・ 子どもを生んだにはせきになんもってお世話をしてほしい。
- ・ (なやみ) 喧嘩をなくして、人の名前を変えたりしない志村第一小学校にしたい。
- ・ しょうがいがあるひとでもあんぜんにできる。
- ・ 保健室に元気なのに遊びにくる人を無くしてほしい。
- ・ 学校での、生活。放課後での、生活。など、規則正しい生活で今後もすごせたらいいです。

- ・ なやみ無視イジメ手首をひねる自分には友達と言える人がいないからね。いじめられて、笑われるやつだからね。わたしは何もできないやつだし。いじめられていることは誰にも言えないし。そっとしておいてくれないかな。けどこの話だけはホントなので。ウソだと思わないでくださいね。
- ・ 学校のもいけない子どもたちが、いないような楽しい生活をしたいです。
- ・ そういう子にちゃんと、対応してあげる。
- ・ みんなが気持ちよく生活できるようにしなきゃいけないと思って、ヤングケアラーという言葉をも大切にしたいと思いました！！
- ・ 友達に避けられる。やめてと言いたいけど友達が傷つきそうで言えないことがなやみ。
- ・ 全部ままだ、やっている。
- ・ 学校の成績や家族、友達など体のこと。
- ・ 大人が子どものせわなどをできていないかていがあるのがかわいそう。
- ・ 周りの思いやり。
- ・ そんなことをする、やさしい人がいるわたしもいやがらず妹（6さい）わたし（9さい）妹のせわをしたいと思います。
- ・ 絶対に付き添う。
- ・ 老人に介護をする人がいるようにヤングケアラーの人にも介護（？）する人が必要だと思う
- ・ 私は、よくヤングケアラーのことを知らなかったのも、もし身近にそういう人がいたら、先生などに報告しようと思いました。
- ・ 自分と関係の悪い人がいる。
- ・ がんばってほしい。
- ・ 目に見えていないだけで家族の世話などをしている人がいることが分かりました。
- ・ 友達と遊んだほうがいい。
- ・ ヤングケアラーは小学生の何人ほどがそうなのか知りたいです。
- ・ 友達にいやなことをいわれる。
- ・ 大人が、しないといけないことを子供がするのは、あまり良くないと思う。
- ・ 家族のお世話をしてる子は学校に行けるのか、行けてないのか。
- ・ 日本でもこんなことがあると思うと怖くなってきました。
- ・ いくら自分がいやでも、面倒くさがらずにやってほしい。
- ・ ギャンブルはお金をなくすゲームだから子供がいる親はあまりしてほしくはない。
- ・ いじめを無くして欲しい。

- ・ 私には弟が2人います。1人目は小2で学校で嫌なことがあったら、すぐに泣いていて面倒くさかったりします。2人目は3歳なのでみんなに可愛がられてますでも3歳なので、目が離せません。可愛いから許すけど…こんな感じです。家族みんな仲が良いけど、私は友達と家族に対する対応の仕方は違うので、たまに家族に対する対応の仕方が分からなくなったりします。どっちにも素の自分を見せたことはありません。小2の弟が家にすぐに帰って来るので、一人の時間が少ないです。なので、夢にしている声優に近づくための発声練習ができません。自分の好きなように歌うことができません。恥ずかしいのもあるし、うるさいって言われたりするからです。人に相談するほど深刻ではないし、ヤングケアラーの子たちに比べれば全然平気なので、相談したことはないです。基本我慢です!だから、愚痴とか不満とかは言えません…姉だから我慢しろと言われるんですけど、姉だって結構辛いんですよ。私の気持ちなんてお前に分かるわけねえだろ!!って心のなかで叫んでます。自分の部屋はあるけど、家族が出入りするのほとんど意味はないです。まだ、プライベート空間がないです。まあ、贅沢を言っている自覚はありますが。全く関係ないけどお小遣い少ないです。世の子どもたちズルすぎませんか?私なんて、毎月600円ですよ!この金額でどうやって好きな小説を買っていいんだ。私が好きな小説は基本800円を超えますよ!二ヶ月待たなきゃいけないんです。他にも欲しいものがあるのに…私のお小遣い事情は学年×100円っていう感じです。中学生になったら学年×1000円になって欲しいです。贅沢言っでごめんなさい。私はこれにて失礼します。”
- ・ 言うことを聞いてほしい。
- ・ ママの買い物についていくこと。
- ・ 家族も大事だけど、自分も大事にしてほしい!
- ・ 習い事がうまく行かない。
- ・ その人の気持ちをよく聞いてあげること休みなども作ってあげることその人の気持ちを考えること束縛しないこと。
- ・ 勉強を教えてほしい。
- ・ 恋の悩み。
- ・ いじめ名前いじり暴力。
- ・ なやみごといとこにヤングケアラーがいるから自分になにかできるかなやんでいる(いとこに対しての不安)。
- ・ よく友達と喧嘩をする。
- ・ さとうさんがいろんなものでたたいてくるしわかる口をいってくる。
- ・ ありがとうございます。
- ・ 宿題を一緒にやってほしい。
- ・ しりません。
- ・ 一時期お母さんがにゅういんをし、治療をしていた時がありました。もうその病気はなおったけれどもまだふだんの生活のようにできていません。なので、私はお母さんのサポートをできる限りしたいです。けどまだ何もできていないまま甘えてばかりなのでどうすればいいのか迷っています。
- ・ 自由、優しさ。＜感想＞普段の自分の考えを振り返れて面白かった。
- ・ わかんない。
- ・ わからない。
- ・ 自分は簡単なことでしにっって思ってしまうのを、直したい。
- ・ しらない。
- ・ わからない。
- ・ わかりません。

- ・ 勉強の時に私は間違えてしまったときにすぐ泣いてしまうので泣かないようにしようとしてもどうしたらいいかわからないのでどうしたらいいですか？
- ・ 友達がかってなあだ名をつけられる。
- ・ わからない。
- ・ 男の子の友だちが、意地悪なことなどをしてるのが困っています。
- ・ 皆に嫌われているのか好かれていないのかが悩みです。

## 7 要望

- ・ そういう人たちを保護する活動。
- ・ 安全守り。
- ・ 共感してくれる人がいるといい。
- ・ 障害者などに優しく接すること。
- ・ もう少しヤングケアラーのお世話する人を増やした方がいいと思う。
- ・ ヤングケアラーを少なくするためには子供たちの代わりになる人をボランティアで募集したりその家族の人に手紙を出して協力してもらうなど工夫する。
- ・ お手伝いにもしてほしい。
- ・ 学校が終わったら、一緒におうちのお買い物などに行って、お話とかをして気分転換できたらいいと思う。
- ・ 世の中に出て困らないようにする努力。
- ・ 地域担当の人やボランティアの人達とかに時々訪問して貰ったり、困った事はないかお話を聞いてあげたり、同じ状況や生活をしている人達の集いを開いて励まし合ったり、良いアイデアを作って家族をお世話している人もお世話されている人も誰も悲しまない世界になって欲しいです。
- ・ ヤングケアラーの人のために周りの大人が気づいてあげることが必要だと思います。
- ・ 学校ではいられる、楽しめる、癒やされる環境を作ってあげること、家庭の環境を仲間のようサポートをしてあげられる人がいてほしい。
- ・ 中台サッカークラブの人数を増やしてほしい。
- ・ 生活保護の対象にしてほしい。
- ・ 子供の気持ちを考えること。
- ・ 家族全体が健康であることが必要だと思った。
- ・ 負担を軽減させること。
- ・ 頑張る。
- ・ よく周りを見ること。
- ・ 子供たちじゃない大人のボランティアの人が必要だと思う。
- ・ スクールカウンセリングの人にもっと学校に来てくれる回数を増やしてほしいです。
- ・ 大人の人達は、ヤングケアラーの子どもたちをちゃんと支える活動をしてほしい。例えば・・・助けが必要な家族のために、その家族と付き合いがある人が訪問看護や、家政婦さんと呼ばばいいと思う。
- ・ ヤングケアラーがいるということはそういう人への対応が追いついていない面があるということなのでこの事実にも向き合ってほしい。
- ・ 休息をしてほしい。周りの人も見て見ぬ振りをしているのなら助けてあげてほしい。
- ・ 世話をしている子供達に休憩をあげて欲しい。

- ・ いち早くヤングケアラーの人を見つけてその人がちゃんと子供が受ける義務がちゃんと受けられたらと思います。
- ・ そう言う雑用的なことは大人がやる。
- ・ 国がどうにかしろ。
- ・ 子供が楽しいと思っていない限り子供にヤングケアラーをやらせないことは現代日本社会に必要不可欠だとも思います。なので、ヤングケアラーに変わる大人がいてもらいたいです。
- ・ 近くで寄り添ってほしいです。
- ・ 一人で抱え込ませないでできるだけ子供の様子などでヤングケアラーなどという人を助けてほしいと思いました。
- ・ ヤングケアラーの子でも進路や自分の将来に迷いや不安を感じることをないように周りの大人は接するべきだと思う。
- ・ こくせきさべつおしないでほしいあとこれは警察へはつうほうしないでほしい
- ・ 大人は子育てを頑張ったほうがいい。子供は大人の頑張りをむだにしないようにする。
- ・ 子供も簡単に入れる保険のようなものを作ったほうがいいと思う。
- ・ 教育が必要だと思いました。
- ・ 国や区市町村が対策をすること。国会で、そういったことについての法律を作る。国が動かなければ、各自治体で対応する。とにかく早くすること。上記のことが大切だと思う。
- ・ ギャングならぬほしい。
- ・ 大人の人が凄い。
- ・ ヤングケアラーをしている人たちに色々な権利をあげたいと思いました。
- ・ 家族のお世話をしているのはとてもすごい事だと思います。でも、そのせいで大変な思いをしている人もいると思うのでそんな人を大切にしたいなと思います。そのために周りの人々も協力して、みんなが差別をしないような世界になってほしいです。あと、ヤングケアラーを手伝ってあげるようなことがみんなができたらいいなと考えました。
- ・ 世話をしている人たちが集まって交流する。
- ・ 大人ができることはあまり 子供にやらせないようにする。
- ・ お年寄りの人たちの介護などは国や都道府県などができないのかそういう保険の制度は整っているのかせめて影響を受けるのは子供ではないほうがいいと思う。
- ・ 弟の世話をしてほしい。
- ・ ヤングケアラーの人もそのことを忘れられるような楽しい日を送って欲しい。学校にちゃんと通えるようになってほしい。
- ・ 家の事情で学校に行けないのは可哀想と思い、私にはできませんが家の人の介護をしながら学校で勉強していることを勉強してほしいと思いました。
- ・ 子供がやりたいことを尊重すること。
- ・ 自分で抱えていた悩みをすこしでも減らすために自ら立ち上がりたかったです！
- ・ その人のために何ができるのか考え行動する。
- ・ 前にドラマでお母さんが半分体が使えない病気にかかっているその子供が家事をほとんどやっていてその子供が学校などに行っているあいだお手伝いさんがきて洗濯物などをやるのですが洗濯物もお皿洗いもお母さんのものだけをやって子供のぶんはやらないで仕事が終わるといったものだったので不自由な人のものだけでなくその子供のものもやってあげるようにしたらいいと思います。
- ・ フードロスがなくす。
- ・ 少しでも負担を減らすための取り組みを調べてみたい。
- ・ 自分のやりたい事を出来ないのは、辛いと思いました。

- ・ ほごしゃの責任を強くしたほうがいい。
- ・ 家庭訪問。
- ・ 6年生に朝挨拶を任せないで1~5年も挨拶をやった方が良くと思います。
- ・ 違う学校でもやってほしい。
- ・ お手伝いはするから、子供の未来は守ってあげてほしい。
- ・ 区町村がヤングケアラーの家庭のことを把握して、きちんと対応策を考えることが大切だと思う。
- ・ いたわってあげたい。
- ・ 言いにくいと思うからヤングケアラーのための何かを作っておくのがいいと思います。
- ・ 私は本人（ヤングケアラー）はポスターや広告に書いてあるように気軽に相談できないと思う。私が心配なことは本人が好きでやっているのに強制的にやめさせられることがないのかということです。
- ・ 周りの大人がヤングケアラーの子の様子を気にして過ごしてほしい。
- ・ ヤングケアラーの子に優しく接してほしい。
- ・ 困っている人を助けることはとても大事だと思いました。同じ地球に住む仲間なので、共に協力して生きていくことが大切だとも思います。つまり、「共生」だと感じました。
- ・ ベビーシッターみたいに困っている家の手伝う仕事があったらいいなと思った。
- ・ ヤングケアラーの子どもたちに代わって専門の人が障害者の世話をする。
- ・ 親戚がやる。
- ・ 子供をほめてほしい。頑張っている子供。
- ・ なりたいのはおかしいときめつけずにいろんなことに挑戦してみよう!
- ・ なやんでる子たちにべんりで、いいと思った。
- ・ だいじなことは大人がやることをよくした。
- ・ お世話してくれている。子供、ヤングケアラーに少し休みをあげる。
- ・ だれかを思う気持ち。
- ・ ヤングケアラーの親に注意する。
- ・ 子供の為に事前にご飯を炊いたり料理をつくっておく。
- ・ タヤツ、セツル。
- ・ お手伝いする人がいたらいいと思います。
- ・ しっかりやることを分別する。
- ・ 相手のこともだけど、自分も精神的に危なくなるから休みながらのほうがいい。
- ・ 自分はヤングケアラーではありません。子供が手伝えることは必要だと考えますが、大人のすべきことを子供がする必要はないと考えました。また、他の人の世話をするために自分の時間を潰すことを子供にさせるということは、子ども自身を潰してしまうことだと私は考えました。
- ・ ちゃんと勉強するため、他の大人たちがヤングケアラーの子のために何かすることが必要だと思う。
- ・ 子供がやりたいといったときにやらせてあげればいいと思う。
- ・ 声掛けが必要だと思う。
- ・ 少し宿題を少なくする配慮。
- ・ 十分な生活費用、幸せ、公平、笑顔。
- ・ 健康をかんがえて給食を作ったり工夫したりしてほしい。
- ・ 家の事で辛い人がいたら子供に楽な生活をさせてあげて欲しい。

- ・ 自分の子供 大切にしよう。
- ・ 大切にしよう。
- ・ チラシの配布、掲示。
- ・ 大人が自分でやれば良いと思う。
- ・ ありがとうございます。
- ・ ヤングケアラーのために私達が何か出来ることを増やしたいです。
- ・ わたしもひとの命を助けたいとおもった。
- ・ 周りで積極的にケアする人達が増えれば、楽になると思う。
- ・ 病気の人をなくしてほしい。
- ・ ポイ捨てを、しないでほしい。
- ・ 介護に携わる人を増やし、そして世話をしなければいけない人を、事故などを減らすことで減らす。
- ・ ヤングケアラーをしている子どもを手伝う人を作ってほしい、もっとらくにしてほしい。
- ・ 大変な子供がいることを知った。
- ・ 大丈夫です。
- ・ リハビリ。
- ・ そうゆう子もふつうに暮らせたらいいなって思った。(学校とか遊びとか)
- ・ 生活保護。
- ・ ヤングケアラーが増えないように地域の人達の手伝いが必要だと思いました。
- ・ 自分でやっていいこととわるいことが分かる。
- ・ 親を説得させて幸せな家族になりたい。
- ・ 家事。
- ・ ヤングケアラーの子供を増やさないようにしてほしい。
- ・ ヘルパーさんが無料で来てほしい。
- ・ ヤングケアラーかどうか聞く。

## 8 アンケートについて

- ・ 大変な子供がいるのがこのアンケートでしれてよかったです。
- ・ いろいろな質問があってちょっと難しかったです。
- ・ 少しでも子供の負担を軽減できるようにこのようなアンケートをたまにできたらいいなと思いました。
- ・ 家族のお世話をしている子供やヤングケアラーのためアンケートをしていることが良いと思いました。
- ・ いいアンケートだと思います。
- ・ 任意のアンケートだとやらない子もいると思うので、学校に一斉にやるべきだと思います。
- ・ このアンケートは一人で抱えている人が答えるだけだけど気持ちが楽になると思うのでこのアンケートはいいと思いました。
- ・ 楽しかった。
- ・ このアンケートで少しは悩みを減らせると思うからいいアンケートだと思う。
- ・ このアンケートはとても良かった。
- ・ 他の人とか答えやすいと思いました。

- ・ このアンケートをすることで、板橋区の子どもたちがどう思っているかわかるのでいいと思いました。
- ・ アンケートが大変だった。
- ・ 定期的にこのようなアンケートを実施する。
- ・ このアンケートみんなのためになるならいいと思います。
- ・ ヤングケアラーのためにこのようなアンケートがあるのがいいと思いました。
- ・ このアンケートは、素晴らしいなと、思いました。
- ・ このアンケートは、素晴らしいなと、思いました。
- ・ このアンケートを通してヤングケアラーについて知ることができました。
- ・ このアンケートの感想たのしかった。
- ・ 未来を支えるのは子供なので、このアンケートで少しでも多くの子供が平等に勉強をできれば良いなと思いました。
- ・ このアンケートを実施するとうい事は、悩んでいる子たちに寄り添えているので良いと思いました!!
- ・ このアンケートに答えて、ヤングケアラーをやってみたいなあと思いました。
- ・ ヤングケアラーは意外に多いと聞くので、このアンケートのような活動を積極的に行うなどして、ヤングケアラーへの世間の関心を高めていくのがいいと思います。
- ・ アンケートで僕も親とてつだいたい。
- ・ 子供のためにもアンケートなどで聞くのもいいと思いました。
- ・ こういうアンケートなどはとても良いと思いました。このようなアンケートは沢山したら辛い人が減ると考えました。
- ・ このようなアンケートをすることは、ヤングケアラーのためにも、なにか悩みがある人にとっても、大切なことだと思います。
- ・ いいアンケートでした。
- ・ このアンケートのおかげでヤングケアラーという子達がいることを知ることが出来ました。
- ・ ヤングケアラーを知らない人に伝えるいい機会だと思いました。
- ・ このアンケートを通してヤングケアラーについて初めて知って、大人がすることなのに、子供がしているということに驚きました。
- ・ こまった子が他にもいるかも知れないからアンケートはつづけたほうがいいと思います。
- ・ ヤングケアラーの子たちにきづけるように今回みたいなアンケートをしたり、スクールカウンセラーと話す時間を作ったりするといいんじゃないかと思う。
- ・ 今回みたいなアンケートをしたり、スクールカウンセラーに相談できる時間を作ったりしてもいいと思う。
- ・ このアンケートを通してヤングケアラーのしている事がわかりました。
- ・ ヤングケアラーになっている子供を救うためにこのようなアンケートをすることが大切だと思います。
- ・ ひとりひとり悩みをアンケートに書いてもらう。
- ・ みんなが悩んでいることを分かりやすくアンケートにまとめてくれるのがすごいと思いました。
- ・ この質問いろんな国や県にもしてほしなと、思った。
- ・ こういうアンケートは必要だと思った。
- ・ ヤングケアラーを知ってとてもいいアンケートだなと思いました!

- ・ 私は「ヤングケアラー」という言葉の意味も知らなかったなのでこのアンケートで知ることが出来て良かったです。もし友達にヤングケアラーがいたら「大人の人に相談してみたら？」などどこえをかけたと思います。
- ・ このようなアンケートを増やしていき、困っている子供を助けていきたい。
- ・ このアンケートのおかげで、自分は何をしているのか深く知ることができました。
- ・ このアンケートはヤングケアラーには必要無いと思う。普段の学校生活で分かると思う。
- ・ 僕は、ヤングケアラーでもないし、家族の悩みもないです。僕は、もしヤングケアラーの人のための活動があったら、僕も参加してヤングケアラーで困ってる人の助けになって、ヤングケアラーで、困ってる人を減らす事が出来たらいいと思いました。このアンケートについても、ヤングケアラーで困ってる人がもしこのアンケートに答えていたら、その人のための困っている人の支援があったら、その人も家庭の負担もなくなっていいと思いました。ありがとうございました。
- ・ このアンケートが生徒以外におとなのひとにも届けばいいと思いました。
- ・ ながかった。
- ・ このようなアンケートがあることにより、自分が今どのような状態なのかを知ることができて良いと想います。ありがとうございました。
- ・ このアンケートで悩みがある子の事が助かるといいと思います。
- ・ このアンケートはとても良いアンケートだと思います。子供たちの将来のことを考えてのヤングケアラーのアンケートには自分は賛成したいと思っています。ヤングケアラーという言葉はあまり有名ではありませんが、これからもっと有名になってこのアンケートは皆さんのために役に立つと思っています。家族の世話をしているという人はとても多く、父や母や兄や姉などの人がいると思います。その多い人のためにこのアンケートが役に立てば良いと思います。
- ・ 色々わかったのでありがとうございます。
- ・ 感想悩みがあって、誰にも話せない人にとって、このようなアンケートがあると、安心すると思います。(私は何も悩み事はないです。)
- ・ このアンケートでヤングケアラーという言葉をしれた。
- ・ 自分ではヤングケアラーと思っていないヤングケアラーの子もいると思うので、このようなアンケートをやるのはいいと思います。
- ・ このアンケートはきっとヤングケアラーに悩んでいる子供たちにきっと役だつと思いました。
- ・ 必要だと思うこと・定期的にアンケートをする。
- ・ よいアンケートだと思いました。
- ・ このアンケートは色々な人の悩みがわかっていいと思う。
- ・ デジタルのアンケートだったのですぐ答えやすかったです。
- ・ 私はヤングケアラーではないけれどクラスの中にヤングケアラーがいるのだと考えると、ヤングケアラーについてのアンケートは大切なのもかもしれないと思いました。
- ・ このアンケートはとてもわかりやすいし、勉強になる。
- ・ このアンケートでヤングケアラーが救われると嬉しいです。
- ・ このアンケートは、とても良い。
- ・ 聞かれたことのないしつもんがでてきた。こたえれた。
- ・ とてもいいアンケートだと思った。
- ・ とても丁寧に質問を書いてくださりありがとうございます。

## 9 ヤングケアラーについて思っていること

- ・ ヤングケアラーはとても悪い事。
- ・ よくわからない。
- ・ 自分の事をやる時間がなくて可哀想。
- ・ 僕にはわかりません。
- ・ 家族の世話をしている子供たちはすごいと思いました。
- ・ 自分の時間がない人が、どれだけ頑張っているのかがすごく分かりました。
- ・ 必要だと思うことはヤングケアラーにむきあうこと。
- ・ 家族のためにお世話することは、まだ子供なのにすごいなおもった。
- ・ すごいなと思いました。
- ・ なんで親が子供の世話をしないのかが気になる。
- ・ 兄弟のご飯を食べさせたりお風呂に入らせたり着替えさせたりはしているがたまにだからこれをヤングケアラーというのか教えてほしい。
- ・ ヤングケアラーの子供達は色んなことをして大変ですね。私は言葉だけしか言えないけど、すこしでもなくなって欲しいです。
- ・ かわいそう。
- ・ もし見かけたら話しかけることにします。
- ・ もうすこしヤングケアラーへの支援がないとヤングケアラーの人は大変だと思おうどうゆう支援をしてもらえるとヤングケアラーがうれしいのか・・・ヤングケアラーの支援の優先順位はどのくらいなのかヤングケアラーはどのくらい大変なのかヤングケアラーを支援する団体・グループはどのくらい知ってるのか問18で2に答えた18歳未満はどのくらいいるのかヤングケアラーは世界の何割の人なのかヤングケアラーは日本にどのくらいいるのかヤングケアラーの多い国は逆に少ない国はどこなのかヤングケアラーと貧困にどのような関係があるのかヤングケアラーをしている子はどのような心境なのかヤングケアラーの質の高い勉強を受けれる確率はヤングケアラーの中退・高体の確率はヤングケアラーの親はどうしてそんないになっちゃったのかヤングケアラーの捕まる確率はヤングケアラーの子もヤングケアラーになりループする確率は誰の世話をしているヤングケアラーが多いのか。
- ・ 無理しないで程々にやる。
- ・ 必要だと思うことは人の気持を理解してあげること。
- ・ 子供がお世話をするのはまだ早いのでは？
- ・ 自分が知らないところで困っている人がいると知った。
- ・ そういことがあるんだなと思いました。
- ・ 大変。
- ・ 家族のことを大切にせわをすることがとても偉い。
- ・ 世界には色んな人がいるって思った。
- ・ このアンケートでヤングケラーの子が一人でもいるなら自分だけじゃない自分を追いこんじゃだめだよということを伝えてあげたいです。
- ・ よくしった。
- ・ 可愛そうだと思った。
- ・ しつたらたすけてあげてほしい。
- ・ このように困っていることがある子供がいることを改めて知りました。
- ・ たいへんそう。

- ・ 子供のいじめのことについて考えて良いと思った。
- ・ 大変だなーとおもう。
- ・ 世の中にはこんな生活を送っている子供がいるということを知った。
- ・ ヤングケアラーで悩んである人もいると思うので今の自分の生活に感謝して生活しなければいけない。
- ・ 大変な人達がいるんだなと思った。
- ・ 若い人がたくさん家事をしている人が世の中にはいるのがわかった。
- ・ ヤングケアラーになるために頑張る。
- ・ ヤングケアラーは、毎日頑張っているから少し楽にさせてあげたい。
- ・ お年寄りやこどもが家事をしているかていにすごい・いいとおもいます。
- ・ ヤングケアラーを無くして欲しい。お願いします。
- ・ かわいそう。
- ・ ヤングケアラーは大変なんだなってわかった。
- ・ ヤングケアラーはとってもいい人だと思う。なぜなら、色んな人の悩みをきいてくれるひとだから！
- ・ ぼくもいつかヤングケアラーになりたい。
- ・ このアンケートを答え、このような取り組みが少しでも増え、ヤングケアラーの負担が軽減されればいいなと思いました。まずは、実態に気付くことが大切だと思います。
- ・ ヤングケアラーということばをさせていただじのことばだなと思いました。
- ・ ヤングケアラーは、一度もやったことないですが、やってみたいと思います。
- ・ お世話している子供も学校に行けないのが可愛そう。
- ・ お世話をするときは大変だと思いました。
- ・ やっている人は絶対に嫌がらないでやっているからすごいと思いました。
- ・ ヤングケラーのひとは忙しいのか知らんけど世話をするのは素敵だと思う。
- ・ ヤングケアラーという言葉を知って画像を見てみたのでこんなことをしようと思いました。
- ・ ヤングケアラーの人は大変だと思うので速く見つけて欲しいです。
- ・ お母さんやお父さんは大変なことをやってるんだなーと思いました。
- ・ 大変な人もいるなあと考えた。
- ・ 初めてしりました。
- ・ 感想：日本の子どもたちのために取り組んでいて良かったと思いました。

## 10 自分の自由な時間を増やす

- ・ 世話をしている子の自由な時間。
- ・ そういう子どもたちにも自由がほしいです。
- ・ 家族のお世話せわをしている子こどもやヤングケアラーのために、ひつようだと思おうこと「自由」
- ・ ヤングケアラーの人は、遊ぶ時間が少ないと思うので、休む時間も必要だと思います。
- ・ 周りの人にその人の家族のお世話をしてもらって自分の時間を大切にしてほしいと思いました。自分の時間はどんどん過ぎていくから。
- ・ 遊ぶ時間や、勉強、宿題をしたりできる時間がヤングケアラーに必要だと思いました。
- ・ 自由な時間を作ったほうが良いと思いました。

- ・ ヤングケアラーたちの自分の時間を少しでも長くすること。
- ・ ヤングケアラーは個人的に子供が自由に過ごせず自分の時間が過ごせずにいることなのでその子供にもうちょっと休憩時間や自分の時間を取ってほしい。
- ・ ヤングケアラーにもっと自由がある状態が必要。
- ・ ヤングケアラーの自分の時間をつくってあげたい。
- ・ 子どもたちの自由。
- ・ 家族のお世話をしている子どもやヤングケアラーは自分の自由時間がなかなかなく、色々なことに振り回されて、大変だから、お世話をしてもらっている人が施設に入って施設で世話をしてもらおうと、自分の時間が少しでももらえたいと思います。
- ・ そういう子供たちに自由をあげてください。
- ・ その子の時間を作ってあげること。
- ・ 自分が自由にできる時間がヤングケアラーには、必要だと思う。
- ・ 地域で支えて、大切な子供の時間が奪われないようになれば良いと思う。
- ・ 一人の時間が欲しい。
- ・ ヤングケアラーの子が楽しく生活できるようにしてあげたい。
- ・ 家族のお世話せわをしている子こどもには休みが必要だと思う。
- ・ ヤングケアラーの子は大変だと言うことを知りました。全ての子が自分の時間を大切にしたいと思いました。
- ・ 本人が心から幸せを感じられる時間。
- ・ 家族のお手伝いも必要だと思うけど、自分の時間も大切にしたいと思います。家族のことをやりすぎてストレスになるかもしれないので。
- ・ しっかり休養を取ることが必要だと思う。
- ・ ヤングケアラーのひとが休める時間を作ってあげることが必要だと思う。やりたいことがやれないと人は疲れちゃうから。
- ・ 子供が学校に行けるようにしたり、好きなことをする時間ができるようになるといいとおもいました。
- ・ ヤングケアラーの子たちにも時間をあたえてあげたい。
- ・ 感想でみんなが自分のために時間を使えるようにできたらいいなと思います。
- ・ ヤングケアラー達も、一息つく時間(自分に使う時間)が必要だと思うから、買い物・料理・掃除・洗濯等の家事や幼い兄弟の世話等、手伝ってくれる人達を集めて、ボランティア活動を始めれば良いと思う。
- ・ 自由な時間が少なすぎるし、学校では、暇な時間が多すぎる。
- ・ 休息。
- ・ 遊ぶ時間だけはあげてほしい。
- ・ 子どもたちにも友達と遊ぶ時間や自分のしたいことなどやらせてあげてほしい。
- ・ ヤングケアラーの人には自分に使える時間が必要だと思う。
- ・ 家族のお世話をしている子供のためにその活動の他に自分の時間が必要だと思う。
- ・ 友達とのあそび時間。
- ・ 子供の時間を増やしたほうが良い。
- ・ お世話は、できることが少ない子供にやらせて、自分の時間をなくしストレスをあたえるのではなく、政府などが子供に家族のための世話をする人をはけんし、子供に学べる時間、楽しむ時間をあたえたほうが良いと思う。
- ・ 休みながらお世話をしてほしいと思いました。

- ・ 子供やヤングケアラーのために休憩を取らせてあげたらいいと思う。
- ・ 自由。
- ・ 親のことをできるだけ気遣いしたり時々休んだりすることが大切だと思う。
- ・ 自分の時間が必要だと思う。
- ・ ヤングケアラーの子に自由を！
- ・ ヤングケアラーの人達が自由にらせるといいなと思った。
- ・ ヤングケアラーをしている人には、もっと自分がしたいことをできる時間をあげたいです。

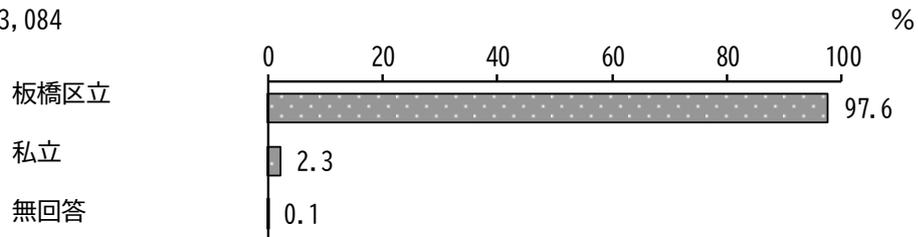
## 2 中学生

### I. 回答者属性

問1 あなたが通っている学校について教えてください。

「板橋区立」の割合が97.6%、「私立」の割合が2.3%となっています。

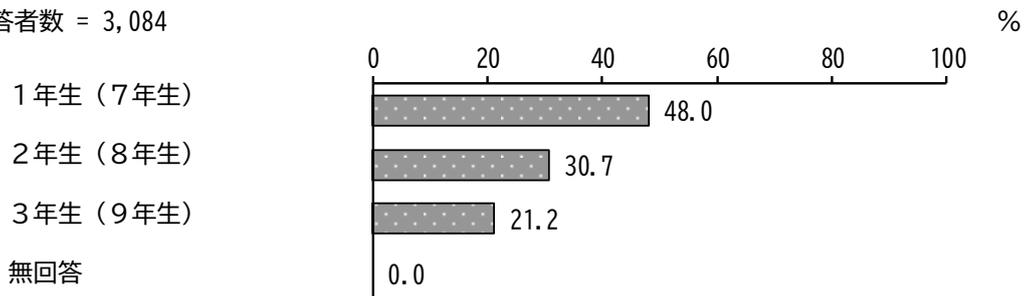
回答者数 = 3,084



問2 あなたの学年を教えてください。(中学生用)

「1年生(7年生)」の割合が48.0%と最も高く、次いで「2年生(8年生)」の割合が30.7%、「3年生(9年生)」の割合が21.2%となっています。

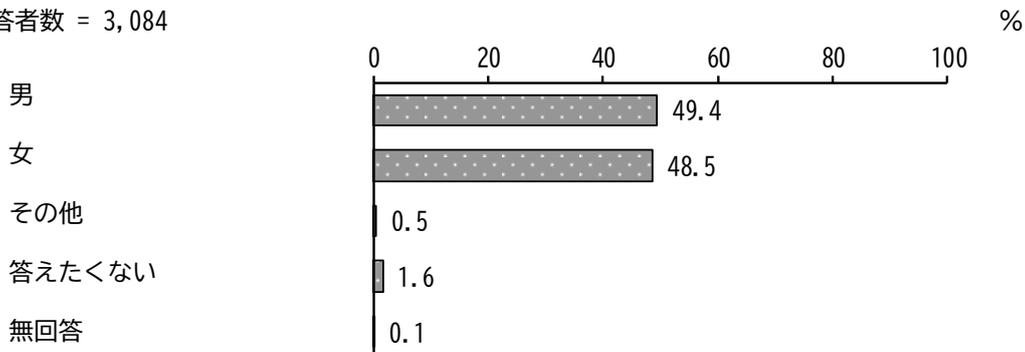
回答者数 = 3,084



問3 あなたのせいべつを教えてください。

「男」の割合が49.4%と最も高く、次いで「女」の割合が48.5%となっています。

回答者数 = 3,084



【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、お父さん、おばあさんで「男」の割合が、きょうだいで「女」の割合が高くなっています。

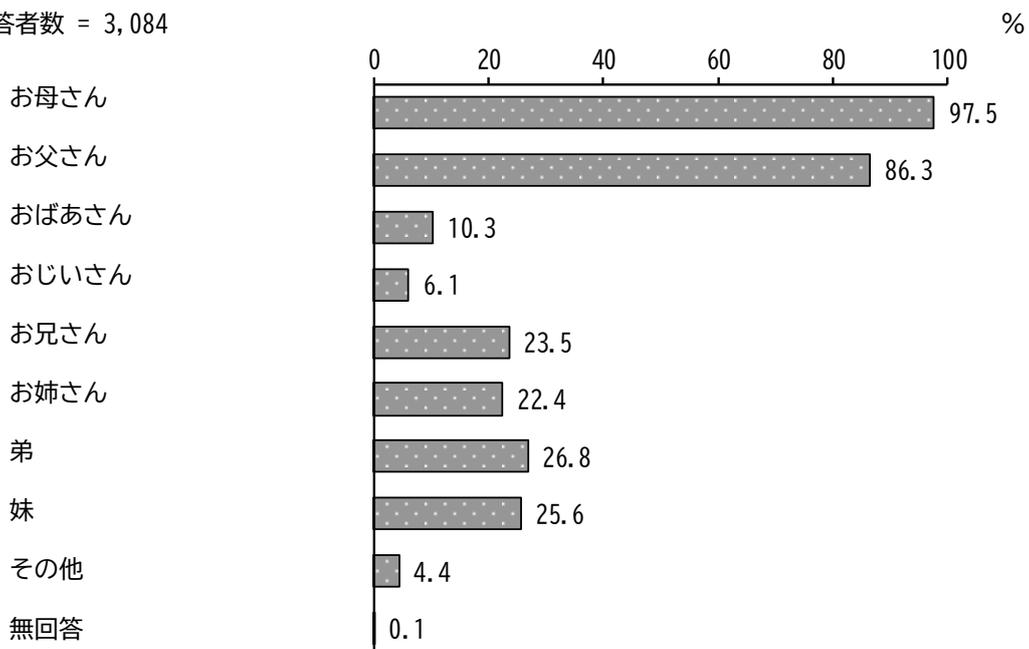
単位：%

区分	回答者数 (件)	男	女	その他	答えたくない	無回答
全 体	173	44.5	49.7	1.7	4.0	—
お母さん	43	48.8	44.2	4.7	2.3	—
お父さん	25	68.0	24.0	4.0	4.0	—
おばあさん	21	52.4	42.9	—	4.8	—
おじいさん	6	100.0	—	—	—	—
きょうだい	105	35.2	59.0	1.0	4.8	—
その他	7	28.6	71.4	—	—	—

問4 あなたが今、いっしょに住んでいるのはだれですか。

「お母さん」の割合が97.5%と最も高く、次いで「お父さん」の割合が86.3%、「弟」の割合が26.8%となっています。

回答者数 = 3,084



### 【世話の有無別】

世話の有無別にみると、いるで「妹」「弟」「おばあさん」の割合が高くなっています。

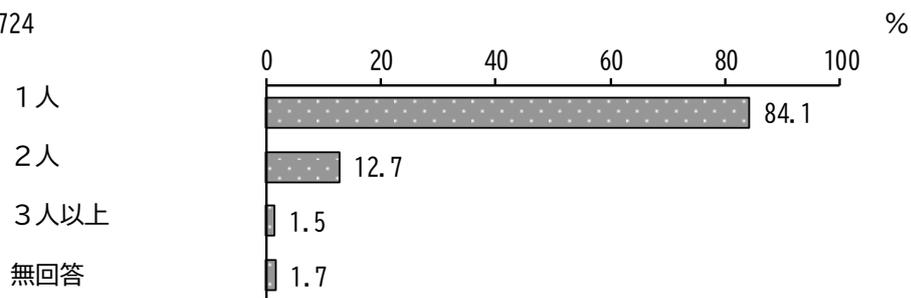
単位：％

区分	回答者数 (件)	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	お兄さん	お姉さん	弟	妹	その他	無回答
全 体	3084	97.5	86.3	10.3	6.1	23.5	22.4	26.8	25.6	4.4	0.1
いる	173	96.0	83.8	19.1	6.9	20.2	18.5	44.5	46.2	8.1	—
いない	2877	97.5	86.4	9.8	6.2	23.7	22.7	25.7	24.3	4.3	0.1

### お兄さん 人数

「1人」の割合が84.1%と最も高く、次いで「2人」の割合が12.7%となっています。

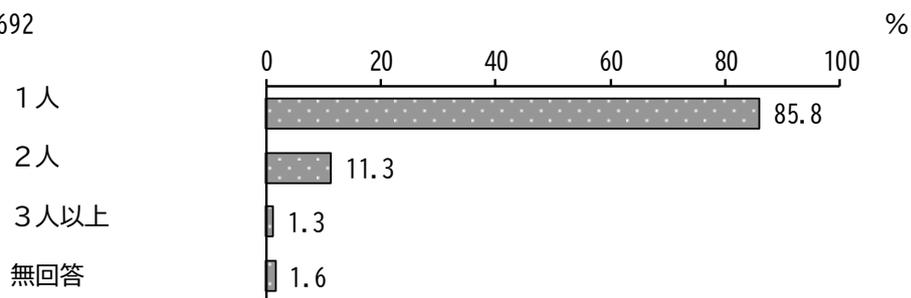
回答者数 = 724



### お姉さん 人数

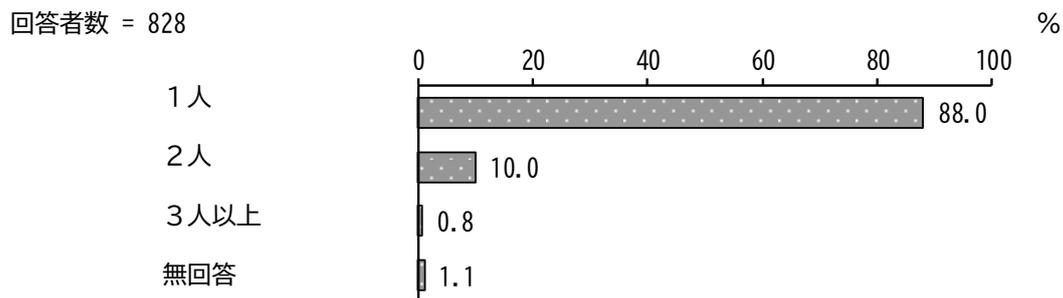
「1人」の割合が85.8%と最も高く、次いで「2人」の割合が11.3%となっています。

回答者数 = 692



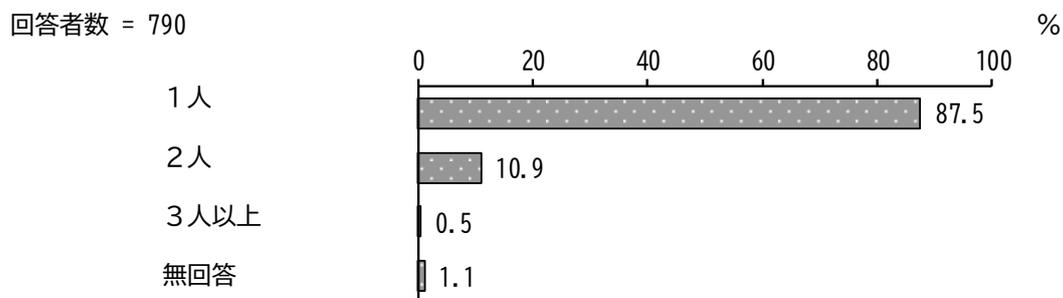
## 弟 人数

「1人」の割合が88.0%と最も高く、次いで「2人」の割合が10.0%となっています。



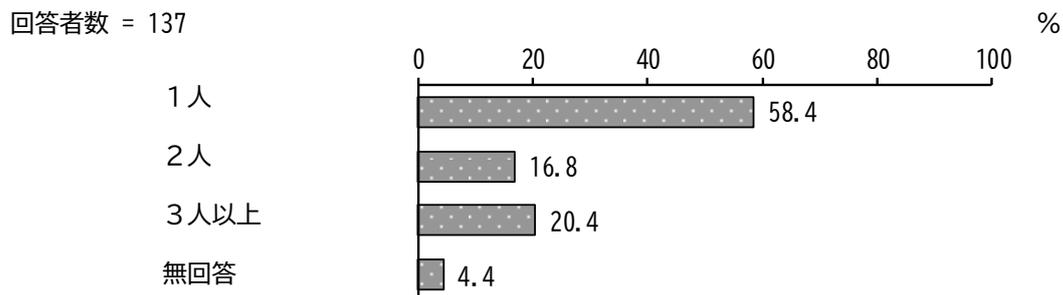
## 妹 人数

「1人」の割合が87.5%と最も高く、次いで「2人」の割合が10.9%となっています。



## その他 人数

「1人」の割合が58.4%と最も高く、次いで「3人以上」の割合が20.4%、「2人」の割合が16.8%となっています。

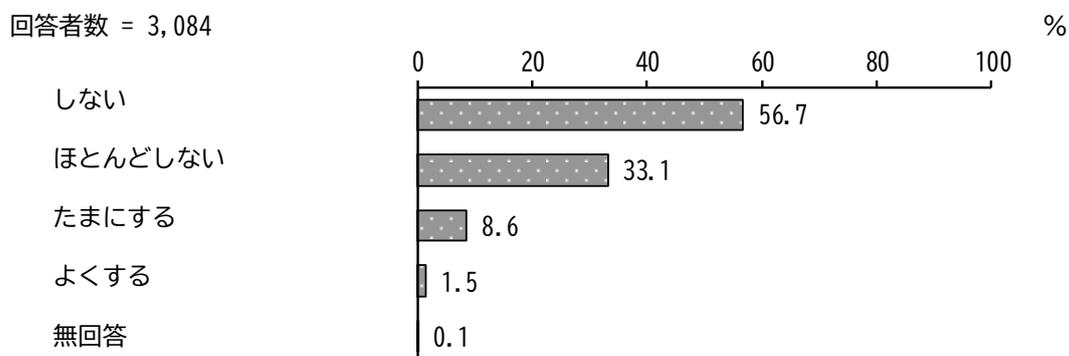


## Ⅱ. あなたのふだんの生活について

### 問5 学校生活について教えてください。

① あなたは学校をけっせきすることができますか。

「しない」の割合が56.7%と最も高く、次いで「ほとんどしない」の割合が33.1%となっています。



#### 【世話の有無別】

世話の有無別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	しない	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答
全 体	3084	56.7	33.1	8.6	1.5	0.1
いる	173	45.7	35.8	16.8	1.7	—
いない	2877	57.4	32.9	8.1	1.5	0.1

【平日の世話の時間別】

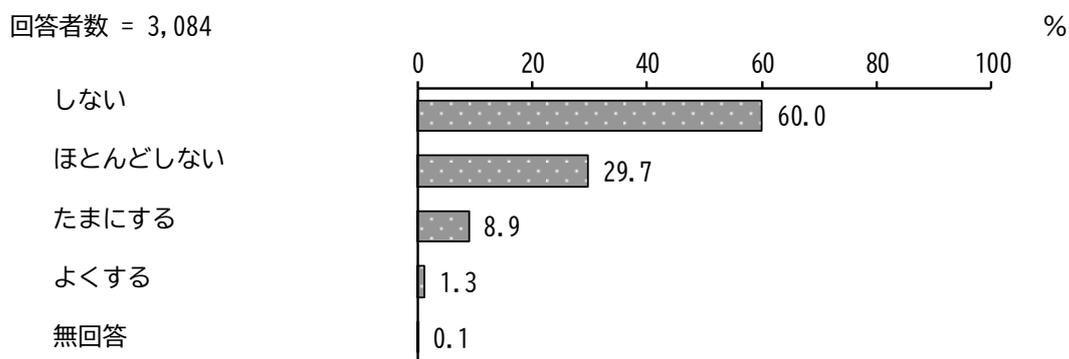
平日の世話の時間別にみると、1時間未満で「ほとんどしない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	しない	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答
全 体	43	41.9	41.9	14.0	2.3	—
1時間未満	16	31.3	56.3	6.3	6.3	—
1時間	7	42.9	42.9	14.3	—	—
2時間	2	100.0	—	—	—	—
3時間	3	33.3	66.7	—	—	—
4時間	1	—	—	100.0	—	—
5時間	—	—	—	—	—	—
6時間	—	—	—	—	—	—
7時間	1	—	100.0	—	—	—
8時間	—	—	—	—	—	—
9時間	1	100.0	—	—	—	—
10時間	1	100.0	—	—	—	—
11時間	—	—	—	—	—	—
12時間	—	—	—	—	—	—
13時間	—	—	—	—	—	—
14時間	—	—	—	—	—	—
15時間	—	—	—	—	—	—
16時間	—	—	—	—	—	—
17時間	—	—	—	—	—	—
18時間	—	—	—	—	—	—
19時間	—	—	—	—	—	—
20時間	—	—	—	—	—	—
21時間	—	—	—	—	—	—
22時間	—	—	—	—	—	—
23時間	—	—	—	—	—	—
24時間	1	100.0	—	—	—	—

② あなたは学校をちこく・そうたいすることがありますか。

「しない」の割合が60.0%と最も高く、次いで「ほとんどしない」の割合が29.7%となっています。



【世話の有無別】

世話の有無別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	しない	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答
全体	3084	60.0	29.7	8.9	1.3	0.1
いる	173	47.4	32.9	17.9	1.7	—
いない	2877	60.8	29.5	8.4	1.2	0.1

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、大きな差はみられません。

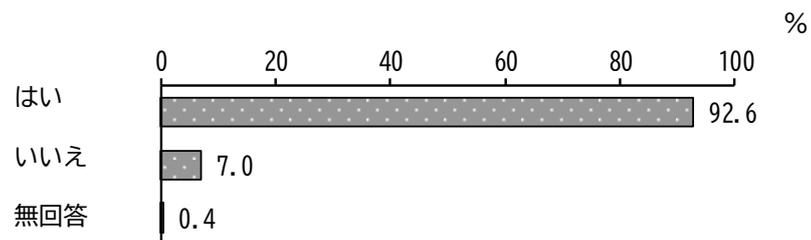
単位：％

区分	回答者数(件)	しない	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答
全 体	43	48.8	37.2	14.0	—	—
1時間未満	16	50.0	37.5	12.5	—	—
1時間	7	71.4	28.6	—	—	—
2時間	2	100.0	—	—	—	—
3時間	3	—	100.0	—	—	—
4時間	1	—	100.0	—	—	—
5時間	—	—	—	—	—	—
6時間	—	—	—	—	—	—
7時間	1	—	—	100.0	—	—
8時間	—	—	—	—	—	—
9時間	1	100.0	—	—	—	—
10時間	1	—	100.0	—	—	—
11時間	—	—	—	—	—	—
12時間	—	—	—	—	—	—
13時間	—	—	—	—	—	—
14時間	—	—	—	—	—	—
15時間	—	—	—	—	—	—
16時間	—	—	—	—	—	—
17時間	—	—	—	—	—	—
18時間	—	—	—	—	—	—
19時間	—	—	—	—	—	—
20時間	—	—	—	—	—	—
21時間	—	—	—	—	—	—
22時間	—	—	—	—	—	—
23時間	—	—	—	—	—	—
24時間	1	100.0	—	—	—	—

③ あなたは放課後やお休みの日に、部活動やじゅく・習いごとをしていますか。

「はい」の割合が92.6%、「いいえ」の割合が7.0%となっています。

回答者数 = 3,084



【世話の有無別】

世話の有無別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	3084	92.6	7.0	0.4
いる	173	87.3	12.7	—
いない	2877	93.0	6.6	0.4

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

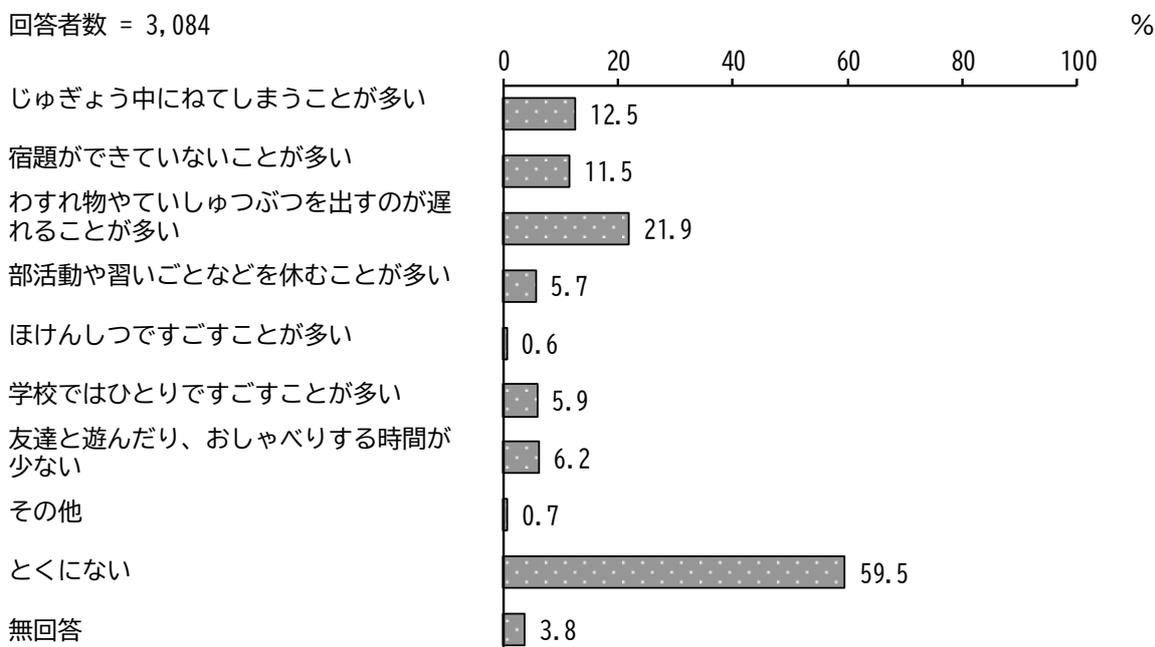
区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	43	76.7	23.3	－
1 時間未満	16	81.3	18.8	－
1 時間	7	71.4	28.6	－
2 時間	2	100.0	－	－
3 時間	3	66.7	33.3	－
4 時間	1	－	100.0	－
5 時間	－	－	－	－
6 時間	－	－	－	－
7 時間	1	100.0	－	－
8 時間	－	－	－	－
9 時間	1	－	100.0	－
10 時間	1	－	100.0	－
11 時間	－	－	－	－
12 時間	－	－	－	－
13 時間	－	－	－	－
14 時間	－	－	－	－
15 時間	－	－	－	－
16 時間	－	－	－	－
17 時間	－	－	－	－
18 時間	－	－	－	－
19 時間	－	－	－	－
20 時間	－	－	－	－
21 時間	－	－	－	－
22 時間	－	－	－	－
23 時間	－	－	－	－
24 時間	1	100.0	－	－

④ あなたのふだんの学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてを選択)

「とくにない」の割合が59.5%と最も高く、次いで「わすれ物やていしゅつぶつを出すのが遅れることが多い」の割合が21.9%、「じゅぎょう中にねてしまうことが多い」の割合が12.5%となっています。

回答者数 = 3,084



【世話の有無別】

世話の有無別にみると、いるで「宿題ができていないことが多い」「じゅぎょう中にねてしまうことが多い」「わすれ物やていしゅつぶつを出すのが遅れることが多い」の割合が高くなっています。

区分	回答者数 (件)	じゅぎょう中にねてしまうことが多い	宿題ができていないことが多い	わすれ物やていしゅつぶつを出すのが遅れることが多い	部活動や習いごとなどを休むことが多い	ほけんしつですごくすことが多い	学校ではひとりですごくすことが多い	友達と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない	その他	とくにない	無回答
全体	3084	12.5	11.5	21.9	5.7	0.6	5.9	6.2	0.7	59.5	3.8
いる	173	20.2	20.8	27.7	9.2	1.7	8.1	10.4	1.2	46.8	1.2
いない	2877	11.9	10.8	21.4	5.4	0.6	5.9	5.9	0.6	60.5	3.9

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、1時間未満で「とくにない」「じゅぎょう中にねてしまうことが多い」の割合が高くなっています。

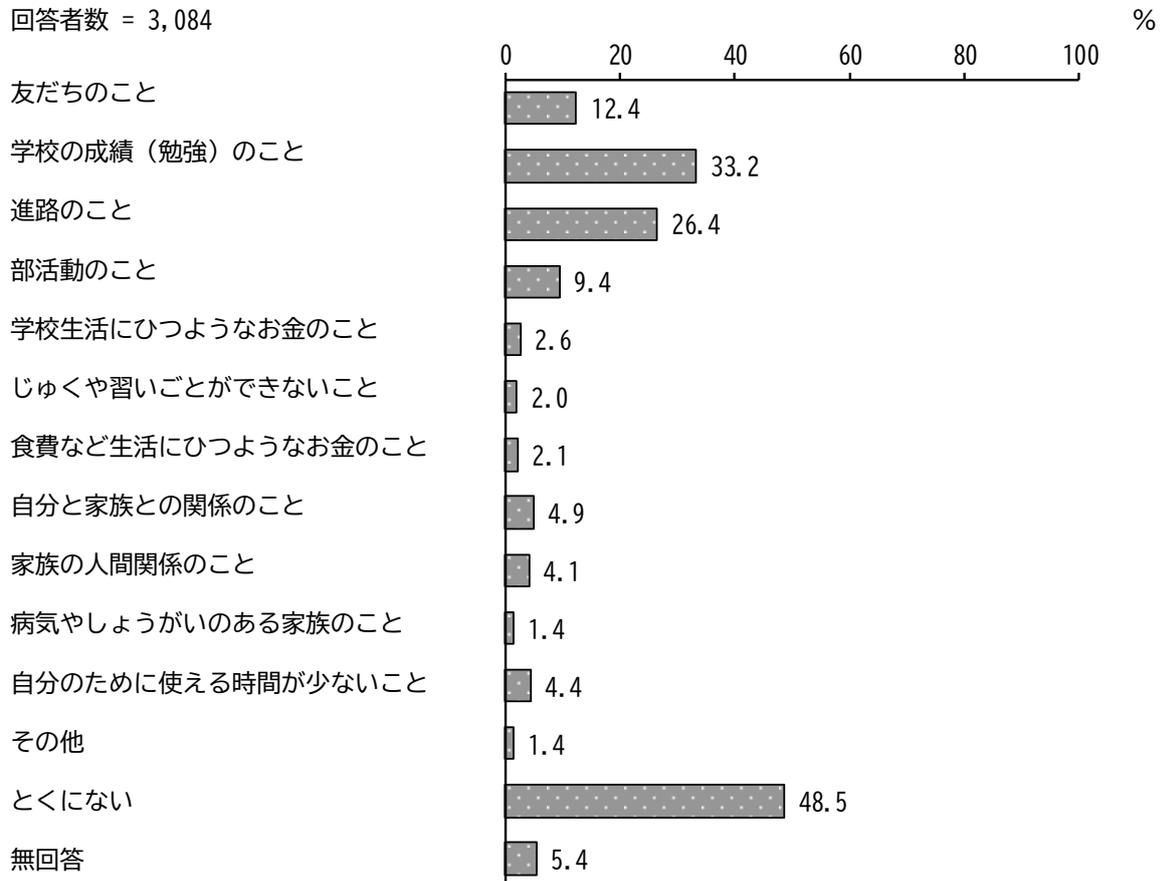
単位：％

区分	回答者数(件)	じゅぎょう中にねてしまうことが多い	宿題ができていないことが多い	わすれ物やていしゆつづつを出すのが遅れることが多い	部活動や習いごとなどを休むことが多い	ほけんしつですごすことが多い	い学校ではひとりですごすことが多い	友達と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない	その他	とくにない	無回答
全体	43	18.6	25.6	30.2	11.6	2.3	11.6	14.0	—	41.9	—
1時間未満	16	25.0	18.8	18.8	12.5	—	—	—	—	56.3	—
1時間	7	28.6	57.1	28.6	14.3	14.3	28.6	28.6	—	28.6	—
2時間	2	—	—	—	—	—	—	50.0	—	50.0	—
3時間	3	—	—	—	—	—	66.7	66.7	—	33.3	—
4時間	1	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
5時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7時間	1	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
8時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9時間	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
10時間	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
11時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24時間	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—

問6 あなたは今、なやんだりこまったりしていることはありますか。  
 (あてはまるものすべてを選択)

「とくにない」の割合が48.5%と最も高く、次いで「学校の成績(勉強)のこと」の割合が33.2%、「進路のこと」の割合が26.4%となっています。

回答者数 = 3,084



【世話の有無別】

世話の有無別にみると、いるで「学校の成績（勉強）のこと」「進路のこと」「友だちのこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	友だちのこと	学校の成績(勉強)のこと	進路のこと	部活動のこと	学校生活にひつようなお金の こと	じゅくや習いごとが できないこと	食費など生活にひつような お金のこと	自分と家族との関係のこと	家族の人間関係のこと	病気やしょうがいのある 家族のこと	自分のために使える時間が 少ないこと	その他	とくにない	無回答
全 体	3084	12.4	33.2	26.4	9.4	2.6	2.0	2.1	4.9	4.1	1.4	4.4	1.4	48.5	5.4
いる	173	20.8	49.1	39.3	13.9	8.1	4.0	6.9	13.9	13.3	5.2	12.7	4.0	25.4	4.6
いない	2877	11.9	32.4	25.9	9.2	2.3	1.8	1.9	4.4	3.6	1.1	4.0	1.3	50.0	5.3

【平日の世話の時間別】

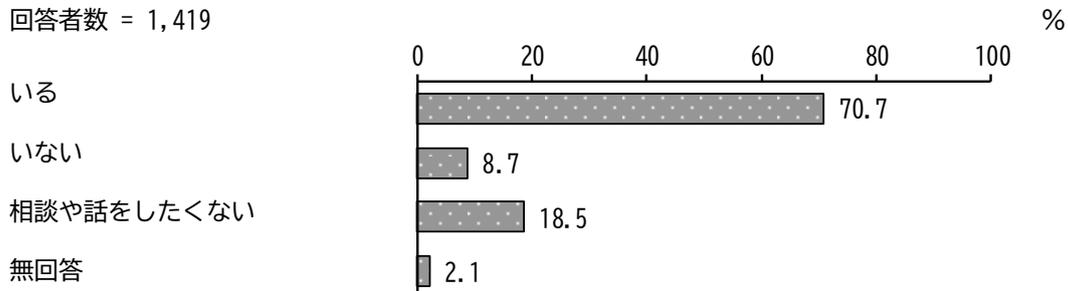
平日の世話の時間別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	友だちのこと	学校の成績(勉強)のこと	進路のこと	部活動のこと	学校生活にひつようなお金のこと	じゅくや習いごとができないこと	食費など生活にひつようなお金のこと	自分と家族との関係のこと	家族の人間関係のこと	病気やしょうがいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	とくにない	無回答
全体	43	25.6	44.2	39.5	25.6	7.0	4.7	9.3	18.6	16.3	9.3	16.3	4.7	23.3	-
1時間未満	16	12.5	25.0	37.5	18.8	-	-	6.3	12.5	-	12.5	12.5	6.3	18.8	-
1時間	7	28.6	71.4	42.9	42.9	-	-	-	14.3	14.3	-	14.3	-	-	-
2時間	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-
3時間	3	66.7	66.7	100.0	33.3	66.7	-	66.7	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-
4時間	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
8時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
10時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
11時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

問7 問6で1～12のいずれかを回答した人におたずねします。回答したなやみやこまりごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

「いる」の割合が70.7%と最も高く、次いで「相談や話をしたくない」の割合が18.5%となっています。



#### 【世話の有無別】

世話の有無別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	相談や話をしたくない	無回答
全体	1419	70.7	8.7	18.5	2.1
いる	121	62.8	12.4	22.3	2.5
いない	1287	71.4	8.2	18.3	2.1

#### 【「ヤングケアラー」という言葉の認知度別】

「ヤングケアラー」という言葉の認知度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

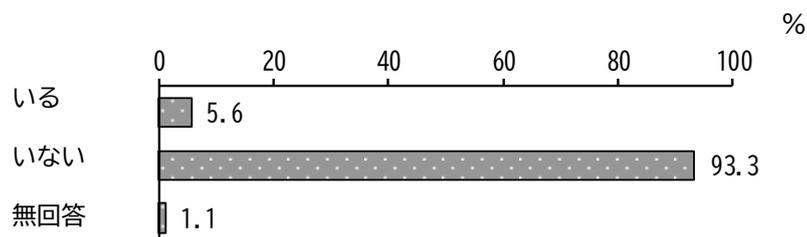
区分	回答者数 (件)	いる	いない	相談や話をしたくない	無回答
全体	1419	70.7	8.7	18.5	2.1
聞いたことがあり、内容も知っている	434	70.0	9.2	18.4	2.3
聞いたことがあるが、よく知らない	311	71.1	8.0	19.9	1.0
聞いたことはない	661	71.6	8.3	17.7	2.4

### Ⅲ. あなたの家庭や家族について

#### 問8 家族の中に、あなたがお世話をしている方はいますか。

「いる」の割合が5.6%、「いない」の割合が93.3%となっています。

回答者数 = 3,084



#### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

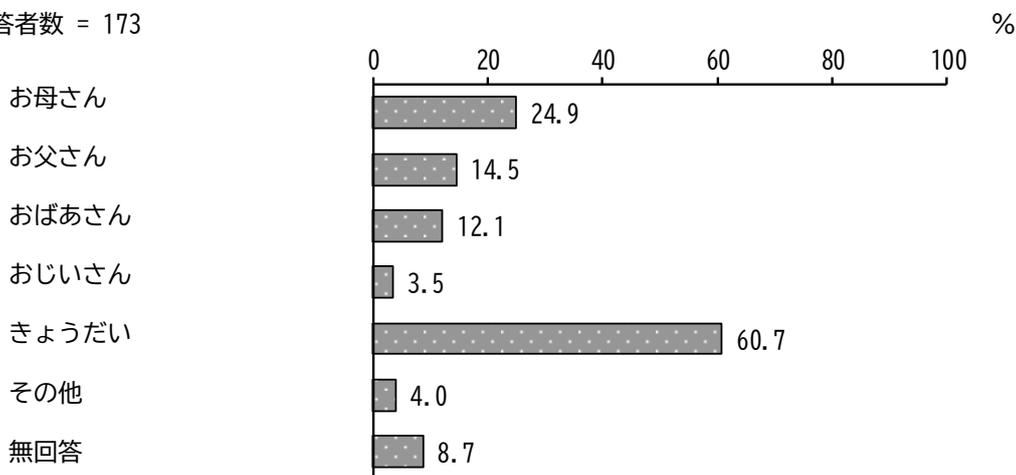
区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	3084	5.6	93.3	1.1
男	1523	5.1	93.5	1.4
女	1496	5.7	93.4	0.8
その他	14	21.4	78.6	—
答えたくない	49	14.3	85.7	—

問9 問8で「いる」と回答した方におたずねします。

① あなたがお世話をしている方はどなたですか。(あてはまるものすべてを選択)

「きょうだい」の割合が60.7%と最も高く、次いで「お母さん」の割合が24.9%、「お父さん」の割合が14.5%となっています。

回答者数 = 173



【性別】

性別にみると、女で「きょうだい」の割合が、男で「お父さん」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	その他	無回答
全体	173	24.9	14.5	12.1	3.5	60.7	4.0	8.7
男	77	27.3	22.1	14.3	7.8	48.1	2.6	16.9
女	86	22.1	7.0	10.5	—	72.1	5.8	1.2
その他	3	66.7	33.3	—	—	33.3	—	33.3
答えたくない	7	14.3	14.3	14.3	—	71.4	—	—

【同居家族別】

同居家族別にみると、おばあさん、おじいさんで「おばあさん」をお世話している割合が、妹で「きょうだい」をお世話している割合が高くなっています。

単位：％

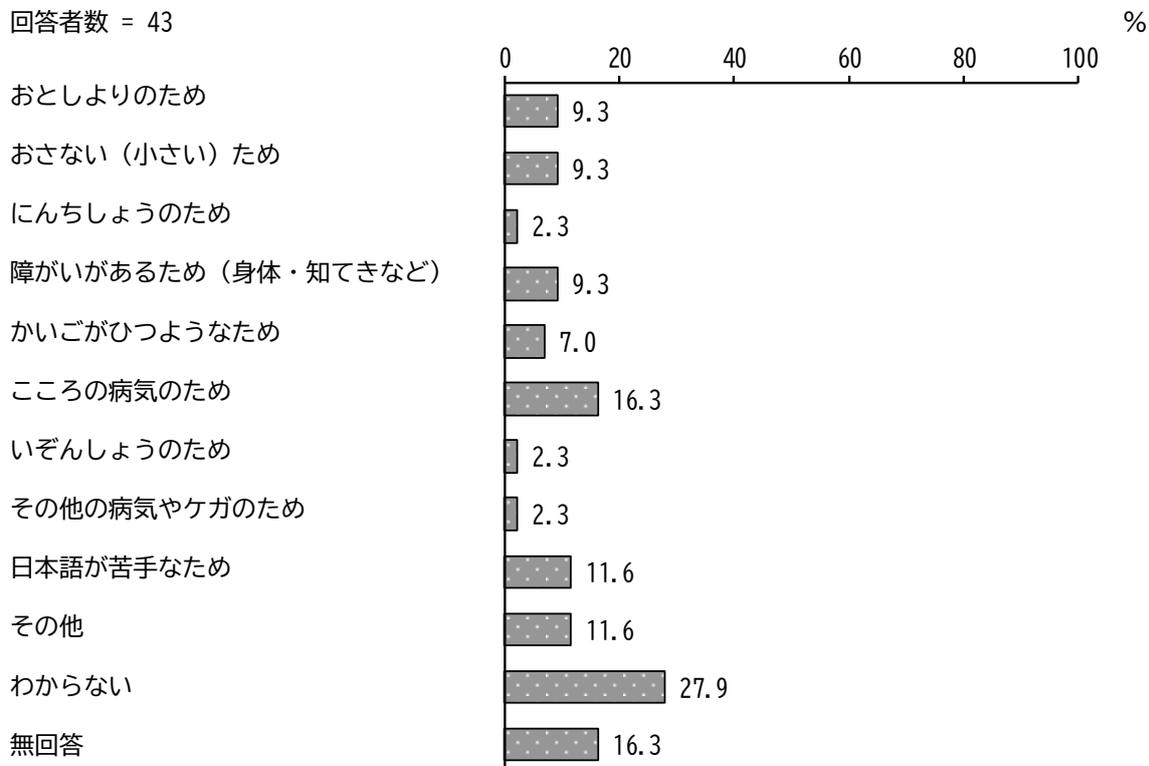
区分	回答者数 (件)	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	その他	無回答
全 体	173	24.9	14.5	12.1	3.5	60.7	4.0	8.7
お母さん	166	24.7	15.1	10.8	3.0	63.3	3.6	7.8
お父さん	145	23.4	16.6	7.6	2.1	65.5	2.8	9.0
おばあさん	33	15.2	6.1	51.5	12.1	36.4	6.1	9.1
おじいさん	12	25.0	8.3	41.7	41.7	58.3	—	8.3
お兄さん	35	22.9	17.1	8.6	—	54.3	2.9	17.1
お姉さん	32	34.4	25.0	18.8	3.1	50.0	6.3	9.4
弟	77	14.3	9.1	6.5	2.6	79.2	2.6	6.5
妹	80	11.3	7.5	3.8	1.3	80.0	1.3	7.5
その他	14	28.6	7.1	21.4	—	14.3	21.4	21.4

② その方がどのような理由でお世話をひつようとしているのか教えてください。

(あてはまるものすべてを選択)

「わからない」の割合が27.9%と最も高く、次いで「こころの病気のため」の割合が16.3%、「日本語が苦手なため」の割合が11.6%となっています。

回答者数 = 43



【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、お父さんで「わからない」「日本語が苦手なため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	おとしよりのため	おさない(小さい)ため	にんちしょうのため	障がいがあるため (身体・知てきなど)	かいごがひつようなため	こころの病気のため	いぞんしょうのため	その他の病気やケガのため	日本語が苦手なため	その他	わからない	無回答
全 体	43	9.3	9.3	2.3	9.3	7.0	16.3	2.3	2.3	11.6	11.6	27.9	16.3
お母さん	43	9.3	9.3	2.3	9.3	7.0	16.3	2.3	2.3	11.6	11.6	27.9	16.3
お父さん	23	8.7	8.7	4.3	4.3	8.7	8.7	4.3	—	17.4	8.7	43.5	13.0
おばあさん	6	16.7	—	—	16.7	—	16.7	—	—	—	—	16.7	50.0
おじいさん	3	—	—	—	33.3	—	—	—	—	—	—	—	66.7
きょうだい	10	—	20.0	10.0	—	10.0	20.0	10.0	—	—	10.0	30.0	20.0
その他	2	50.0	—	—	—	50.0	—	—	—	—	—	50.0	—

【世話をすることについて感じていること別】

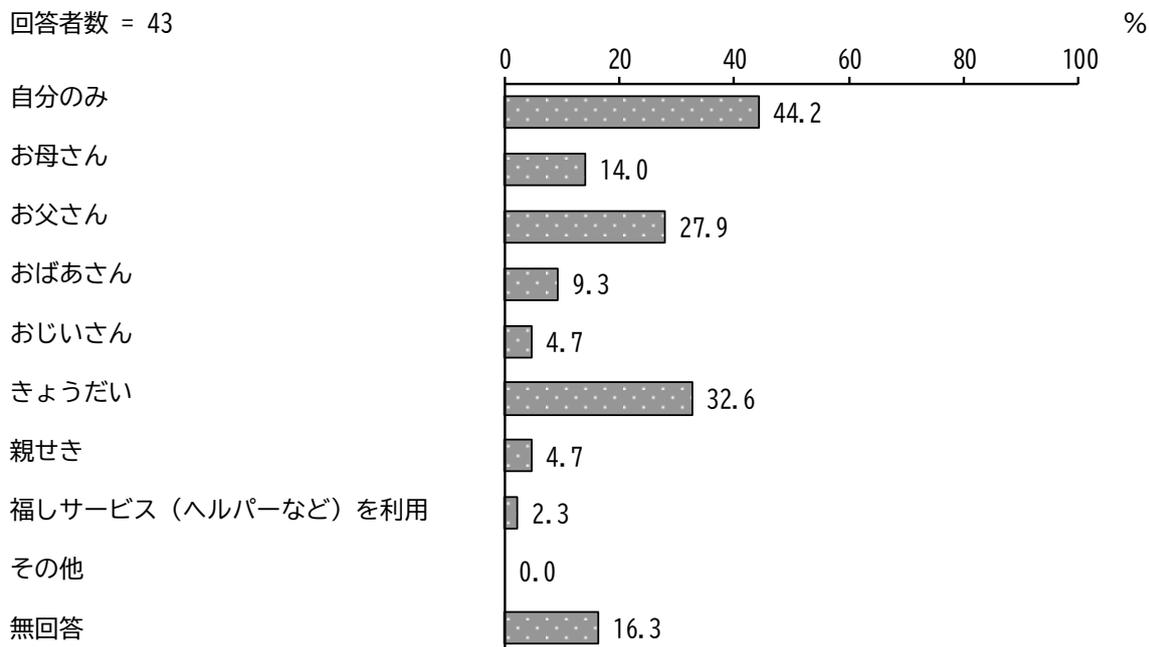
世話をすることについて感じていること別にみると、時間のよゆうがないで「こころの病気のため」の割合が、とくに何も感じていないで「わからない」「日本語が苦手なため」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	おとしよりのため	おさない(小さい)ため	にんちしようのため	障がいがあるため (身体・知てきなど)	かいがひつようなため	こころの病気のため	いぞんしようのため	その他の病気やケガのため	日本語が苦手なため	その他	わからない	無回答
全 体	43	9.3	9.3	2.3	9.3	7.0	16.3	2.3	2.3	11.6	11.6	27.9	16.3
やりがいを感じている	11	9.1	18.2	—	18.2	—	18.2	9.1	—	18.2	9.1	18.2	9.1
楽しい	6	16.7	33.3	—	—	—	16.7	—	—	16.7	16.7	33.3	—
充じつしている	4	25.0	25.0	—	—	—	25.0	25.0	—	50.0	25.0	—	—
体力てきにつらい	6	33.3	16.7	—	—	16.7	16.7	—	16.7	16.7	16.7	33.3	—
せいしんてきにつらい	7	28.6	—	—	14.3	14.3	57.1	—	14.3	14.3	—	14.3	—
時間のよゆうがない	10	10.0	10.0	10.0	—	20.0	40.0	10.0	10.0	10.0	20.0	20.0	—
とくに何も感じていない	10	—	10.0	—	10.0	—	—	—	—	20.0	10.0	40.0	20.0
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

- ③ あなたはその方へのお世話をだれかといっしょにしていますか。(あてはまるものすべてを選択)  
「自分のみ」の割合が44.2%と最も高く、次いで「きょうだい」の割合が32.6%、「お父さん」の割合が27.9%となっています。

回答者数 = 43



【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、きょうだい、お父さんで「お父さん」と一緒にお世話をしている割合が高くなっています。

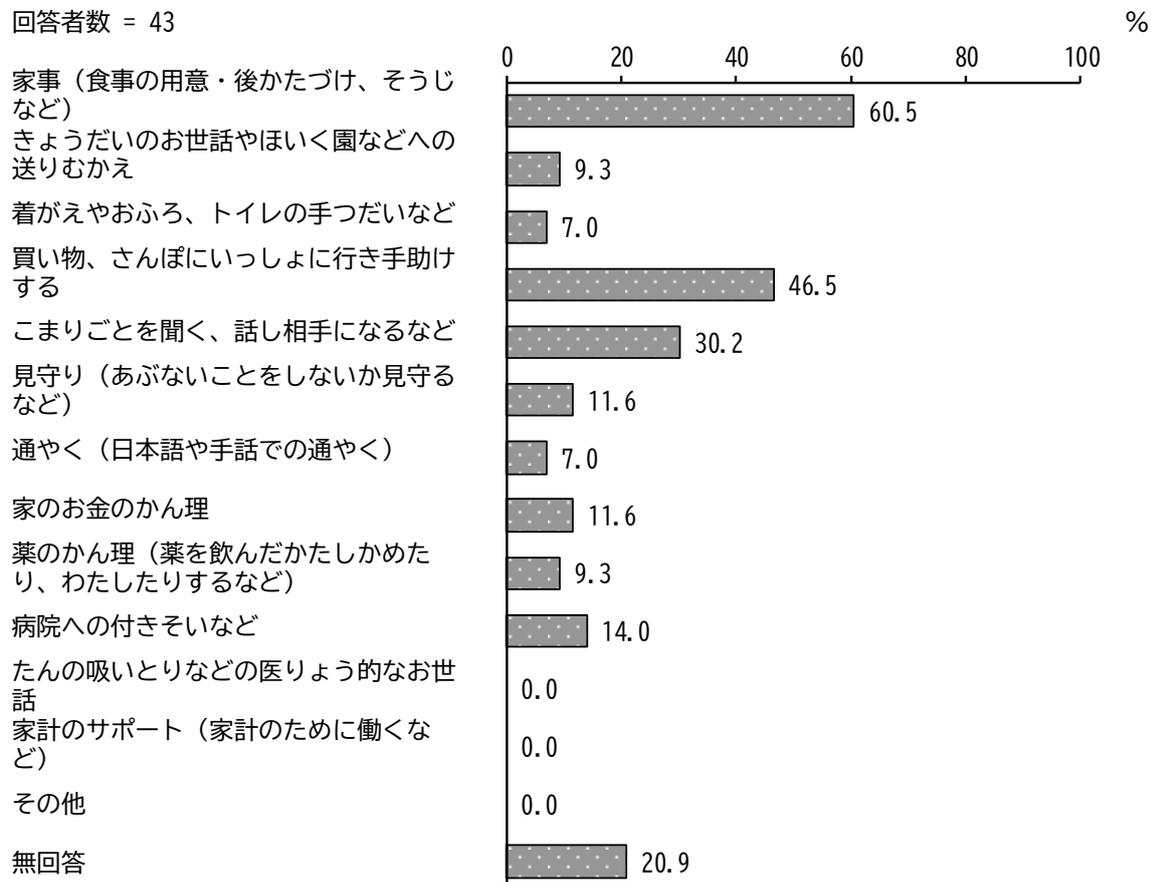
単位：%

区分	回答者数(件)	自分のみ	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	親せき	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他	無回答
全体	43	44.2	14.0	27.9	9.3	4.7	32.6	4.7	2.3	—	16.3
お母さん	43	44.2	14.0	27.9	9.3	4.7	32.6	4.7	2.3	—	16.3
お父さん	23	43.5	8.7	34.8	8.7	4.3	34.8	4.3	—	—	21.7
おばあさん	6	16.7	33.3	16.7	33.3	16.7	16.7	—	—	—	50.0
おじいさん	3	33.3	33.3	—	33.3	33.3	—	—	—	—	66.7
きょうだい	10	50.0	10.0	50.0	10.0	10.0	30.0	10.0	—	—	10.0
その他	2	50.0	50.0	—	—	—	50.0	50.0	—	—	—

④ あなたはその方にどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものすべてを選択)

「家事（食事の用意・後かたづけ、そうじなど）」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「買い物、さんぽにいっしょに行き手助けする」の割合が 46.5%、「こまりごとを聞く、話し相手になるなど」の割合が 30.2%となっています。

回答者数 = 43



【性別】

性別にみると、男で「買い物、さんぽにいっしょに行き手助けする」「家のお金のかん理」「家事（食事の用意・後かたづけ、そうじなど）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	家事（食事の用意・後かたづけ、そうじなど）	きょうだいのお世話やほいく園などへの送りむかえ	着がえやお風呂、トイレの手つだいなど	買い物、さんぽにいっしょに行き手助けする	こまりごとを聞く、話し相手になるなど	見守り（あぶないことをしないか見守るなど）	通やく（日本語や手話での通やく）	家のお金のかん理	薬のかん理（薬を飲んだかたしかめたり、わたしたりするなど）	病院への付きそいなど	たんの吸いとりなどの医りよう的なお世話	家計のサポート（家計のために働くなど）	その他	無回答
全 体	43	60.5	9.3	7.0	46.5	30.2	11.6	7.0	11.6	9.3	14.0	—	—	—	20.9
男	21	66.7	9.5	9.5	61.9	33.3	9.5	9.5	19.0	4.8	14.3	—	—	—	14.3
女	19	52.6	10.5	5.3	31.6	26.3	15.8	5.3	5.3	10.5	10.5	—	—	—	26.3
その他	2	100.0	—	—	50.0	50.0	—	—	—	50.0	50.0	—	—	—	—
答えたくない	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0

【同居家族別】

同居家族別にみると、お姉さん、お父さんで「家事（食事の用意・後かたづけ、そうじなど）」の割合が、弟で「買い物、さんぽにいっしょに行き手助けする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家事(食事の用意・後かたづけ、そうじなど)	きょうだいのお世話やほいく園などへの送りむかえ	着がえやお風呂、トイレの手つだいなど	買い物、さんぽにいっしょに行き手助けする	こまりごとを聞く、話し相手になるなど	見守り(あぶないことをしないか見守るなど)	通やく(日本語や手話での通やく)	家のお金のかん理	薬のかん理(薬を飲んだかたしめたり、わたしたりするなど)	病院への付きそいなど	たんの吸いとりなどの医りよゆうなお世話	家計のサポート(家計のために働くなど)	その他	無回答
全 体	43	60.5	9.3	7.0	46.5	30.2	11.6	7.0	11.6	9.3	14.0	—	—	—	20.9
お母さん	41	63.4	9.8	7.3	46.3	26.8	12.2	7.3	12.2	9.8	12.2	—	—	—	22.0
お父さん	34	67.6	11.8	5.9	47.1	26.5	11.8	5.9	14.7	8.8	14.7	—	—	—	17.6
おばあさん	5	40.0	—	20.0	40.0	40.0	—	—	—	—	—	—	—	—	40.0
おじいさん	3	33.3	—	33.3	33.3	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—	66.7
お兄さん	8	75.0	—	12.5	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	—	—	—	—
お姉さん	11	72.7	—	—	27.3	27.3	—	—	—	—	—	—	—	—	9.1
弟	11	54.5	18.2	9.1	54.5	27.3	18.2	9.1	9.1	—	9.1	—	—	—	18.2
妹	9	77.8	22.2	—	66.7	33.3	11.1	11.1	33.3	22.2	33.3	—	—	—	—
その他	4	—	—	—	25.0	25.0	—	—	—	—	25.0	—	—	—	75.0

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、きょうだい「家事（食事の用意・後かたづけ、そうじなど）」  
「こまりごとを聞く、話し相手になるなど」の割合が、お父さんで「家のお金のかん理」の割合  
が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家事(食事の用意・後かたづけ、 そうじなど)	きょうだいのお世話やほいく園 などへの送りむかえ	着がえやおふろ、トイレの手つ だいなど	買い物、さんぽにいつしよに行 き手助けする	こまりごとを聞く、話し相手に なるなど	見守り(あぶないことをしない か見守るなど)	通やく(日本語や手話での通や く)	家のお金のかん理	薬のかん理(薬を飲んだかたし かめたり、わたしたりするなど)	病院への付きそいなど	たんの吸いとりなどの医りよう 的なお世話	家計のサポート(家計のために 働くなど)	その他	無回答
全 体	43	60.5	9.3	7.0	46.5	30.2	11.6	7.0	11.6	9.3	14.0	—	—	—	20.9
お母さん	43	60.5	9.3	7.0	46.5	30.2	11.6	7.0	11.6	9.3	14.0	—	—	—	20.9
お父さん	23	65.2	8.7	8.7	47.8	26.1	13.0	8.7	21.7	13.0	17.4	—	—	—	21.7
おばあさん	6	33.3	—	16.7	33.3	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0
おじいさん	3	33.3	—	33.3	33.3	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—	66.7
きょうだい	10	90.0	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0	—	20.0	20.0	20.0	—	—	—	10.0
その他	2	—	—	—	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、1時間未満で「家事（食事の用意・後かたづけ、そうじなど）」  
「買い物、さんぽにいっしょに行き手助けする」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	家事（食事の用意・後かたづけ、そうじなど）	きょうだいのお世話やほいく園などの送りむかえ	着がえやお風呂、トイレの手つだいなど	買い物、さんぽにいっしょに行き手助けする	こまりごとを聞く、話し相手になるなど	見守り（あぶないことをしないか見守るなど）	通やく（日本語や手話での通やく）	家のお金のかん理	薬のかん理（薬を飲んだかたしめたり、わたしたりするなど）	病院への付きそいなど	たんの吸いとりなどの医りよつ的なお世話	家計のサポート（家計のために働くなど）	その他	無回答
全 体	43	60.5	9.3	7.0	46.5	30.2	11.6	7.0	11.6	9.3	14.0	-	-	-	20.9
1時間未満	16	75.0	6.3	-	56.3	31.3	12.5	-	12.5	6.3	12.5	-	-	-	12.5
1時間	7	85.7	-	-	42.9	-	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-
2時間	2	100.0	50.0	50.0	100.0	100.0	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-
3時間	3	100.0	-	33.3	66.7	66.7	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-
4時間	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7時間	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
8時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9時間	1	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-
10時間	1	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
11時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24時間	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-

【世話をすることについて感じていること別】

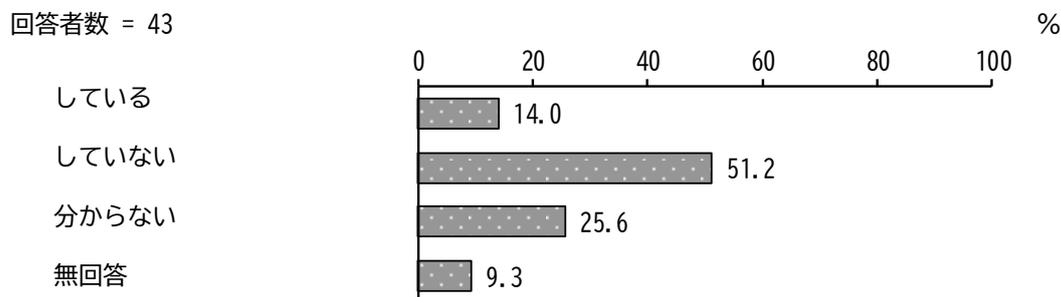
世話をすることについて感じていること別にみると、やりがいを感じている、時間のよゆうがないで「こまりごとを聞く、話し相手になるなど」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	家事(食事の用意・後かたづけ、そうじなど)	きょうだいのお世話やほいく園などへの送りむかえ	着がえやお風呂、トイレの手つだいなど	買い物、さんぽにいつしよに行き手助けする	こまりごとを聞く、話し相手になるなど	見守り(あぶないことをしないか見守るなど)	通やく(日本語や手話での通やく)	家のお金のかん理	薬のかん理(薬を飲んだかたしめたり、わたしたりするなど)	病院への付きそいなど	たんの吸いとりなどの医りよつ的なお世話	家計のサポート(家計のために働くなど)	その他	無回答
全体	43	60.5	9.3	7.0	46.5	30.2	11.6	7.0	11.6	9.3	14.0	-	-	-	20.9
やりがいを感じている	11	90.9	27.3	18.2	63.6	63.6	18.2	9.1	18.2	9.1	27.3	-	-	-	-
楽しい	6	83.3	16.7	-	66.7	50.0	-	-	16.7	-	16.7	-	-	-	-
充じつしている	4	50.0	50.0	-	75.0	50.0	-	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-
体力てきにつらい	6	83.3	16.7	16.7	83.3	66.7	16.7	-	33.3	16.7	50.0	-	-	-	-
せいしんてきにつらい	7	42.9	-	-	42.9	42.9	14.3	14.3	-	14.3	14.3	-	-	-	14.3
時間のよゆうがない	10	70.0	10.0	10.0	40.0	60.0	20.0	10.0	20.0	30.0	40.0	-	-	-	-
とくに何も感じていない	10	80.0	-	-	50.0	-	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0	-	-	-	10.0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

⑤ お世話をひつようとしている方は、区がていきょうするサービス（ホームヘルパーなど）を利用していますか。

「していない」の割合が51.2%と最も高く、次いで「分からない」の割合が25.6%、「している」の割合が14.0%となっています。



【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、きょうだいで「していない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	している	していない	分からない	無回答
全 体	43	14.0	51.2	25.6	9.3
お母さん	43	14.0	51.2	25.6	9.3
お父さん	23	13.0	47.8	26.1	13.0
おばあさん	6	—	66.7	16.7	16.7
おじいさん	3	—	66.7	33.3	—
きょうだい	10	10.0	60.0	30.0	—
その他	2	50.0	—	50.0	—

【世話の理由別】

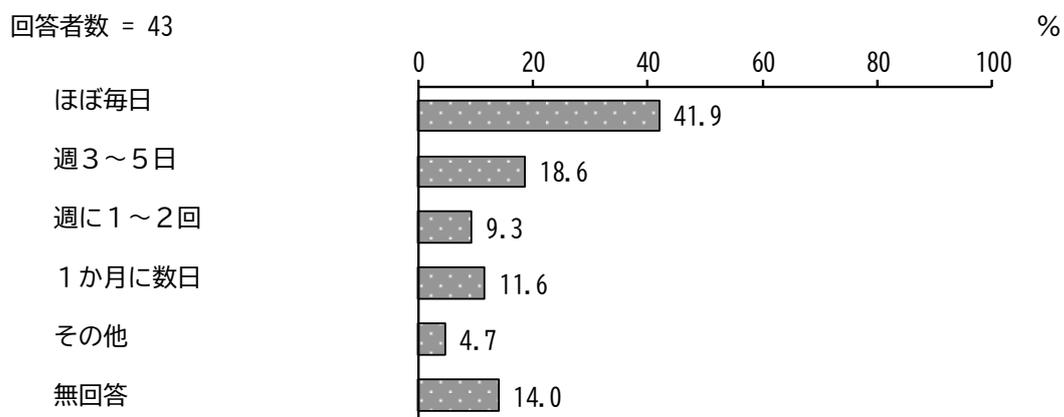
世話の理由別にみると、わからないで「分からない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	している	していない	分からない	無回答
全 体	43	14.0	51.2	25.6	9.3
おとしよりのため	4	75.0	25.0	—	—
おさない（小さい）ため	4	50.0	25.0	25.0	—
にんちしょうのため	1	—	—	100.0	—
障がいがあるため（身体・知てきなど）	4	25.0	25.0	50.0	—
かいごがひつようなため	3	66.7	—	33.3	—
こころの病気のため	7	—	85.7	14.3	—
いぞんしょうのため	1	—	100.0	—	—
その他の病気やケガのため	1	100.0	—	—	—
日本語が苦手なため	5	20.0	80.0	—	—
その他	5	—	60.0	40.0	—
わからない	12	8.3	41.7	41.7	8.3

⑥ あなたはその方へのお世話をどのくらいしていますか。

「ほぼ毎日」の割合が41.9%と最も高く、次いで「週3～5日」の割合が18.6%、「1か月に数日」の割合が11.6%となっています。



【性別】

性別にみると、男で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ほぼ毎日	週3～5日	週に1～2回	1か月に数日	その他	無回答
全 体	43	41.9	18.6	9.3	11.6	4.7	14.0
男	21	47.6	19.0	9.5	9.5	4.8	9.5
女	19	36.8	15.8	10.5	15.8	5.3	15.8
その他	2	50.0	50.0	－	－	－	－
答えたくない	1	－	－	－	－	－	100.0

【同居家族別】

同居家族別にみると、お姉さんで「週3～5日」「1か月に数日」の割合が、お父さんで「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ほぼ毎日	週3～5日	週に1～2回	1か月に数日	その他	無回答
全 体	43	41.9	18.6	9.3	11.6	4.7	14.0
お母さん	41	43.9	17.1	9.8	9.8	4.9	14.6
お父さん	34	50.0	14.7	11.8	8.8	2.9	11.8
おばあさん	5	－	20.0	20.0	20.0	－	40.0
おじいさん	3	33.3	33.3	－	－	－	33.3
お兄さん	8	50.0	12.5	12.5	－	25.0	－
お姉さん	11	36.4	27.3	－	18.2	9.1	9.1
弟	11	45.5	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1
妹	9	55.6	22.2	－	22.2	－	－
その他	4	－	25.0	－	25.0	－	50.0

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、きょうだい、お父さんで「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ほぼ毎日	週3～5日	週に1～2回	1か月に数日	その他	無回答
全体	43	41.9	18.6	9.3	11.6	4.7	14.0
お母さん	43	41.9	18.6	9.3	11.6	4.7	14.0
お父さん	23	47.8	13.0	8.7	8.7	4.3	17.4
おばあさん	6	16.7	16.7	16.7	16.7	—	33.3
おじいさん	3	33.3	33.3	—	—	—	33.3
きょうだい	10	60.0	30.0	—	10.0	—	—
その他	2	50.0	—	—	50.0	—	—

【世話に関する悩み相談の有無別】

世話に関する悩み相談の有無別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

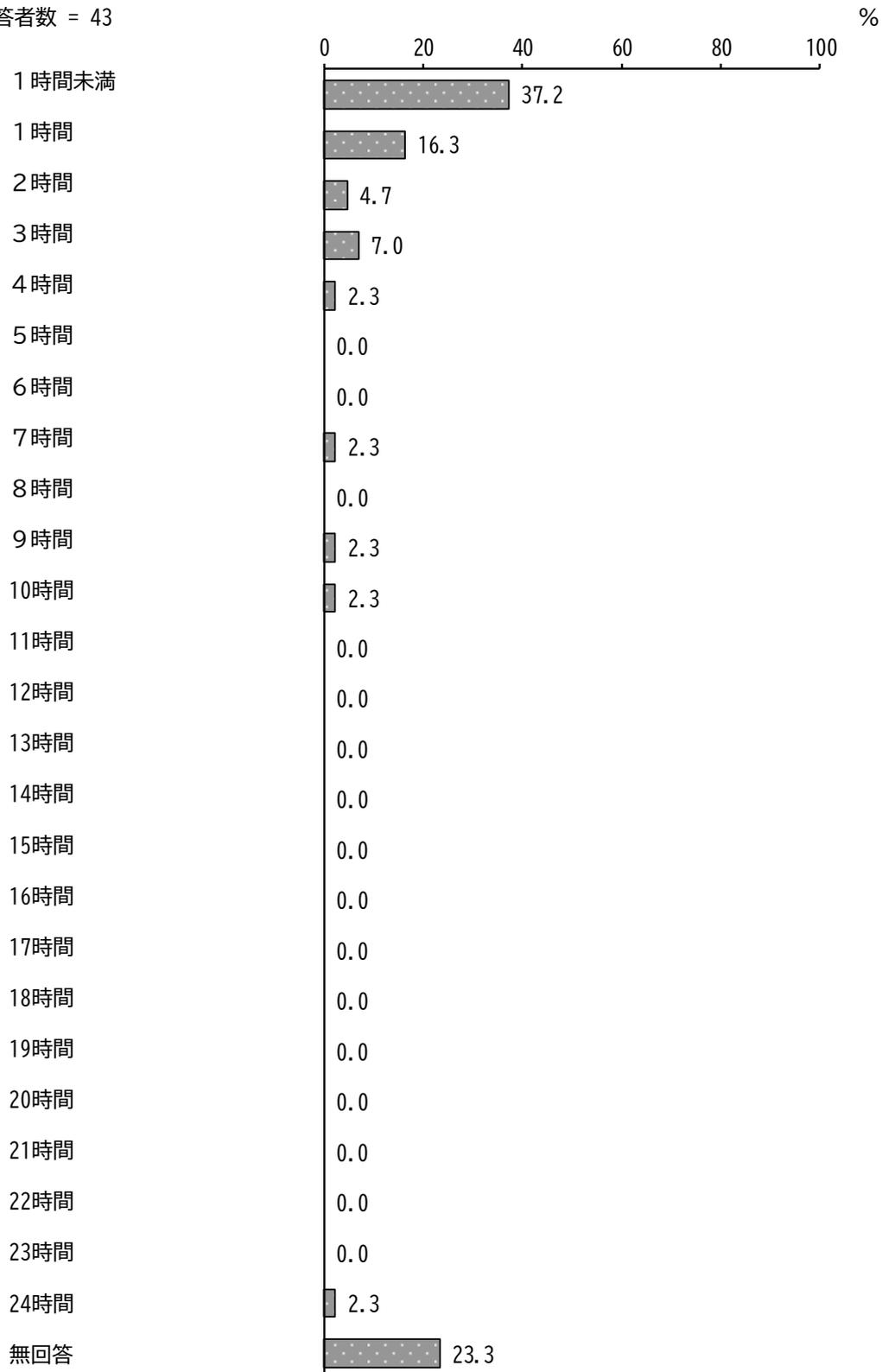
区分	回答者数(件)	ほぼ毎日	週3～5日	週に1～2回	1か月に数日	その他	無回答
全体	43	41.9	18.6	9.3	11.6	4.7	14.0
ある	9	44.4	22.2	11.1	11.1	11.1	—
ない	26	46.2	23.1	11.5	15.4	—	3.8

⑦ あなたは平日と土日それぞれで、1日何時間くらいその方へのお世話をしていますか。

平日

「1時間未満」の割合が37.2%と最も高く、次いで「1時間」の割合が16.3%となっています。

回答者数 = 43



【性別】

性別にみると、女で「1時間未満」の割合が、男で「1時間」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	43	37.2	16.3	4.7	7.0	2.3	-	-	2.3	-	2.3	2.3	-	-
男	21	33.3	23.8	4.8	4.8	-	-	-	4.8	-	4.8	4.8	-	-
女	19	47.4	10.5	5.3	-	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
答えたくない	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	23.3
男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	14.3
女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31.6
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
答えたくない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

【同居家族別】

同居家族別にみると、お姉さんで「1時間未満」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	43	37.2	16.3	4.7	7.0	2.3	-	-	2.3	-	2.3	2.3	-	-
お母さん	41	36.6	17.1	4.9	7.3	2.4	-	-	2.4	-	2.4	-	-	-
お父さん	34	38.2	17.6	5.9	5.9	2.9	-	-	2.9	-	2.9	-	-	-
おばあさん	5	40.0	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
おじいさん	3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
お兄さん	8	25.0	25.0	12.5	-	-	-	-	-	-	12.5	-	-	-
お姉さん	11	54.5	18.2	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
弟	11	36.4	18.2	-	-	-	-	-	9.1	-	-	-	-	-
妹	9	44.4	11.1	-	22.2	-	-	-	-	-	11.1	-	-	-
その他	4	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	23.3
お母さん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	24.4
お父さん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	20.6
おばあさん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0
おじいさん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7
お兄さん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5	12.5
お姉さん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18.2
弟	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1	27.3
妹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	43	37.2	16.3	4.7	7.0	2.3	-	-	2.3	-	2.3	2.3	-	-
お母さん	43	37.2	16.3	4.7	7.0	2.3	-	-	2.3	-	2.3	2.3	-	-
お父さん	23	30.4	17.4	8.7	4.3	-	-	-	4.3	-	4.3	-	-	-
おばあさん	6	33.3	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
おじいさん	3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
きょうだい	10	30.0	20.0	10.0	10.0	-	-	-	10.0	-	-	-	-	-
その他	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	23.3
お母さん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	23.3
お父さん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	26.1
おばあさん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
おじいさん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7
きょうだい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【世話の頻度別】

世話の頻度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

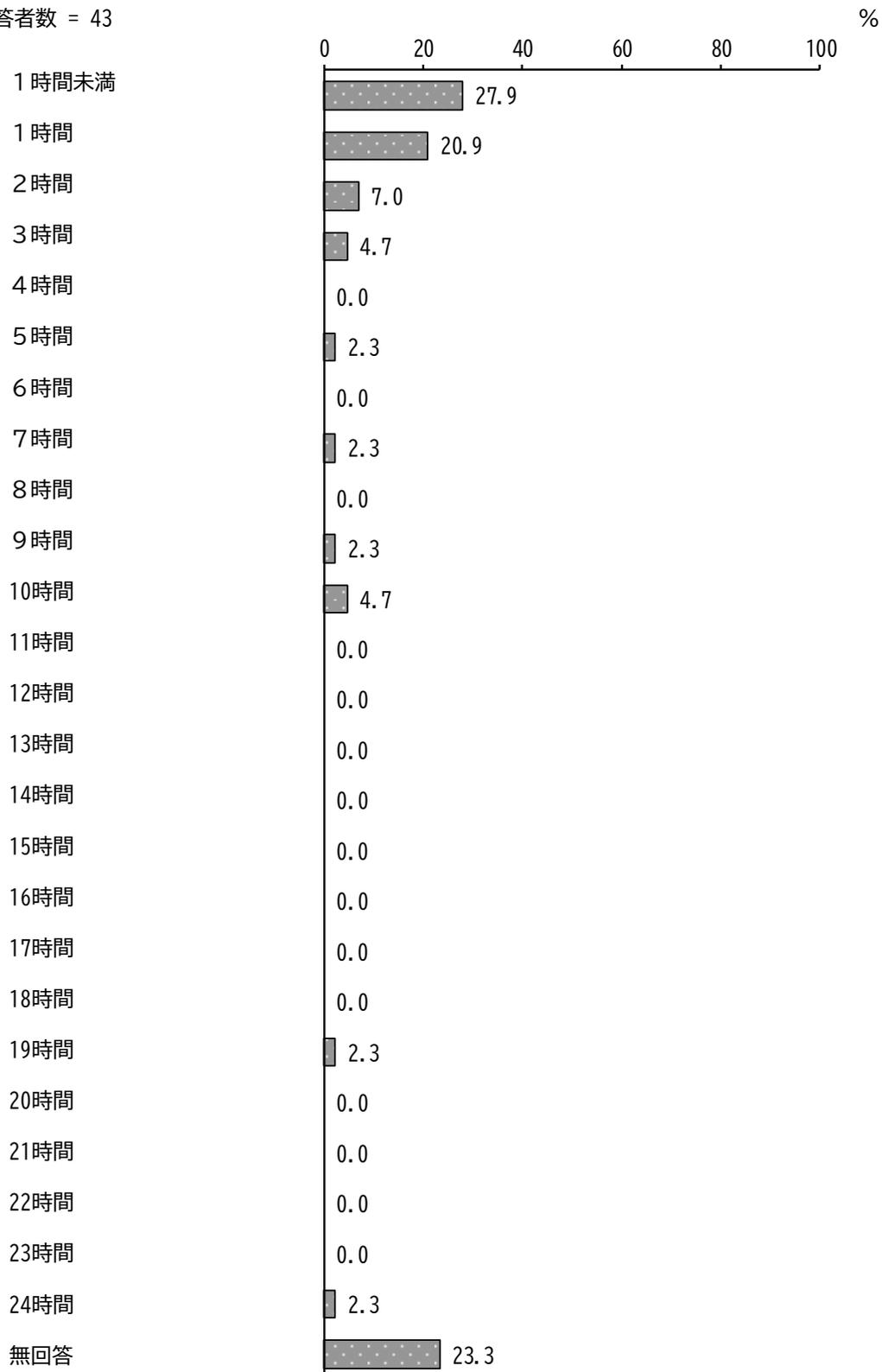
区分	回答者数 (件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全 体	43	37.2	16.3	4.7	7.0	2.3	—	—	2.3	—	2.3	2.3	—	—
ほぼ毎日	18	38.9	11.1	11.1	5.6	5.6	—	—	5.6	—	5.6	—	—	—
週3～5日	8	12.5	37.5	—	25.0	—	—	—	—	—	—	12.5	—	—
週に1～2回	4	75.0	25.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1か月に数日	5	80.0	20.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	2	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全 体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3	23.3
ほぼ毎日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.6	11.1
週3～5日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12.5
週に1～2回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1か月に数日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0

## 休日

「1時間未満」の割合が27.9%と最も高く、次いで「1時間」の割合が20.9%となっています。

回答者数 = 43



【性別】

性別にみると、女で「1時間未満」の割合が、男で「1時間」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	43	27.9	20.9	7.0	4.7	-	2.3	-	2.3	-	2.3	4.7	-	-
男	21	23.8	28.6	4.8	4.8	-	4.8	-	4.8	-	4.8	-	-	-
女	19	36.8	15.8	5.3	5.3	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-
その他	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-
答えたくない	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-	-	-	2.3	23.3
男	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-	-	-	4.8	14.3
女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31.6
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
答えたくない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

【同居家族別】

同居家族別にみると、お姉さんで「1時間未満」「1時間」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	43	27.9	20.9	7.0	4.7	—	2.3	—	2.3	—	2.3	4.7	—	—
お母さん	41	26.8	22.0	7.3	4.9	—	—	—	2.4	—	2.4	4.9	—	—
お父さん	34	26.5	23.5	8.8	5.9	—	—	—	2.9	—	—	5.9	—	—
おばあさん	5	40.0	—	—	—	—	—	—	—	—	20.0	—	—	—
おじいさん	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33.3	—	—	—
お兄さん	8	12.5	37.5	—	12.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
お姉さん	11	45.5	27.3	9.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
弟	11	27.3	18.2	9.1	—	—	—	—	9.1	—	—	—	—	—
妹	9	33.3	22.2	11.1	—	—	—	—	—	—	—	11.1	—	—
その他	4	25.0	—	—	—	—	25.0	—	—	—	—	—	—	—

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	—	—	—	—	—	—	2.3	—	—	—	—	2.3	23.3
お母さん	—	—	—	—	—	—	2.4	—	—	—	—	2.4	24.4
お父さん	—	—	—	—	—	—	2.9	—	—	—	—	2.9	20.6
おばあさん	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40.0
おじいさん	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66.7
お兄さん	—	—	—	—	—	—	12.5	—	—	—	—	12.5	12.5
お姉さん	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18.2
弟	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.1	27.3
妹	—	—	—	—	—	—	11.1	—	—	—	—	—	11.1
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、お父さんで「1時間」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	43	27.9	20.9	7.0	4.7	-	2.3	-	2.3	-	2.3	4.7	-	-
お母さん	43	27.9	20.9	7.0	4.7	-	2.3	-	2.3	-	2.3	4.7	-	-
お父さん	23	21.7	26.1	-	8.7	-	-	-	4.3	-	-	4.3	-	-
おばあさん	6	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-
おじいさん	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-
きょうだい	10	30.0	20.0	-	10.0	-	-	-	10.0	-	-	10.0	-	-
その他	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-	-	-	2.3	23.3
お母さん	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-	-	-	2.3	23.3
お父さん	-	-	-	-	-	-	4.3	-	-	-	-	4.3	26.1
おばあさん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
おじいさん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7
きょうだい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【世話の頻度別】

世話の頻度別にみると、ほぼ毎日で「1時間未満」の割合が高くなっています。

単位：%

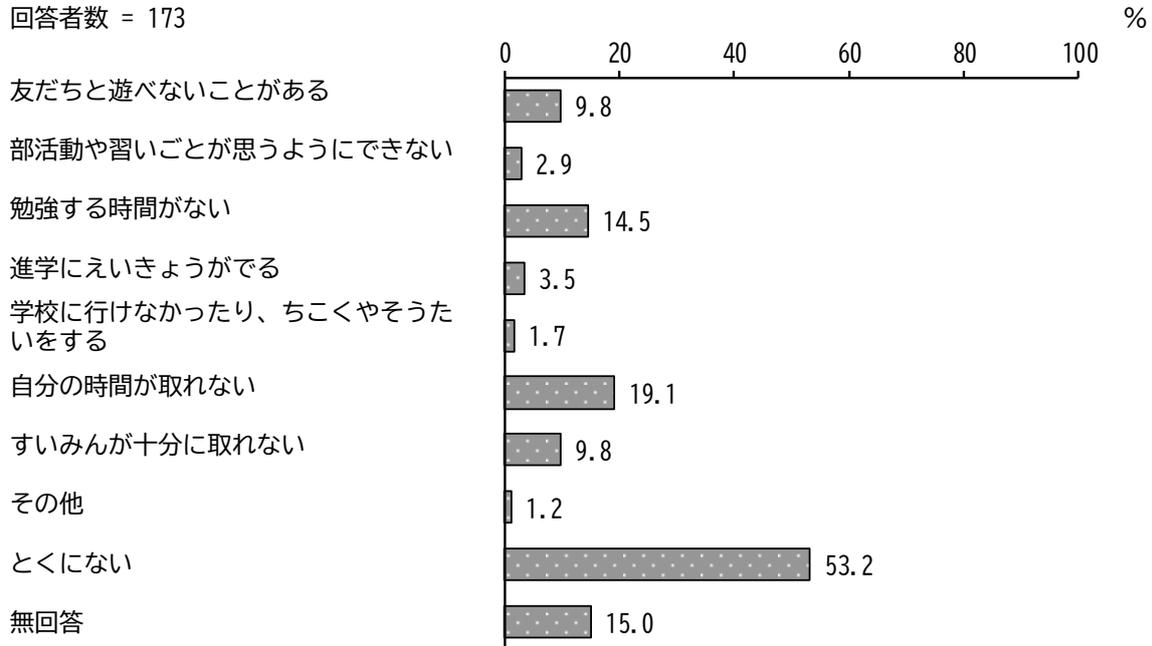
区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	43	27.9	20.9	7.0	4.7	—	2.3	—	2.3	—	2.3	4.7	—	—
ほぼ毎日	18	33.3	5.6	11.1	11.1	—	—	—	5.6	—	—	11.1	—	—
週3～5日	8	—	50.0	12.5	—	—	12.5	—	—	—	12.5	—	—	—
週に1～2回	4	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1か月に数日	5	60.0	40.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	2	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	—	—	—	—	—	—	2.3	—	—	—	—	2.3	23.3
ほぼ毎日	—	—	—	—	—	—	5.6	—	—	—	—	5.6	11.1
週3～5日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12.5
週に1～2回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1か月に数日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0

問10 あなたは家族のお世話をしていることで、以下のようなけいけんをしたことはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「とくにない」の割合が53.2%と最も高く、次いで「自分の時間が取れない」の割合が19.1%、「勉強する時間がない」の割合が14.5%となっています。

回答者数 = 173



【性別】

性別にみると、女で「とくにない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	友だちと遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	進学にいきょうがでる	学校に行けなかったり、ちこくやそうたいをする	自分の時間が取れない	すいみんが十分に取れない	その他	とくにない	無回答
全体	173	9.8	2.9	14.5	3.5	1.7	19.1	9.8	1.2	53.2	15.0
男	77	9.1	3.9	10.4	2.6	1.3	14.3	5.2	—	45.5	26.0
女	86	10.5	2.3	16.3	2.3	2.3	22.1	10.5	2.3	62.8	4.7
その他	3	—	—	33.3	—	—	66.7	66.7	—	—	33.3
答えたくない	7	14.3	—	28.6	28.6	—	14.3	28.6	—	42.9	14.3

【同居家族別】

同居家族別にみると、おじいさん、お姉さんで「自分の時間が取れない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	友だちと遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	進学にいききょうがでる	学校に行けなかったり、ちこくやそつたいをする	自分の時間が取れない	すいみんが十分に取れない	その他	とくにない	無回答
全 体	173	9.8	2.9	14.5	3.5	1.7	19.1	9.8	1.2	53.2	15.0
お母さん	166	10.2	3.0	14.5	3.6	1.8	18.1	9.6	1.2	54.2	14.5
お父さん	145	9.0	2.1	11.7	2.1	1.4	17.9	9.7	1.4	56.6	13.8
おばあさん	33	12.1	6.1	18.2	6.1	3.0	24.2	15.2	—	54.5	9.1
おじいさん	12	16.7	8.3	8.3	8.3	8.3	33.3	16.7	—	50.0	16.7
お兄さん	35	11.4	—	17.1	5.7	2.9	8.6	14.3	2.9	57.1	14.3
お姉さん	32	12.5	—	21.9	3.1	3.1	28.1	9.4	—	43.8	15.6
弟	77	6.5	2.6	9.1	—	1.3	19.5	5.2	2.6	59.7	14.3
妹	80	16.3	2.5	16.3	2.5	1.3	17.5	15.0	1.3	58.8	8.8
その他	14	7.1	—	—	7.1	—	21.4	14.3	—	42.9	21.4

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、お母さんで「自分の時間が取れない」の割合が、きょうだい  
 「とくにない」の割合が、おばあさんで「勉強する時間がない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	友だちと遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	進学にえいきょうがでる	学校に行けなかったり、ちこくやそつたいをする	自分の時間が取れない	すいみんが十分に取れない	その他	とくにない	無回答
全 体	173	9.8	2.9	14.5	3.5	1.7	19.1	9.8	1.2	53.2	15.0
お母さん	43	11.6	7.0	23.3	7.0	4.7	30.2	11.6	—	30.2	20.9
お父さん	25	20.0	4.0	16.0	8.0	4.0	24.0	12.0	—	28.0	24.0
おばあさん	21	9.5	9.5	23.8	9.5	4.8	19.0	14.3	—	47.6	19.0
おじいさん	6	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	—	16.7	50.0
きょうだい	105	10.5	1.9	13.3	1.9	1.9	20.0	9.5	1.0	62.9	5.7
その他	7	14.3	14.3	14.3	—	—	42.9	14.3	14.3	28.6	28.6

【世話の理由別】

世話の理由別にみると、わからないで「友だちと遊べないことがある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	友だちと遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	進学にいききょうがでる	学校に行けなかったり、ちこくやそつたいをする	自分の時間が取れない	すいみんが十分に取れない	その他	とくにない	無回答
全 体	43	11.6	7.0	23.3	7.0	4.7	30.2	11.6	—	30.2	20.9
おとしよりのため	4	—	—	25.0	—	—	50.0	25.0	—	25.0	25.0
おさない(小さい)ため	4	—	25.0	25.0	—	—	50.0	—	—	25.0	—
にんちしょうのため	1	—	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—
障がいがあるため(身体・知てきなど)	4	—	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	—	—	50.0	25.0
かいごがひつようなため	3	—	—	33.3	—	—	66.7	—	—	—	33.3
こころの病気のため	7	14.3	—	42.9	14.3	—	57.1	42.9	—	14.3	—
いぞんしょうのため	1	—	—	—	—	—	100.0	100.0	—	—	—
その他の病気やケガのため	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—
日本語が苦手なため	5	20.0	—	20.0	20.0	—	20.0	—	—	60.0	—
その他	5	—	—	40.0	—	20.0	20.0	20.0	—	60.0	—
わからない	12	25.0	8.3	25.0	8.3	—	33.3	8.3	—	16.7	25.0

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、1時間未満で「とくにない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	友だちと遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	進学にいききょうがでる	学校に行けなかったり、ちこくやそつたいをする	自分の時間が取れない	すいみんが十分に取れない	その他	とくにない	無回答
全 体	43	11.6	7.0	23.3	7.0	4.7	30.2	11.6	—	30.2	20.9
1時間未満	16	6.3	6.3	12.5	6.3	—	18.8	12.5	—	43.8	18.8
1時間	7	28.6	—	28.6	—	14.3	14.3	—	—	28.6	—
2時間	2	50.0	—	—	—	—	50.0	50.0	—	50.0	—
3時間	3	—	33.3	66.7	33.3	33.3	100.0	66.7	—	—	—
4時間	1	—	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—
5時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7時間	1	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	—
8時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9時間	1	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
10時間	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—
11時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24時間	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—

【世話をすることについて感じていること別】

世話をすることについて感じていること別にみると、時間のよゆうがない、せいしんてきにつらいで「自分の時間が取れない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	友だちと遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	進学にえいきょうがでる	学校に行けなかったり、ちこくやそつたいをする	自分の時間が取れない	すいみんが十分に取れない	その他	とくにない	無回答
全体	173	9.8	2.9	14.5	3.5	1.7	19.1	9.8	1.2	53.2	15.0
やりがいを感じている	38	13.2	7.9	15.8	2.6	2.6	23.7	13.2	—	55.3	2.6
楽しい	47	8.5	2.1	14.9	—	2.1	12.8	4.3	—	70.2	2.1
充じつしている	20	10.0	—	5.0	—	—	5.0	10.0	—	70.0	5.0
体力てきにつらい	21	38.1	9.5	42.9	4.8	4.8	47.6	28.6	4.8	23.8	4.8
せいしんてきにつらい	15	40.0	13.3	46.7	20.0	—	53.3	26.7	6.7	13.3	6.7
時間のよゆうがない	26	38.5	3.8	50.0	7.7	7.7	73.1	34.6	3.8	7.7	—
とくに何も感じていない	53	1.9	—	5.7	1.9	—	7.5	7.5	1.9	77.4	1.9
その他	7	28.6	14.3	14.3	—	—	42.9	14.3	14.3	57.1	—

【世話に関する悩み相談の有無別】

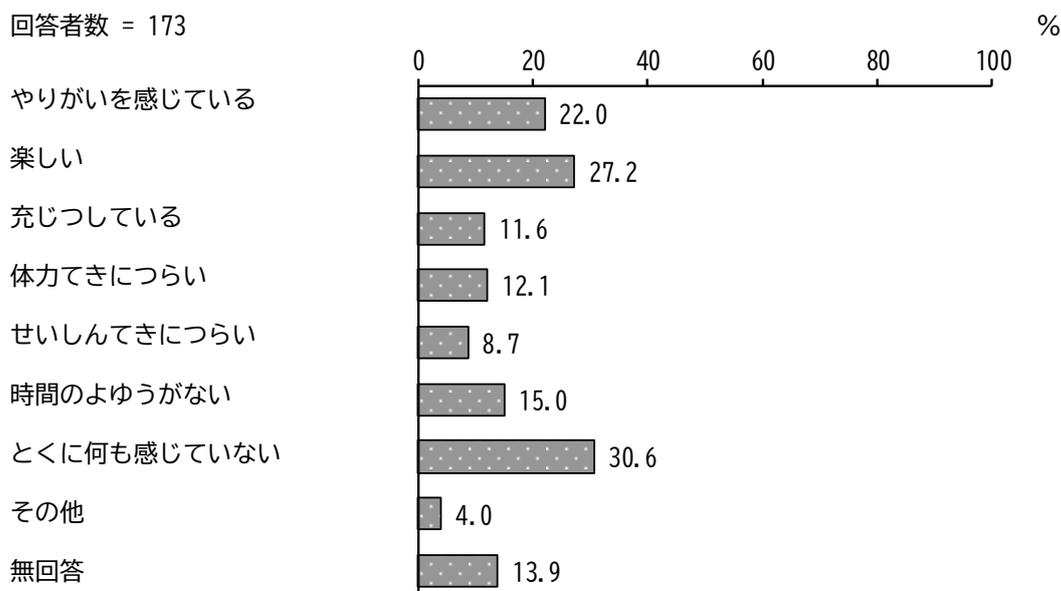
世話に関する悩み相談の有無別にみると、あるで「自分の時間が取れない」の割合が、ないで「とくにない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	友だちと遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	進学にえいきょうがでる	学校に行けなかったり、ちこくやそつたいをする	自分の時間が取れない	すいみんが十分に取れない	その他	とくにない	無回答
全 体	173	9.8	2.9	14.5	3.5	1.7	19.1	9.8	1.2	53.2	15.0
ある	27	14.8	3.7	18.5	11.1	—	33.3	18.5	—	40.7	7.4
ない	127	10.2	3.1	15.7	2.4	2.4	18.9	9.4	1.6	62.2	5.5

問 11 あなたはお世話をするということについて、どのようなことを感じていますか。  
(あてはまるものすべてを選択)

「とくに何も感じていない」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「楽しい」の割合が 27.2%、「やりがいを感じている」の割合が 22.0%となっています。



【性別】

性別にみると、女で「楽しい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	やりがいを感じている	楽しい	充じつしている	体力てきにつらい	せいしんてきにつらい	時間のよゆうがない	とくに何も感じていない	その他	無回答
全 体	173	22.0	27.2	11.6	12.1	8.7	15.0	30.6	4.0	13.9
男	77	23.4	22.1	13.0	11.7	9.1	7.8	33.8	2.6	22.1
女	86	19.8	33.7	9.3	10.5	7.0	19.8	29.1	5.8	5.8
その他	3	66.7	—	33.3	33.3	—	66.7	—	—	33.3
答えたくない	7	14.3	14.3	14.3	28.6	28.6	14.3	28.6	—	14.3

【同居家族別】

同居家族別にみると、お兄さんで「とくに何も感じていない」の割合が、おばあさん、おじいさんで「やりがいを感じている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	やりがいを感じている	楽しい	充じつしている	体力てきにつらい	せいしんてきにつらい	時間のよゆうがない	とくに何も感じていない	その他	無回答
全 体	173	22.0	27.2	11.6	12.1	8.7	15.0	30.6	4.0	13.9
お母さん	166	22.9	27.7	12.0	12.0	7.8	14.5	31.3	4.2	13.3
お父さん	145	21.4	28.3	12.4	12.4	6.9	13.1	33.8	4.1	13.1
おばあさん	33	33.3	39.4	18.2	15.2	12.1	6.1	27.3	3.0	6.1
おじいさん	12	33.3	33.3	16.7	8.3	8.3	8.3	25.0	—	16.7
お兄さん	35	14.3	28.6	14.3	8.6	5.7	11.4	45.7	—	11.4
お姉さん	32	21.9	28.1	9.4	9.4	9.4	15.6	28.1	6.3	12.5
弟	77	19.5	31.2	14.3	13.0	7.8	10.4	32.5	6.5	11.7
妹	80	26.3	28.8	13.8	13.8	7.5	18.8	32.5	3.8	10.0
その他	14	14.3	28.6	7.1	7.1	7.1	21.4	21.4	—	21.4

### 【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、お母さんで「時間のよゆうがない」の割合が、おばあさんで「体力てきにつらい」の割合が、お父さんで「とくに何も感じていない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	やりがいを感じている	楽しい	充じつしている	体力てきにつらい	せいしんてきにつらい	時間のよゆうがない	とくに何も感じていない	その他	無回答
全 体	173	22.0	27.2	11.6	12.1	8.7	15.0	30.6	4.0	13.9
お母さん	43	25.6	14.0	9.3	14.0	16.3	23.3	23.3	—	18.6
お父さん	25	20.0	8.0	12.0	16.0	8.0	20.0	36.0	—	24.0
おばあさん	21	14.3	14.3	—	19.0	19.0	4.8	33.3	4.8	19.0
おじいさん	6	16.7	—	—	16.7	16.7	16.7	16.7	—	50.0
きょうだい	105	23.8	31.4	13.3	11.4	5.7	17.1	34.3	4.8	4.8
その他	7	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	42.9	—	28.6	28.6

### 【世話の頻度別】

世話の頻度別にみると、ほぼ毎日で「楽しい」「やりがいを感じている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	やりがいを感じている	楽しい	充じつしている	体力てきにつらい	せいしんてきにつらい	時間のよゆうがない	とくに何も感じていない	その他	無回答
全 体	43	25.6	14.0	9.3	14.0	16.3	23.3	23.3	—	18.6
ほぼ毎日	18	33.3	27.8	16.7	16.7	11.1	22.2	22.2	—	11.1
週3～5日	8	37.5	—	—	25.0	12.5	50.0	25.0	—	—
週に1～2回	4	—	25.0	—	25.0	50.0	—	25.0	—	—
1か月に数日	5	40.0	—	20.0	—	20.0	20.0	20.0	—	20.0
その他	2	—	—	—	—	50.0	50.0	50.0	—	—

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、1時間未満で「とくに何も感じていない」「せいしんてきにつらい」の割合が高くなっています。

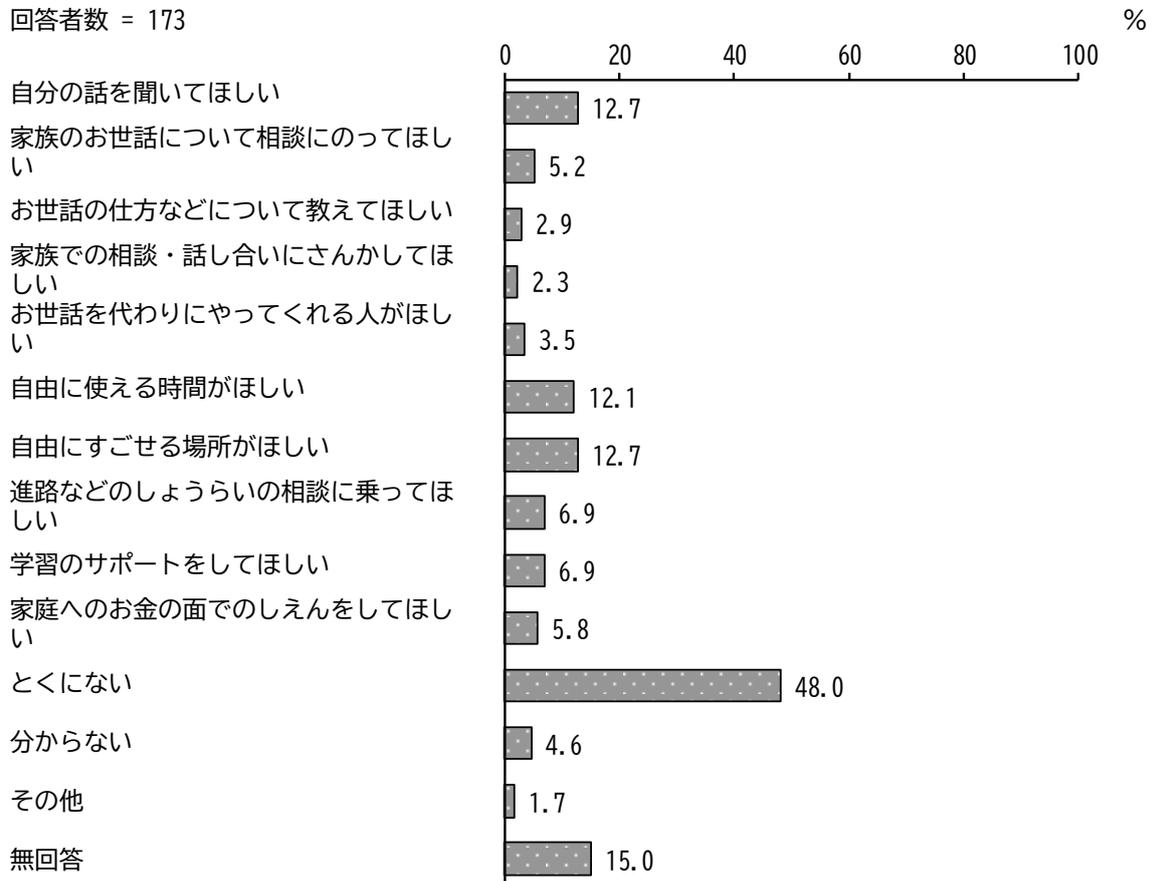
単位：%

区分	回答者数(件)	やりがいを感じている	楽しい	充じつしている	体力てきにつらい	せいしんてきにつらい	時間のよゆうがない	とくに何も感じていない	その他	無回答
全 体	43	25.6	14.0	9.3	14.0	16.3	23.3	23.3	-	18.6
1時間未満	16	18.8	12.5	-	-	25.0	6.3	37.5	-	12.5
1時間	7	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	28.6	-	-
2時間	2	50.0	50.0	50.0	100.0	-	50.0	-	-	-
3時間	3	100.0	-	33.3	33.3	-	66.7	-	-	-
4時間	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-
5時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7時間	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
8時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9時間	1	100.0	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-
10時間	1	-	-	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-
11時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24時間	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-

問 12 あなたが学校やまわりの大人に助けてほしいことや、ひつようとしているしえんはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「とくにない」の割合が48.0%と最も高く、次いで「自分の話を聞いてほしい」、「自由にすごせる場所がほしい」の割合が12.7%となっています。

回答者数 = 173



【性別】

性別にみると、女で「とくにない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	自分の話を聞いてほしい	家族のお世話について相談の ってほしい	お世話の仕方などについて教え てほしい	家族での相談・話し合いにさんか してほしい	お世話を代わりにやってくれる 人がほしい	自由に使える時間がほしい	自由にすごせる場所がほしい	進路などのしゅうらいの相談に 乗ってほしい	学習のサポートをしてほしい	家庭へのお金の面でのしえんを してほしい	とくにない	分からない	その他	無回答
全体	173	12.7	5.2	2.9	2.3	3.5	12.1	12.7	6.9	6.9	5.8	48.0	4.6	1.7	15.0
男	77	9.1	3.9	2.6	—	2.6	6.5	5.2	5.2	6.5	3.9	46.8	9.1	—	23.4
女	86	16.3	4.7	2.3	3.5	1.2	12.8	15.1	9.3	8.1	4.7	53.5	1.2	2.3	8.1
その他	3	—	—	33.3	—	33.3	66.7	66.7	—	—	33.3	—	—	33.3	—
答えたくない	7	14.3	28.6	—	14.3	28.6	42.9	42.9	—	—	28.6	14.3	—	—	14.3

【同居家族別】

同居家族別にみると、妹、おじいさん、おばあさんで「とくにない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	自分の話を聞いてほしい	家族のお世話について相談の ってほしい	お世話の仕方などについて教え てほしい	家族での相談・話し合いにさんか してほしい	お世話を代わりにやってくれる 人がほしい	自由に使える時間がほしい	自由にすごせる場所がほしい	進路などのしゅうらいの相談に 乗ってほしい	学習のサポートをしてほしい	家庭へのお金の面でのしえんを してほしい	とくにない	分からない	その他	無回答
全体	173	12.7	5.2	2.9	2.3	3.5	12.1	12.7	6.9	6.9	5.8	48.0	4.6	1.7	15.0
お母さん	166	12.7	5.4	3.0	2.4	3.6	12.0	12.7	7.2	7.2	5.4	48.8	4.8	1.2	13.9
お父さん	145	11.7	4.8	3.4	2.1	3.4	11.7	12.4	6.9	6.9	4.8	49.0	4.8	0.7	13.8
おばあさん	33	15.2	9.1	6.1	—	9.1	9.1	9.1	6.1	9.1	6.1	54.5	3.0	—	15.2
おじいさん	12	8.3	16.7	8.3	—	8.3	8.3	—	—	16.7	8.3	58.3	—	—	16.7
お兄さん	35	11.4	2.9	—	2.9	—	14.3	11.4	8.6	11.4	5.7	54.3	5.7	2.9	11.4
お姉さん	32	18.8	3.1	—	6.3	3.1	12.5	9.4	9.4	3.1	9.4	40.6	3.1	—	15.6
弟	77	13.0	2.6	3.9	2.6	1.3	7.8	10.4	10.4	9.1	6.5	51.9	3.9	1.3	14.3
妹	80	8.8	5.0	3.8	1.3	6.3	12.5	13.8	5.0	7.5	7.5	58.8	3.8	1.3	7.5
その他	14	7.1	—	—	—	—	14.3	21.4	—	—	—	42.9	7.1	14.3	21.4

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、お母さんで「自由に使える時間がほしい」の割合が、きょうだいで「とくはない」の割合が、おばあさんで「自分の話を聞いてほしい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	自分の話を聞いてほしい	家族のお世話について相談の つてほしい	お世話の仕方などについて教え てほしい	家族での相談・話し合いにさんか してほしい	お世話を代わりにやってくれる 人がほしい	自由に使える時間がほしい	自由にすごせる場所がほしい	進路などのしよらいの相談に 乗ってほしい	学習のサポートをしてほしい	家庭へのお金の面でのしえんを してほしい	とくはない	分からない	その他	無回答
全 体	173	12.7	5.2	2.9	2.3	3.5	12.1	12.7	6.9	6.9	5.8	48.0	4.6	1.7	15.0
お母さん	43	18.6	9.3	2.3	4.7	2.3	23.3	14.0	4.7	9.3	7.0	32.6	9.3	—	16.3
お父さん	25	12.0	4.0	4.0	4.0	4.0	16.0	8.0	4.0	4.0	8.0	28.0	16.0	—	24.0
おばあさん	21	19.0	14.3	4.8	—	14.3	14.3	14.3	9.5	9.5	9.5	33.3	4.8	—	28.6
おじいさん	6	16.7	33.3	16.7	—	16.7	16.7	—	—	16.7	16.7	16.7	—	—	50.0
きょうだい	105	12.4	1.9	3.8	2.9	3.8	9.5	13.3	7.6	4.8	5.7	59.0	2.9	—	6.7
その他	7	28.6	14.3	—	14.3	—	28.6	28.6	28.6	14.3	—	28.6	—	28.6	14.3

【世話の理由別】

世話の理由別にみると、わからないで「とくにない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分の話を聞いてほしい	家族のお世話について相談の つてほしい	お世話の仕方などについて教え てほしい	家族での相談・話し合いにさんか してほしい	お世話を代わりにやってくれる 人がほしい	自由に使える時間がほしい	自由にすごせる場所がほしい	乗ってほしい	進路などのしゅうらいの相談に 乗ってほしい	学習のサポートをしてほしい	家庭へのお金の面でのしえんを してほしい	とくにない	分からない	その他	無回答
全体	43	18.6	9.3	2.3	4.7	2.3	23.3	14.0	4.7	9.3	7.0	32.6	9.3	-	16.3	
おとしよりの ため	4	50.0	25.0	-	-	-	25.0	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-	25.0	
おさない(小さい) ため	4	50.0	50.0	-	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	
にんちしょう のため	1	100.0	-	-	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
障がいがある ため(身体・知 てきなど)	4	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-	
かいごがひつ ようなため	3	33.3	-	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	33.3	
こころの病気 のため	7	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	57.1	28.6	14.3	14.3	42.9	14.3	14.3	-	-	
いぞんしょう のため	1	-	-	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	
その他の病気 やケガのため	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	
日本語が苦手 なため	5	40.0	40.0	-	20.0	-	20.0	-	40.0	20.0	20.0	40.0	-	-	-	
その他	5	20.0	-	-	-	-	40.0	20.0	-	40.0	-	40.0	-	-	-	
わからない	12	8.3	-	-	-	-	25.0	8.3	-	-	-	41.7	16.7	-	16.7	

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分の話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	お世話の仕方などについて教えてほしい	家族での相談・話し合いにさんかしてほしい	お世話を代わりにやってくれる人がほしい	自由に使える時間がほしい	自由にすごせる場所がほしい	進路などのしよつらいの相談に乗ってほしい	学習のサポートをしてほしい	家庭へのお金の面でのしえんをしてほしい	とくがない	分からない	その他	無回答
全体	43	18.6	9.3	2.3	4.7	2.3	23.3	14.0	4.7	9.3	7.0	32.6	9.3	-	16.3
1時間未満	16	18.8	6.3	-	-	-	18.8	18.8	6.3	6.3	6.3	31.3	12.5	-	6.3
1時間	7	14.3	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-	71.4	14.3	-	-
2時間	2	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
3時間	3	33.3	33.3	33.3	-	33.3	66.7	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-
4時間	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
5時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
8時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
10時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
11時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-

【世話をすることについて感じていること別】

世話をすることについて感じていること別にみると、せいしんてきにつらい、時間のよゆうがないで「自由に使える時間がほしい」の割合が、体力てきにつらいで「自分の話を聞いてほしい」の割合が高くなっています。

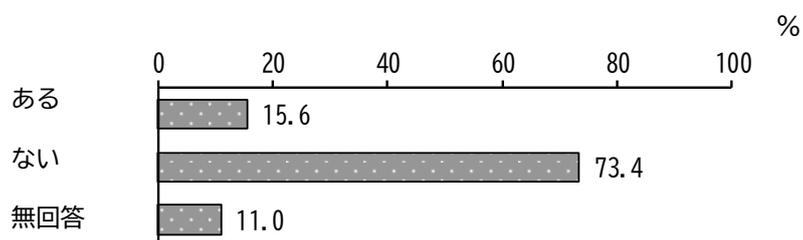
単位：%

区分	回答者数(件)	自分の話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	お世話の仕方などについて教えてほしい	家族での相談・話し合いにさんかしてほしい	お世話を代わりにやってくれる人がほしい	自由に使える時間がほしい	自由に過ごせる場所がほしい	進路などのしよらいの相談に乗ってほしい	学習のサポートをしてほしい	家庭へのお金の面でのしえんをしてほしい	とくにない	分らない	その他	無回答
全体	173	12.7	5.2	2.9	2.3	3.5	12.1	12.7	6.9	6.9	5.8	48.0	4.6	1.7	15.0
やりがいを感じている	38	21.1	13.2	5.3	—	5.3	10.5	10.5	5.3	5.3	2.6	63.2	2.6	—	2.6
楽しい	47	19.1	8.5	4.3	—	2.1	6.4	6.4	8.5	4.3	2.1	63.8	2.1	—	4.3
充じつしている	20	25.0	10.0	10.0	—	10.0	20.0	20.0	5.0	10.0	5.0	60.0	—	—	5.0
体力てきにつらい	21	33.3	23.8	14.3	4.8	14.3	28.6	19.0	19.0	14.3	9.5	23.8	9.5	4.8	4.8
せいしんてきにつらい	15	33.3	26.7	6.7	13.3	20.0	46.7	33.3	20.0	26.7	26.7	13.3	20.0	6.7	—
時間のよゆうがない	26	19.2	11.5	11.5	11.5	7.7	38.5	23.1	15.4	11.5	11.5	26.9	7.7	7.7	7.7
とくに何も感じていない	53	5.7	—	—	—	1.9	5.7	11.3	5.7	3.8	5.7	62.3	7.5	—	1.9
その他	7	28.6	14.3	14.3	14.3	—	14.3	14.3	42.9	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3

問13 あなたはお世話をひつようとしている家族のことや、お世話のなやみをだれかに相談したことはありますか。

「ある」の割合が15.6%、「ない」の割合が73.4%となっています。

回答者数 = 173



【性別】

性別にみると、女で「ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	173	15.6	73.4	11.0
男	77	11.7	68.8	19.5
女	86	16.3	80.2	3.5
その他	3	—	100.0	—
答えたくない	7	57.1	28.6	14.3

【同居家族別】

同居家族別にみると、妹で「ない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	173	15.6	73.4	11.0
お母さん	166	15.1	73.5	11.4
お父さん	145	13.8	74.5	11.7
おばあさん	33	18.2	75.8	6.1
おじいさん	12	16.7	66.7	16.7
お兄さん	35	17.1	74.3	8.6
お姉さん	32	9.4	75.0	15.6
弟	77	11.7	77.9	10.4
妹	80	11.3	82.5	6.3
その他	14	35.7	57.1	7.1

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、きょうだいで「ない」の割合が、お母さんで「ある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	173	15.6	73.4	11.0
お母さん	43	20.9	60.5	18.6
お父さん	25	12.0	60.0	28.0
おばあさん	21	19.0	61.9	19.0
おじいさん	6	16.7	33.3	50.0
きょうだい	105	13.3	83.8	2.9
その他	7	28.6	57.1	14.3

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、1時間未満で「ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	43	20.9	60.5	18.6
1時間未満	16	12.5	75.0	12.5
1時間	7	28.6	71.4	—
2時間	2	100.0	—	—
3時間	3	—	100.0	—
4時間	1	100.0	—	—
5時間	—	—	—	—
6時間	—	—	—	—
7時間	1	—	100.0	—
8時間	—	—	—	—
9時間	1	—	100.0	—
10時間	1	100.0	—	—
11時間	—	—	—	—
12時間	—	—	—	—
13時間	—	—	—	—
14時間	—	—	—	—
15時間	—	—	—	—
16時間	—	—	—	—
17時間	—	—	—	—
18時間	—	—	—	—
19時間	—	—	—	—
20時間	—	—	—	—
21時間	—	—	—	—
22時間	—	—	—	—
23時間	—	—	—	—
24時間	1	—	100.0	—

【世話をすることについて感じていること別】

世話をすることについて感じていること別にみると、体力てきにつらい、せいしんてきにつらい、時間のよゆうがないで「ある」の割合が高くなっています。

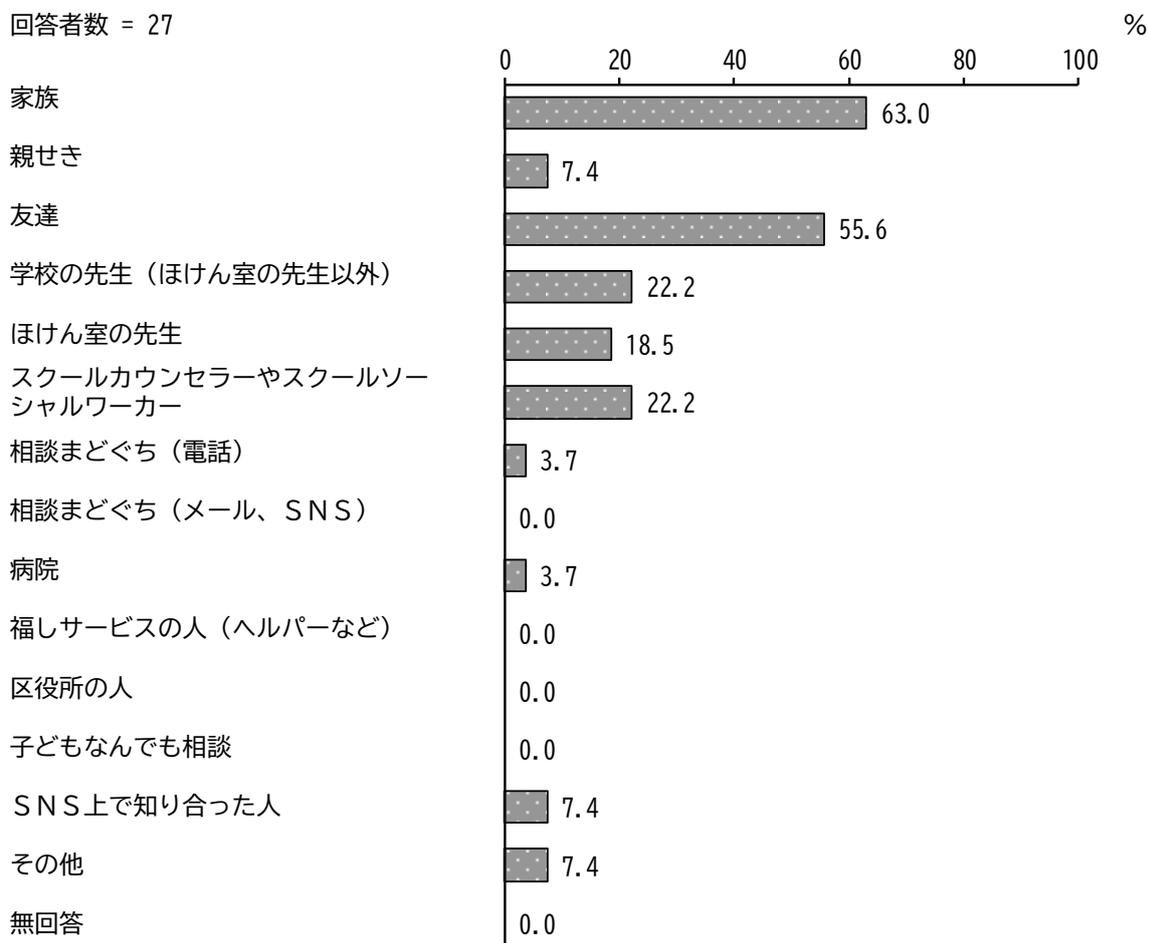
単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	173	15.6	73.4	11.0
やりがいを感じている	38	21.1	78.9	—
楽しい	47	17.0	80.9	2.1
充じつしている	20	15.0	85.0	—
体力てきにつらい	21	47.6	52.4	—
せいしんてきにつらい	15	46.7	53.3	—
時間のよゆうがない	26	34.6	65.4	—
とくに何も感じていない	53	9.4	88.7	1.9
その他	7	—	100.0	—

問 14 問 13 で「ある」と回答した方におたずねします。あなたはだれに相談しましたか。(あてはまるものすべてを選択)

「家族」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「友達」の割合が 55.6%、「学校の先生（ほけん室の先生以外）」、「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー」の割合が 22.2%となっています。

回答者数 = 27



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

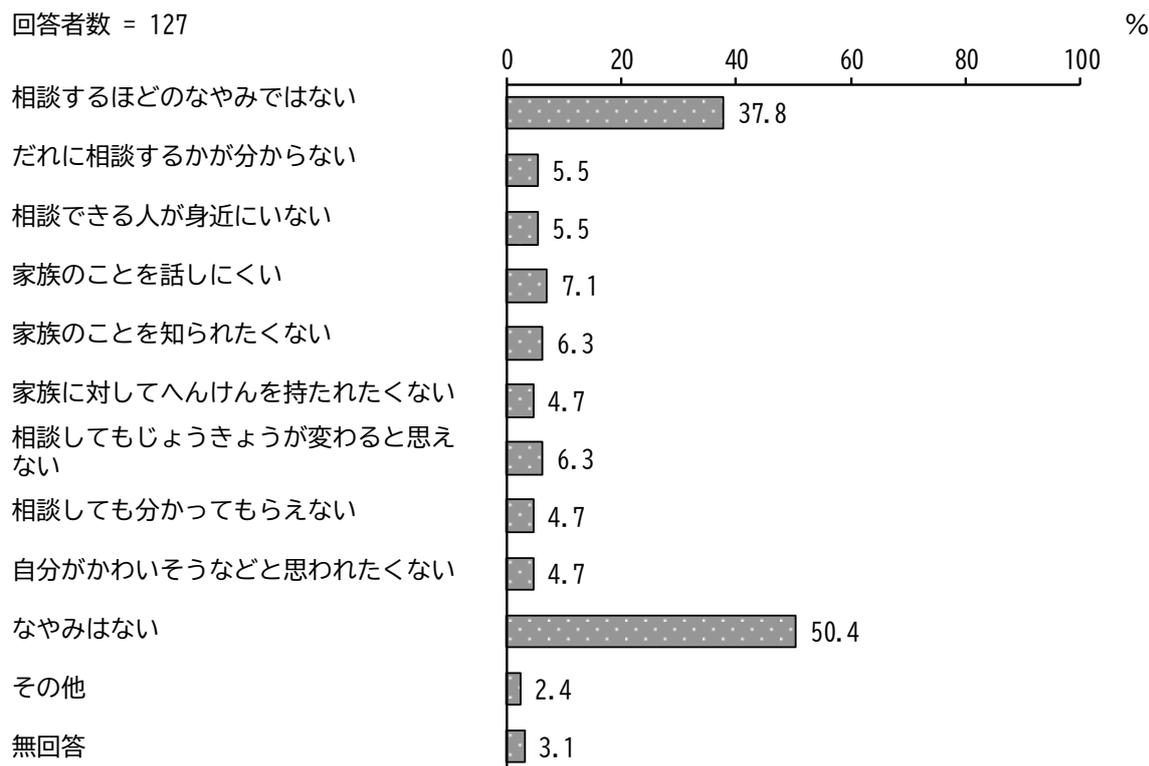
単位：%

区分	回答者数(件)	家族	親せき	友達	学校の先生(ほけん室の先生以外)	ほけん室の先生	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー	相談まどぐち(電話)	相談まどぐち(メール、SNS)	病院	福祉サービスの人(ヘルパーなど)	区役所の人	子どもなんでも相談	SNS上で知り合った人	その他	無回答
全体	27	63.0	7.4	55.6	22.2	18.5	22.2	3.7	-	3.7	-	-	-	7.4	7.4	-
男	9	100.0	11.1	55.6	22.2	11.1	22.2	-	-	-	-	-	-	11.1	-	-
女	14	50.0	7.1	57.1	21.4	14.3	21.4	7.1	-	7.1	-	-	-	-	14.3	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
答えたくない	4	25.0	-	50.0	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-

問15 問13で「ない」と回答した方におたずねします。あなたが相談しない理由を教えてください。(あてはまるものすべてを選択)

「なやみはない」の割合が50.4%と最も高く、次いで「相談するほどのなやみではない」の割合が37.8%となっています。

回答者数 = 127



【性別】

性別にみると、男で「なやみはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	相談するほどのなやみではない	だれに相談するかが分からない	相談できる人が身近にいない	家族のことを話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対してへんけんを持たれたくない	相談してもじょうきょうが変わると思えない	相談しても分かってもらえない	自分がかわいそうなどと 思われたくない	なやみはない	その他	無回答
全体	127	37.8	5.5	5.5	7.1	6.3	4.7	6.3	4.7	4.7	50.4	2.4	3.1
男	53	30.2	3.8	—	3.8	—	—	—	—	—	58.5	—	7.5
女	69	42.0	4.3	7.2	7.2	7.2	4.3	7.2	4.3	5.8	46.4	4.3	—
その他	3	66.7	66.7	66.7	66.7	100.0	100.0	100.0	100.0	66.7	—	—	—
答えたくない	2	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	—	—

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、おばあさんで「相談するほどのなやみではない」の割合が、お父さんで「なやみはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	相談するほどのなやみではない	だれに相談するかが分からない	相談できる人が身近にいない	家族のことを話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対してへんけんを持たれたくない	相談してもじょうきょうが変わると思えない	相談しても分かってもらえない	自分がかわいそうなどと 思われたくない	なやみはない	その他	無回答
全体	127	37.8	5.5	5.5	7.1	6.3	4.7	6.3	4.7	4.7	50.4	2.4	3.1
お母さん	26	38.5	15.4	11.5	15.4	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5	42.3	3.8	—
お父さん	15	20.0	13.3	13.3	20.0	6.7	6.7	13.3	13.3	13.3	60.0	—	—
おばあさん	13	53.8	7.7	—	7.7	—	—	—	—	7.7	38.5	—	—
おじいさん	2	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—	—	50.0	—	—
きょうだい	88	38.6	5.7	6.8	6.8	5.7	3.4	6.8	4.5	4.5	53.4	1.1	2.3
その他	4	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	—	25.0	25.0	—	25.0	50.0	—

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	相談するほどのなやみではない	だれに相談するかが分からない	相談できる人が身近にいない	家族のことを話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対してへんけんを持たれたくない	相談してもじょうきようが 変わると思えない	相談しても分かってもらえない	自分がかわいそうなどと 思われたくない	なやみはない	その他	無回答
全 体	26	38.5	15.4	11.5	15.4	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5	42.3	3.8	-
1時間未満	12	25.0	-	-	8.3	8.3	8.3	-	-	8.3	41.7	8.3	-
1時間	5	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0	-	-
2時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3時間	3	100.0	100.0	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	-	-	-
4時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
8時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
10時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-

【世話をすることについて感じていること別】

世話をすることについて感じていること別にみると、時間のよゆうがないで「相談するほどのなやみではない」の割合が、やりがいを感じている、とくに何も感じていないで「なやみはない」の割合が高くなっています。

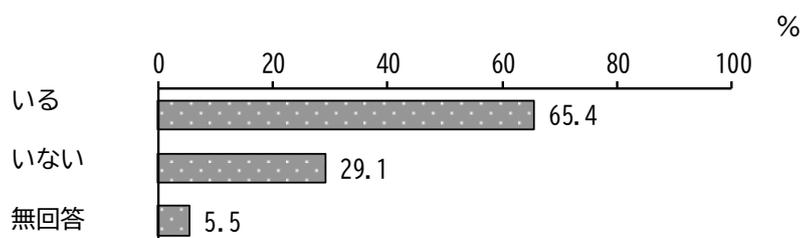
単位：％

区分	回答者数(件)	相談するほどのなやみではない	だれに相談するかが分からない	相談できる人が身近にいない	家族のことを話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対してへんけんを持たれたくない	相談してもじょうきょうが 変わると思えない	相談しても分かってもらえない	自分がかたいそうなどと 思われたくない	なやみはない	その他	無回答
全体	127	37.8	5.5	5.5	7.1	6.3	4.7	6.3	4.7	4.7	50.4	2.4	3.1
やりがいを感じている	30	30.0	10.0	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	66.7	3.3	—
楽しい	38	34.2	—	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	5.3	60.5	2.6	—
充じつしている	17	41.2	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	58.8	—	—
体力てきにつらい	11	45.5	9.1	18.2	18.2	27.3	18.2	18.2	18.2	18.2	36.4	9.1	—
せいしんてきにつらい	8	37.5	12.5	—	25.0	25.0	12.5	—	—	12.5	—	12.5	—
時間のよゆうがない	17	64.7	29.4	29.4	29.4	29.4	17.6	29.4	29.4	17.6	17.6	11.8	—
とくに何も感じていない	47	31.9	—	4.3	4.3	2.1	2.1	4.3	—	2.1	63.8	—	—
その他	7	71.4	42.9	14.3	14.3	14.3	—	14.3	14.3	—	14.3	28.6	—

問 16 問 13 で「ない」と回答した方におたずねします。今後、あなたが話したいと思ったときに、お世話をひつようとしている家族のことや、お世話のなやみを聞いてくれる人はいますか。

「いる」の割合が 65.4%、「いない」の割合が 29.1%となっています。

回答者数 = 127



【性別】

性別にみると、女で「いる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	127	65.4	29.1	5.5
男	53	64.2	30.2	5.7
女	69	71.0	24.6	4.3
その他	3	—	100.0	—
答えたくない	2	—	50.0	50.0

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、お父さん、お母さん、おばあさんで「いない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	127	65.4	29.1	5.5
お母さん	26	46.2	53.8	—
お父さん	15	40.0	60.0	—
おばあさん	13	61.5	38.5	—
おじいさん	2	—	100.0	—
きょうだい	88	71.6	23.9	4.5
その他	4	50.0	25.0	25.0

【世話をすることについて感じていること別】

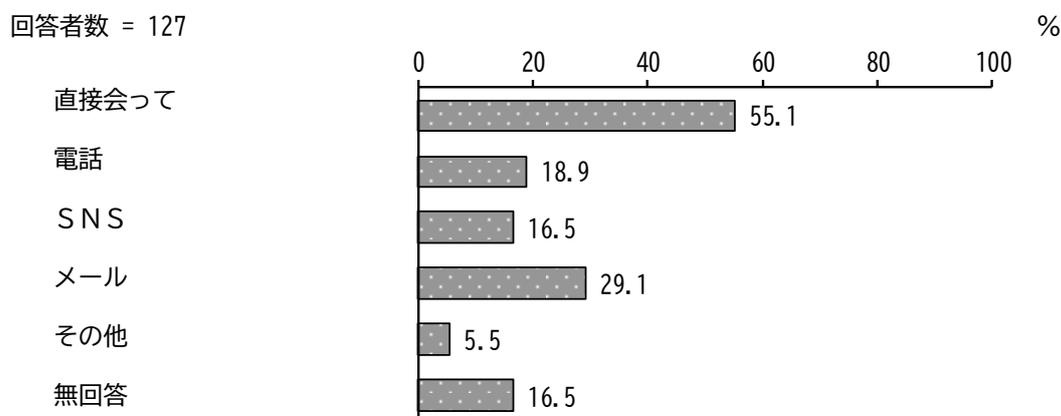
世話をすることについて感じていること別にみると、時間のよゆうがないで「いない」の割合が、充じつしている、楽しいで「いる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	127	65.4	29.1	5.5
やりがいを感じている	30	63.3	30.0	6.7
楽しい	38	78.9	15.8	5.3
充じつしている	17	82.4	11.8	5.9
体力てきにつらい	11	63.6	36.4	—
せいしんてきにつらい	8	62.5	37.5	—
時間のよゆうがない	17	47.1	52.9	—
とくに何も感じていない	47	63.8	31.9	4.3
その他	7	57.1	42.9	—

問 17 問 13 で「ない」と回答した方におたずねします。今後、あなたが話したいと思ったときに、どのような方法で話や相談をしたいですか。  
(あてはまるものすべてを選択)

「直接会って」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「メール」の割合が 29.1%、「電話」の割合が 18.9%となっています。

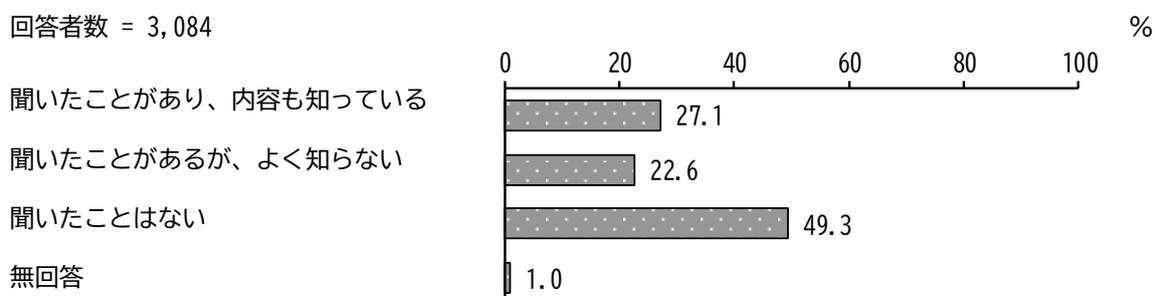


#### IV. ヤングケアラーについて

問 18 「ヤングケアラー」という言葉を、あなたはこれまでに聞いたことがありますか。

「聞いたことはない」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が 27.1%、「聞いたことがあるが、よく知らない」の割合が 22.6%となっています。

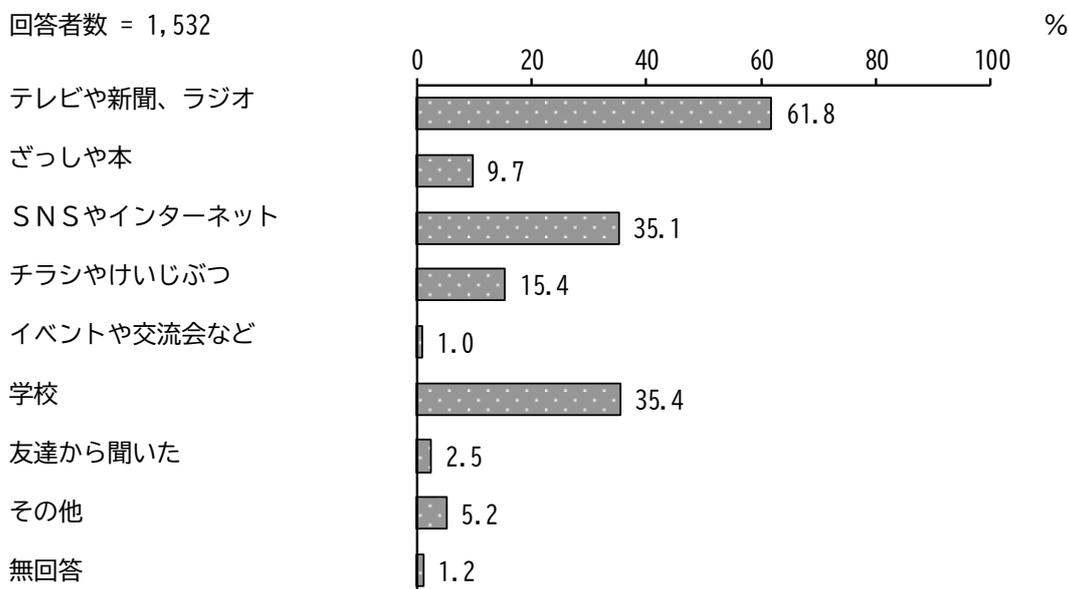
回答者数 = 3,084



問 19 問 18 で「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことがあるが、よく知らない」と回答した方におたずねします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてを選択)

「テレビや新聞、ラジオ」の割合が 61.8%と最も高く、次いで「学校」の割合が 35.4%、「SNS やインターネット」の割合が 35.1%となっています。

回答者数 = 1,532



## 自由回答（中学生）

分類回答	件数
1. 家族や周囲の人たちのサポート	96
2. 認知度、理解促進	42
3. 悩みなど相談しやすい環境づくり	82
4. 支援・補助について	135
5. 施設・環境整備の充実	45
6. 意見・要望	50
7. アンケートについて	41
8. ヤングケアラーについて思っていること	113
9. 自分の自由な時間を増やす	28
10. その他	31

### 【分類別の意見】

#### 1 家族や周囲の人たちのサポート

- ・ 助けてくれる人が必要だと思います
- ・ ヤングケアラーの方たちのために、お手伝いしてくれる人を呼べるようにする
- ・ ボランティア（お金はもらわずにお世話をする）
- ・ 常に大人の方がお世話をする。（部活、習い事などができるようになる。）
- ・ 周りの大人が、困っている子供たちに手を差し伸べられたら、その子達は、もっと、自由に生活できると思った。
- ・ 大人など、自分にとって頼れる人が必要。
- ・ できるだけ気を使うようにすることが必要だと思う
- ・ ほっとくのではなく手を差し伸べるべき
- ・ 周りの大人が助けてあげることが大切
- ・ 周りの人の気遣い
- ・ 周りの大人が協力するべき
- ・ 細かなことに気づくことが必要？
- ・ 家族がその悩みについて少しでもなくせるような取り組みを行うことが大切だと思った。
- ・ 家庭で介護してくれる人を呼ぶことや、周りに理解してもらうことがたいせつ
- ・ 世話をしている子は学校に行けるような環境を作る
- ・ 大人の助けが必要だと思う。
- ・ 周りの人が気づいてあげる。
- ・ 周りが協力し合うことが必要。

- ・ その子がお世話をしている中で大変だと思うことについて話を聞き、助けられるところを助けられると良いなと思いました。
- ・ ヤングケアラーだと知っている周りの大人が相談に乗ってあげ、その子の力に少しでもなれるようにする。
- ・ その子に時間をつくるためにボランティアなどの人が協力して世話をすればいいのではないか
- ・ 周りの大人が助けてあげることが大切だと思いました。子供だけで、親のお世話などができるわけないし、辛い思いをしていると思います。詳しく聞かれたりして、答えるので面倒くさいとかで、私がある状況にあっても、このようなアンケートには答えないと思います。
- ・ 家のことを子供がやって子供の時間が奪われるのは許せないと思った。大人がしっかりして子供のことをしっかり見てあげられるようにしてほしい。
- ・ 子供が家族にしていることを誰かにしてもらえたらいいなと思います。
- ・ 周りの大人の手厚いサポート
- ・ ヤングケアラーのために他の人が動いてほしい
- ・ 大人も色々介護できないのかなと思いました
- ・ 周りの人が気付いて手伝ってあげること
- ・ 今ヤングケアラーとして家族を支えている人には周りの人たち(大人に限らず子どもも)の理解とサポートが必要になると思う。
- ・ メンタルケア
- ・ ヤングケアラーには大人が必要だと思う
- ・ 親にも子供の考えを理解してほしい
- ・ 一人でも頼れる大人が必要
- ・ ヤングケアラーの子たちには信じられる大人が必要な気がします
- ・ ヤングケアラーのために身近に信頼できる人を増やすことが必要だと思う
- ・ そういう人たちを支援してサポートしてあげたいと思いました。
- ・ みんなで協力できればいいなと思う。
- ・ 寄り添ってあげる
- ・ 学校を休んでしまっても、授業の内容を教えてくれる
- ・ 支援しなければならない
- ・ ヤングケアラーに必要なのは色んな人(看護の人、親)など
- ・ 周りの大人の援助
- ・ そんな人達を見守ってあげるだけでも少しだけ楽になると思う
- ・ ヤングケアラーの人たちを周りの人が手伝ってあげることが大切だと思う。
- ・ cmで見たのと同じように周りの大人の人がこまめに一人ひとりに声をかけてあげる。
- ・ 周りの余裕のある大人がサポートしてあげること。
- ・ 周りの大人の人たちがサポートしてあげ、介護している子供以外に介護を手伝える人その子が1人で大変にならないようにする。
- ・ 介護している子供以外に介護を手伝える人
- ・ 最大限早く帰らせること
- ・ 家族のお世話をしている人が居たら、なるべく手伝える事があったら手伝いたいと思いました。

- ・ ヤングケアラーの人のために、学校に休み時間を多く取るなど、周りの人が手助けをすることが大切だと思う。
- ・ 見守りをしている人だったら、いつでも大人を呼べる状況をつくる事が必要だと思う
- ・ お世話とかを手伝ってくれる人たち
- ・ ヤングケアラーのために必要なことは、その保護者がしっかりとして、自分でやったり、できないのであれば(物によって)人をやったりすればヤングケアラーの人たちのために他の人達がお世話を手伝ってあげることが必要だと思う。いいので、子供が自分の意志でやりたいといっているわけではないのなら、保護者がしっかりとしなければいけないと思った。
- ・ 他の人の協力などが必要だと思う
- ・ 周りの大人たちが協力しあうことが大切
- ・ 子供の近くにいる大人がどれほど早く気づいてあげられるかで状況は変わると思う
- ・ 子供には義務教育があるからもしヤングケアラーの子がいる場合は少しでも大人ができることをしてあげてほしい。私達は 18 歳未満なのでできることできないことの制限が多い。けれど大人はそういった制限がないためヤングケアラーの子達を手伝うことができるはずなので大人の手が必要な事を手伝ってあげて欲しいです。
- ・ できるだけ近所の人や周りの人からのサポートありきで世話をするのが必要だと思う。
- ・ している仕事のどれか、例えば、買い物や料理、掃除などの家事作業を周りの大人達が手伝ってあげる。変わってあげる。
- ・ ヤングケアラーの人たちのために他の人達がお世話を手伝ってあげることが必要だと思う。
- ・ ヤングケアラーの家庭をしっかりとした大人が支えていかなければいけないと思いました。
- ・ とにかく、自分が頑張ること。長女に次女のお世話を任せることが多く、心苦しい。
- ・ 家族だから協力しないとだめ
- ・ みんなで助け合う必要がある
- ・ 子供だけで背負う大きさのものじゃない。大人がなにか手助けできないのか
- ・ サービスや、周りの人に頼れる環境がそういう人たちに必要かなと思う。
- ・ 周りの大人が気を配る。頭の片隅においておく。その人が悩む原因となる本人(その人の家族)と三者面談などで少しでもいいから、第三者を交えての話し合いをする。子供は大人と違って、社会的に一人で生きていくのはとても難しいから、家族のことで悩みがあっても逆らえなくて、そのままにしてしまうことがある。そういうときに何か少しでも変えられれば、その人の人生や将来が大きく変わってくると思う。他人ができることは少ないけど、子供にできることはもっと少ない。
- ・ 周りの大人が気づいてあげ、友達が寄り添ってあげることが大切だと思いました。
- ・ 兄弟のことを頼めるぐらい信用できる父親になってほしい
- ・ 少しは子供の手伝いをしたほうが子供も少しは楽になると思う。
- ・ 家族のお世話をしているような子を一人でやるのではなく周りの大人と一緒に世話して助け合えるといいと思います。
- ・ 親は少し休む時間などを作って子供と話したり周りの人間はその親や子供を手助けしたりしたらいいと思う
- ・ 大人ができるときがあれば大人がやる
- ・ ヤングケアラーや家族のお世話をしている子へのサービスや周りの大人の協力が必要だと思う。ヤングケアラーを助けてあげる人が必要だと思う

- ・ 補助する大人がいると思う
- ・ ヤングケアラーを助けてあげる人が必要だと思う
- ・ ヤングケアラーについて知ることができて役に立ちました。ヤングケアラーのために、周りの大人が気づいたら手伝ってあげ、相談に乗ってあげることが大切だと思います。
- ・ 周りからの認知、ご近所さん、先生方などの助け合い。
- ・ 周りの大人が気づいて、助けてあげること
- ・ ヤングケアラーの子たちはそういう生活がきっと当たり前になっているから子供だけじゃ解決できないからもっと大人が動くべき
- ・ 周りの大人たちが助けてあげることが必要だと思う。
- ・ 必要だと思うことは、ヤングケアラーは助けを求めず孤立しやすいと、聞いたことがあるので、周りも築いてあげることが大切だと思います。
- ・ ヤングケアラーは気づきにくいと聞いたことがあるので、周りが気づきやすい環境を作ることだと思います。
- ・ 他の大人も「自分には関係ないから」と思わず、助けてあげる気持ちが必要だと思う。
- ・ 周囲の大人の築きと手助け
- ・ 大人がなるべくやる
- ・ 大人自身がしっかりと家計を導き、子供の負担を減らしてあげることが大切だと思います。また、これから私達も大人になっていくので、学校などで必要な知識を身に付けていきたいです。
- ・ 周りの人が気づいていち早く気遣ってあげること
- ・ 周りの人がいつでも子どもの話を聞き改善に向けて行動すればヤングケアラーの子供は減ると思う
- ・ 一人でお世話をする事にならないように親戚やヘルパーと協力すること。
- ・ 頭を使って、子供のことをちゃんと考える。
- ・ 周囲のサポートが大切だと思う
- ・ 周りが協力し子供に自由をあげるということ
- ・ 世話をしている子供以外にも地域の人達などでその人を支えられるようにできる制度が必要だと思います。
- ・ みんなの協力

## 2 認知度、理解促進

- ・ 世界には色々な人がいるから周りの人を考えられるようにする
- ・ ヤングケアラーについて知る場を設ける
- ・ ヤングケアラーについてよく知ることが必要だと思う
- ・ ヤングケアラーを具体的にしれたので世界の現状をインターネットで知りたいです
- ・ 初めてヤングケアラーを知った
- ・ 授業を別で教えてあげる。お手伝いで困っていたら、手を貸してあげる。
- ・ 多くの人がヤングケアラーの人について考えること、支えること。
- ・ ヤングアラーということを初めて知りました。
- ・ 家族のお世話をしている子どもやヤングケアラーのために、沢山の人が理解することが必要だと思います。

- ・ ヤングケアラーのためには自分も困っている人を助け、手伝えることも大切だとしりヤングケアラーについて知れました。
- ・ ヤングケアラーという言葉は知っていたし、意味もわかっていたけど、こんなにたくさんの方が当てはまるのだなと思いました。
- ・ ヤングケアラーについてよく知っておく
- ・ ヤングケアラーという言葉を知りました。
- ・ ヤングケアラーについて全く知らなかったけど、この世の中には家族な世話をしたり家計の支えになるために働いたりしている人たちがこの世の中にいることを知りました。
- ・ 世の中には障害や病気のある家族のために手助けをしなければならない子供がいるということがわかりました
- ・ ヤングケアラーについて知った
- ・ 同じ中学生でも友達と楽しく遊べない人がいると知った。
- ・ このアンケートを通してヤングケアラーという言葉を知ってもらえる良い機会になりました。身近にヤングケアラーの人がいたら自分ができることを考えて行動したいと思った。
- ・ ヤングケアラーについて知ってもらうきっかけになるアンケートでいいなと思いました。
- ・ 自分はヤングケアラーに当てはまっていないので特に悩みはないが、学校個人でこのようにタブレットを活用し悩みを抱える人を知ってあげて担任の先生方や身近な職員の方が人目のつかないところで相談に乗ってあげることが大切だと思う
- ・ このアンケートを通して、ヤングケアラーのこと多く知ってほしい。
- ・ ヤングケアラーについて内容を詳しく知れた。
- ・ 体が不自由で大変な人もいるのだよということをまずすることが大事と思いました
- ・ ヤングケアラーという人がいるとわかりました。
- ・ 未成年で大変な人がいるという『ヤングケアラー』への理解を深めたいと思った。
- ・ ヤングケラーは障害者などの人を補助したり介護したりしている人のことをヤングケラーといいもっとそういう人たちのことを知った方が良いなと思いました。
- ・ 18歳未満の人たちが家の人のことを世話している人もいるとわかった。
- ・ 皆がその人のことを理解して生活する
- ・ 初めてヤングケアラーの存在を知り、日本という身近にも大変な思いをして過ごしている人がいるのだと改めて感じた。
- ・ このアンケートを通して初めてヤングケアラーという言葉を知りました。世の中にこのような子供がいるのだと思うととても可哀想と思います。ヤングケアラーの人たちを助けてあげたいと思いました。
- ・ ヤングケアラーは周りに悩みを相談することもできず一人で抱え込んでしまうので、このような調査をして支援することで少しでも楽になってほしいと思った。
- ・ ヤングケアラーがいるということをたくさんの生徒に教えてあげてください。ヤングケアラーの子が困っていることがあったら聞いてあげてください。
- ・ これでヤングケアラーがどんなことかがしっかりと分かりました。
- ・ ヤングケアラーについて少しだけ知ることができた。
- ・ 家族が病気で大変な子が友達にいたのでその子たちが少しでも楽しめるように周りの人達にもそういう子がいることをわかって、協力してほしいと思いました。
- ・ ヤングケアラーをなくすためチラシなどで止める活動をしてほしい
- ・ ヤングケアラーとは何かわかった。

- ・ 日本の人たちにヤングケアラーという言葉を知ってほしい
- ・ ヤングケアラーという言葉を知らない人や子供も沢山いるので、もっと発信したり、学校で話したりしてみてもいいと思った
- ・ そうゆう人がいるということを知りました。
- ・ 私達と同じぐらいの子供が、自分のことができず、親や、家族のお世話をしている人がいると知った。
- ・ ヤングケアラーについて色々な人に知ってもらおう

### 3 悩みなど相談しやすい環境づくり

- ・ 周りの人が気づいてあげて相談にのること。
- ・ 相談にのる、受け止める、認める、手伝うなど、色々なことができると思います。そのため、もし身の回りにヤングケアラーの人がいたら上記のようなことをし、少しでも助けになればと思います。また、むやみに深掘するのも考えないようにして頑張っている人に対してはとてつらいことだと思うので、相手の状況を正しく見て助けてあげることが必要だと思いました。
- ・ 家族のお世話を無理している子供達には相談にのることができる強い味方が必要だと思います
- ・ いつでも気軽に相談できる友達や大人、家族が必要だと思った。
- ・ 子供が、一人で抱え込んでしまうと子ども自身もとてつらいので周りの大人がそれについて、理解をもち、子どもたちの相談に乗ってくれ、いいだしにくい子には、先生たち自ら声掛け（大丈夫？など）をしてほしいなと思いました。
- ・ 見た目ではわからないけど、ヤングケアラーの人もあると思うから、たくさん話したりして相談にのる
- ・ 悩みを聞いてくれるようにする。
- ・ 家族のお世話をしている子供やヤングケアラーの人が相談できる相手が必要だと思います。
- ・ 周りに相談相手がいること
- ・ 相談する機会
- ・ 悩みを聞いてあげる
- ・ 困っている人や、何かを抱え込んでいる人がいたら、相談に乗って欲しい。
- ・ 相談に乗って欲しい、世話の量を減らしたい
- ・ とにかく話せる相手とかが居たらいいと思います！話してスッキリしたいです！！！！！！
- ・ 相談できる場所ふやしたりするなど
- ・ 家族の世話をしている子供やヤングケアラーのために周りの人に相談できる環境が必要だと思います。
- ・ 誰かに相談したほうがいいと思います
- ・ ヤングケアラーや家族のお世話をしている子の悩みを聞いてあげる。
- ・ 家族の世話をしている辛いと思うところまで気持ちがいくまえに気づいていればその子の中ではとても心の救いになると思います。他の人に家のことを話したくないという子もいると思います。その時は時間をかけてストレスとならない様に接するのが一番いいと思いました。
- ・ 相談しやすい環境をもっと作ったほうがいいと思います。

- ・ 周りの支援、手当やヤングケアラーの子の時間や相談する時間の確保が必要だと思う。
- ・ ヤングケアラーの人は色々な人に相談すること。
- ・ あんまり心配させない
- ・ そのような子供達が周りの人に相談しやすい環境をつくるべきだと思う。
- ・ 学校やヤングケアラーが安心して相談が出来る場所を設置すれば少しはヤングケアラーでつらい思いをする人は減ると思います。
- ・ 学校などでみんなの悩みを聞いてほしい。大人がお世話してほしい。
- ・ 周りの人に助けを求めることが大切。
- ・ まずアンケートをしても答えない子がいっぱいいると思います。だから学校生活の中やなにか一つ一つの行動が疲れていて、ぐったりしていたら気づいてあげるのが一番だと思います。ですが、そううまく行かないことです。みんなに聞いてみる（めんどうくさいと思いますが）ことが一番だと思います。
- ・ ヤングケアラーの子供が安心して相談できる場所
- ・ 大切だと思うこと：相談できる環境をつくること
- ・ 相談したくても相談できない人へのサポートはとても難しいが、周りの大人たちへの信頼を高め、少しでも相談できる環境をつくってあげることが必要だと思った。
- ・ 話を聞いてあげる
- ・ 違うもの扱いするようなことを絶対にしない。その人に連絡をとったり相談に乗ったりなどのできる範囲の協力を試みる
- ・ 学校側が積極的に相談の機会を作る
- ・ ヤングケアラーの人たちは、私達が思っている以上に日々のストレスを感じていると思うので話を聞いてあげ、コミュニケーションをたくさん取って欲しいと思いました。
- ・ 相談できる環境が必要だと思う。
- ・ 悩みを抱えているかもしれないからカウンセリングが必要だと思う。
- ・ ヤングケアラーの子が一人で抱え込まないように話をきいてあげる
- ・ ヤングケアラーの人を出来るだけすぐに見つけて、話を聞きその人がもうその悩みを抱え込む事がないようにするのが必要だと思いました。
- ・ ヤングケアラーはいつの間にか、気づかないうちになっていたということが多く聞いたことがあるのでアンケートで多そうならば専門の先生と生徒全員話す機会を与えて相談しにくいという雰囲気もなくしながらも相談できるようにすることが必要だと思います。
- ・ 悩みを相談できる人
- ・ そういうことがないように仕組を整える
- ・ 気づいてもらえたり、相談したりできる大人が周りに必要
- ・ まだまだヤングケアラーの子どもたちの把握ができていない部分があると思うので教師などが積極的にひとりひとりに話をしてその子のケアをしてほしいと思います。
- ・ 気軽に相談できる環境づくり。障害のある家族がいても、全員がたいへんなわけじゃない
- ・ ヤングケアラーの人たちのために、支援や相談できるような場所を作って欲しいです。
- ・ どんな小さなことでも相談をすること
- ・ 友達がヤングケアラーかはわからないが、もし困っていることがある子がいたら相談に乗ってあげたい
- ・ カウンセリング

- ・ 公衆電話に相談窓口などにただでかけられるような機能をつけて周りから見てもただたんに相談ではなく電話をしているように見えたりするようにしたらスマホがなかったり電話をしようとも親が見てできないこがもう少し相談しやすいと思う
- ・ 悩み事を聞いてくれる人が必要
- ・ 学校側からのアプローチ。ヤングケアラーと呼ばれる人々は、自分の悩みなどを家族に相談することが難しいと聞いたことがあるから。
- ・ スクールカウンセラーなど相談できる場所をもっと増やすことが必要だと思う。
- ・ みんなが平等に幸せに暮らせるようにヤングケアラーの子がいたら相談相手になってあげてほしい
- ・ 本人の話聞くことが必要だと思います。
- ・ ヤングケアラーの人たちの相談ができる場所
- ・ 周りの人に楽に相談できる環境を作りたい。
- ・ 悩みを打ち明けられる人を一人でも多く作って欲しい
- ・ 一人で抱え込まずに誰かに相談することが大切
- ・ 悩みを抱えずに話したほうがいい
- ・ 近所の人や周りの大人たちに相談しやすい環境をつくるのがひつようだとおもった
- ・ 家族のお世話をしている子には、学校などで相談できる場を用意してあげるといいと思う
- ・ ヤングケアラーの人が相談できる機関や場所など、公的な支援がもっと増えたらいいと思います。また、もっと気軽に相談しやすいようになったら良いと思います。
- ・ ヤングケアラーの人が相談しやすい窓口などを作る
- ・ ヤングケアラーの子が身近にいる人はその子の相談に乗ってあげ、頼れる人を作ることが必要だと思う
- ・ ヤングケアラーで困っている人がいたらすぐに周りの人に相談してほしいと思った。
- ・ ヤングケアラーで困っている子供がいるのであれば、その人たちが、相談できる窓口みたいなどを作ればいいと思った。政府が動かなければいけない問題だと思った。
- ・ もしもヤングケアラーの子がいたら、周りの人達が気づいて相談に乗ってあげたりすることが大切だと思った。
- ・ 周りの大人が少しでも相談に乗れるようにしたほうがいいと思う
- ・ ヤングケアラーの人はできれば誰かに相談したほうが良いと思いました。このアンケートで1人でもヤングケアラーのことについて解決できるようになったら良いと思います。
- ・ ヤングケアラーの子が自由にやりたいことをやり、相談に乗ってあげることが必要だと思います。
- ・ 大丈夫だと言っているでも本当に大丈夫だと思込めないでほしい。相談できる相手がいなくても相談できないこともたくさんあるから子供を気にかけてほしい。子供は小さい頃のことをあまり覚えていないかと思うかもしれないけれども最近のことよりもむかしのことも方が覚えています。
- ・ 悩んでいることや困っている子が気軽に相談できるような環境があってほしい。
- ・ 学校でのカウンセリングを月に半年に一回などの頻度で実施してもらいたい。
- ・ もっと相談できるところを広めたほうがいいと思います。
- ・ ヤングケアラーの人が少しでも誰かに悩みを相談すること。
- ・ 相談
- ・ 相談できる場を作るのがいいと思う

- ・ いろんな悩みなどを話せるのでとても良いと思った。
- ・ ヤングケアラーの人たちが相談できる場所や環境を作ってあげる。
- ・ 隠さずに、大人の人や先生友達に伝えたほうが良いと思います。
- ・ 周りの人に相談できる何かを作れば良いと思う

#### 4 支援・補助について

- ・ 先生は忙しいから、もっと子ども家庭支援センターの働きかけが必要だと思う。
- ・ 国などが積極的に困っている人などの手助けをすればヤングケアラーの助けになると思う。また医療施設などの充実なども必要だと思う。
- ・ 家族のためにヤングケラーをやっている人は極力減らすべきだと思います。すぐに助けてあげてほしいです。
- ・ 専門の人やアドバイザーなどがいれば安心できそう
- ・ このアンケートを通して、ヤングケアラーじゃない僕たちがそういうことで困っている人達を助けてあげなきゃいけないのだな、と実感しました。子どもたちの代わりに世話をしてくれるヘルパーさんなどに頼むためや、塾や進学先に困らないためのお金を寄付などで集める必要があるのではないかな、と思いました。もし、そういう活動があったら、僕も寄付に協力したいなと思いました。
- ・ ヤングケアラーの子とかがいる中、そういう子に対する援助や相談に乗ってあげたりすることが必要だと思う。
- ・ ヤングケラーのために、家事や看病、介護をかわりにする人などが必要だと思う。
- ・ 皆を見守ってほしい
- ・ 子供は子供としての生活をさせたあげる事が大切。
- ・ 私はヤングケアラーではないけど、実際にヤングケアラーの子は毎日過ごすのがとても大変だと思うので、手伝ってほしいときに、すぐ頼めるようなところを何個か作ると思います。
- ・ 簡単に手続きができて、学童など子供が安心して過ごせる場所がもっと多く必要だと思う。
- ・ 保証金とかもっと上げたほうが良いのではないのでしょうか
- ・ 色んな人が手助けすることが大事だと思う
- ・ お国様がなんとかしてくださると私は信じています
- ・ 本当に悩んでいる人は、誰にも言えないで1人でずっと苦しんでいると思うから、ちゃんと助けてあげて欲しい。
- ・ 老人のお世話をしているなら、老人ホームなどにはいれればいいが、それにはお金もかかるから、そういう理由でお世話しなきゃならない人がいるのかもしれないと思いました。
- ・ ヤングケアラーには、心の支えとなるものや相談相手、資金援助(、勉強関係)などが必要だと思う。(すでにあるかもしれないが)
- ・ 私がヤングケアラーというわけではないし、身近にそういう人がいないから、どうしたらいいのかは分からない。だけど、分かってもらう(知る)ことは、誰にでも必要だと思う。ただ、ヤングケアラーという言葉だけを知るのでは意味がないし、私のようにどんな人なのかをわかっているだけでもあまり意味がないと思うから、どうしたらいいのか、何ができるかなど、詳しく調べたりする機会(調べようと思っても、やらないことが多いと思うから)が必要だと思う。
- ・ ケアしやすい環境が必要

- ・ ヤングケアラーには時間が必要だと思った。勉強する時間がなければ将来が困るし、社会にでるのが難しくなるから。大人はヤングケアラーを隠している人がいるかも知れないのでよく調べる。とにかくヤングケアラーという存在を見逃してはいけないと思う。
- ・ 支えてもらう時間
- ・ 市や区からの支援
- ・ 周りの人からの支援やサポート
- ・ まず家族のお世話をしているヤングケアラーの子供の人を発見したら、市町村がサポーターや介護者などを派遣することが必要だと思います。
- ・ その家庭を手伝う人を派遣すべきだと思う。
- ・ 障害などを患っている家族の世話している子供までが体調を崩したりしないような環境が必要だと思う
- ・ 子供がいる世帯に補助金をたくさんあげる。日本自体の人口は減っているから補助金を渡す制度を作ることによって人口減少の問題にも答えられる。
- ・ 税金を減らしてほしい。国は予算を守ってほしい。無駄なことに税金を使わないでほしい
- ・ 介護の人を雇う（無料で）
- ・ ヤングケアラーに対する寄付や保護が必要だと思った。
- ・ 十分しているとは思いますが、しっかりと手厚く支援してあげてほしい。
- ・ 登下校の時間を調整してあげる
- ・ ヘルパーを雇う
- ・ 子供が無理やり働いたりすることがないように、お金がない家などに食料などを寄付する  
といいと思う
- ・ ヤングケアラーのために税金を少しでも使って手助けしたら良いのではないかな
- ・ 子供やヤングケアラーの生活の保護、子供やヤングケアラー、その家族などへの手当を充実できるように周りの人間が協力し、サポートしていくべきだと思った。
- ・ 介護士、介護施設、保育士、保育施設が必要だと思いました。また、ヤングケアラーさんに気づいてあげる、話をきいてあげると助かるのではないかなと思う。SDGs などにもあるように、小さな子どもが家族のお世話などで勉強をする時間などが減らないようにする必要があったと思いました。すべての子が平等に勉強を行える環境をつくってあげてほしいです。
- ・ 高校までの授業料とかを政府が6割負担できればいいなと思った
- ・ サポートなどをしてほしいと思う
- ・ お金や食料品、生活用品などのサポートが必要だと思う
- ・ 外国でよくあるような、大人のお手伝いさんをヤングケアラーさんに派遣させてあげたい
- ・ 金と人が必要
- ・ 国や都、区などの支援などが必要だと思いました。（もうあるかもしれませんが）また、もう少し悩みを話しやすい世の中になってほしいと思いました。
- ・ 金
- ・ 学校や習い事に行っているときに誰かにみてもらえる安心感
- ・ 金を出せ
- ・ お手伝いさんを頼む。
- ・ 給付金

- ・ 募金活動でそういう人たちの役に立つ
- ・ ヤングケアラーに対して必要だと思うことがあるのであれば税金を国会議員の給料や天皇制度を廃止して浮いた税金を使うべき。そんなにヤングケアラーを助けたいのだったら行動するべきだと思います
- ・ 募金活動
  - ・ お金を寄付してあげる
  - ・ 子どもたちやそういう家庭に支援をしてあげたらいい。
  - ・ お手伝いさん来てもらう
  - ・ 子どもたちやそういう家庭に支援をしてあげたらいい。
  - ・ もっと安くヘルパーさんに頼れるようにすることが必要だと思います
  - ・ 寄付をしたほうがいいと思いました。
  - ・ ヤングケアラーのためにネットで少ない時間で勉強ができるシステムが必要だと思う。
  - ・ 学校に通える時間の確保や、学校で好きなタイミングで授業を受けられるようになることが必要だと感じた。
  - ・ 国からの支援をもう少し増やす
- ・ お金
  - ・ 無駄なところに税金を使わないで、ヤングケアラーで困っている人たちにもっと税金を使うべきだと思います
  - ・ もう少し区がヤングケアラーを支援してあげたほうが良いと思いました。
  - ・ 高齢者用予算ばかりじゃなく子供関連にも予算を費やしてほしい
  - ・ 経済的支援が必要だと思う
  - ・ 税金で支援金を配るなども実施すると良いと思う
  - ・ 障害や病気を持っている人がいる家庭への金銭面での援助が必要だと思います。
- ・ 支援活動
  - ・ ヤングケアラーのためのお金がなくても雇えるお手伝いさんなどがあると良いと思う
  - ・ 一人、付き添いの人を付けてあげる。例えば、定年したけど、まだ働け、そういう仕事につきたいひとを募集する。
  - ・ 安定的な時間とお金が大事だと思います
  - ・ お金をあげよう。物資の支援も
- ・ 金
  - ・ ヤングケアラーは自治体や国が支援することが大切だと思います。国は金をばらまけばいいと思っているが
  - ・ 国や自治体が全面的にそのヤングケアラーのお金や生活などを保護し、その人にストレスのないよう生活し、職に就けるまでサポートすることが必要だと思う。その分、税を国民や区民に取る必要があるが、それはしょうがないことだと思う。
  - ・ 国はもっとこういったことにお金を使うべき
  - ・ 国が資金面での補助をするべきだと思う。
  - ・ ヤングケアラーへの地域単位で行う活動など
  - ・ 生活に必要なお金と近くでサポートし続けてくれる大人が必要だと思う
  - ・ その実態を知り、その人に合った教育の仕組みや補助、またその人が必要とするのであれば、カウンセリングやヘルパーの仕組みを作って、全国に発信することが大事だと思う。

- ・ 困っている人のために給付金を送れば良いと思う
- ・ もっと行政の直接的な支援が必要だと思った
- ・ 自分と同じくらいの人が辛い思いをしているかと思うととても胸が痛みます。ヤングケアラーさんが居る家にヘルパーさんと呼んでそのヘルパーさんの代金を市や都が援助したらいいと思いました（もしお金が無いなら全国旅行支援を無くし、政治家を減らしてその分を回したらいいと思う）。私の家はコロナの給付金をお父さんに全部取られました。そのお金で1人旅行に行ったりパソコンを買ったりしています。申し訳ないですがこれは給付金の意味が無い気がします。ですからこれから給付金はない方が個人的にいいと思います。ここからは私の悩みです。お父さんに学費を払ってもらっていません。全て母方のおじいちゃんが出してくれています。年金暮らしのおじいちゃんに出して頂いているのは私自身すごく悲しいです。お母さんが働くというのとも考えましたが、私の家は4人姉妹なので「子どもを育てる。」という仕事で限界だと感じたので働いて欲しいとは言えませんでした。お父さんの問題はお金だけでは無いです。幼稚園時代や近年の夏はエアコンをつけさせて貰えませんでした。家を引っ越して付けられる時もあったのですが、ドアが開いてあると怒ってエアコンのリモコンを隠されてしまい、付けられなくなりました。そしていつも私の自転車を乗り回しています。その自転車は母がお金も無いのに買ってくれた安いけど大切な自転車です。たまにパンクしていたり勝手にサドルのカバーが着いていたりライトが着いていたり、壊したら怒られるのがプレッシャーで最近あまり乗る気になれません。殴られたり蹴られたりなどの見た目に出る虐待は無く、至って健康体なのでそこはまだ他の人よりマシなのかもしれません。でも見た目に出ない分、周りの人は気づいてくれないし、先生にも言いにくいです。それに私は人と話すのが得意では無いので、少し学校に行くのがめんどくさく感じる人が多いです。ちゃんと仲の良い子はいるので毎日行っているのですが、学校に行けば家族の自慢を聞いたりすることもあるのでそこを自分の家族と比べて少し辛くなる時もあります。1度だけ友達に相談したのですが「でも好きな所あるでしょ？」と言われなんとも言えない気持ちになりました。お父さんがおかしいのはわかっているけど辛いです。
- ・ このようなアンケートがあると簡単に正直に悩みを言えたり、思っていることを言えたりするのでとても良いです。ありがたいなと思います。
- ・ お金を渡す。
- ・ 支援金などが必要だと思います。
- ・ お金の寄付(募金のような形で)
- ・ 給付金を月に10万くらい渡すべきだと思います。
- ・ 家族お世話をしている子どもたちに対する補助をしてくれる大人を派遣したほうが良いと思います
- ・ お世話をしている子供にしっかりとした教育を受けられるようにすること。お世話されている人をお世話する人(大人)が必要。
- ・ 国が資金を供給したほうが良いと思います
- ・ 必要だと思うことはそういう子の支援
- ・ 金の集金
- ・ 国などがヤングケアラーの人を支える取り組みではどんなことがあるのかを教えてほしい。
- ・ 親の支援だけではなくヤングケアラーへの具体的な支援
- ・ お世話をする金
- ・ 心のケア
- ・ 国
- ・ 補助

- ・ 国の援助
- ・ 金
- ・ 国からの何かしらの援助。
- ・ 人に頼れる環境
- ・ 寄付募金をする
- ・ ヤングケアラーへの支援
- ・ 援助金
- ・ 介護する時間
- ・ 家族のお世話をしている子をサポートして行ってほしいと思いました。
- ・ 総理とかがヤングケアラーを支援するお金を配布したほうがいいと思います。
- ・ 支援金や世話の手伝い（迷惑にならない程度）など
- ・ ヤングケアラーのために募金活動をし、お医者さんや、家に誰かが手伝いに来てくれるようなシステムを作ればいいと思う
- ・ ヤングケアラーの人はヘルパーさんを無料で使えるようにすると良いと思う。
- ・ お金あげる
- ・ ヤングケアラーの募金
- ・ ヤングケアラーを支援する行動は今どのくらい進んでいるのか気になった。それと、そもそもそのことを言えない人もいるということは考えているのか、その対策はどうしているのかも気になった。
- ・ とりあえず障害が直せるようになったら楽になると思う。とても高くなると思うけど。検討と言っている場合じゃないでしょう。ヤングケアラーの自覚ない子とか言えない子いるから大人ならそれぐらい察してほしいです。金は渡してくれよー？さすがに。大変だと思うし、小学生、シングルマザーで母が持病もちだったらやばいでしょ？詳しいことは知らないけど
- ・ 動けるけど運動がほとんどできないからお父さんが難病だから薬を安くしたりや今の技術でできる治療をして薬を安くしてほしい
- ・ 国からもっと家庭に金をあげたほうがいいと思う。税金が高すぎる。
- ・ もっとみんなが募金などをしてあげるといいと思う。
- ・ 子どものお世話をしてくれる家族、人
- ・ 周りに理解してもらうこと。金銭的支援、心のケア
- ・ 誰でも平等に教育が受けられるように授業の内容をまとめたプリントを作ればいいと思う。
- ・ そういうお家にはお金の手当を増やして欲しい
- ・ 大人の人が支援に行ってほしい
- ・ ヘルパーを頼みたくてもお金がなかったら頼めないから、お金が必要。
- ・ ヤングケアラーへの補助金
- ・ 無料で食べ物上げる
- ・ 寄付
- ・ ヤングケアラーの人たち同士で会える機会を設けたりする。(同じ環境だった人と合うことで、自分が思っていたことを共感できるから。)
- ・ お世話が必要な人を支援して子供の負担を減らしてほしい
- ・ 困っている人がこの世の中にはたくさんいるからそういう人を支援するものを作ったほうが良いと思う。

- ・ ヤングケアラーをなくすために、定期的にその家に行ったほうがいいのか
- ・ その人を手伝う人が必要だと思う。
- ・ 家で料理をしてくれる人
- ・ ヘルパーを増やし、仕事量を増やすのがいいと思います
- ・ 必要だと思うこと：親のために働いたりしている（家事も）子供に生活を少しでも楽になるといいと思うので、1ヶ月に1回お手伝いさんが手伝いに来るということを実施できればいいと思いました。
- ・ ヤングケアラーの人たちがちゃんとした生活がおくれるように無料で不自由な家族の介護をしてくれるひとが必要だと思います。

## 5 施設・環境整備の充実

- ・ 小さい子供が本当は大人がすることのような、家事や介護などをして学校にいけなくなってしまうのは可哀想だから、もしも、お金に負担がなければ、病気や障害を持っている家族を施設などに入れることが良いと思う。
- ・ ヤングケアラーのために、施設で介護してもらうためのお金を減らせばいいのではないかと思いました。
- ・ 子供がそういう事態に陥っている事を、楽に言えるような環境づくりや、それを補助する制度または代行してくれる制度の実施などが必要だと考える。これがまた有料だったりすると、頼みづらくなるのでお金は国持ちでいいと思う。そして、そんな制度が実施された際の告知を大々的にすべきだと思う。
- ・ 定期的に同じ悩みを持つ人達を集め集会のようなものを開き、障害者の方や、高齢者の方をデイサービスみたいなところに無料で預けて、悩みを持つ人達同士で遊んだり、日頃のストレスを吐き出したりできるサービスを作る。
- ・ 専門の業者がいればいいと思う
- ・ その家の障害者を介護してくれるサービスがあればいいなと思いました
- ・ 施設など作り過ぎやすくしたほうがいい。老人ホームをあまり増やしすぎないで施設などを作ったほうがいい
- ・ 施設など多くの場所に預かってもらえるところを作り子供が楽できればいいなと思った。
- ・ 老人ホームを作る
- ・ 私の兄も軽度の障がいをもっています。私自身は困ったことはないけれど身近にそのような人がいて世話をすることにより自分の人生を台無しにしてほしくないなと思いました。お金があまりなくても介護をうけられる制度がもう少し浸透してほしいです。
- ・ 医療機関が頑張っ欲しい。ヤングケアラーの種類がたくさんあることを知れて、良かった。
- ・ 家に来てくれるヘルパーさんなどを積極的に取り入れやすい環境を作ること。制度を作る。金額を区が負担する。ヤングケアラーに知ってもらう。など
- ・ 介護のサポートをより充実させる
- ・ 政府がその家に人を派遣するなどしてその子の自分の時間を作ってあげることが大切だと思う。
- ・ 福祉の充実
- ・ ヤングケアラーをサポートするような施設を作る。
- ・ また、その人の負担を減らせるように無償で介護施設に入居できるようにするのがいいと思う。

- ・ 難しいと思いますが、何かしらの施設を作ったらいいと思います
- ・ 介護施設の紹介など
- ・ 障害者や病気のある家族が入る施設をつくり子供が勉強できる時間を作ってあげること。
- ・ お金や日常生活に必要な物資
- ・ ヤングケアラー対策の職業または、政策の提案を企画してほしい
- ・ やっぱり行政が、障害者とかへの支援をしっかりとやったほうが良い
- ・ 学習のサポートをしてくれる施設があったらどうか？と思いました。
- ・ 家族の世話をしている、自分のために時間を使えない子供のために老人ホームのような施設を作り、家に来て介護をしてくれる人を国がやとって子どもたちにも自由に使える時間をつくるということなどが今世の中に必要なことだと思います。
- ・ 介護施設などを無料や料金を減らす
- ・ 障害がある人とかを預けてお世話をしてくれる施設がもっと必要だと思う
- ・ 介護士を呼ぶべきだと思います
- ・ 介護のひとが来てくれたらいいと思う
- ・ 高齢者が原因の場合施設を作る
- ・ もし自分がヤングケアラーだったら無償で私の代わりにお手伝いをしてくれる人やその子の負担を減らしてあげてほしい
- ・ 施設を設ける
- ・ ヤングケアラーは時間がたりず、自分のために時間が使えていない現状があると思った。なので、そういった人を支えるには、ヤングケアラーを補助する専門の人が身近にいるといいと思う。
- ・ 施設を増やす。業の発展をさせる。税金の使い方を変える
- ・ 家族のお世話をしてくれる施設がもっと必要だと思います。
- ・ ヤングケアラーに必要だと思うのは、障害者手当をもっと厚くすることが必要だと思うし、障害者をあずかっている施設の虐待などが多いため預けたくないという人が増えているので、そうゆう所をしっかりとしたほうがいいと思います。
- ・ 介護施設以外で介護をするサービス、家にいて代わりに介護をする仕事、また知らない人が家にいて不安な人は例として障がい者の人に対するストレスが出ない介護の仕方、疲れのない介護の仕方などの講座？が増える。出来ればいいと思った
- ・ 自分はいい環境で育っているなと思った。みんなで協力して生活できる施設やマンション、アパートを作ればいいと思う。
- ・ 老人ホームなどを増やし、年を取っているひとも過ごしやすい環境にする
- ・ 法律や条例的にそのような人を支援する仕組みがヤングケアラーなどに必要だと思います。
- ・ 障害がいたら助けてほしい
- ・ 代わりに世話をしてくれる団体を作る
- ・ 自分以外のことを優先してやってしまうと自分の時間が取れずストレス等も多くなると思う。それに加えてお金の問題だとかもあると思うので周りの先生やスクールカウンセラーさんに相談したり、寄付金等が受け取れるような施設を困っている子に教えてあげたり積極的に声をかけるのがいいと思った。
- ・ ヤングケアラーや世話をされている人などを施設に搬送させたりなどをしてできるだけ多い人を子供本人の人権を守ろうとすることが必要だと思う。
- ・ ヤングケアラーの権利が守られるような、世の中にすることが必要だと思いました。

## 6 意見・要望

- ・ 勝手な悩みですが、カウンセラーの方に声をかけにくいかもしれないから、カウンセラーの方が声をかけてほしいと思います。
- ・ そういう人が減って欲しい
- ・ 子供の気持ちを考える
- ・ ヤングケアラーには、大人の助けが必要だと思う。すぐに助けてあげて欲しい。
- ・ 学校生活での自分の仲が良い友達や今までで相談してきたことを踏まえてクラス替えをしてほしかったです。話せる友達がなくて話さないで一日が終わってしまうことも多くなりました。他クラスになってしまい友達とも話す機会が少なくなってしまって距離が遠くなって不安になってしまいました。新学期に入ってから泣くことが増えた気がして辛いです。
- ・ 頑張りましょう
- ・ ヤングケアラーをしている人にボランティア活動があればいいと思いました。
- ・ 学校を休まなくては行けない子のためにその日にやった学習内容を載せてあげる。
- ・ 学校の手紙の外国語版をつくった方がいいと思った。人と考え方が違うことが多い気がします。
- ・ 自分も家族のために何かできることをしたいと思った。
- ・ 笑顔いっぱいにして誰もが平等になること
- ・ ヤングケアラーのためになる機械的な進歩が必要だと思う。
- ・ なるべくみんなで協力して行くことが大切だと思いました。
- ・ 子供が自由に生きられる環境が大切だと思いました
- ・ 子供なのに世話するのは良くないと思う。親の使命を果たしてほしい
- ・ 家族のお世話をしている子に、なにか対策をしたほうが良いと思う
- ・ これは悩んでいる子供のケアになるのか
- ・ ヤングケアラーの人が安心して勉強でき、部活動ができるような環境を作ってもらえると皆が仲良く暮らせると思う。
- ・ 学校にいる間だけでも楽にしてあげることが大切
- ・ 学校側がちゃんと家庭の状況の理解をする
- ・ 大人がやっていることを子供に押し付けないでほしいと思った
- ・ このアンケートを通じて、時間を自由に使えない子供がいることを初めて知った。ヤングケアラーが少しでも減るための取り組みをしてほしい。
- ・ お母さんに福祉が減っていると聞いたことがあるのですが、そのこととヤングケアラーは関係がありますか？
- ・ 子供がしなくていいようにヤングケアラー撲滅団体を作ったらいい
- ・ 改めて親の責任というのをしっかり理解した上で生活し、子供としての権利をもう一度見直さなければならない現状である。
- ・ 本来日本国憲法で守られている権利が特殊な事情等で守られていないのは大問題な事案であるため、政策で変えていく必要がある
- ・ ヤングケアラーの人でもしたいことをできるものを作って欲しいです
- ・ もっと社会から子供というものの価値観を平等にするべきだと思う
- ・ 自分が頑張らないとか自分自身が愛されていない気持ちが出てくるのでできる範囲で見たり、深く探らず側にいたり、目に見える形で愛情表現してほしいなと思う。

- ・ 宿題の量が多すぎるから減らすべき。量より質。学校でしっかり学べる機会を。
- ・ 応援する
- ・ その人が苦しくならないようにする
- ・ 親が子供に世話をさせるのはあんま良くない
- ・ このような問題が深刻化している理由の一つに、少子高齢化もあるのではないかと思った。少子高齢化によって年金などの面でも若い人に負担がかかっているし、ヤングケアラーや老老介護など、たくさん問題も起きている。少しでも少子高齢化が解消されれば良いと思った。
- ・ ボランティアをしてもらう
- ・ ヤングケアラーだと隠していることに気づいてあげること。寄り添うというか、一緒に楽しくしてあげること。この子と話すストレス発散になるなという「この子」になる！
- ・ ヤングケアラーの子を助けるようなお仕事があればいいと思いました
- ・ ヤングケアラーができる限り少なくなるように、もしくはヤングケアラーの負担が少なくなるようにしてほしい。
- ・ そうゆう、人のためにみんなで助け合ったりするのが大切。
- ・ そういう子供が一人でも少なくなるように私も気をつけて生活したいと思った
- ・ 安心感
- ・ 母親の体調が心配。毎日大量にアルコールを摂取し、しょっちゅう体調を崩している。一度吐血したことがあって、それでも酒を飲むことをやめたくないため頑なに病院に行こうとしない。こちらから説得することもできないのでとても心配。
- ・ 相談に乗って欲しい。
- ・ 家族のためになにかすること
- ・ 必要だと思うことは、ヤングケアラーを支える大人だと思います。
- ・ もっと大人は子供の意見を聞いて色々な人に相談してみればきっと解決されると思いました。
- ・ ヤングケアラーが一人でも減るように、みんなが福祉を受けられたら良いなと思います。
- ・ 環境を変えること
- ・ 自分では、やりたくないという人もいるから、手伝ってあげて、将来に必要なだから今のうちに覚えようと教えてあげる
- ・ ヤングケアラーの人が集まって話し会える場所をたくさん作ったら良いと思う。

## 7 アンケートについて

- ・ このアンケートを通して、ヤングケアラーの実態について考えされた。
- ・ 私は、ヤングケアラーについて知りませんでした。ですが、今回のアンケートでヤングケアラーはこどもの学習にも影響が出てしまいますし、お家のことなどは大人がやるべきだと思いました。
- ・ このアンケートのおかげでヤングケアラーについてよくわかった。
- ・ ヤングケアラーというものを今回始めて知ったので、このアンケートなどでなくなれば良いなとおもいました。
- ・ このアンケートで誰か一人でも救える人が増えたらいいなと思いました
- ・ このアンケートなど自分の思いを伝える場があるのはいいなと思った
- ・ このようなアンケートで初めて知れたので、やって良かったと思いました

- ・ ヤングケアラーのアンケートをするのはいいとおもいます。ただ、このアンケートは、PC（機械）でやっているので安心感がなく、本当のことを書けない人もいると思うので、紙のアンケートで、1度入れたら出せないような丈夫な箱に入れる。みたいな事をすればもっと多くの方が本当のことを言えると思います。
- ・ このアンケートを見て誰かがお世話をして、大変な思いをしているからみんな平等じゃないことがわかりました。
- ・ このアンケートのように子供の生活を調査することが大切だと思った
- ・ このアンケートでヤングケアラーについて詳しく知ることもできました
- ・ このアンケートで、ヤングケアラーというものがどういうものかよく知ることができた。
- ・ このアンケートを受けて、ヤングケアラーという困った人たちについてよく知ることができました。
- ・ このアンケートはヤングケアラーについてしるきっかけになったと思います
- ・ あまり時間がかからなくてよかった(アンケート)
- ・ このようにアンケートを行ってヤングケアラーがどれくらいいるのか、それに対する対策や援助などが必要だと思う
- ・ アンケートを書いたあとに感想を書くことが面倒くさかったです。
- ・ ヤングケアラーという言葉は初めて知ったので最初はあまり良く知らなかったりしたけどこのアンケートを通して初めてしれたことだったりヤングケアラーとはどういうものなのかしれたので良かったです。世の中にはそのような人がいてもし友達などにそのような人がいたらなにか力になりたいなと思いました。
- ・ このアンケートは、簡潔で、すべての漢字にふりがなを振っているので、ヤングケアラーの方も、気軽に取組めそうなものなので、良いと思いました。
- ・ 私は何不自由なく生きていますが、世の中には色々な人がいて、そういった人の支えや支援があったらいいなという風にこのアンケートをやり思いました。
- ・ このアンケートを受けて、ヤングケアラーの方にとってアンケートを見たり、実際にお話を聞いてみたいと思いました。家やSBSルームなど、教室以外の場所で勉強する際に教室まで行かなくてもいいように「教科書のデジタル化」を進めてほしいです。
- ・ 今まではヤングケアラーについて名前は聞いたことがあったがよく理解はしていなかったなので、このアンケートで理解することが出来ました。
- ・ このアンケートを見て、ヤングケアラーの存在を知ったが、本当に大変なことなのだと知れて良かったと思う。
- ・ こういうアンケートを取ることは、大切だなと思いました。人になかなか言えなくて困っている人などいるかも知れないので大切だと思いました。
- ・ ヤングケアラーはあってはならないことだと思うので、頑張っ解決することが大切だと思う。だから、こういうアンケートを取ってヤングケアラーの人を把握するのはとても大切なことだと思う。
- ・ このアンケートについて。性別に限らず兄弟の人数などを伏せる事ができる設定にしてください。ちょっと気持ち悪いです。
- ・ とても勉強になりました
- ・ このアンケートによって、ヤングケアラーが減ってほしいと思いました。
- ・ こうゆうアンケートがあるのはいいと思う。
- ・ このアンケートがなければヤングケアラーの事について知りませんでした。
- ・ 困っている子供で、大人に助けを求められる環境にいる子は少ないと思うから、学校でこのアンケートを実施するのは、とても良いなと感じた。

- ・ ヤングケアラーという言葉は知らなかったけど、このアンケートを通して知ることができてよかったです
- ・ 特にありませんが、アンケートが少し長かったです。
- ・ 私は特に悩みはないですが、このアンケートを受け、ヤングケアラーについて改めて考えさせられました。悩みがない人にとっても理解を深めることのできる良いアンケートだと思いました。
- ・ もっとこのアンケートをいろんな人に受けてもらい、ヤングケアラーについて知ってもらったほうが良いと思う。
- ・ もともと知らなかった、ヤングケアラーのことを今回のアンケートで知ることができた。わかりやすくアンケートがまとめられていて、アンケートをしやすかった。
- ・ ヤングケアラーの方のために必要だと思うことは、やりたいことを思う存分に出来る時間を作り、自分の代わりに少しでも手伝ってくれる人がいるということだと思います。このアンケートは学校から家庭のことまで、幅広く自分の意見を入力できるので、このようなアンケートは定期的に行った方が、子供自身の心身がより和らぐと思います。
- ・ ヤングケアラーの子どもたちには、このようなアンケート取るのも必要だと思います、また、一般の家庭の生活の流れをヤングケアラーの子どもたちに知ってもらい、自分の家との違いを知ってもらうことも個人的には大切だと思います。
- ・ 自分のためになった。
- ・ できる限り、子供が、自分のやりたいことができていないのだなと、アンケートを見て、感じました。
- ・ このアンケートで、子供でもお世話をする子がいると知り、詳しく調べたいと思いました。

## 8 ヤングケアラーについて思っていること

- ・ 子供が世話をしなければならない環境ではなく、大人も子供も幸せになれるような環境を作る。
- ・ がんばれ
- ・ がんばって
- ・ もし友達が困っていたら話を聞いてあげたい。
- ・ 私達が知らないところで子どもたちやヤングケアラーの人たちが頑張っているのだなと思ひ、すごく感心しました。
- ・ ヤングケアラーを少なくするために、努力しなければいけない
- ・ こういう問題があるのは知っていたけれどヤングケアラーという言葉は知りませんでした
- ・ 私は弟と関わることを楽しんでます。ヤングケアラーについて、初めて知りました
- ・ 僕は、小学校の時にヤングケアラーについて調べました。親や兄弟のお世話を誰にも相談せず当たり前と思っている人もいたので、誰かに相談し、気付いてあげられたらいいなと思います。
- ・ このような子どもたちにも自分の好きな事ができるといいと思った。
- ・ 障害の方がいるのは仕方がないけど、薬物などはその人の問題だから、そういうのは親としてやめた方がいいと思う
- ・ ヤングケアラーを久しぶりに聞いた
- ・ 子供が学校に行きながら、家のことをやらないと行けないのは、大変だと思った

- ・ 家族のお世話をしている子供もヤングケアラーの方も僕達と同じように不自由が少ない生活になるようにしたいと思いました。
- ・ こういう経験もいつかはすることが訪れるからヤングケアラーのことをもっとよく知っておきたい
- ・ なるべくその人に寄り添ってあげる
- ・ 可哀想
- ・ ヤングケアラーという言葉をはじめてしてこういうことなのだとおもった
- ・ 困っている人がいると考えると可哀想だった
- ・ 街で見かけたら見てみぬふりをせずに助けてあげることができると思う。
- ・ 自分たちの知らない場所で苦勞している子供がたくさんいることを自覚し、支援していきたい
- ・ 学校の先生に相談など綺麗事を言わないで欲しい。相談しづらい人もいるしどうせわかるのだからそこら辺もしっかり考えて欲しいと思うほんとに辛い人は相談なんかできない
- ・ かわいそう
- ・ その人の精神的苦痛になっていなければ別にいいと思う。
- ・ 子供が大変な思いをしながら学校に通っているのは大変そうなので良かったと思います。
- ・ 世話をするだけでなく普通に接して上げることも大事だと思う
- ・ 頑張っているのだね。
- ・ 子供に負担ができるだけかからないようにしたい
- ・ 自分が普段不自由なく暮らせているのは幸せなことだと思った。
- ・ ヤングケアラーは僕たちよりも 10 倍くらい大変なのだなと思った。
- ・ 周りの人のために、お世話をしていることがあると知って自分も周りに気をつかいたいです
- ・ そういう人がいたのだと知ってなんかできないか考えていきたいです。
- ・ 自分でも多少の今後の悩みが個々あるのだがそれ以上に混乱な状況下の子供がいると思うと、色々と考えさせられてしまう。
- ・ 同じ年齢でも大変な人もいるのだなと思った
- ・ 優しくしたり気遣いしてあげたりその人が助かることとか
- ・ とても重大なことだなと思った
- ・ 自分のように毎日が普通じゃない生活を送っているひともいることがわかった
- ・ もしそういう子がいたら、無理に話を聞いたり関わったりするのではなく、学校に来ている間だけでも楽しめるように接したいなと思った。
- ・ 一人でも多くの子供達が安心して学校に来たり、部活動をしたり、友だちと遊んだりしてかけがえのない時間を過ごせるようになってほしい。
- ・ ただヤングケアラーだから助けるというだけでなく、その人達にとって何をするのが良いのか考えていくことが大切だと考える。
- ・ 気づいてあげることが必要だと思います。
- ・ 自分はたまに家族のご飯を作ったりしてだるいなと思っていたけどもっと頻繁にまたは毎日やっている人もいますので大変だしすごいなと思った。
- ・ ヤングケアラーの子たちに明るく過ごしてほしいと思った。
- ・ ヤングケアラーの人を助けることが大事だと思った。
- ・ ヤングケアラーの子の気持ちになるのが必要だと思う

- ・ ヤングケアラーという新しい言葉を知りました。周りにもそういう人がいるかも知れないと思うと「大変なのだろうなあ」と思ってきました。
- ・ ヤングケアラーの動画を見たりすると大変だなと思うことがあるので十分な教育を受けられる環境になってほしい。
- ・ 自分だけで抱え込まない事
- ・ 単純にすごい、優しいなと思う
- ・ ヤングケアラーについて初めてちゃんと向き合うことができた。
- ・ 気軽に話して楽しく接していきたい。
- ・ 家族が病気などで働けず動けない体になっているのを毎日一生懸命お世話しているのはすごいなと思いました
- ・ 人の家庭事情に口出しはできないから悩んでいる人がいるなら話を聞くとかぐらいはできたら良いなと思った
- ・ 自分と同じような子が家族を支えていることに驚きました。見ただけではわからないことだと思うので自分でも気づいていくことが大切だと思いました。
- ・ 家族をお世話することはすごく大変だと改めて思いました。ヤングケアラーについてしれました。
- ・ あまり知らなかったが、そういう人がいることをしれてよかった。
- ・ 他人事だけど、かわいそうだとおもった。
- ・ 苦労している子もいると思った
- ・ ヤングケアラーについてあまり知らなかったのですが、こんなにも大変そうでなにか協力してあげたい！と思いました。
- ・ ヤングケアラーのために手伝いたいと思った。
- ・ ヤングケアラーは大変だとわかった。
- ・ こんな人達がいるなら、手助けできることがあるなら、沢山のひとと協力していきたい。
- ・ 家のことで大変な人がいると初めて知りました
- ・ 家族のお世話をしている人が少しでも楽に慣れるといいなと思う
- ・ ヤングケアラーという言葉を知りました
- ・ <感想> 普通の人には、家族に世話をしてもらって成長していく人たちが多くはいると思いますが、中には親が病気などの影響で兄弟、姉妹の世話をすることができず、一番上の人(兄、姉)が妹や弟の世話をするという人が世の中にはいるということがわかりました。自分たちは「当たり前」のように日々の生活を送っていますが、世の中にはこうした私達のように「当たり前」の生活ができない人たちがいるということを考えて日々の生活を送っていきたくです。
- ・ 自分たちが当たり前だと思っていたことは当たり前ではないということがしれた
- ・ ヤングケアラーという言葉を知りました。お父さんとお母さんの離婚の危機で、来年の夏くらいに離婚をしてお母さんが言っていることが悩みですが話す相手がいるので、なんとかなると思います。
- ・ おせっかいになるほどまでは手を出さずに手伝ってあげたい
- ・ 心の支え
- ・ ヤングケアラーについてしれた
- ・ ヤングケアラーの子たちをもっと知り、気づいてあげたくなりました。
- ・ 思いやりの心
- ・ ヤングケアラーの人を守ってあげたい。

- ・ ヤングケアラーを今まで知らなかったが、プリントで見たときにこんなこともヤングケアラーになるのかと驚いた。
- ・ 助けを求めているときにたすけてあげる
- ・ 助ける心！
- ・ 感謝
- ・ 病気の人などをみんなで支え合って上げたいです
- ・ 見てみぬふりをしてほしくない。(自分以外でも、しないでほしい。)
- ・ 見てみぬふりをしてほしくない
- ・ 僕と同じような人たちが親のお世話をしているなんてはじめて知ったので勉強になった
- ・ 人間は助け合う生き物
- ・ 初めてヤングケアラーという言葉を知りました協力できればと思いました
- ・ もっと子供を自由にしたいほうがいい
- ・ ヤングケアラーというものの意味を初めて聞いて大変な思いをしている子もいるから友達でそういう子がいたら手伝える範囲で手伝ってあげていなと思いました。
- ・ 助けてあげたいです。
- ・ 友達関係
- ・ そのような人たちも家族と楽しく過ごせる時間が必要だと思う。
- ・ そんな子がいるのは可哀想だと思った
- ・ 自分の知らないところでヤングケアラーとして頑張っている人もいるのだなということを知って今の僕の置かれている状況は恵まれているなと思った。
- ・ 家族のお世話などをすることによって、自分の時間がなくなってしまう子どもがいるのは辛いなと思いました。まずは周りの人々の理解が必要だと感じました。
- ・ 無理をさせないこと
- ・ ヤングケアラーの人達には特別な支援が必要だと思います。また、周りの人に知ってもらい、理解してもらおうことが大切だと思います。
- ・ ヤングケアラーについて少し知れることができました。
- ・ 話を聞いてくれる人がヤングケアラーの子には必要だと思う
- ・ 普通に生活している子もいるけど中にはヤングケアラーの人もいるかもしれないからそんな人がいたら相談に乗ったりしたいと思いました
- ・ 心の癒やしがみんなに必要
- ・ 自分が家族にしてもらっていることをされていない子供がいて、じぶんが思うよりも大変な思いをしているひとがいると思うと、事情があるにしても悲しいと思いました。
- ・ ヤングケアラーについて少し調べてみる。
- ・ ヤングケアラーについて知れた
- ・ 辛い思いをしているヤングケアラーがいるなら、いろいろな協力をして負担が軽くなるようにしてほしいと思います。
- ・ 世の中には親の世話もあって遊べない子もいるってわかったら自分は幸せ
- ・ 初めてヤングケアラーというのを知って、ヤングケアラーから抜け出せない子を救ってあげたいと思った。自分から言い出せない子もいるだろうから、こういうアンケートを頻繁にやって、少しでも多くの子供達に幸せになって欲しいです。
- ・ ヤングケアラーの内容を知ることができた
- ・ 誰かに相談してほしい

- ・ 大変な思いをしている子どもたちがいることを改めて知った。
- ・ ヤングケアラーというものを知って大変な思いをしている子がいることを知った
- ・ ヤングケアラーの人を助けたいとおもいました。
- ・ ヤングケアラーについて知りたいと思った
- ・ 私よりも大変なお世話をしている人がたくさんいるのだなと思った。これからもお世話を頑張りたい！
- ・ まだ、子供なのに自ら手伝いをするのはすごいけど、やらされるのは可愛そうだと思う
- ・ 今まで、「ヤングケアラー」という言葉は知っていたし内容もだいたい分かっていたけど、あまり普段の生活では考えてきませんでした。でも、これからは「世の中にはヤングケアラーや病気でやりたいことができない人もたくさんいる」ということを考えて、その人の分まで学校生活や友達関係、習い事や勉強をしていこうと思いました。そして、なにか役に立つことがあるのなら率先してやっていこうと思いました。

## 9 自分の自由な時間を増やす

- ・ 時間
- ・ その人のも同じ自由の時間を
- ・ ヤングケアラーの人たちに自由な時間をあげたいと思った。
- ・ ヤングケアラーのみんなには、事情はあると思うけどたくさん休んで欲しいと思いました。
- ・ 世話をしている子どもたちが学習などできる、自分のことができるような環境をつくるのが大切だと思います。
- ・ 必要なことは自分たちの時間とかが必要かなと思いました
- ・ 個人的に睡眠時間が少ないと思ったのでこれから睡眠時間を増やしていきたいです。
- ・ 障害や幼い子どもたちの居場所を作りヤングケアラーのひとに自分の時間を与える
- ・ 時間をちょこちょこ休憩に取ったりするといいと思います
- ・ 自分一人になれる場所があったらいいと思う
- ・ 自分の時間、趣味を楽しむ時間がほしい
- ・ 自分の時間をちゃんと作る。
- ・ 結構忙しいと思うし、大変だと思うから、休みが必要だと思います。
- ・ やりたいことができるように、支援する
- ・ 自由な時間
- ・ 心のケア、その子の時間を作るなど。
- ・ 自分一人で過ごせる時間や、気軽に家庭のことや愚痴、悩み事が話せる人が必要だと思います。話したからと言ってあまり、どうこうできる問題ではないですが、話すことで気が楽になるとおもいます。また少なくともそういう家庭もあるということが知れて良い知識になりました。
- ・ 一人でいる時間、自分の時間が必要。体力面も精神面も一番整えられるときは一人の時だから
- ・ もっと自分の時間を大切にできるようにしてもらいたい。
- ・ 子供の自由の時間ができるように大人一人でも介護の人をつけてあげる事が大事だと思います（難しいけれど）これが近い将来できたら良いなと思います。

- ・ 息抜きもたまにはしたほうがいい
- ・ 自分のことに時間を使えない子どもがいるということは、絶対に解決しなければならない問題だと改めて思った。ヤングケアラーのような子は、自分では周囲に相談できない場合が多いと思うから、周りの大人が手を差し伸べる必要があると考えた。だから、例えば周りの親戚がその子の代わりにお世話をし、どこかの施設に預けてもらうなど、その子が自分のことに時間を使えるように工夫することが大切だと思った。
- ・ 子供が自由に過ごせる時間を増やすためにボランティアが必要だと思った。
- ・ なるべくやることを減らして時間を作ってあげる
- ・ お世話をしている子供に自由を
- ・ 家以外のところでは自分の好きなように過ごせる環境を作って欲しい
- ・ 家族から離れて自分の時間をつくってあげてほしい
- ・ 時々休んで、自分を労ることが大切だと思います！

## 10 その他

- ・ ヤングケアラーとは関係ないですが、女子の生理について先生方に理解を得てほしいです。
- ・ おもいつかない
- ・ 父が、僕に暴言や、暴力をしてくるのでそれが悩みです。
- ・ 僕は特に悩み事が無い事が分かった。
- ・ 世の中には子供が大人を世話していると聞いて私も少しでも家族などのお手伝いなどしていきたくて思いました！
- ・ 大丈夫です
- ・ ネット以外の人のことを信用できない。家族が嫌い。
- ・ 部活を増やしてほしい
- ・ 周りを見ている
- ・ 私たちが当たり前を送っている生活を大事にしていきたい。
- ・ 僕が弟にしているのはお世話というより、一緒に遊び、むしろ楽しいので心配はいらない。
- ・ Doraemohosii
- ・ 弟が言うことを聞いてほしい
- ・ たまぁに行儀悪い人がいて大人としてどうかと思います。私は、イライラしても子供には優しく対応することで子供はいい子に成長すると思っています。虐待や強く怒鳴ることはだめだと思います。言うことを聞かない時は優しく注意すればいいと思います
- ・ 自分の悩み、妹が暴力的
- ・ 凄かった
- ・ 特に悩みなど困っていることもなくて楽しく学校生活できています
- ・ やる気。褒めてもらうことなどなど
- ・ 部活で悩んでいることがあります。
- ・ ジェンダーレスが大事
- ・ 子どもたちに悲しい所親が暴力を振るうのが見たくない
- ・ 自分に中でもやもやしているところが解消された感じがする

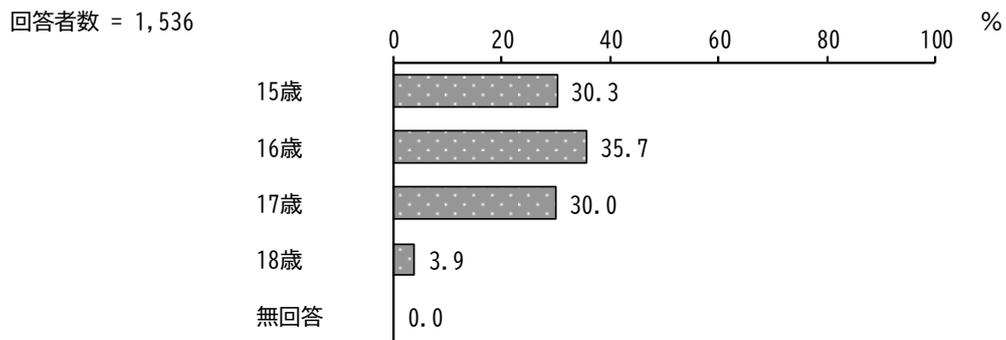
- ・ 自分の意見なのに口出ししないでほしい
- ・ 健康に過ごす
- ・ 将来の夢のためであっても部活動は自由にやらせてほしい。部活を休むかどうかは自由にしてほしい
- ・ 頭のいい学校に行ってほしいため
- ・ 母との関係について困っています。どうしたらいいですか？
- ・ 悩みは、特にありません。
- ・ 最近ネガティブ思考になっていることに困っています。学校でも家でも楽しく裕福な生活をしているけれど、何か自分に足りないことを求め、一人になると色んな考えことをしてしまいます。
- ・ これからも平凡で幸せな家庭で過ごしていきたいです
- ・ 誰かの役に立てなかったりすると情けなく感じてしまう。友達と中々話すことができない

### 3 高校生

#### I. 回答者属性

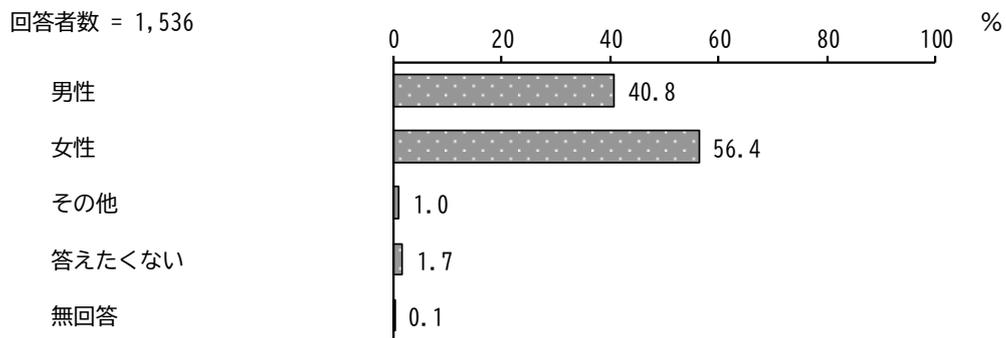
問1 あなたの年齢を教えてください。

「16歳」の割合が35.7%と最も高く、次いで「15歳」の割合が30.3%、「17歳」の割合が30.0%となっています。



問2 あなたの性別を教えてください。

「女性」の割合が56.4%と最も高く、次いで「男性」の割合が40.8%となっています。



【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、母で「女性」の割合が、父で「男性」の割合が高くなっています。

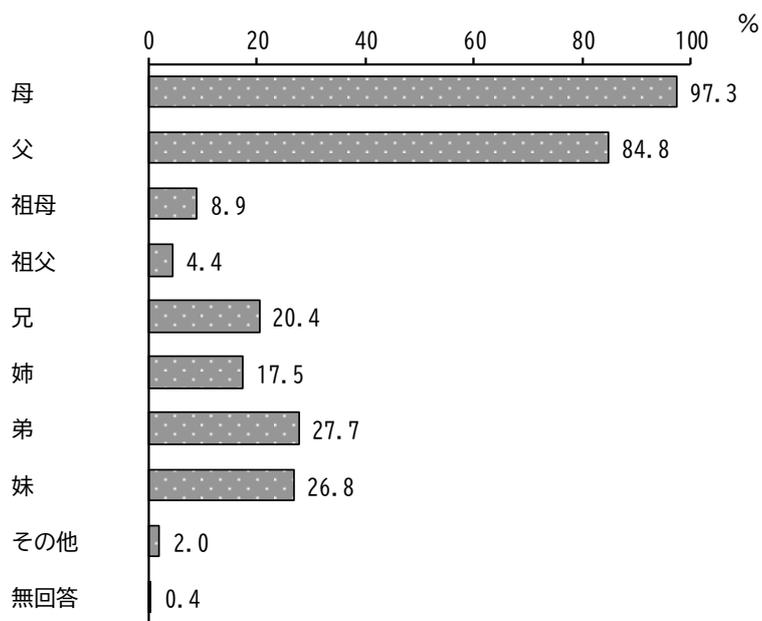
単位：%

区分	回答者数(件)	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
全 体	82	40.2	56.1	1.2	2.4	—
母	28	32.1	64.3	—	3.6	—
父	11	45.5	54.5	—	—	—
祖母	7	28.6	71.4	—	—	—
祖父	1	100.0	—	—	—	—
きょうだい	51	39.2	56.9	2.0	2.0	—
その他	1	—	100.0	—	—	—

問3 あなたが現在、一緒に住んでいる家族を教えてください。(離れている家族を除く)

「母」の割合が97.3%と最も高く、次いで「父」の割合が84.8%、「弟」の割合が27.7%となっています。

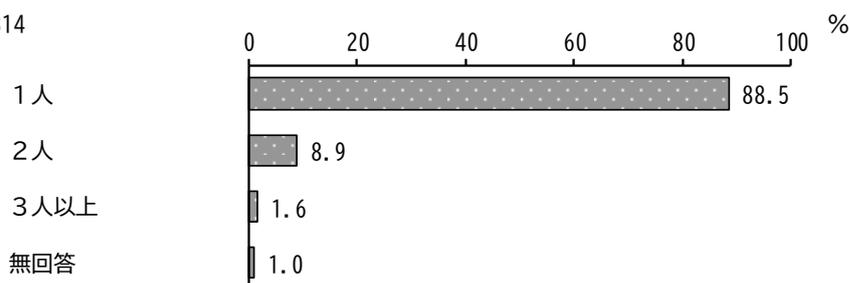
回答者数 = 1,536



## 兄 人数

「1人」の割合が88.5%と最も高くなっています。

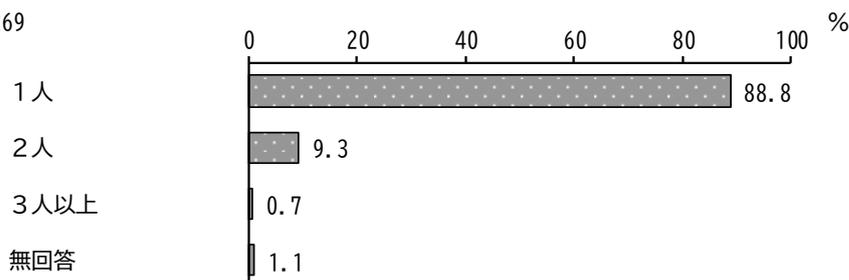
回答者数 = 314



## 姉 人数

「1人」の割合が88.8%と最も高くなっています。

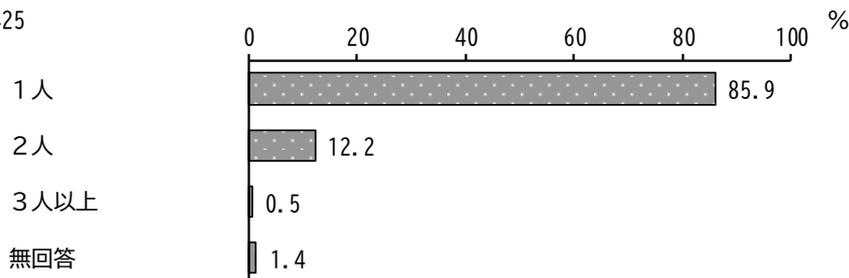
回答者数 = 269



## 弟 人数

「1人」の割合が85.9%と最も高く、次いで「2人」の割合が12.2%となっています。

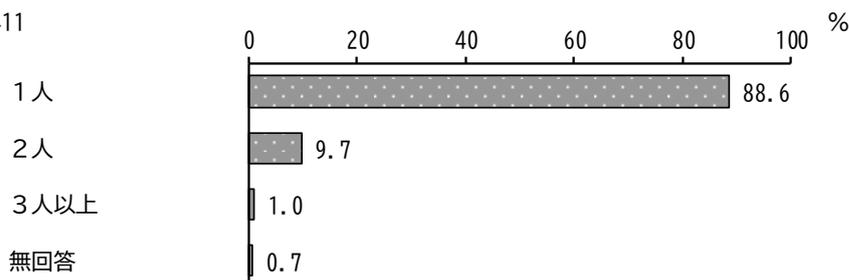
回答者数 = 425



## 妹 人数

「1人」の割合が88.6%と最も高くなっています。

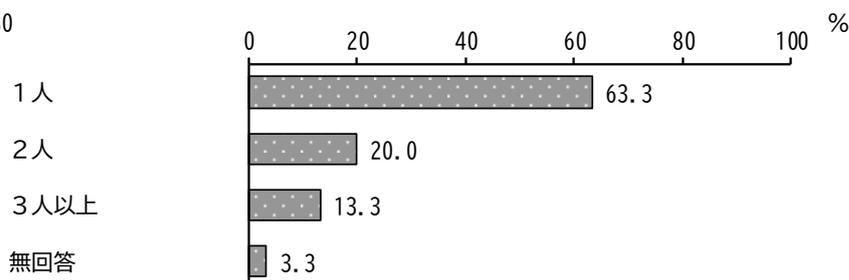
回答者数 = 411



## その他 人数

「1人」の割合が63.3%と最も高く、次いで「2人」の割合が20.0%、「3人以上」の割合が13.3%となっています。

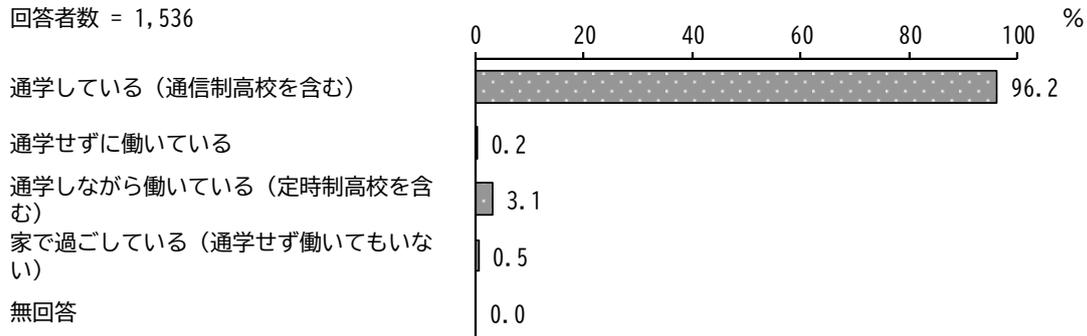
回答者数 = 30



問4 あなたの状況について教えてください。

「通学している（通信制高校を含む）」の割合が96.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,536

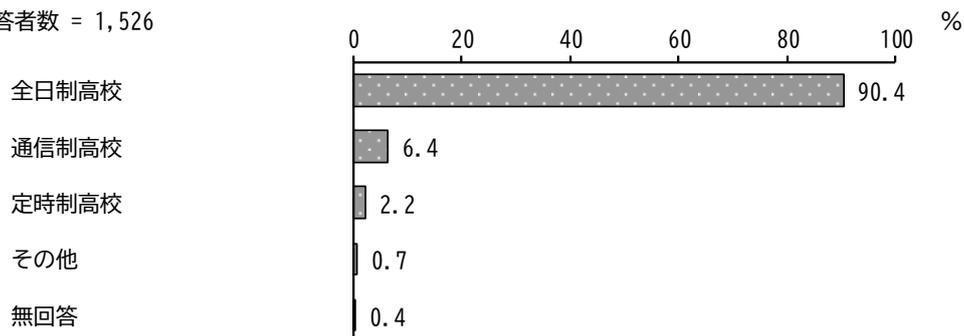


問5 問4で「通学している」「通学しながら働いている」と回答した方におたずねします。

あなたの通っている学校について教えてください。

「全日制高校」の割合が90.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,526

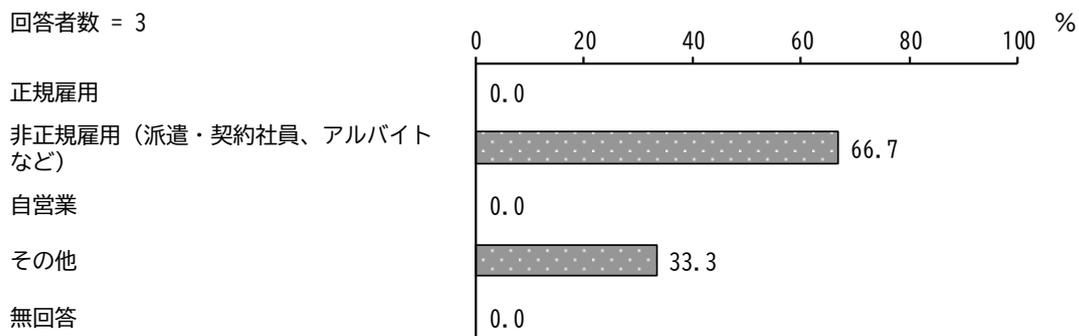


問6 問4で「通学せずに働いている」と回答した方におたずねします。

あなたの働き方について教えてください。

「非正規雇用（派遣・契約社員、アルバイトなど）」が2件となっています。

回答者数 = 3

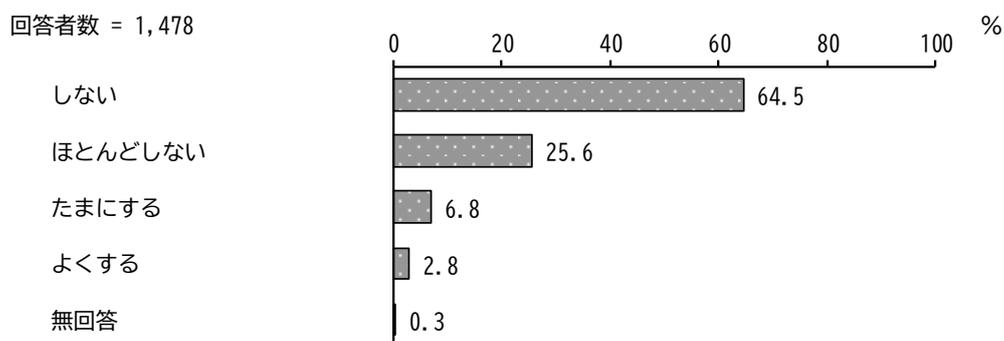


## Ⅱ. あなたの普段の生活について

問7 問4で「通学している」と回答した方におたずねします。  
 学校生活について教えてください。

### ① あなたは学校を欠席することがありますか。

「しない」の割合が64.5%と最も高く、次いで「ほとんどしない」の割合が25.6%となっています。



### 【世話の有無別】

世話の有無別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	しない	ほとんど しない	たまに する	よく する	無回 答
全 体	1478	64.5	25.6	6.8	2.8	0.3
い る	73	58.9	20.5	15.1	5.5	—
い ない	1405	64.8	25.8	6.4	2.6	0.4

【平日の世話の時間別】

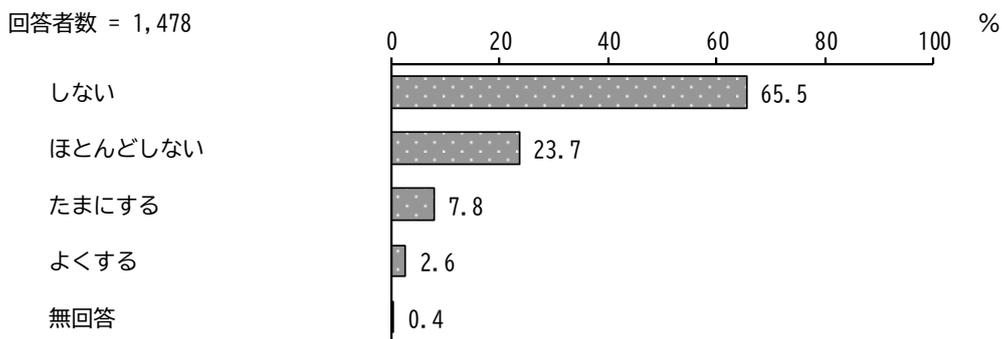
平日の世話の時間別にみると、1時間未満で「しない」の割合が、2時間で「しない」の割合が、1時間で「しない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	しない	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答
全 体	73	58.9	20.5	15.1	5.5	—
1時間未満	32	75.0	21.9	3.1	—	—
1時間	17	64.7	17.6	11.8	5.9	—
2時間	10	70.0	10.0	20.0	—	—
3時間	5	60.0	—	40.0	—	—
4時間	2	—	—	50.0	50.0	—
5時間	4	25.0	—	50.0	25.0	—
6時間	—	—	—	—	—	—
7時間	1	—	100.0	—	—	—
8時間	—	—	—	—	—	—
9時間	—	—	—	—	—	—
10時間	—	—	—	—	—	—
11時間	—	—	—	—	—	—
12時間	—	—	—	—	—	—
13時間	—	—	—	—	—	—
14時間	—	—	—	—	—	—
15時間	—	—	—	—	—	—
16時間	—	—	—	—	—	—
17時間	—	—	—	—	—	—
18時間	—	—	—	—	—	—
19時間	—	—	—	—	—	—
20時間	—	—	—	—	—	—
21時間	—	—	—	—	—	—
22時間	—	—	—	—	—	—
23時間	—	—	—	—	—	—
24時間	1	—	100.0	—	—	—

② あなたは学校を遅刻・早退することがありますか。

「しない」の割合が 65.5%と最も高く、次いで「ほとんどしない」の割合が 23.7%となっています。



【世話の有無別】

世話の有無別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	しない	ほとんど しない	たまに する	よく する	無 回答
全 体	1478	65.5	23.7	7.8	2.6	0.4
いる	73	60.3	23.3	11.0	5.5	—
いない	1405	65.8	23.8	7.6	2.4	0.4

【平日の世話の時間別】

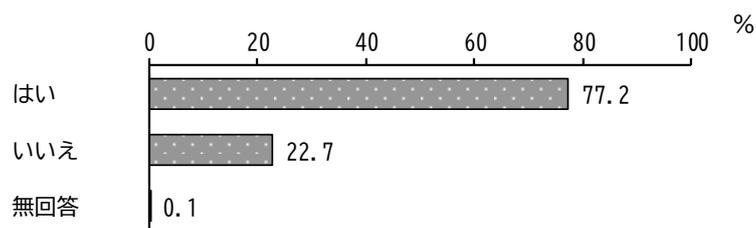
平日の世話の時間別にみると、1時間未満で「しない」の割合が、1時間で「しない」の割合が、2時間で「しない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	しない	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答
全 体	73	60.3	23.3	11.0	5.5	—
1時間未満	32	71.9	21.9	3.1	3.1	—
1時間	17	70.6	23.5	5.9	—	—
2時間	10	70.0	10.0	10.0	10.0	—
3時間	5	60.0	—	40.0	—	—
4時間	2	—	—	50.0	50.0	—
5時間	4	50.0	25.0	—	25.0	—
6時間	—	—	—	—	—	—
7時間	1	—	—	100.0	—	—
8時間	—	—	—	—	—	—
9時間	—	—	—	—	—	—
10時間	—	—	—	—	—	—
11時間	—	—	—	—	—	—
12時間	—	—	—	—	—	—
13時間	—	—	—	—	—	—
14時間	—	—	—	—	—	—
15時間	—	—	—	—	—	—
16時間	—	—	—	—	—	—
17時間	—	—	—	—	—	—
18時間	—	—	—	—	—	—
19時間	—	—	—	—	—	—
20時間	—	—	—	—	—	—
21時間	—	—	—	—	—	—
22時間	—	—	—	—	—	—
23時間	—	—	—	—	—	—
24時間	1	—	100.0	—	—	—

- ③ あなたは放課後やお休みの日に、部活動や塾・習いごとをしていますか。  
「はい」の割合が77.2%、「いいえ」の割合が22.7%となっています。

回答者数 = 1,478



【世話の有無別】

世話の有無別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1478	77.2	22.7	0.1
いる	73	74.0	26.0	—
いない	1405	77.4	22.6	0.1

【平日の世話の時間別】

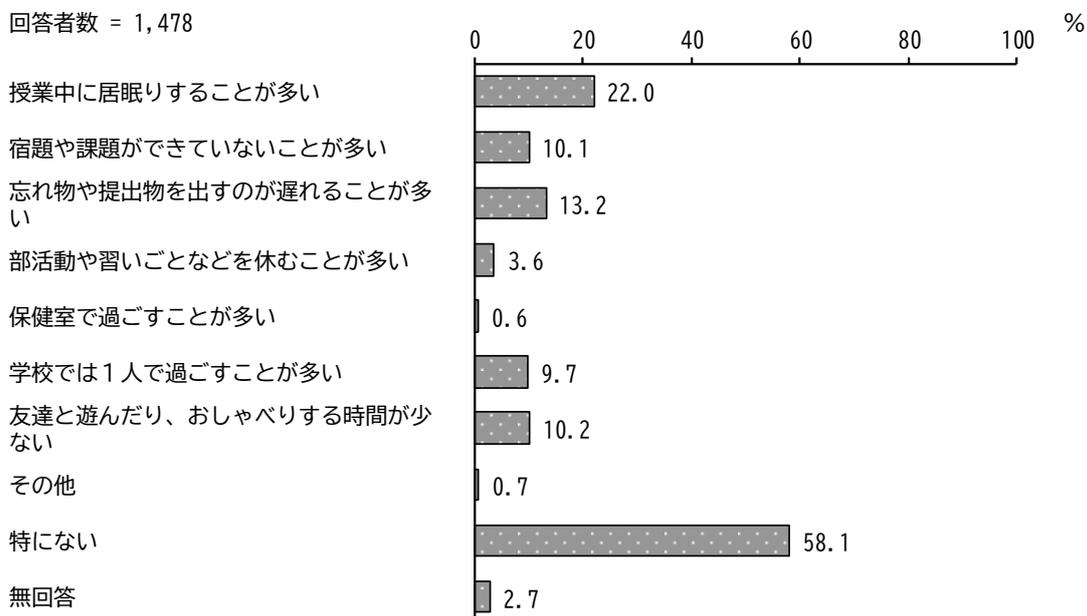
平日の世話の時間別にみると、1時間で「いいえ」の割合が、1時間未満で「はい」の割合が、2時間で「はい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	73	74.0	26.0	—
1時間未満	32	87.5	12.5	—
1時間	17	58.8	41.2	—
2時間	10	80.0	20.0	—
3時間	5	40.0	60.0	—
4時間	2	—	100.0	—
5時間	4	75.0	25.0	—
6時間	—	—	—	—
7時間	1	100.0	—	—
8時間	—	—	—	—
9時間	—	—	—	—
10時間	—	—	—	—
11時間	—	—	—	—
12時間	—	—	—	—
13時間	—	—	—	—
14時間	—	—	—	—
15時間	—	—	—	—
16時間	—	—	—	—
17時間	—	—	—	—
18時間	—	—	—	—
19時間	—	—	—	—
20時間	—	—	—	—
21時間	—	—	—	—
22時間	—	—	—	—
23時間	—	—	—	—
24時間	1	100.0	—	—

④ あなたの普段の学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「特にない」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「授業中に居眠りすることが多い」の割合が 22.0%、「忘れ物や提出物を出すのが遅れることが多い」の割合が 13.2%となっています。



【世話の有無別】

世話の有無別にみると、いるで「友達と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない」「宿題や課題ができていないことが多い」「忘れ物や提出物を出すのが遅れることが多い」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	忘れ物や提出物を出すのが遅れることが多い	部活動や習いごとなどを休むことが多い	保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	友達と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない	その他	特にない	無回答
全体	1478	22.0	10.1	13.2	3.6	0.6	9.7	10.2	0.7	58.1	2.7
いる	73	27.4	17.8	19.2	4.1	1.4	20.5	19.2	-	46.6	1.4
いない	1405	21.7	9.8	12.9	3.6	0.6	9.1	9.8	0.7	58.7	2.8

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、2時間で「授業中に居眠りすることが多い」の割合が、1時間未満で「友達と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない」の割合が高くなっています。

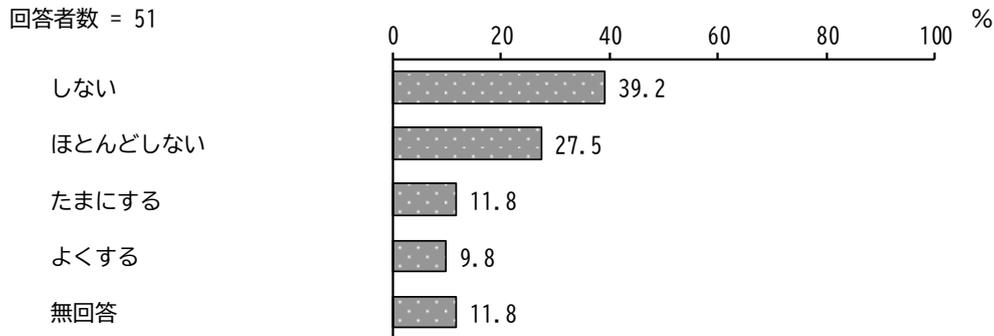
単位：%

区分	回答者数(件)	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	忘れ物や提出物を出すのが遅れることが多い	忘れた物や提出物が多い	部活動や習いごとなどを休むことが多い	保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	友達と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない	その他	特にない	無回答
全体	73	27.4	17.8	19.2	4.1	1.4	20.5	19.2	-	46.6	1.4	
1時間未満	32	28.1	18.8	12.5	-	-	25.0	25.0	-	46.9	-	
1時間	17	29.4	11.8	23.5	5.9	-	17.6	11.8	-	52.9	-	
2時間	10	40.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	50.0	-	
3時間	5	20.0	-	20.0	-	20.0	20.0	20.0	-	60.0	-	
4時間	2	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	
5時間	4	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0	25.0	
6時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7時間	1	-	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	
8時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
14時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
15時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
16時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
17時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
18時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
19時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
21時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
22時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
23時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
24時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	

問8 問4で「通学せずに働いている」「通学しながら働いている」と回答した方におたずねします。  
 仕事の状況について教えてください。

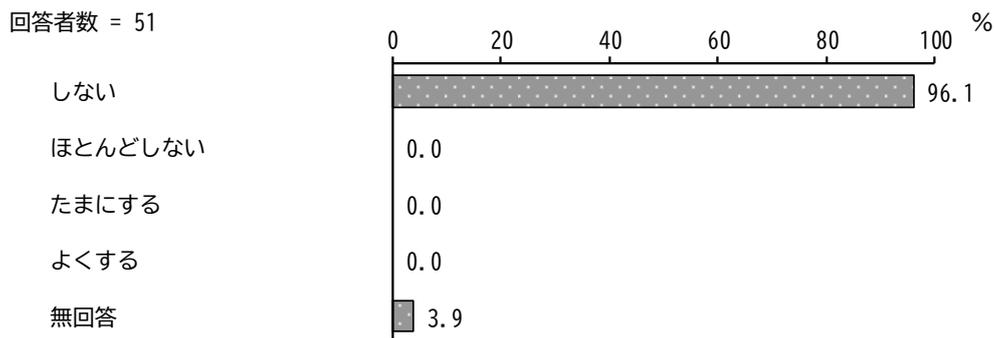
① あなたは仕事を欠席することがありますか。

「しない」の割合が39.2%と最も高く、次いで「ほとんどしない」の割合が27.5%、「たまにする」の割合が11.8%となっています。



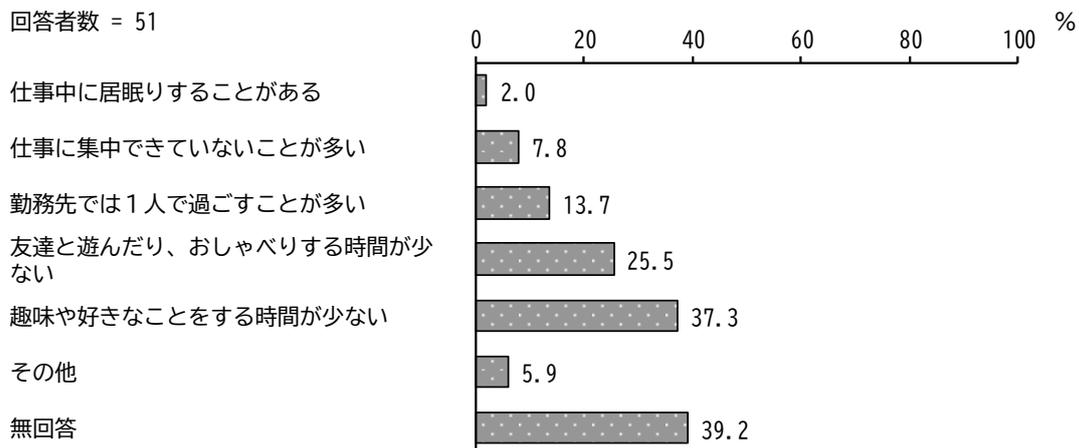
② あなたは仕事を遅刻・早退することがありますか。

「しない」の割合が96.1%と最も高くなっています。



③ あなたの普段の生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

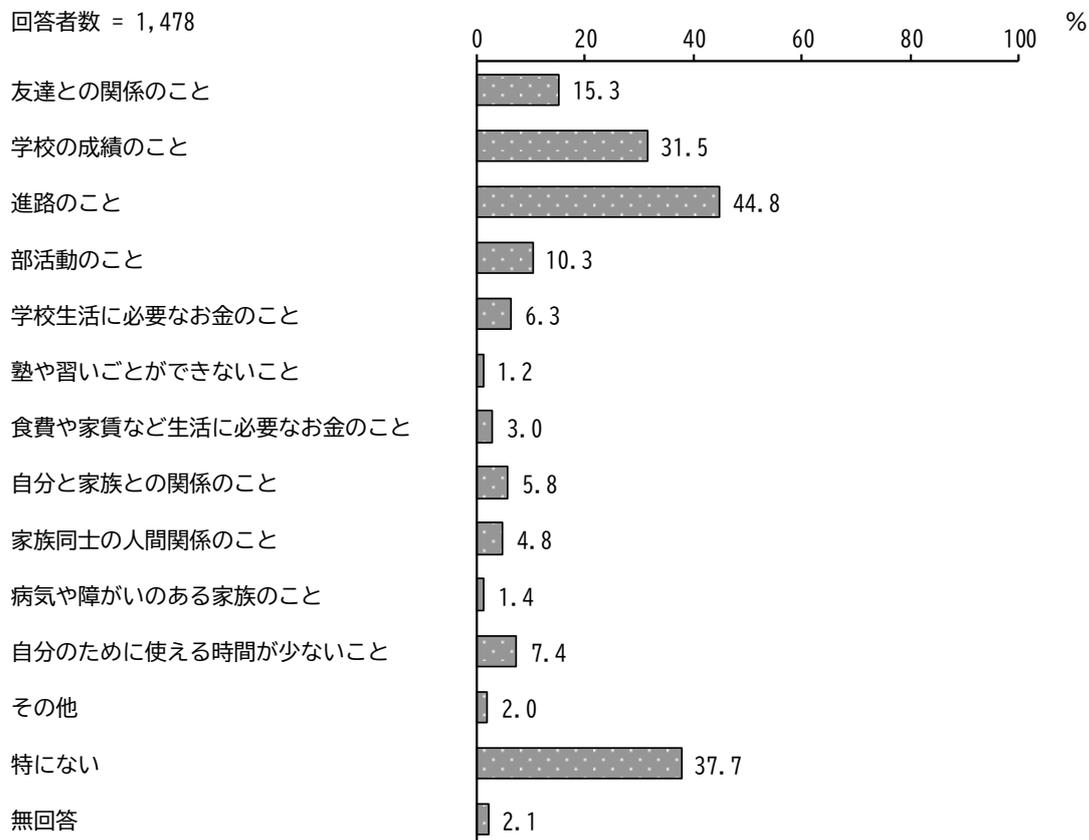
「趣味や好きなことをする時間が少ない」の割合が37.3%と最も高く、次いで「友達と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない」の割合が25.5%、「勤務先では1人で過ごすことが多い」の割合が13.7%となっています。



問9 問4で「通学している」と回答した方におたずねします。

現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「進路のこと」の割合が44.8%と最も高く、次いで「特にない」の割合が37.7%、「学校の成績のこと」の割合が31.5%となっています。



【世話の有無別】

世話の有無別にみると、いるで「進路のこと」「友達との関係のこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	友達との関係のこと	学校の成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学校生活に必要なお金のこと	塾や習いごとができないこと	食費や家賃など生活に必要なお金のこと	自分と家族との関係のこと	家族同士の人間関係のこと	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	特にない	無回答
全体	1478	15.3	31.5	44.8	10.3	6.3	1.2	3.0	5.8	4.8	1.4	7.4	2.0	37.7	2.1
いる	73	21.9	35.6	54.8	12.3	12.3	4.1	9.6	15.1	6.8	6.8	13.7	1.4	23.3	—
いない	1405	14.9	31.2	44.3	10.2	6.0	1.0	2.6	5.3	4.7	1.1	7.0	2.0	38.4	2.2

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、1時間未満で「学校の成績のこと」「部活動のこと」の割合が、2時間で「学校生活に必要なお金のこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	友達との関係のこと	学校の成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学校生活に必要なお金のこと	塾や習いごとができないこと	食費や家賃など生活に必要なお金のこと	自分と家族との関係のこと	家族同士の人間関係のこと	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	特にない	無回答
全体	73	21.9	35.6	54.8	12.3	12.3	4.1	9.6	15.1	6.8	6.8	13.7	1.4	23.3	-
1時間未満	32	18.8	56.3	56.3	18.8	12.5	-	3.1	12.5	6.3	6.3	9.4	3.1	21.9	-
1時間	17	17.6	29.4	58.8	5.9	5.9	-	5.9	17.6	11.8	5.9	5.9	-	23.5	-
2時間	10	-	10.0	50.0	-	20.0	20.0	20.0	10.0	-	-	20.0	-	20.0	-
3時間	5	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	-	-	-	40.0	-
4時間	2	100.0	-	50.0	-	-	-	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	-	-	-
5時間	4	25.0	-	50.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	50.0	-
6時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7時間	1	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
8時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24時間	1	-	-	-	-	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-

問10 問9で1～12のいずれかを回答した方におたずねします。

回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

「いる」の割合が77.0%と最も高く、次いで「相談や話をしたくない」の割合が14.5%となっています。

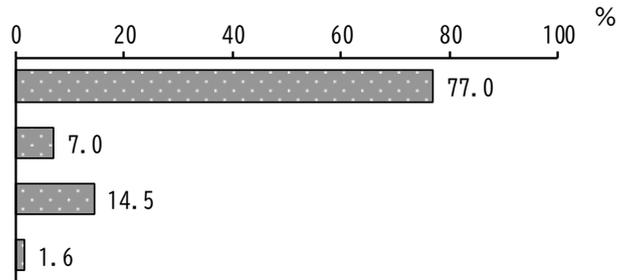
回答者数 = 890

いる

いない

相談や話をしたくない

無回答



【世話の有無別】

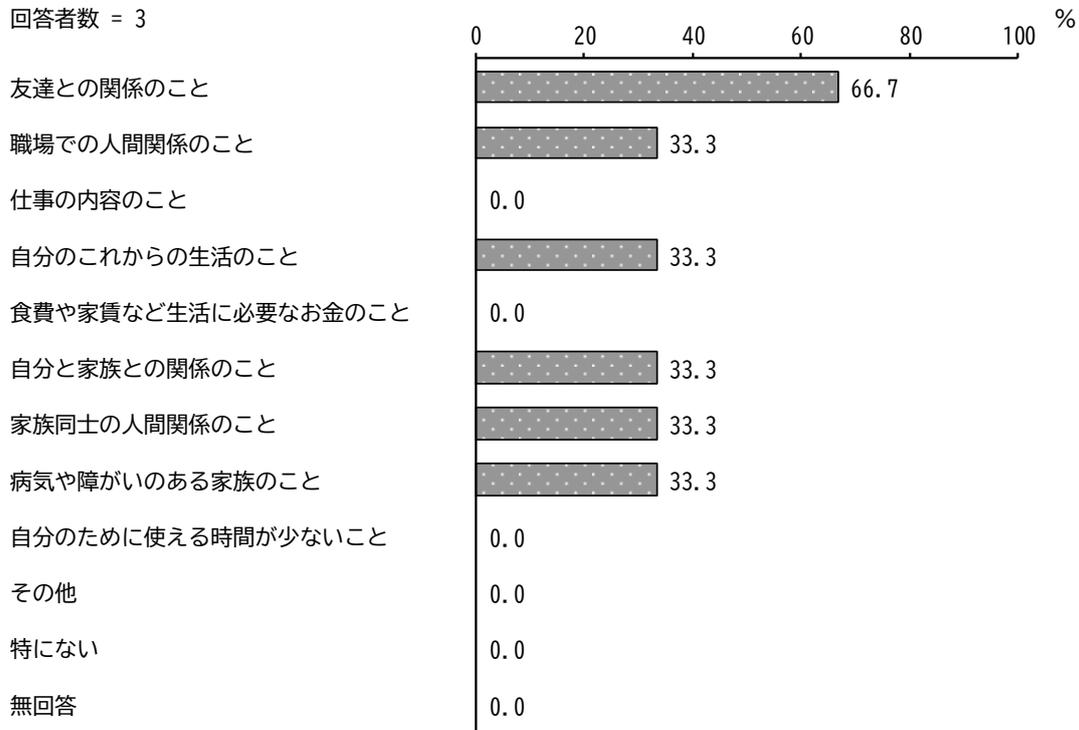
世話の有無別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	いる	いない	相談や話をしたくない	無回答
全体	890	77.0	7.0	14.5	1.6
いる	56	80.4	3.6	16.1	—
いない	834	76.7	7.2	14.4	1.7

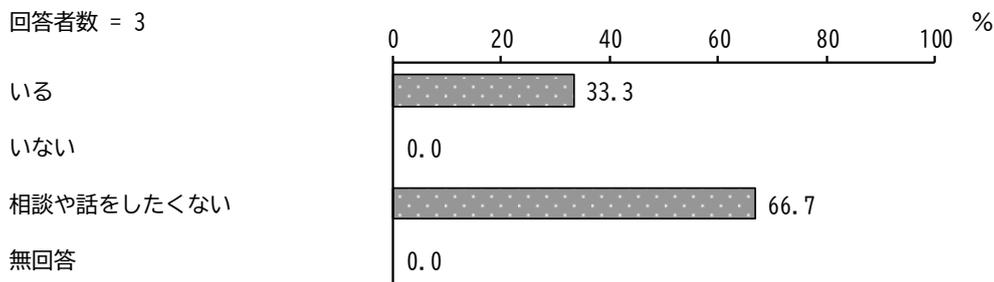
問11 問4で「通学せずに働いている」と回答した方におたずねします。  
 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「友達との関係のこと」が2件となっています。「職場での人間関係のこと」、「自分のこれからの生活のこと」、「自分と家族との関係のこと」が1件となっています。



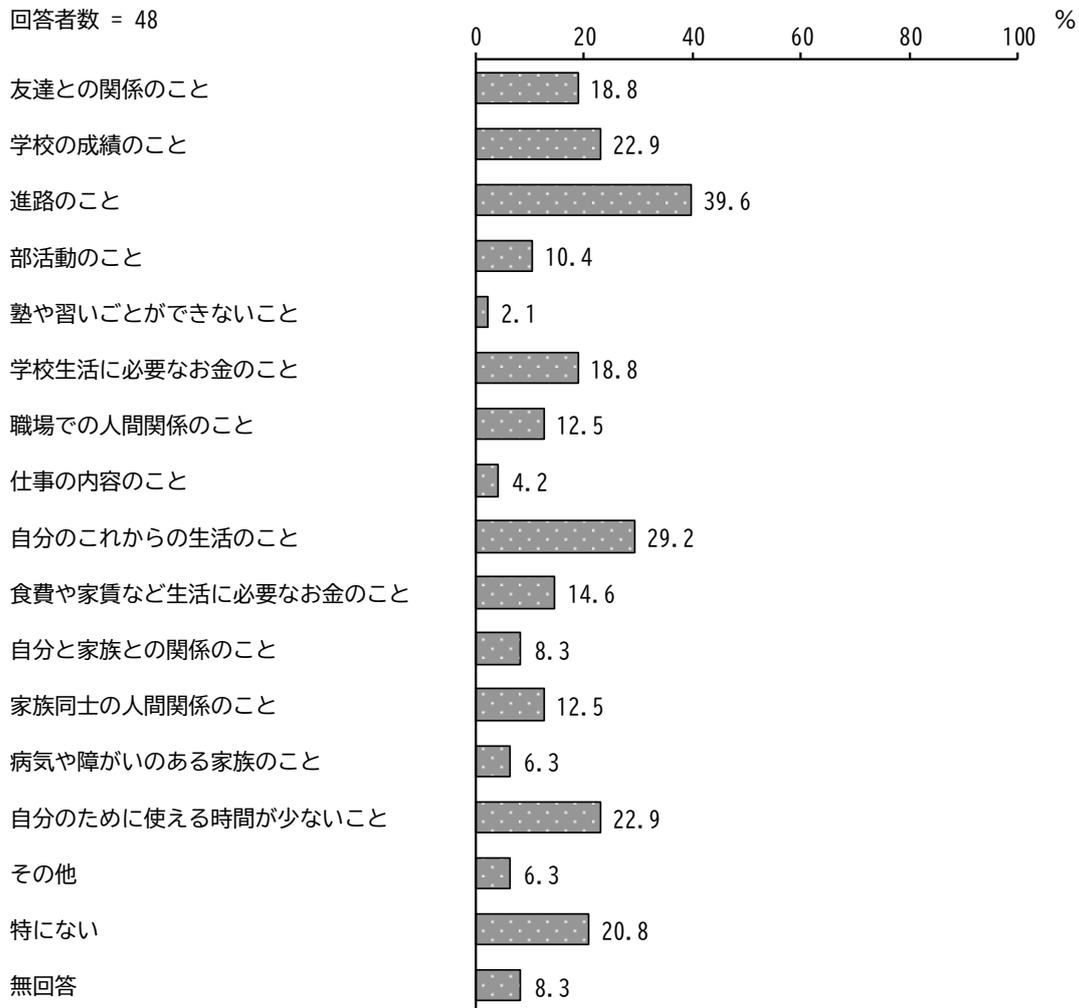
問12 問11で1～11のいずれかを回答した方におたずねします。  
 回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

「相談や話をしたくない」が2件となっています。「いる」が1件となっています。



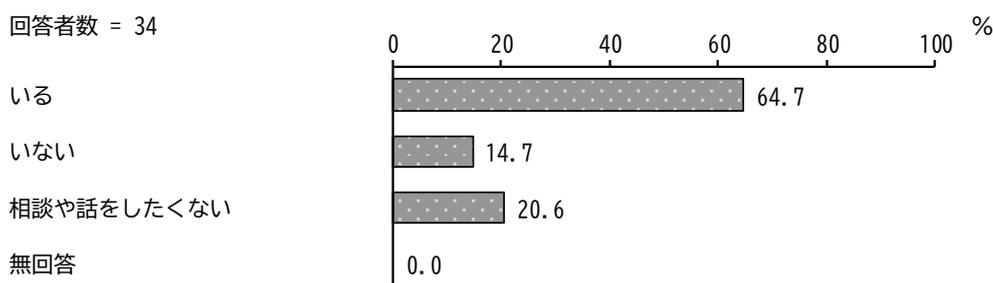
問13 問4で「通学しながら働いている」と回答した方におたずねします。  
 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「進路のこと」の割合が39.6%と最も高く、次いで「自分のこれからの生活のこと」の割合が29.2%、「学校の成績のこと」、「自分のために使える時間が少ないこと」の割合が22.9%となっています。



問14 問13で1～15のいずれかを回答した方におたずねします。  
 回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

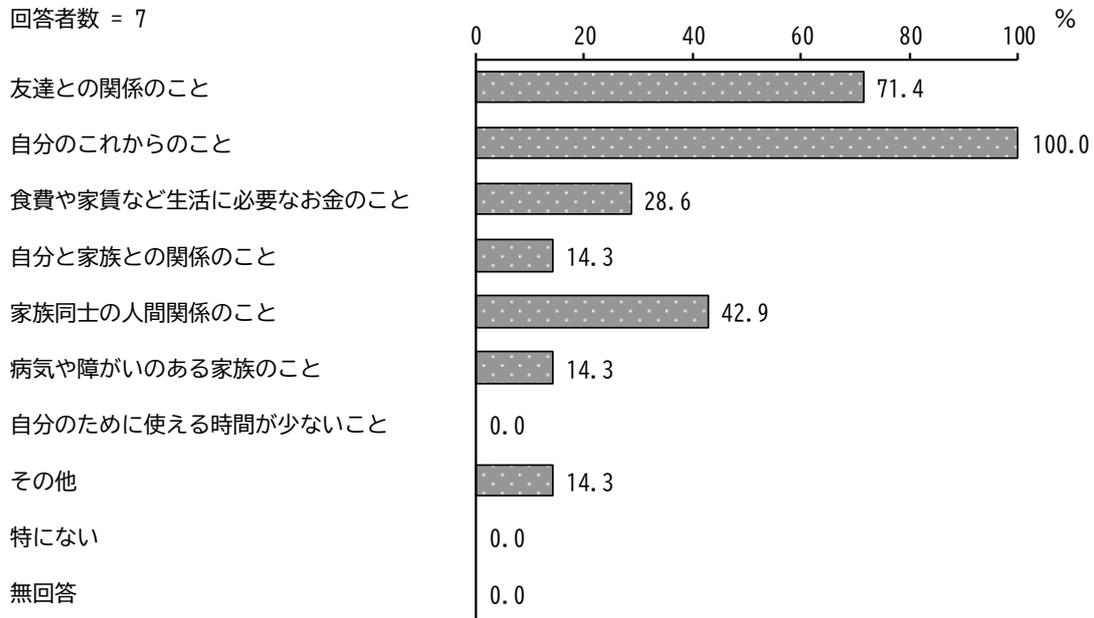
「いる」の割合が64.7%と最も高く、次いで「相談や話をしたくない」の割合が20.6%、「いない」の割合が14.7%となっています。



問15 問4で「家で過ごしている」と回答した方におたずねします。

現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「自分のこれからのこと」が7件となっています。「友達との関係のこと」が5件、「家族同士の人間関係のこと」が3件となっています。



【世話の有無別】

世話の有無別にみると、大きな差はみられません。

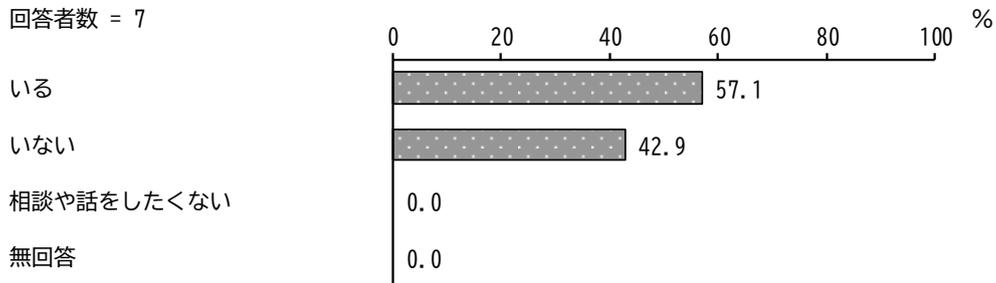
単位：%

区分	回答者数(件)	友達との関係のこと	自分のこれからのこと	食費や家賃など生活に必要なお金のこと	自分と家族との関係のこと	家族同士の人間関係のこと	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	特にない	無回答
全体	7	71.4	100.0	28.6	14.3	42.9	14.3	-	14.3	-	-
いる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
いない	7	71.4	100.0	28.6	14.3	42.9	14.3	-	14.3	-	-

問 16 問 15 で 1 ～ 8 のいずれかを回答した方におたずねします。

回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

「いる」が 4 件となっています。「いない」が 3 件となっています。



【世話の有無別】

世話の有無別にみると、大きな差はみられません。

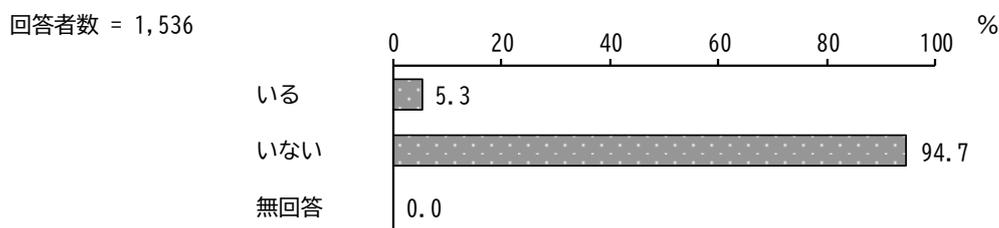
単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	相談や話をしたくない	無回答
全 体	7	57.1	42.9	—	—
いる	—	—	—	—	—
いない	7	57.1	42.9	—	—

### Ⅲ. あなたの家庭や家族について

問 17 家族の中に、あなたがお世話をしている方はいますか。

「いる」の割合が 5.3%、「いない」の割合が 94.7%となっています。



#### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	1536	5.3	94.7	—
男性	627	5.3	94.7	—
女性	866	5.3	94.7	—
その他	16	6.3	93.8	—
答えたくない	26	7.7	92.3	—

#### 【ヤングケアラーの認知別】

ヤングケアラーの認知別にみると、大きな差はみられません。

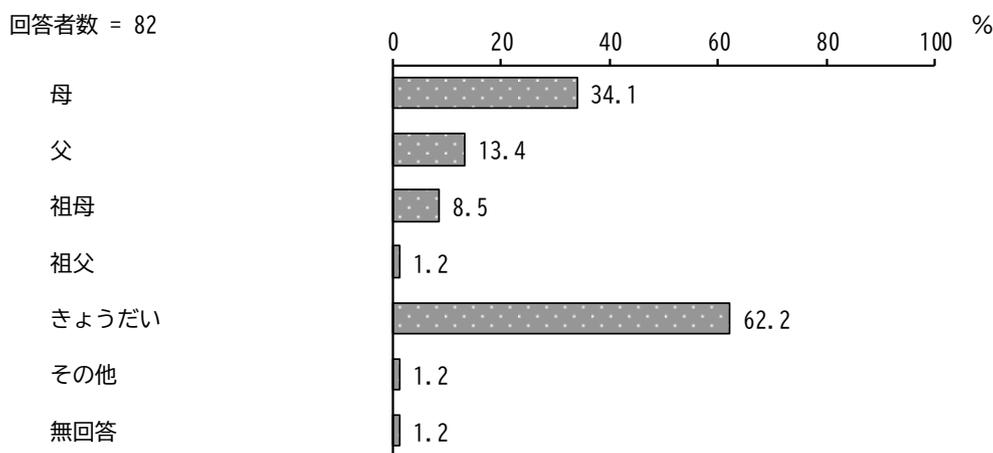
単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	1536	5.3	94.7	—
聞いたことがあり、内容も知っている	802	5.2	94.8	—
聞いたことがあるが、よく知らない	257	5.1	94.9	—
聞いたことはない	476	5.7	94.3	—

問 18 問 17で「いる」と回答した方におたずねします。

① あなたがお世話をしている方はどなたですか。(あてはまるものすべてを選択)

「きょうだい」の割合が62.2%と最も高く、次いで「母」の割合が34.1%、「父」の割合が13.4%となっています。



【性別】

性別にみると、女性で「母」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	母	父	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
全 体	82	34.1	13.4	8.5	1.2	62.2	1.2	1.2
男性	33	27.3	15.2	6.1	3.0	60.6	—	3.0
女性	46	39.1	13.0	10.9	—	63.0	2.2	—
その他	1	—	—	—	—	100.0	—	—
答えたくない	2	50.0	—	—	—	50.0	—	—

【同居家族別】

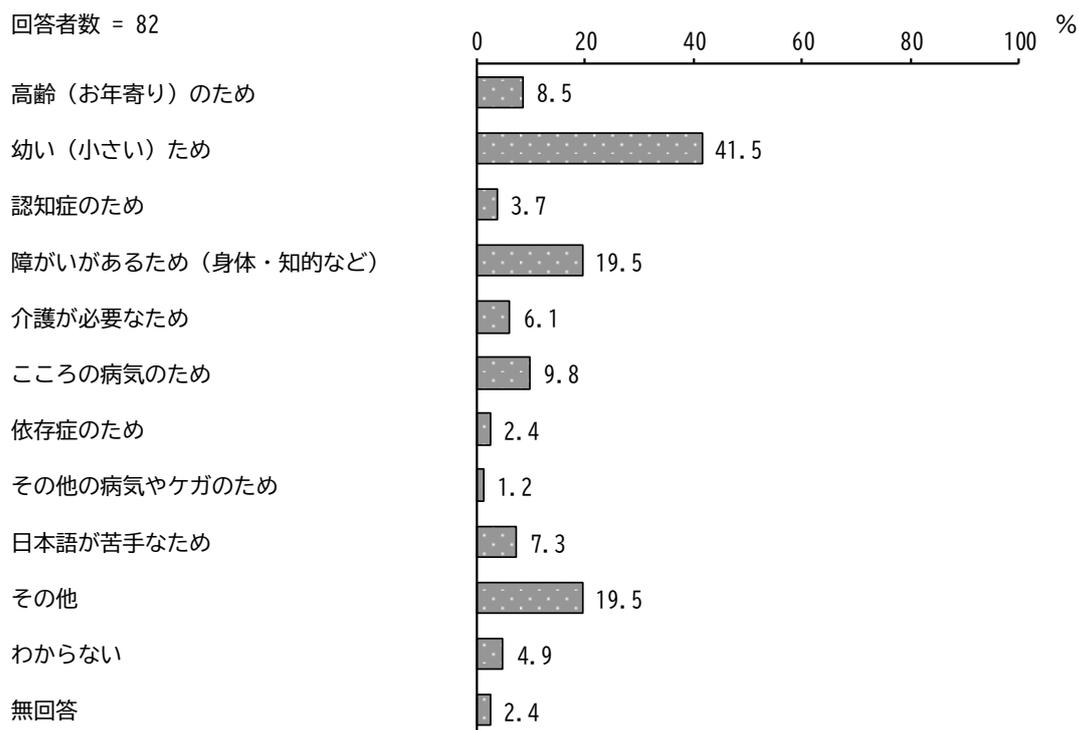
同居家族別にみると、妹で「きょうだい」の割合が、弟で「きょうだい」の割合が、姉で「きょうだい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	母	父	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
全体	82	34.1	13.4	8.5	1.2	62.2	1.2	1.2
母	80	32.5	13.8	8.8	1.3	62.5	1.3	1.3
父	71	28.2	15.5	9.9	1.4	67.6	1.4	1.4
祖母	10	—	—	70.0	—	60.0	—	—
祖父	4	25.0	25.0	50.0	—	75.0	—	—
兄	22	22.7	9.1	18.2	—	59.1	—	—
姉	16	18.8	—	12.5	—	75.0	—	—
弟	43	25.6	16.3	4.7	—	79.1	—	2.3
妹	36	16.7	13.9	8.3	2.8	83.3	—	—
その他	2	—	—	—	—	100.0	—	—

② その方がどのような理由でお世話を必要としているのか教えてください。(あてはまるものすべてを選択)

「若い(小さい)ため」の割合が41.5%と最も高く、次いで「障がいがあるため(身体・知的など)」の割合が19.5%となっています。



### 【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、きょうだいで「幼い（小さい）ため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	高齢（お年寄り）のため	幼い（小さい）ため	認知症のため	障がいがあるため（身体・知的など）	介護が必要なため	ここらの病気のため	依存症のため	その他の病気やケガのため	日本語が苦手なため	その他	わからない	無回答
全体	82	8.5	41.5	3.7	19.5	6.1	9.8	2.4	1.2	7.3	19.5	4.9	2.4
母	28	－	7.1	－	14.3	－	21.4	7.1	3.6	17.9	42.9	10.7	3.6
父	11	－	9.1	－	9.1	9.1	18.2	9.1	－	27.3	27.3	27.3	9.1
祖母	7	85.7	14.3	28.6	14.3	42.9	－	－	－	－	14.3	－	－
祖父	1	100.0	－	100.0	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－	－
きょうだい	51	5.9	66.7	－	21.6	－	2.0	－	－	5.9	13.7	7.8	－
その他	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－

### 【世話をすることについて感じていること別】

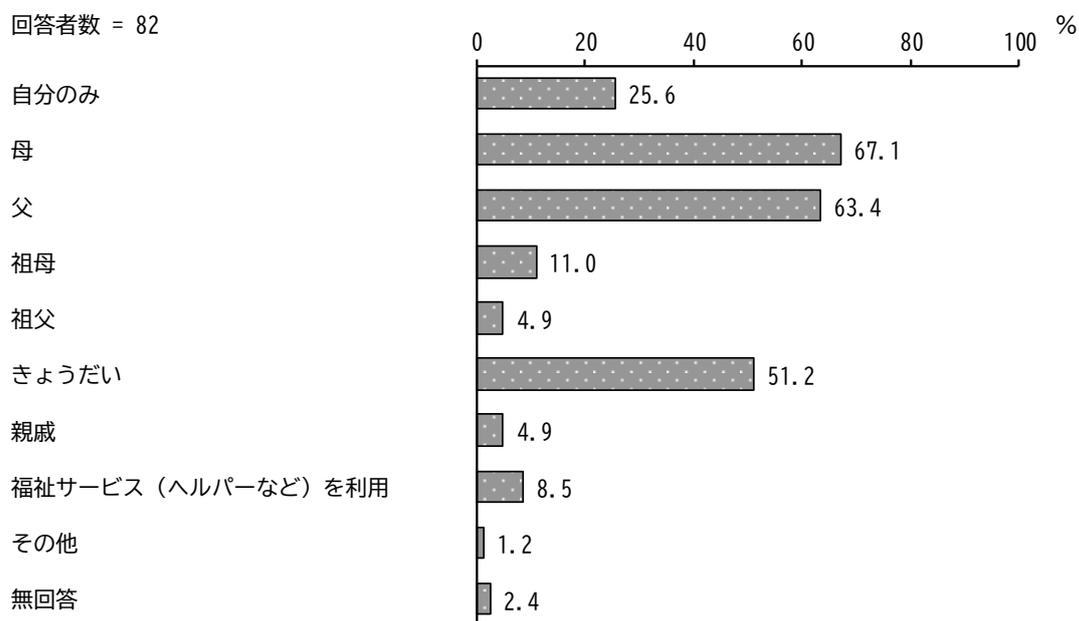
世話をすることについて感じていること別にみると、充実しているで「幼い（小さい）ため」の割合が、楽しいで「幼い（小さい）ため」の割合が、やりがいを感じているで「幼い（小さい）ため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	高齢（お年寄り）のため	幼い（小さい）ため	認知症のため	障がいがあるため（身体・知的など）	介護が必要なため	ここらの病気のため	依存症のため	その他の病気やケガのため	日本語が苦手なため	その他	わからない	無回答
全体	82	8.5	41.5	3.7	19.5	6.1	9.8	2.4	1.2	7.3	19.5	4.9	2.4
やりがいを感じている	16	6.3	62.5	－	18.8	6.3	6.3	6.3	－	12.5	6.3	12.5	－
楽しい	32	6.3	65.6	－	18.8	3.1	6.3	3.1	－	9.4	6.3	3.1	－
充実している	18	5.6	66.7	－	11.1	5.6	5.6	5.6	－	16.7	16.7	5.6	－
体力的につらい	7	－	28.6	－	28.6	－	－	－	－	14.3	28.6	14.3	－
精神的につらい	15	－	26.7	－	13.3	6.7	26.7	6.7	－	13.3	26.7	6.7	－
時間の余裕がない	12	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	8.3	8.3	－	16.7	25.0	8.3	－
特に何も感じていない	23	13.0	34.8	4.3	34.8	－	8.7	－	4.3	－	17.4	4.3	4.3
その他	3	－	－	－	－	－	－	－	－	33.3	100.0	－	－

③ あなたはその方へのお世話を誰かと一緒にしていますか。(あてはまるものすべてを選択)

「母」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「父」の割合が 63.4%、「きょうだい」の割合が 51.2%となっています。



【同居家族別】

同居家族別にみると、祖母で「母」「祖母」の割合が、兄で「きょうだい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自分のみ	母	父	祖母	祖父	きょうだい	親戚	福祉サービス (ヘルパーなど) を利用	その他	無回答
全体	82	25.6	67.1	63.4	11.0	4.9	51.2	4.9	8.5	1.2	2.4
母	80	25.0	68.8	62.5	11.3	5.0	51.3	5.0	8.8	1.3	2.5
父	71	22.5	73.2	71.8	11.3	5.6	56.3	5.6	9.9	—	2.8
祖母	10	10.0	100.0	70.0	40.0	10.0	50.0	10.0	40.0	—	—
祖父	4	50.0	100.0	100.0	25.0	25.0	50.0	—	25.0	—	—
兄	22	9.1	81.8	81.8	18.2	4.5	81.8	4.5	22.7	—	—
姉	16	12.5	68.8	56.3	18.8	6.3	75.0	12.5	18.8	6.3	—
弟	43	25.6	76.7	74.4	11.6	9.3	60.5	4.7	4.7	—	2.3
妹	36	22.2	77.8	66.7	13.9	5.6	61.1	5.6	5.6	—	2.8
その他	2	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—

## 【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、きょうだいで「母」「父」の割合が、母で「自分のみ」の割合が高くなっています。

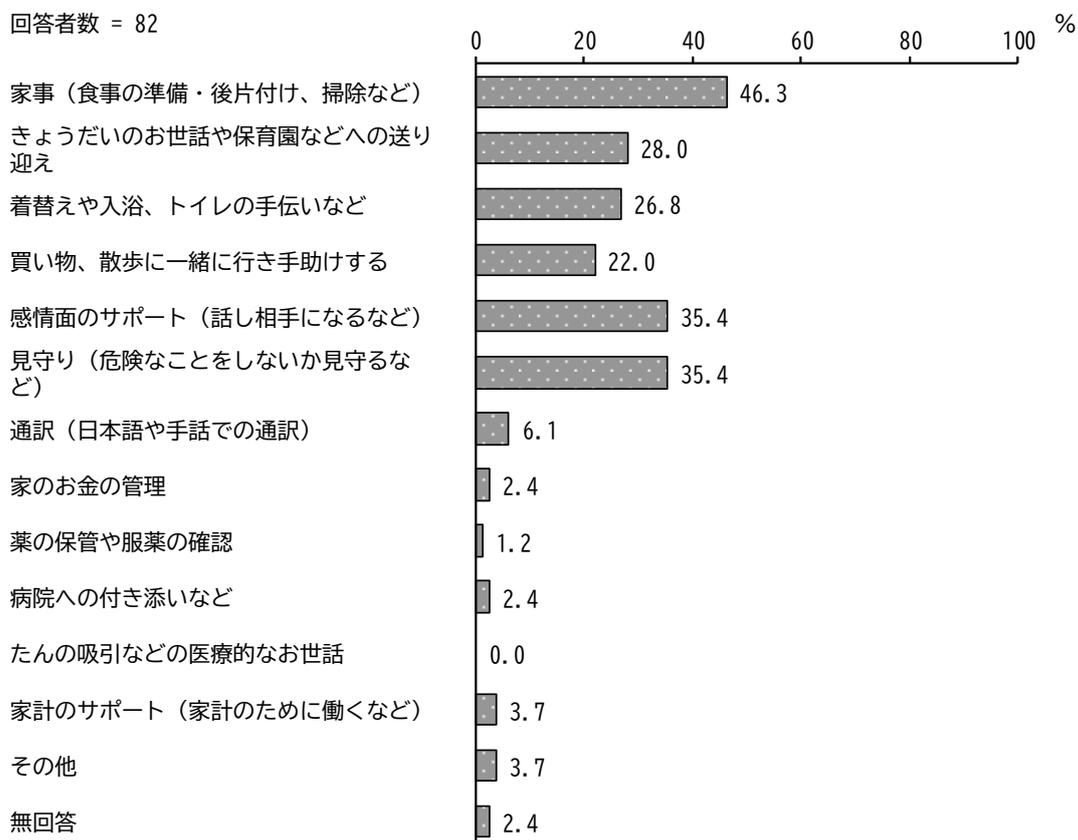
単位：％

区分	回答者数 (件)	自分のみ	母	父	祖母	祖父	きょうだい	親戚	福祉サービス(ヘルパーなど)を利用	その他	無回答
全 体	82	25.6	67.1	63.4	11.0	4.9	51.2	4.9	8.5	1.2	2.4
母	28	46.4	25.0	46.4	—	—	46.4	3.6	—	3.6	3.6
父	11	36.4	72.7	54.5	—	—	54.5	9.1	—	—	9.1
祖母	7	14.3	100.0	57.1	14.3	14.3	57.1	14.3	14.3	—	—
祖父	1	—	100.0	100.0	100.0	—	100.0	100.0	100.0	—	—
きょうだい	51	19.6	88.2	78.4	15.7	5.9	54.9	5.9	11.8	—	—
その他	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—

## ④ あなたはその方にどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものすべてを選択)

「家事（食事の準備・後片付け、掃除など）」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「感情面のサポート（話し相手になるなど）」、「見守り（危険なことをしないか見守るなど）」の割合が 35.4%となっています。

回答者数 = 82



【性別】

性別にみると、女性で「感情面のサポート（話し相手になるなど）」の割合が、男性で「見守り（危険なことをしないか見守るなど）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家事(食事の準備・後片付け、掃除など)	きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え	着替えや入浴、トイレの手伝いなど	着替えや入浴、トイレの手伝いなど	買い物、散歩と一緒に歩き手助けする	感情面のサポート(話し相手になるなど)	見守り(危険なことをしないか見守るなど)	通訳(日本語や手話での通訳)	家のお金の管理	薬の保管や服薬の確認	病院への付き添いなど	たんの吸引などの医療的なお世話	家計のサポート(家計のために働くなど)	その他	無回答
全体	82	46.3	28.0	26.8	22.0	35.4	35.4	6.1	2.4	1.2	2.4	—	3.7	3.7	2.4	
男性	33	45.5	27.3	27.3	21.2	21.2	42.4	—	—	3.0	3.0	—	3.0	—	6.1	
女性	46	50.0	30.4	28.3	23.9	43.5	30.4	10.9	4.3	—	2.2	—	4.3	6.5	—	
その他	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
答えたくない	2	—	—	—	—	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、父で「家事（食事の準備・後片付け、掃除など）」の割合が、母で「家事（食事の準備・後片付け、掃除など）」の割合が、きょうだい「見守り（危険なことをしないか見守るなど）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家事(食事の準備・後片付け、掃除など)	きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え	着替えや入浴、トイレの手伝いなど	着替えや入浴、トイレの手伝いなど	買い物、散歩と一緒に歩き手助けする	感情面のサポート(話し相手になるなど)	見守り(危険なことをしないか見守るなど)	通訳(日本語や手話での通訳)	家のお金の管理	薬の保管や服薬の確認	病院への付き添いなど	たんの吸引などの医療的なお世話	家計のサポート(家計のために働くなど)	その他	無回答
全体	82	46.3	28.0	26.8	22.0	35.4	35.4	6.1	2.4	1.2	2.4	—	3.7	3.7	2.4	
母	28	67.9	10.7	10.7	21.4	35.7	10.7	17.9	3.6	—	—	—	10.7	7.1	3.6	
父	11	72.7	18.2	36.4	36.4	18.2	18.2	18.2	—	9.1	—	—	—	—	9.1	
祖母	7	57.1	—	28.6	14.3	57.1	57.1	—	—	—	14.3	—	—	—	—	
祖父	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
きょうだい	51	37.3	43.1	39.2	27.5	33.3	51.0	3.9	—	—	3.9	—	2.0	2.0	—	
その他	1	100.0	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、2時間で「家事（食事の準備・後片付け、掃除など）」「買い物、散歩に一緒に行き手助けする」「見守り（危険なことをしないか見守るなど）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	家事（食事の準備・後片付け、掃除など）	きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え	手伝いなど	着替えや入浴、トイレの	買い物、散歩と一緒に	き手助けする	買手物、散歩に一緒に	感情面のサポート（話し相手になるなど）	見守り（危険なことをしないか見守るなど）	通訳（日本語や手話での通訳）	家のお金の管理	薬の保管や服薬の確認	病院への付き添いなど	たんの吸引などの医療的なお世話	家計のサポート（家計のために働くなど）	その他	無回答
全体	82	46.3	28.0	26.8	22.0	35.4	35.4	6.1	2.4	1.2	2.4	—	—	—	3.7	3.7	2.4	
1時間未満	36	50.0	22.2	22.2	16.7	33.3	38.9	5.6	—	—	—	—	—	—	2.8	—	—	
1時間	18	38.9	33.3	33.3	16.7	27.8	27.8	5.6	—	5.6	5.6	—	—	—	—	—	—	
2時間	10	80.0	20.0	30.0	50.0	30.0	50.0	—	10.0	—	10.0	—	—	—	—	10.0	—	
3時間	7	57.1	14.3	14.3	14.3	57.1	14.3	14.3	—	—	—	—	—	—	14.3	14.3	—	
4時間	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5時間	4	25.0	75.0	50.0	50.0	50.0	75.0	—	—	—	25.0	—	—	—	—	—	—	
6時間	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7時間	1	—	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
10時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
11時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
12時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
13時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
14時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
15時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
16時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
17時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
18時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
19時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
20時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
21時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
22時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
23時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
24時間	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

【世話をすることについて感じていること別】

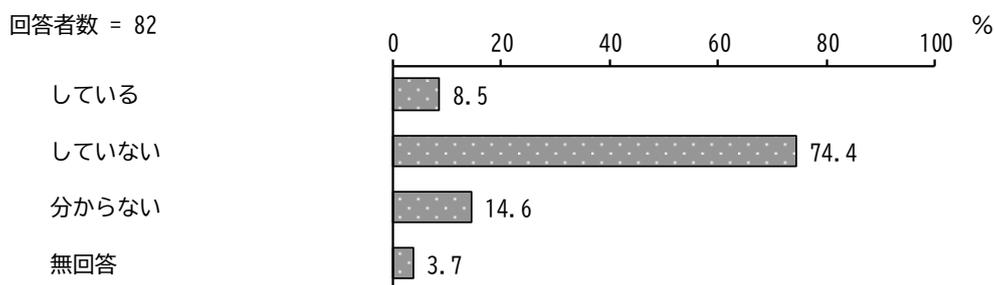
世話をすることについて感じていること別にみると、時間の余裕がないで「家事（食事の準備・後片付け、掃除など）」の割合が、やりがいを感じているで「着替えや入浴、トイレの手伝いなど」「きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え」の割合が、充実しているで「きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	家事（食事の準備・後片付け、掃除など）	きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え	着替えや入浴、トイレの手伝いなど	買い物、散歩に一緒にいき手助けする	感情面のサポート（話し相手になるなど）	見守り（危険なことをしないか見守るなど）	通訳（日本語や手話での通訳）
全 体	82	46.3	28.0	26.8	22.0	35.4	35.4	6.1
やりがいを感じている	16	56.3	50.0	62.5	37.5	18.8	31.3	—
楽しい	32	40.6	40.6	40.6	40.6	34.4	53.1	3.1
充実している	18	50.0	50.0	44.4	38.9	27.8	33.3	11.1
体力的につらい	7	71.4	42.9	28.6	42.9	14.3	42.9	—
精神的につらい	15	66.7	20.0	13.3	13.3	53.3	20.0	13.3
時間の余裕がない	12	83.3	33.3	25.0	41.7	16.7	25.0	—
特に何も感じていない	23	39.1	26.1	30.4	8.7	39.1	47.8	4.3
その他	3	33.3	—	—	33.3	33.3	—	33.3

区分	家のお金の管理	薬の保管や服薬の確認	病院への付き添いなど	たんの吸引などの医療的なお世話	家計のサポート（家計のために働くなど）	その他	無回答
全 体	2.4	1.2	2.4	—	3.7	3.7	2.4
やりがいを感じている	—	—	—	—	—	6.3	—
楽しい	—	—	3.1	—	—	3.1	—
充実している	5.6	—	5.6	—	5.6	11.1	—
体力的につらい	—	—	—	—	14.3	—	—
精神的につらい	—	6.7	—	—	6.7	6.7	—
時間の余裕がない	8.3	—	—	—	16.7	8.3	—
特に何も感じていない	4.3	—	4.3	—	—	—	4.3
その他	33.3	—	—	—	66.7	33.3	—

- ⑤ お世話を必要としている方は、区が提供するサービス（ホームヘルパーなど）を利用していますか。  
「していない」の割合が74.4%と最も高く、次いで「分からない」の割合が14.6%となっています。



【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、母で「分からない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	している	していない	分からない	無回答
全 体	82	8.5	74.4	14.6	3.7
母	28	3.6	75.0	21.4	3.6
父	11	9.1	72.7	18.2	9.1
祖母	7	28.6	71.4	—	—
祖父	1	100.0	—	—	—
きょうだい	51	7.8	78.4	13.7	2.0
その他	1	—	100.0	—	—

【世話の理由別】

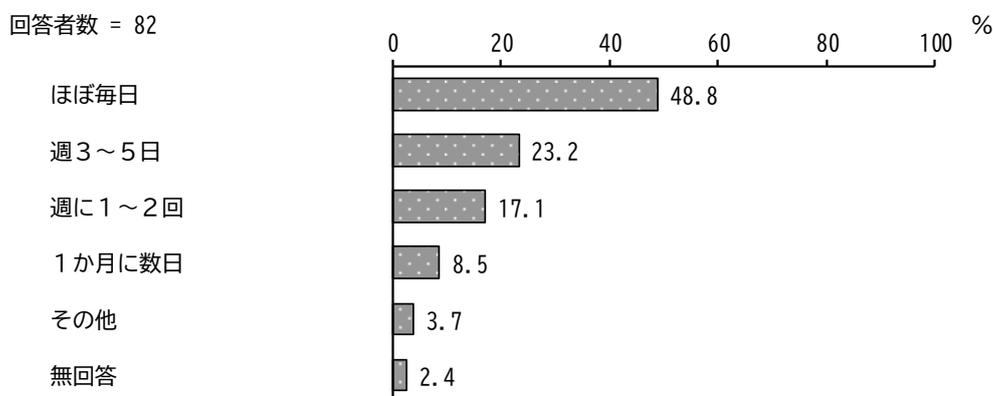
世話の理由別にみると、若い（小さい）ため「していない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	している	していない	分からない	無回答
全 体	82	8.5	74.4	14.6	3.7
高齢（お年寄り）のため	7	28.6	71.4	—	—
若い（小さい）ため	34	—	82.4	14.7	2.9
認知症のため	3	33.3	66.7	—	—
障がいがあるため(身体・知的など)	16	25.0	56.3	18.8	—
介護が必要なため	5	60.0	40.0	—	—
こころの病気のため	8	—	87.5	12.5	—
依存症のため	2	—	100.0	—	—
その他の病気やケガのため	1	—	100.0	—	—
日本語が苦手なため	6	—	83.3	16.7	—
その他	16	—	81.3	18.8	—
わからない	4	25.0	75.0	25.0	—

⑥ あなたはその方へのお世話をどのくらいしていますか。

「ほぼ毎日」の割合が48.8%と最も高く、次いで「週3～5日」の割合が23.2%、「週に1～2回」の割合が17.1%となっています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	ほぼ毎日	週3～5日	週に1～2回	1か月に数日	その他	無回答
全体	82	48.8	23.2	17.1	8.5	3.7	2.4
男性	33	42.4	21.2	15.2	15.2	—	6.1
女性	46	52.2	23.9	19.6	4.3	6.5	—
その他	1	—	100.0	—	—	—	—
答えたくない	2	100.0	—	—	—	—	—

【同居家族別】

同居家族別にみると、祖母で「ほぼ毎日」「週3～5日」の割合が、姉で「週3～5日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ほぼ毎日	週3～5日	週に1～2回	1か月に数日	その他	無回答
全体	82	48.8	23.2	17.1	8.5	3.7	2.4
母	80	50.0	22.5	17.5	7.5	3.8	2.5
父	71	49.3	22.5	16.9	9.9	2.8	2.8
祖母	10	70.0	40.0	—	—	—	—
祖父	4	75.0	25.0	25.0	—	25.0	—
兄	22	59.1	27.3	9.1	—	4.5	—
姉	16	43.8	37.5	18.8	—	—	—
弟	43	48.8	25.6	18.6	7.0	4.7	2.3
妹	36	50.0	27.8	11.1	11.1	—	2.8
その他	2	—	50.0	—	50.0	—	—

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、父で「週に1～2回」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	ほぼ毎日	週3～5日	週に1～2回	1か月に数日	その他	無回答
全体	82	48.8	23.2	17.1	8.5	3.7	2.4
母	28	50.0	10.7	21.4	14.3	7.1	3.6
父	11	45.5	9.1	27.3	18.2	9.1	9.1
祖母	7	71.4	42.9	—	—	—	—
祖父	1	—	—	—	100.0	—	—
きょうだい	51	49.0	27.5	19.6	5.9	3.9	—
その他	1	—	100.0	—	—	—	—

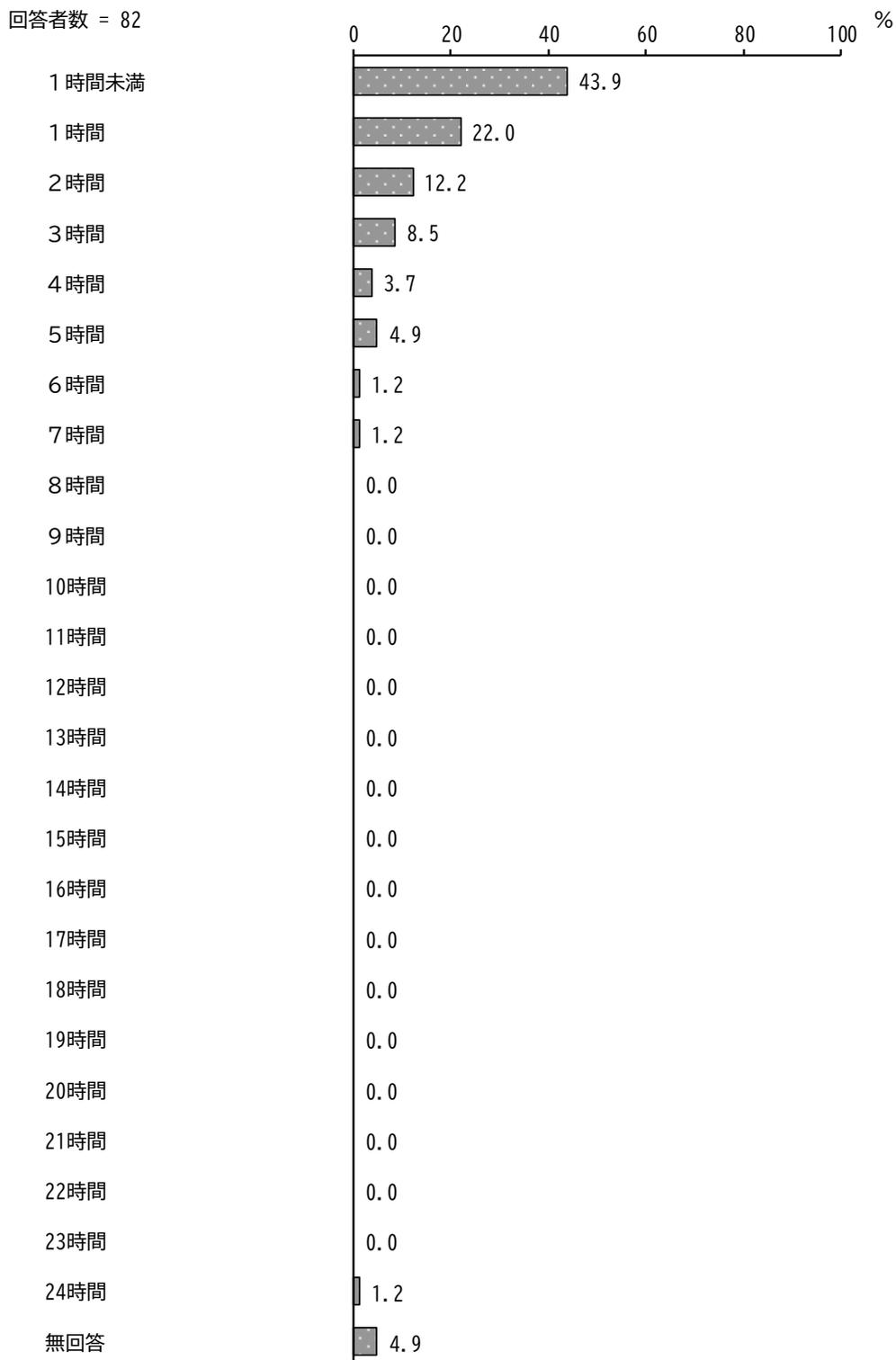
【世話に関する悩み相談の有無別】

世話に関する悩み相談の有無別にみると、あるで「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	ほぼ毎日	週3～5日	週に1～2回	1か月に数日	その他	無回答
全体	82	48.8	23.2	17.1	8.5	3.7	2.4
ある	21	61.9	23.8	14.3	—	4.8	—
ない	58	44.8	24.1	19.0	12.1	3.4	—

⑦ あなたは平日と土日それぞれで、1日何時間くらいその方へのお世話をしていますか。 平日  
「1時間未満」の割合が43.9%と最も高く、次いで「1時間」の割合が22.0%、「2時間」の割合が12.2%となっています。



【性別】

性別にみると、男性で「1時間未満」「1時間」の割合が、女性で「2時間」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	82	43.9	22.0	12.2	8.5	3.7	4.9	1.2	1.2	-	-	-	-	-
男性	33	54.5	27.3	3.0	3.0	3.0	3.0	-	-	-	-	-	-	-
女性	46	37.0	17.4	19.6	13.0	4.3	6.5	2.2	2.2	-	-	-	-	-
その他	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
答えたくない	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	4.9
男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.1
女性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
答えたくない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-

【同居家族別】

同居家族別にみると、兄で「1時間」の割合が、祖母で「1時間未満」の割合が、姉で「2時間」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	82	43.9	22.0	12.2	8.5	3.7	4.9	1.2	1.2	-	-	-	-	-
母	80	43.8	22.5	12.5	7.5	3.8	5.0	1.3	1.3	-	-	-	-	-
父	71	46.5	22.5	9.9	7.0	4.2	5.6	1.4	1.4	-	-	-	-	-
祖母	10	60.0	30.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
祖父	4	75.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兄	22	27.3	40.9	13.6	4.5	9.1	4.5	-	-	-	-	-	-	-
姉	16	37.5	31.3	25.0	6.3	6.3	-	-	-	-	-	-	-	-
弟	43	48.8	20.9	9.3	9.3	2.3	9.3	2.3	-	-	-	-	-	-
妹	36	33.3	27.8	16.7	2.8	2.8	11.1	-	2.8	-	-	-	-	-
その他	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	4.9
母	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3	5.0
父	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.4	4.2
祖母	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
祖父	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5	-
姉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
弟	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3
妹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	82	43.9	22.0	12.2	8.5	3.7	4.9	1.2	1.2	－	－	－	－	－
母	28	46.4	17.9	7.1	14.3	7.1	3.6	3.6	－	－	－	－	－	－
父	11	45.5	18.2	9.1	9.1	－	18.2	9.1	－	－	－	－	－	－
祖母	7	57.1	42.9	14.3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
祖父	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
きょうだい	51	45.1	23.5	15.7	7.8	2.0	3.9	2.0	2.0	－	－	－	－	－
その他	1	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1.2	4.9
母	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7.1
父	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	9.1
祖母	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
祖父	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
きょうだい	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2.0	2.0
その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

【世話の頻度別】

世話の頻度別にみると、週に1～2回で「1時間未満」の割合が、週3～5日で「1時間」「2時間」の割合が高くなっています。

単位：%

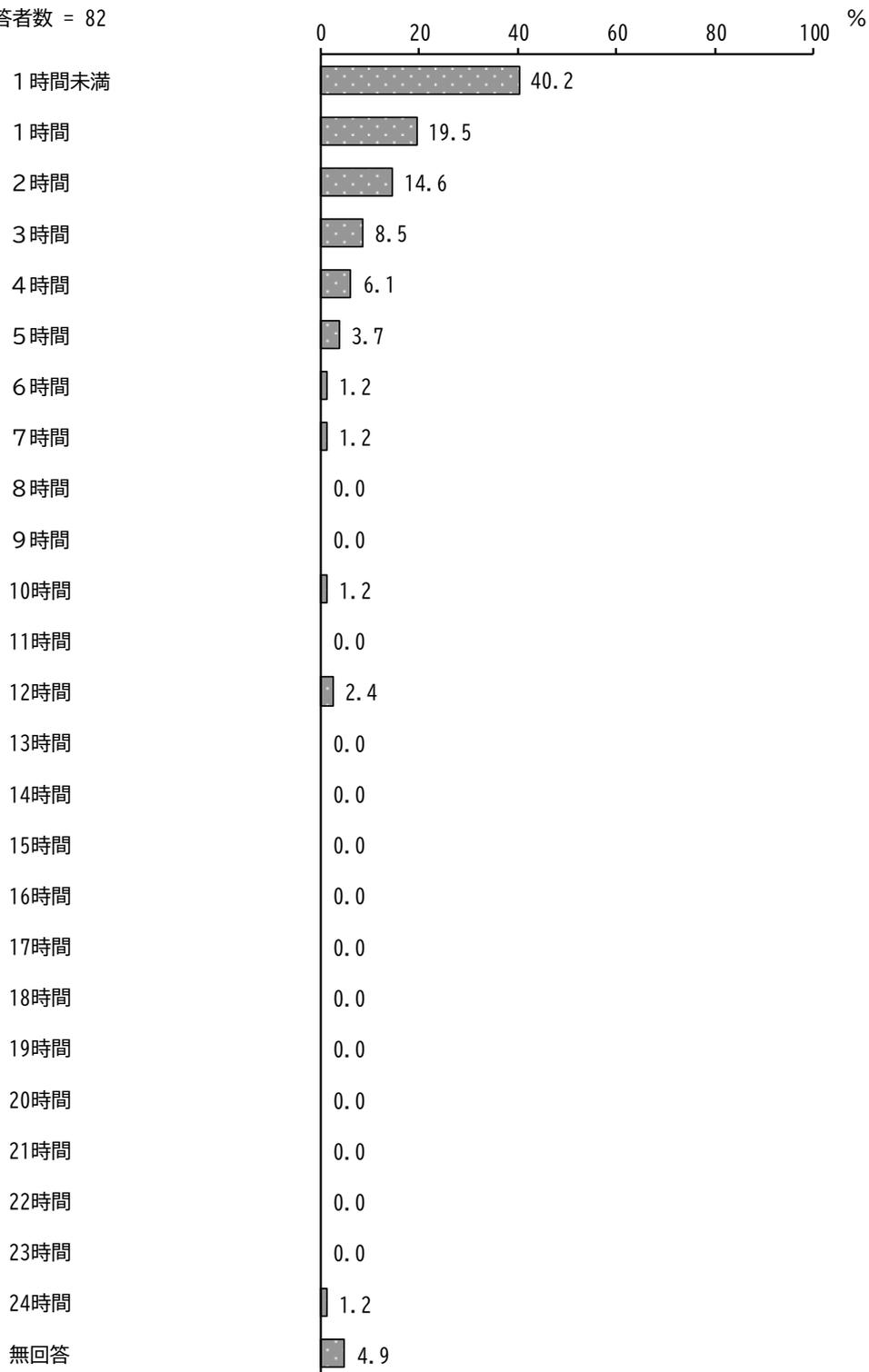
区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	82	43.9	22.0	12.2	8.5	3.7	4.9	1.2	1.2	—	—	—	—	—
ほぼ毎日	40	35.0	27.5	10.0	5.0	5.0	10.0	2.5	2.5	—	—	—	—	—
週3～5日	19	42.1	31.6	21.1	—	5.3	—	—	—	—	—	—	—	—
週に1～2回	14	57.1	14.3	14.3	21.4	—	—	7.1	—	—	—	—	—	—
1か月に数日	7	85.7	—	—	14.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	3	33.3	—	33.3	66.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.2	4.9
ほぼ毎日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.5	2.5
週3～5日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
週に1～2回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1か月に数日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33.3

## 休日

「1時間未満」の割合が40.2%と最も高く、次いで「1時間」の割合が19.5%、「2時間」の割合が14.6%となっています。

回答者数 = 82



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	82	40.2	19.5	14.6	8.5	6.1	3.7	1.2	1.2	—	—	1.2	—	2.4
男性	33	42.4	24.2	9.1	6.1	6.1	3.0	3.0	—	—	—	—	—	—
女性	46	39.1	17.4	17.4	10.9	6.5	4.3	—	2.2	—	—	2.2	—	4.3
その他	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
答えたくない	2	—	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.2	4.9
男性	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.1
女性	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.3
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
答えたくない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	—

【同居家族別】

同居家族別にみると、祖母で「1時間未満」の割合が、姉で「2時間」「1時間未満」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	82	40.2	19.5	14.6	8.5	6.1	3.7	1.2	1.2	-	-	1.2	-	2.4
母	80	40.0	20.0	15.0	7.5	6.3	3.8	1.3	1.3	-	-	1.3	-	2.5
父	71	40.8	19.7	14.1	9.9	5.6	2.8	1.4	1.4	-	-	1.4	-	2.8
祖母	10	70.0	20.0	30.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
祖父	4	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
兄	22	31.8	22.7	22.7	9.1	9.1	-	4.5	-	-	-	-	-	-
姉	16	56.3	6.3	31.3	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
弟	43	39.5	18.6	18.6	7.0	7.0	4.7	2.3	-	-	-	2.3	-	4.7
妹	36	36.1	22.2	25.0	2.8	-	2.8	2.8	2.8	-	-	2.8	-	2.8
その他	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	4.9
母	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3	5.0
父	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.4	4.2
祖母	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
祖父	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5	-
姉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
弟	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3
妹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、きょうだいで「1時間」「2時間」の割合が、母で「1時間未満」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	82	40.2	19.5	14.6	8.5	6.1	3.7	1.2	1.2	-	-	1.2	-	2.4
母	28	46.4	7.1	10.7	10.7	14.3	7.1	-	-	-	-	-	-	3.6
父	11	36.4	9.1	9.1	9.1	18.2	9.1	-	-	-	-	-	-	18.2
祖母	7	71.4	28.6	28.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
祖父	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
きょうだい	51	37.3	27.5	19.6	7.8	2.0	2.0	2.0	2.0	-	-	2.0	-	2.0
その他	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	4.9
母	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.1
父	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1
祖母	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
祖父	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
きょうだい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	2.0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【世話の頻度別】

世話の頻度別にみると、週に1～2回で「1時間」の割合が、週3～5日で「1時間未満」の割合が、ほぼ毎日で「2時間」の割合が高くなっています。

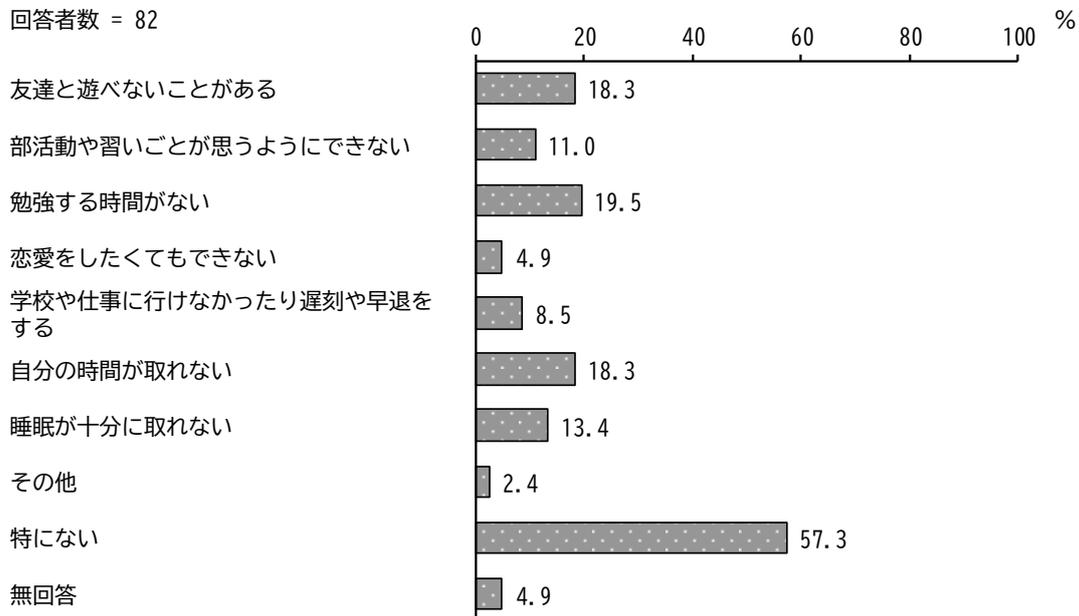
単位：%

区分	回答者数(件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
全体	82	40.2	19.5	14.6	8.5	6.1	3.7	1.2	1.2	—	—	1.2	—	2.4
ほぼ毎日	40	32.5	17.5	20.0	5.0	10.0	2.5	2.5	2.5	—	—	2.5	—	5.0
週3～5日	19	52.6	21.1	15.8	10.5	—	5.3	—	—	—	—	—	—	—
週に1～2回	14	21.4	42.9	14.3	14.3	7.1	7.1	—	—	—	—	—	—	7.1
1か月に数日	7	85.7	—	—	14.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	3	66.7	—	—	33.3	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
全体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.2	4.9
ほぼ毎日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.5	2.5
週3～5日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
週に1～2回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1か月に数日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33.3

問19 あなたは家族のお世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「特にない」の割合が57.3%と最も高く、次いで「勉強する時間がない」の割合が19.5%、「友達と遊べないことがある」、「自分の時間が取れない」の割合が18.3%となっています。



【性別】

性別にみると、女性で「友達と遊べないことがある」「勉強する時間がない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	友達と遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	恋愛をしたくてもできない	学校や仕事に行けなかったり遅刻や早退をする	自分の時間が取れない	睡眠が十分に取れない	その他	特にない	無回答
全体	82	18.3	11.0	19.5	4.9	8.5	18.3	13.4	2.4	57.3	4.9
男性	33	6.1	6.1	9.1	3.0	3.0	15.2	12.1	—	72.7	6.1
女性	46	26.1	13.0	26.1	6.5	13.0	19.6	15.2	4.3	47.8	4.3
その他	1	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—
答えたくない	2	—	—	—	—	—	50.0	—	—	50.0	—

### 【同居家族別】

同居家族別にみると、姉で「友達と遊べないことがある」「自分の時間が取れない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	友達と遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	恋愛をしたくてもできない	早退をする	学校や仕事に行けなかったり遅刻や早退をする	自分の時間が取れない	睡眠が十分に取れない	その他	特にない	無回答
全体	82	18.3	11.0	19.5	4.9	8.5	18.3	13.4	2.4	57.3	4.9	
母	80	17.5	11.3	18.8	5.0	8.8	17.5	12.5	2.5	58.8	5.0	
父	71	18.3	7.0	15.5	5.6	8.5	14.1	11.3	—	62.0	5.6	
祖母	10	20.0	—	10.0	—	—	10.0	10.0	—	40.0	20.0	
祖父	4	—	—	—	—	—	—	—	—	75.0	25.0	
兄	22	22.7	9.1	9.1	4.5	9.1	18.2	9.1	—	68.2	—	
姉	16	25.0	6.3	18.8	—	6.3	25.0	—	6.3	50.0	—	
弟	43	16.3	9.3	16.3	4.7	7.0	11.6	9.3	—	69.8	2.3	
妹	36	19.4	11.1	13.9	5.6	11.1	22.2	11.1	—	55.6	8.3	
その他	2	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—	—	50.0	

### 【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、母で「勉強する時間がない」「自分の時間が取れない」の割合が、父で「友達と遊べないことがある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	友達と遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	恋愛をしたくてもできない	早退をする	学校や仕事に行けなかったり遅刻や早退をする	自分の時間が取れない	睡眠が十分に取れない	その他	特にない	無回答
全体	82	18.3	11.0	19.5	4.9	8.5	18.3	13.4	2.4	57.3	4.9	
母	28	21.4	14.3	32.1	10.7	14.3	28.6	21.4	7.1	50.0	3.6	
父	11	27.3	18.2	9.1	9.1	18.2	18.2	18.2	—	54.5	9.1	
祖母	7	14.3	—	14.3	—	—	14.3	14.3	—	28.6	28.6	
祖父	1	100.0	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	
きょうだい	51	19.6	9.8	15.7	3.9	5.9	13.7	3.9	—	64.7	3.9	
その他	1	—	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	

【世話の理由別】

世話の理由別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	友達と遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	恋愛をしたくてもできない	学校や仕事に行けなかったり遅刻や早退をする	自分の時間が取れない	睡眠が十分に取れない	その他	特にない	無回答
全 体	82	18.3	11.0	19.5	4.9	8.5	18.3	13.4	2.4	57.3	4.9
高齢(お年寄り)のため	7	28.6	—	14.3	—	—	14.3	28.6	—	28.6	14.3
若い(小さい)ため	34	17.6	11.8	11.8	2.9	5.9	11.8	2.9	—	70.6	2.9
認知症のため	3	33.3	—	—	—	—	—	66.7	—	33.3	—
障がいがあるため(身体・知的など)	16	18.8	6.3	12.5	—	—	12.5	12.5	—	62.5	—
介護が必要なため	5	40.0	20.0	20.0	—	—	40.0	40.0	—	—	20.0
こころの病気のため	8	12.5	—	12.5	12.5	25.0	25.0	25.0	—	50.0	—
依存症のため	2	—	—	50.0	50.0	50.0	50.0	—	—	50.0	—
その他の病気やケガのため	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
日本語が苦手なため	6	33.3	33.3	33.3	16.7	16.7	33.3	—	—	50.0	—
その他	16	31.3	18.8	56.3	12.5	18.8	31.3	31.3	12.5	25.0	12.5
わからない	4	25.0	—	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	—	75.0	—

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、2時間で「睡眠が十分に取れない」「友達と遊べないことがある」「自分の時間が取れない」「勉強する時間がない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	友達と遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	恋愛をしたくてもできない	早退をする	学校や仕事に行けなかったり遅刻や早退をする	自分の時間が取れない	睡眠が十分に取れない	その他	特にない	無回答
全体	82	18.3	11.0	19.5	4.9	8.5	18.3	13.4	2.4	57.3	4.9	
1時間未満	36	11.1	5.6	22.2	2.8	2.8	11.1	5.6	-	66.7	8.3	
1時間	18	22.2	5.6	5.6	5.6	5.6	22.2	11.1	5.6	55.6	-	
2時間	10	30.0	20.0	30.0	-	-	30.0	30.0	10.0	30.0	-	
3時間	7	14.3	14.3	14.3	-	-	14.3	28.6	-	71.4	-	
4時間	3	33.3	-	33.3	33.3	66.7	66.7	-	-	33.3	-	
5時間	4	-	-	-	-	25.0	-	25.0	-	75.0	-	
6時間	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
7時間	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	
8時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
14時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
15時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
16時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
17時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
18時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
19時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
21時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
22時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
23時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
24時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	

【世話をすることについて感じていること別】

世話をすることについて感じていること別にみると、時間の余裕がないで「睡眠が十分に取れない」「自分の時間が取れない」「勉強する時間がない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	友達と遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	恋愛をしたくてもできない	学校や仕事に行けなかったり遅刻や早退をする	自分の時間が取れない	睡眠が十分に取れない	その他	特にない	無回答
全体	82	18.3	11.0	19.5	4.9	8.5	18.3	13.4	2.4	57.3	4.9
やりがいを感じている	16	12.5	12.5	18.8	6.3	6.3	18.8	6.3	—	68.8	—
楽しい	32	15.6	9.4	12.5	3.1	6.3	12.5	3.1	—	71.9	—
充実している	18	27.8	22.2	22.2	5.6	11.1	16.7	11.1	—	55.6	—
体力的につらい	7	28.6	14.3	57.1	14.3	14.3	57.1	42.9	—	14.3	—
精神的につらい	15	33.3	26.7	40.0	13.3	20.0	40.0	26.7	—	20.0	6.7
時間の余裕がない	12	41.7	41.7	58.3	33.3	41.7	58.3	58.3	—	16.7	—
特に何も感じていない	23	8.7	4.3	13.0	—	—	8.7	8.7	4.3	73.9	4.3
その他	3	33.3	33.3	66.7	—	33.3	33.3	33.3	33.3	—	—

【世話に関する悩み相談の有無別】

世話に関する悩み相談の有無別にみると、あるで「部活動や習いごとが思うようにできない」「友達と遊べないことがある」「自分の時間が取れない」「勉強する時間がない」の割合が高くなっています。

単位：％

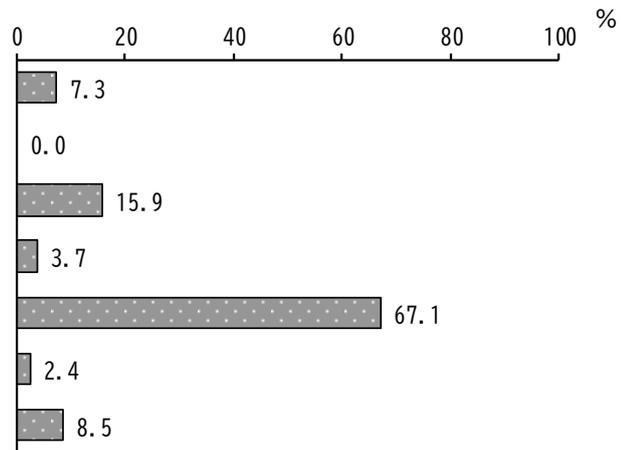
区分	回答者数(件)	友達と遊べないことがある	部活動や習いごとが思うようにできない	勉強する時間がない	恋愛をしたくてもできない	学校や仕事に行けなかったり遅刻や早退をする	自分の時間が取れない	睡眠が十分に取れない	その他	特にない	無回答
全体	82	18.3	11.0	19.5	4.9	8.5	18.3	13.4	2.4	57.3	4.9
ある	21	38.1	33.3	38.1	14.3	28.6	38.1	19.0	—	33.3	—
ない	58	12.1	3.4	13.8	1.7	1.7	12.1	12.1	3.4	67.2	3.4

問 20 家族のお世話をしていることによる、あなたの進路への影響について教えてください。（あてはまるものすべてを選択）

「進路を考えるにあたって、特に影響は受けていない」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている。または、すでにそうした」の割合が 15.9%となっています。

回答者数 = 82

- 進学を諦めて、就職を考えている。または、すでにそうした
- 進学や就職をあきらめて、お世話に専念しようと考えている。または、すでにそうした
- 進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている。または、すでにそうした
- 就職の際は、自宅から通えるところを選択しようと考えている。または、すでにそうした
- 進路を考えるにあたって、特に影響は受けていない
- その他
- 無回答



【同居家族別】

同居家族別にみると、姉で「進路を考えるにあたって、特に影響は受けていない」の割合が、弟で「進路を考えるにあたって、特に影響は受けていない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	進学を諦めて、就職を考えている。または、すでにそうした	進学や就職をあきらめて、お世話に専念しようと考えている。または、すでにそうした	進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている。または、すでにそうした	就職の際は、自宅から通えるところを選択しようと考えている。または、すでにそうした	進路を考えるにあたって、特に影響は受けていない	その他	無回答
全体	82	7.3	—	15.9	3.7	67.1	2.4	8.5
母	80	7.5	—	16.3	3.8	67.5	1.3	8.8
父	71	5.6	—	12.7	4.2	71.8	2.8	7.0
祖母	10	—	—	10.0	10.0	60.0	—	30.0
祖父	4	—	—	—	—	75.0	—	25.0
兄	22	4.5	—	18.2	9.1	68.2	—	4.5
姉	16	6.3	—	12.5	6.3	75.0	—	6.3
弟	43	9.3	—	11.6	2.3	74.4	—	7.0
妹	36	11.1	—	19.4	5.6	66.7	—	5.6
その他	2	—	—	50.0	—	50.0	—	—

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、母で「進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている。または、すでにそうした」の割合が、きょうだい「進路を考えるにあたって、特に影響は受けていない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	進学を諦めて、就職を考えている。または、すでにそうした	進学や就職をあきらめて、お世話に専念しようと考えている。または、すでにそうした	進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている。または、すでにそうした	就職の際は、自宅から通えるところを選択しようと考えている。または、すでにそうした	進路を考えるにあたって、特に影響は受けていない	その他	無回答
全体	82	7.3	—	15.9	3.7	67.1	2.4	8.5
母	28	14.3	—	25.0	3.6	53.6	7.1	7.1
父	11	27.3	—	18.2	9.1	54.5	—	9.1
祖母	7	—	—	14.3	14.3	57.1	—	28.6
祖父	1	—	—	—	—	100.0	—	—
きょうだい	51	3.9	—	11.8	3.9	74.5	—	7.8
その他	1	—	—	100.0	—	—	—	—

【平日の世話の時間別】

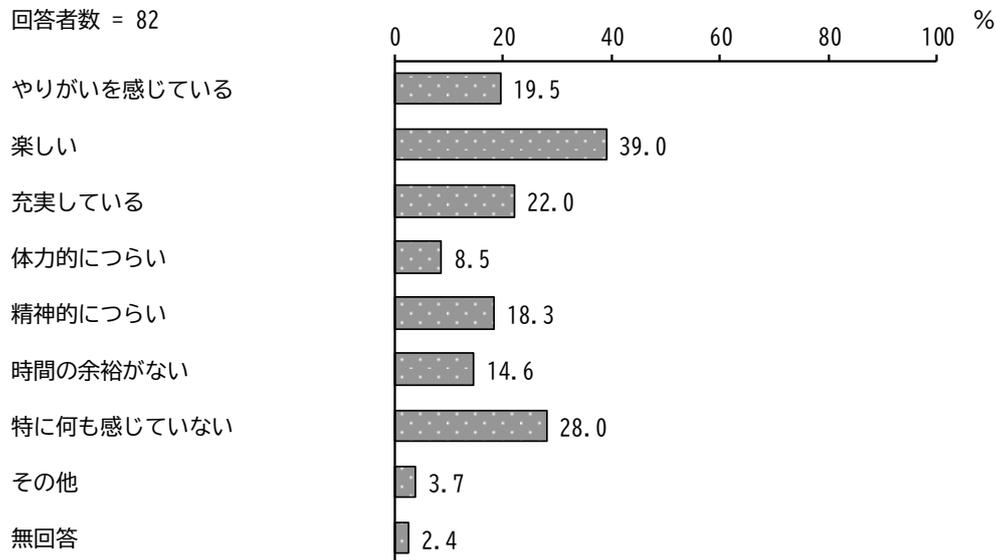
平日の世話の時間別にみると、2時間で「進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている。または、すでにそうした」の割合が、1時間未満で「進路を考えるにあたって、特に影響は受けていない」の割合が、1時間で「進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている。または、すでにそうした」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	進学を諦めて、就職を考えている。または、すでにそうした	進学や就職をあきらめて、お世話に専念しようと考えている。または、すでにそうした	進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている。または、すでにそうした	就職の際は、自宅から通えるところを選択しようと考えている。または、すでにそうした	進路を考えるにあたって、特に影響は受けていない	その他	無回答
全体	82	7.3	—	15.9	3.7	67.1	2.4	8.5
1時間未満	36	—	—	8.3	—	83.3	—	8.3
1時間	18	5.6	—	22.2	5.6	72.2	—	—
2時間	10	10.0	—	40.0	10.0	40.0	—	10.0
3時間	7	28.6	—	14.3	—	42.9	14.3	14.3
4時間	3	—	—	—	—	66.7	33.3	—
5時間	4	50.0	—	25.0	25.0	50.0	—	—
6時間	1	—	—	—	—	100.0	—	—
7時間	1	—	—	100.0	—	—	—	—
8時間	—	—	—	—	—	—	—	—
9時間	—	—	—	—	—	—	—	—
10時間	—	—	—	—	—	—	—	—
11時間	—	—	—	—	—	—	—	—
12時間	—	—	—	—	—	—	—	—
13時間	—	—	—	—	—	—	—	—
14時間	—	—	—	—	—	—	—	—
15時間	—	—	—	—	—	—	—	—
16時間	—	—	—	—	—	—	—	—
17時間	—	—	—	—	—	—	—	—
18時間	—	—	—	—	—	—	—	—
19時間	—	—	—	—	—	—	—	—
20時間	—	—	—	—	—	—	—	—
21時間	—	—	—	—	—	—	—	—
22時間	—	—	—	—	—	—	—	—
23時間	—	—	—	—	—	—	—	—
24時間	1	—	—	—	100.0	—	—	—

問 21 あなたはお世話をする事について、どのようなことを感じていますか。(あてはまるものすべてを選択)

「楽しい」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「特に何も感じていない」の割合が 28.0%、「充実している」の割合が 22.0%となっています。



【性別】

性別にみると、男性で「楽しい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	やりがいを感じている	楽しい	充実している	体力的につらい	精神的につらい	時間の余裕がない	特に何も感じていない	その他	無回答
全 体	82	19.5	39.0	22.0	8.5	18.3	14.6	28.0	3.7	2.4
男性	33	24.2	45.5	24.2	9.1	12.1	15.2	24.2	—	3.0
女性	46	17.4	37.0	21.7	8.7	21.7	15.2	28.3	6.5	2.2
その他	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
答えたくない	2	—	—	—	—	50.0	—	50.0	—	—

### 【同居家族別】

同居家族別にみると、姉で「楽しい」の割合が、祖母で「特に何も感じていない」の割合が、弟で「楽しい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	やりがいを感じている	楽しい	充実している	体力的につらい	精神的につらい	時間の余裕がない	特に何も感じていない	その他	無回答
全 体	82	19.5	39.0	22.0	8.5	18.3	14.6	28.0	3.7	2.4
母	80	20.0	40.0	22.5	8.8	17.5	15.0	28.8	2.5	2.5
父	71	21.1	43.7	22.5	7.0	15.5	12.7	28.2	1.4	2.8
祖母	10	20.0	40.0	10.0	—	—	10.0	40.0	—	10.0
祖父	4	25.0	50.0	25.0	—	—	—	25.0	—	25.0
兄	22	13.6	40.9	13.6	—	13.6	13.6	36.4	—	—
姉	16	18.8	56.3	12.5	6.3	6.3	6.3	25.0	6.3	—
弟	43	25.6	48.8	27.9	11.6	18.6	11.6	23.3	2.3	2.3
妹	36	22.2	47.2	19.4	8.3	16.7	19.4	22.2	2.8	2.8
その他	2	50.0	50.0	50.0	—	50.0	—	—	—	—

### 【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、父で「精神的につらい」「やりがいを感じている」「充実している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	やりがいを感じている	楽しい	充実している	体力的につらい	精神的につらい	時間の余裕がない	特に何も感じていない	その他	無回答
全 体	82	19.5	39.0	22.0	8.5	18.3	14.6	28.0	3.7	2.4
母	28	14.3	21.4	21.4	14.3	32.1	21.4	17.9	10.7	3.6
父	11	36.4	45.5	36.4	18.2	36.4	18.2	—	—	9.1
祖母	7	14.3	28.6	14.3	—	—	14.3	42.9	—	14.3
祖父	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—
きょうだい	51	25.5	52.9	25.5	7.8	13.7	9.8	29.4	2.0	—
その他	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—

【世話の頻度別】

世話の頻度別にみると、週に1～2回で「楽しい」の割合が、週3～5日で「楽しい」「やりがいを感じている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	やりがいを感じ ている	楽しい	充実している	体力的につらい	精神的につらい	時間の余裕がない	特に何も感じて ない	その他	無回答
全 体	82	19.5	39.0	22.0	8.5	18.3	14.6	28.0	3.7	2.4
ほぼ毎日	40	20.0	37.5	20.0	10.0	22.5	15.0	32.5	—	2.5
週3～5日	19	26.3	52.6	26.3	5.3	10.5	15.8	15.8	10.5	—
週に1～2回	14	14.3	64.3	21.4	14.3	21.4	7.1	28.6	—	—
1か月に数日	7	14.3	—	28.6	—	28.6	14.3	14.3	—	—
その他	3	33.3	33.3	66.7	—	—	33.3	33.3	33.3	—

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、2時間で「時間の余裕がない」「楽しい」「やりがいを感じている」の割合が高くなっています。

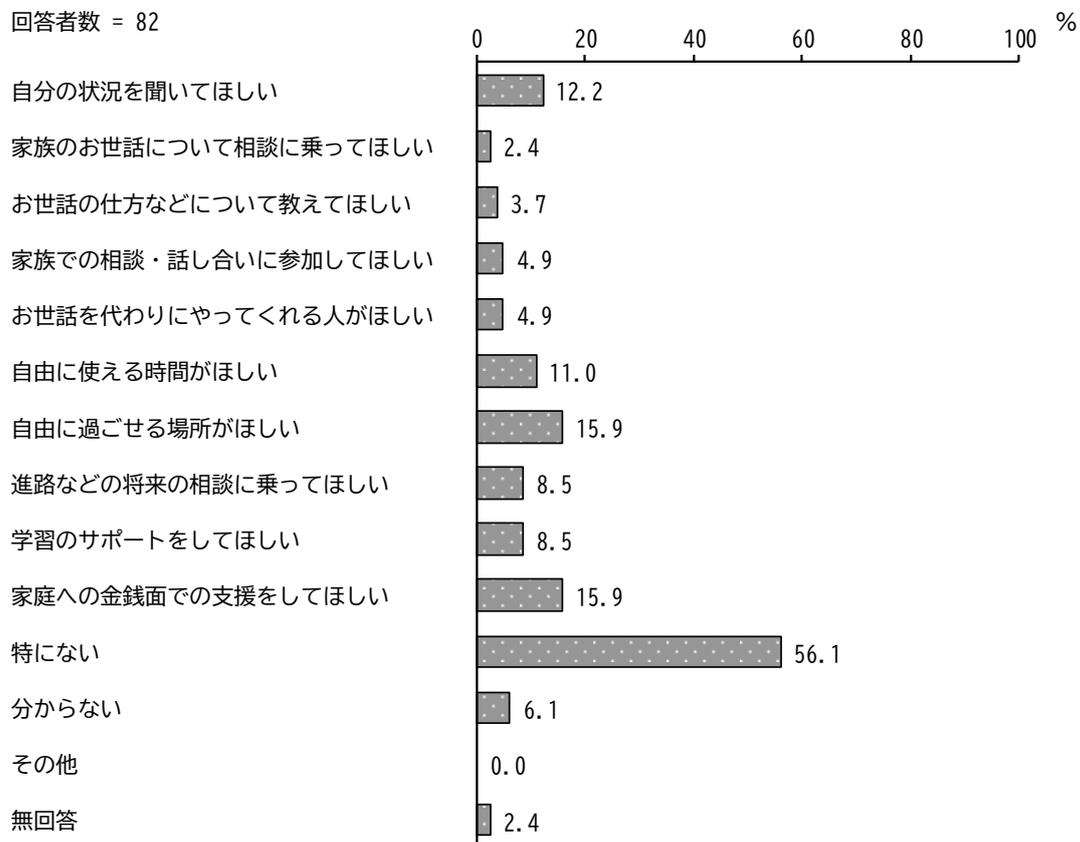
単位：%

区分	回答者数(件)	やりがいを感じている	楽しい	充実している	体力的につらい	精神的につらい	時間の余裕がない	特に何も感じていない	その他	無回答
全 体	82	19.5	39.0	22.0	8.5	18.3	14.6	28.0	3.7	2.4
1時間未満	36	22.2	38.9	22.2	5.6	8.3	5.6	30.6	2.8	2.8
1時間	18	16.7	38.9	16.7	11.1	16.7	11.1	27.8	5.6	—
2時間	10	30.0	50.0	30.0	10.0	20.0	30.0	30.0	—	—
3時間	7	14.3	28.6	14.3	14.3	42.9	14.3	28.6	—	—
4時間	3	—	33.3	—	—	66.7	33.3	—	—	—
5時間	4	50.0	75.0	50.0	25.0	25.0	25.0	—	—	—
6時間	1	—	100.0	100.0	—	100.0	—	—	—	—
7時間	1	100.0	100.0	100.0	—	—	100.0	—	—	—
8時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24時間	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—

問 22 あなたが学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「特にない」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「自由に過ごせる場所がほしい」、「家庭への金銭面での支援をしてほしい」の割合が 15.9%となっています。

回答者数 = 82



【性別】

性別にみると、女性で「家庭への金銭面での支援をしてほしい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	自分の状況を聞いてほしい	家族のお世話について相談に乗ってほしい	お世話の仕方などについて教えてほしい	家族での相談・話し合いに参加してほしい	お世話を代わりにやってくれる人がほしい	自由に使える時間がほしい	自由に過ごせる場所がほしい	進路などの将来の相談に乗ってほしい	学習のサポートをしてほしい	家庭への金銭面での支援をしてほしい	特にない	分からない	その他	無回答
全体	82	12.2	2.4	3.7	4.9	4.9	11.0	15.9	8.5	8.5	15.9	56.1	6.1	—	2.4
男性	33	9.1	3.0	3.0	6.1	3.0	9.1	9.1	3.0	9.1	3.0	69.7	3.0	—	3.0
女性	46	15.2	2.2	4.3	4.3	6.5	13.0	17.4	13.0	8.7	21.7	50.0	8.7	—	2.2
その他	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—
答えたくない	2	—	—	—	—	—	—	50.0	—	—	50.0	—	—	—	—

【同居家族別】

同居家族別にみると、姉で「家庭への金銭面での支援をしてほしい」の割合が、妹で「自由に過ごせる場所がほしい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	自分の状況を聞いてほしい	家族のお世話について相談に乗ってほしい	お世話の仕方などについて教えてほしい	家族での相談・話し合いに参加してほしい	お世話を代わりにやってくれる人がほしい	自由に使える時間がほしい	自由に過ごせる場所がほしい	進路などの将来の相談に乗ってほしい	学習のサポートをしてほしい	家庭への金銭面での支援をしてほしい	特にない	分からない	その他	無回答
全体	82	12.2	2.4	3.7	4.9	4.9	11.0	15.9	8.5	8.5	15.9	56.1	6.1	—	2.4
母	80	11.3	2.5	2.5	5.0	3.8	8.8	13.8	6.3	8.8	15.0	57.5	6.3	—	2.5
父	71	11.3	2.8	4.2	5.6	5.6	11.3	15.5	7.0	8.5	11.3	59.2	7.0	—	2.8
祖母	10	10.0	—	—	10.0	—	—	—	10.0	20.0	10.0	50.0	10.0	—	10.0
祖父	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	75.0	—	—	25.0
兄	22	4.5	—	—	4.5	—	4.5	9.1	4.5	9.1	13.6	59.1	13.6	—	—
姉	16	6.3	—	—	—	—	—	12.5	12.5	6.3	25.0	62.5	—	—	—
弟	43	7.0	—	—	2.3	2.3	9.3	18.6	4.7	4.7	14.0	58.1	9.3	—	2.3
妹	36	5.6	2.8	2.8	2.8	5.6	11.1	22.2	8.3	5.6	16.7	58.3	8.3	—	2.8
その他	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、父で「自由に過ごせる場所がほしい」「自由に使える時間がほしい」の割合が、母で「自由に過ごせる場所がほしい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分の状況を聞いてほしい	家族のお世話について相談に乗ってほしい	家族のお世話について教えてほしい	お世話を仕方などについて参加してほしい	家族での相談・話し合いに参加してほしい	お世話を代わりにやってくれる人がほしい	自由に使える時間がほしい	自由に過ごせる場所がほしい	自由に過ごせる場所がほしい	進路などの将来の相談に乗ってほしい	学習のサポートをしてほしい	家庭への金銭面での支援をしてほしい	特にない	分からない	その他	無回答
全 体	82	12.2	2.4	3.7	4.9	4.9	11.0	15.9	8.5	8.5	15.9	56.1	6.1	-	2.4		
母	28	14.3	3.6	7.1	7.1	10.7	21.4	28.6	17.9	10.7	25.0	42.9	7.1	-	3.6		
父	11	-	-	-	-	9.1	27.3	36.4	9.1	9.1	9.1	45.5	9.1	-	9.1		
祖母	7	14.3	-	-	14.3	-	-	-	14.3	14.3	-	42.9	14.3	-	14.3		
祖父	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
きょうだい	51	7.8	2.0	2.0	3.9	3.9	5.9	13.7	3.9	7.8	17.6	66.7	3.9	-	-		
その他	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-		

【世話の理由別】

世話の理由別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分の状況を聞いてほしい	家族のお世話について相談に乗ってほしい	お世話の仕方などについて教えてほしい	家族での相談・話し合いに参加してほしい	お世話を代わりにやってくれる人がほしい	自由に使える時間がほしい	自由に過ごせる場所がほしい
全体	82	12.2	2.4	3.7	4.9	4.9	11.0	15.9
高齢(お年寄り)のため	7	28.6	-	-	14.3	-	-	-
幼い(小さい)ため	34	8.8	2.9	2.9	5.9	2.9	2.9	11.8
認知症のため	3	33.3	-	-	33.3	-	-	-
障がいがあるため(身体・知的など)	16	12.5	-	-	-	-	6.3	-
介護が必要なため	5	40.0	-	-	20.0	-	20.0	20.0
こころの病気のため	8	37.5	12.5	25.0	12.5	25.0	25.0	50.0
依存症のため	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
その他の病気やケガのため	1	-	-	-	-	-	-	-
日本語が苦手なため	6	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	50.0	66.7
その他	16	-	-	-	6.3	6.3	18.8	18.8
わからない	4	-	-	-	-	25.0	25.0	25.0

区分	進路などの将来の相談に乗ってほしい	学習のサポートをしてほしい	家庭への金銭面で支援をしてほしい	特になし	分からない	その他	無回答
全体	8.5	8.5	15.9	56.1	6.1	-	2.4
高齢(お年寄り)のため	14.3	14.3	-	42.9	14.3	-	-
幼い(小さい)ため	2.9	5.9	11.8	67.6	5.9	-	-
認知症のため	-	33.3	-	33.3	-	-	-
障がいがあるため(身体・知的など)	-	6.3	18.8	68.8	-	-	-
介護が必要なため	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0
こころの病気のため	12.5	12.5	12.5	37.5	12.5	-	-
依存症のため	-	50.0	-	50.0	-	-	-
その他の病気やケガのため	-	-	-	100.0	-	-	-
日本語が苦手なため	66.7	33.3	33.3	16.7	-	-	-
その他	12.5	6.3	31.3	37.5	18.8	-	-
わからない	-	25.0	25.0	75.0	-	-	-

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、2時間で「家庭への金銭面での支援をしてほしい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分の状況を聞いてほしい	家族のお世話について相談に乗ってほしい	お世話の仕方などについて教えてほしい	家族での相談・話し合いに参加してほしい	お世話を代わりにやってくれる人がほしい	自由に使える時間がほしい	自由に過ごせる場所がほしい	進路などの将来の相談に乗ってほしい	学習のサポートをしてほしい	家庭への金銭面での支援をしてほしい	特にない	分からない	その他	無回答
全体	82	12.2	2.4	3.7	4.9	4.9	11.0	15.9	8.5	8.5	15.9	56.1	6.1	-	2.4
1時間未満	36	13.9	-	-	2.8	-	2.8	8.3	8.3	2.8	11.1	66.7	5.6	-	2.8
1時間	18	5.6	-	-	5.6	5.6	11.1	16.7	-	11.1	5.6	66.7	5.6	-	-
2時間	10	-	-	-	-	-	10.0	20.0	-	10.0	40.0	40.0	-	-	-
3時間	7	28.6	-	14.3	-	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	42.9	42.9	-	-	-
4時間	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-
5時間	4	-	-	-	-	-	25.0	25.0	25.0	-	-	50.0	25.0	-	-
6時間	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
7時間	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-
8時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24時間	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-

【世話をすることについて感じていること別】

世話をすることについて感じていること別にみると、時間の余裕がないで「自由に過ごせる場所がほしい」「自由に使える時間がほしい」の割合が、精神的につらいで「自由に過ごせる場所がほしい」の割合が高くなっています。

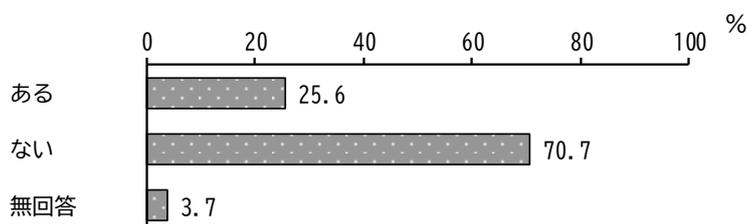
単位：%

区分	回答者数(件)	自分の状況を聞いてほしい	家族のお世話について相談に乗ってほしい	お世話の仕方などについて教えてほしい	家族での相談・話し合いに参加してほしい	お世話を代わりにやってくれる人がほしい	自由に使える時間がほしい	自由に過ごせる場所がほしい	進路などの将来の相談に乗ってほしい	学習のサポートをしてほしい	家庭への金銭面での支援をしてほしい	特にない	分からない	その他	無回答
全体	82	12.2	2.4	3.7	4.9	4.9	11.0	15.9	8.5	8.5	15.9	56.1	6.1	-	2.4
やりがいを感じている	16	12.5	6.3	6.3	6.3	6.3	12.5	18.8	18.8	6.3	-	75.0	-	-	-
楽しい	32	12.5	3.1	3.1	3.1	3.1	6.3	12.5	9.4	9.4	6.3	68.8	3.1	-	-
充実している	18	22.2	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	16.7	11.1	11.1	-	66.7	-	-	-
体力的につらい	7	28.6	-	-	-	14.3	42.9	42.9	28.6	14.3	28.6	-	-	-	-
精神的につらい	15	26.7	6.7	13.3	13.3	20.0	33.3	46.7	13.3	20.0	40.0	6.7	13.3	-	-
時間の余裕がない	12	25.0	16.7	16.7	25.0	25.0	41.7	50.0	16.7	33.3	33.3	8.3	8.3	-	-
特に何も感じていない	23	4.3	-	-	-	-	4.3	8.7	-	-	17.4	73.9	4.3	-	-
その他	3	-	-	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	66.7	-	-	-

問23 あなたはお世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。

「ある」の割合が25.6%、「ない」の割合が70.7%となっています。

回答者数 = 82



【性別】

性別にみると、男性で「ない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	82	25.6	70.7	3.7
男性	33	15.2	78.8	6.1
女性	46	30.4	67.4	2.2
その他	1	－	100.0	－
答えたくない	2	100.0	－	－

【同居家族別】

同居家族別にみると、兄で「ある」の割合が、祖母で「ない」の割合が、弟で「ない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	82	25.6	70.7	3.7
母	80	26.3	70.0	3.8
父	71	22.5	73.2	4.2
祖母	10	10.0	80.0	10.0
祖父	4	－	75.0	25.0
兄	22	36.4	63.6	－
姉	16	25.0	75.0	－
弟	43	18.6	76.7	4.7
妹	36	22.2	75.0	2.8
その他	2	50.0	50.0	－

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、父で「ある」の割合が、きょうだいで「ない」の割合が、母で「ある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	82	25.6	70.7	3.7
母	28	32.1	64.3	3.6
父	11	36.4	54.5	9.1
祖母	7	14.3	71.4	14.3
祖父	1	—	100.0	—
きょうだい	51	19.6	80.4	—
その他	1	100.0	—	—

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、1時間未満で「ない」の割合が、1時間で「ない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	82	25.6	70.7	3.7
1時間未満	36	11.1	86.1	2.8
1時間	18	22.2	77.8	—
2時間	10	30.0	70.0	—
3時間	7	28.6	71.4	—
4時間	3	66.7	33.3	—
5時間	4	50.0	50.0	—
6時間	1	100.0	—	—
7時間	1	100.0	—	—
8時間	—	—	—	—
9時間	—	—	—	—
10時間	—	—	—	—
11時間	—	—	—	—
12時間	—	—	—	—
13時間	—	—	—	—
14時間	—	—	—	—
15時間	—	—	—	—
16時間	—	—	—	—
17時間	—	—	—	—
18時間	—	—	—	—
19時間	—	—	—	—
20時間	—	—	—	—
21時間	—	—	—	—
22時間	—	—	—	—
23時間	—	—	—	—
24時間	1	100.0	—	—

【世話をすることについて感じていること別】

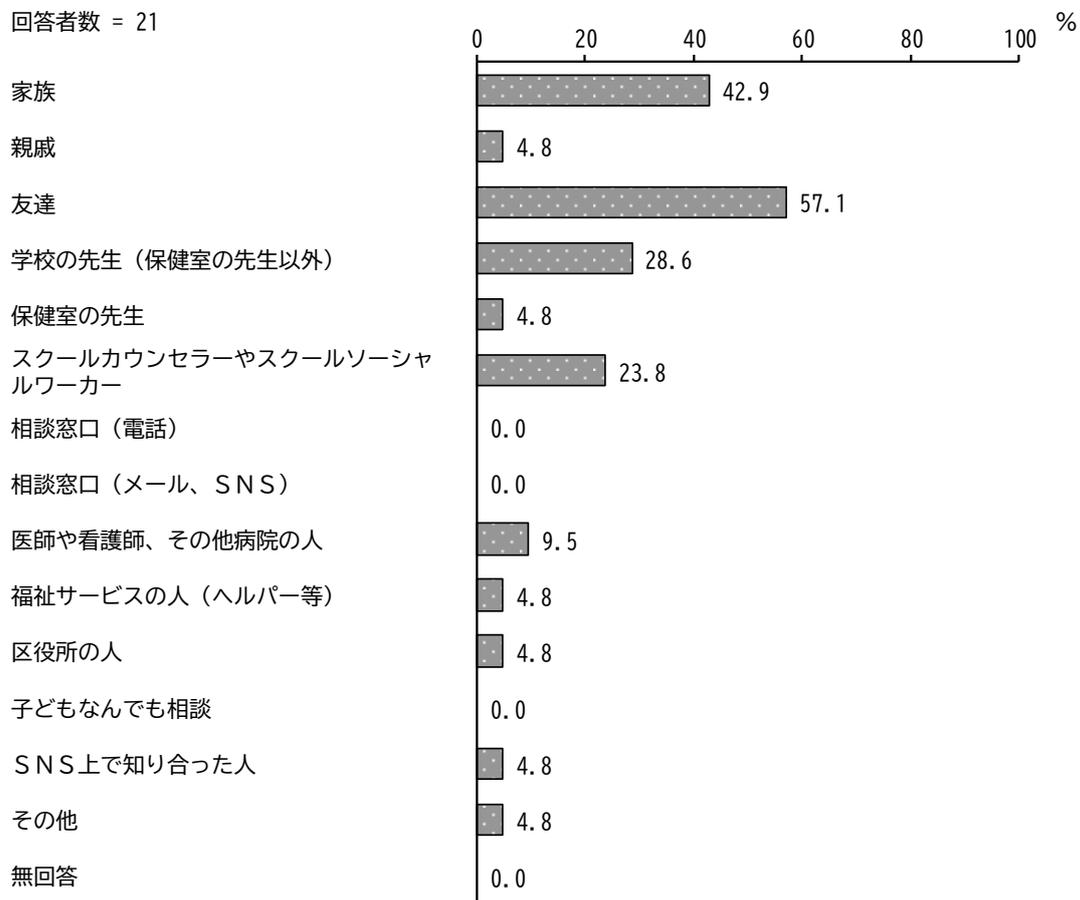
世話をすることについて感じていること別にみると、精神的につらいで「ある」の割合が、時間の余裕がないで「ある」の割合が、特に何も感じていないで「ない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	82	25.6	70.7	3.7
やりがいを感じている	16	25.0	75.0	—
楽しい	32	25.0	75.0	—
充実している	18	27.8	72.2	—
体力的につらい	7	14.3	85.7	—
精神的につらい	15	53.3	46.7	—
時間の余裕がない	12	50.0	50.0	—
特に何も感じていない	23	17.4	78.3	4.3
その他	3	33.3	66.7	—

問 24 問 23 で「ある」と回答した方におたずねします。あなたは誰に相談しましたか。(あてはまるものすべてを選択)

「友達」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「家族」の割合が 42.9%、「学校の先生（保健室の先生以外）」の割合が 28.6%となっています。



【性別】

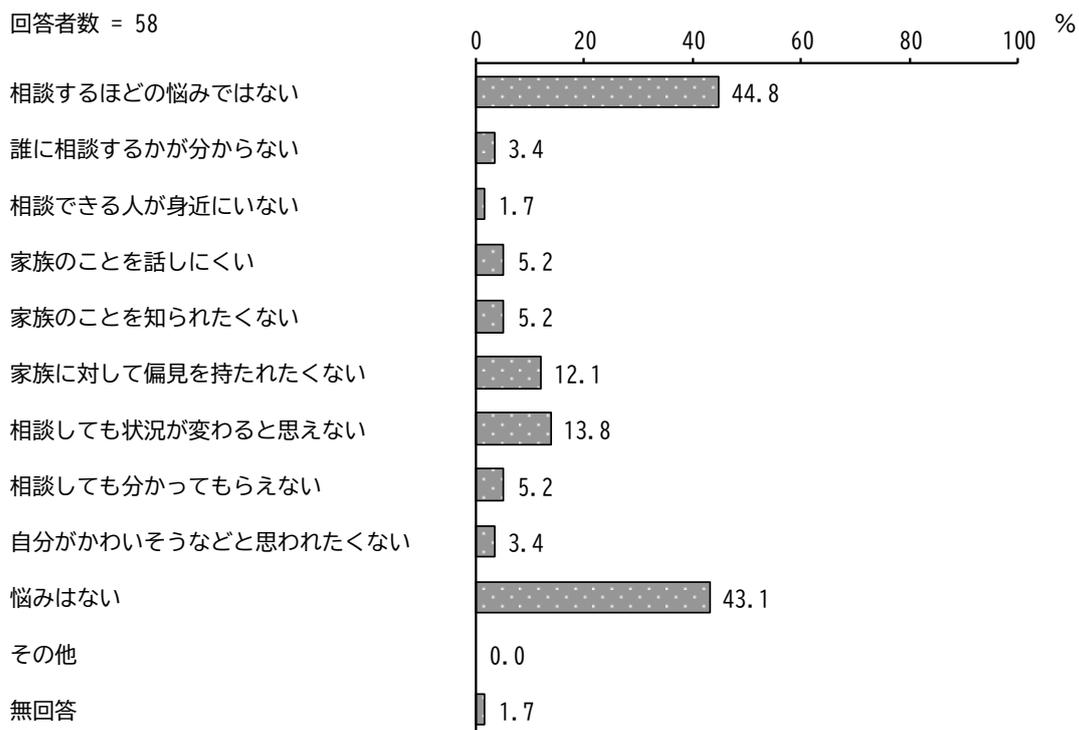
性別にみると、女性で「友達」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族	親戚	友達	学校の先生(保健室の先生以外)	保健室の先生	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー	相談窓口(電話)	相談窓口(メール、SNS)	人 医師や看護師、その他病院の人	福祉サービスの人(ヘルパー等)	区役所の人	子どもなんでも相談	SNS上で知り合った人	その他	無回答
全体	21	42.9	4.8	57.1	28.6	4.8	23.8	-	-	9.5	4.8	4.8	-	4.8	4.8	-
男性	5	40.0	-	60.0	60.0	-	40.0	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-
女性	14	42.9	7.1	64.3	21.4	7.1	14.3	-	-	14.3	7.1	7.1	-	-	7.1	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
答えたくない	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 25 問 23 で「ない」と回答した方におたずねします。あなたが相談しない理由を教えてください。(あてはまるものすべてを選択)

「相談するほどの悩みではない」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「悩みはない」の割合が 43.1%、「相談しても状況が変わらと思えない」の割合が 13.8%となっています。



【性別】

性別にみると、女性で「家族に対して偏見を持たれたくない」の割合が、男性で「相談するほどの悩みではない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	相談するほどの悩みではない	誰に相談するかが分からない	相談できる人が身近にいない	家族のことを話にくい	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わると思えない	相談しても分かってもらえない	自分がかわいそうなどと思われたくない	悩みはない	その他	無回答
全体	58	44.8	3.4	1.7	5.2	5.2	12.1	13.8	5.2	3.4	43.1	—	1.7
男性	26	50.0	—	—	—	—	—	15.4	—	—	46.2	—	—
女性	31	38.7	6.5	3.2	9.7	9.7	22.6	12.9	9.7	6.5	41.9	—	3.2
その他	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
答えたくない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、母で「相談しても状況が変わると思えない」「家族に対して偏見を持たれたくない」の割合が、きょうだい「悩みはない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	相談するほどの悩みではない	誰に相談するかが分からない	相談できる人が身近にいない	家族のことを話にくい	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わると思えない	相談しても分かってもらえない	自分がかわいそうなどと思われたくない	悩みはない	その他	無回答
全体	58	44.8	3.4	1.7	5.2	5.2	12.1	13.8	5.2	3.4	43.1	—	1.7
母	18	33.3	11.1	—	16.7	16.7	22.2	27.8	11.1	11.1	38.9	—	—
父	6	16.7	—	—	—	—	—	16.7	—	—	66.7	—	—
祖母	5	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	20.0	—	—
祖父	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
きょうだい	41	41.5	2.4	2.4	2.4	—	7.3	9.8	2.4	—	48.8	—	2.4
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【平日の世話の時間別】

平日の世話の時間別にみると、1時間で「相談するほどの悩みではない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	相談するほどの悩みではない	誰に相談するかが分からない	相談できる人が身近にいない	家族のことを話にくい	家族のことを知られてたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わると思えない	相談しても分かってもらえない	自分がかわいそうなどと思われたくない	悩みはない	その他	無回答
全体	58	44.8	3.4	1.7	5.2	5.2	12.1	13.8	5.2	3.4	43.1	-	1.7
1時間未満	31	45.2	3.2	3.2	6.5	3.2	6.5	6.5	-	-	45.2	-	-
1時間	14	57.1	7.1	-	-	7.1	14.3	14.3	7.1	7.1	42.9	-	-
2時間	7	42.9	-	-	-	-	28.6	42.9	14.3	-	42.9	-	-
3時間	5	40.0	-	-	-	-	-	20.0	-	-	40.0	-	-
4時間	1	-	-	-	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-
5時間	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
6時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【世話をすることについて感じていること別】

世話をすることについて感じていること別にみると、充実しているで「悩みはない」の割合が、楽しいで「悩みはない」の割合が、やりがいを感じているで「相談するほどの悩みではない」の割合が高くなっています。

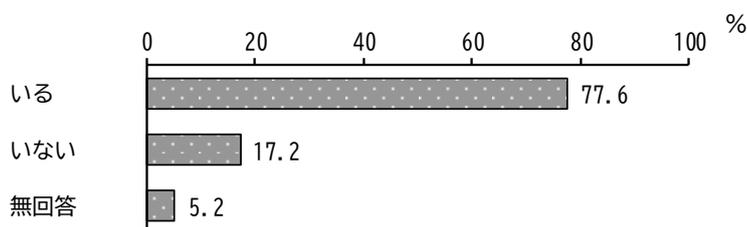
単位：％

区分	回答者数(件)	相談するほどの悩みではない	誰に相談するかが分からない	相談できる人が身近にいない	家族のことを話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わると思えない	相談しても分かってもらえない	自分がかわいそうなどと思われたくない	悩みはない	その他	無回答
全体	58	44.8	3.4	1.7	5.2	5.2	12.1	13.8	5.2	3.4	43.1	—	1.7
やりがいを感じている	12	58.3	—	—	—	—	—	8.3	—	—	50.0	—	—
楽しい	24	41.7	—	4.2	—	—	8.3	8.3	—	—	58.3	—	—
充実している	13	30.8	—	—	—	—	—	7.7	—	—	76.9	—	—
体力的につらい	6	33.3	—	16.7	—	—	16.7	66.7	—	—	16.7	—	—
精神的につらい	7	14.3	—	14.3	14.3	14.3	42.9	42.9	28.6	14.3	14.3	—	—
時間の余裕がない	6	50.0	—	—	—	—	16.7	66.7	16.7	—	—	—	—
特に何も感じていない	18	55.6	—	—	5.6	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6	33.3	—	5.6
その他	2	50.0	100.0	—	50.0	—	50.0	—	—	—	—	—	—

問26 問23で「ない」と回答した方におたずねします。今後、あなたが話したいと思ったときに、お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。

「いる」の割合が77.6%、「いない」の割合が17.2%となっています。

回答者数 = 58



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	58	77.6	17.2	5.2
男性	26	76.9	19.2	3.8
女性	31	77.4	16.1	6.5
その他	1	100.0	—	—
答えたくない	—	—	—	—

【世話をしている人別】

世話をしている人別にみると、母で「いない」の割合が、きょうだいで「いる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	58	77.6	17.2	5.2
母	18	61.1	33.3	5.6
父	6	83.3	16.7	—
祖母	5	60.0	40.0	—
祖父	1	100.0	—	—
きょうだい	41	85.4	9.8	4.9
その他	—	—	—	—

【世話をすることについて感じていること別】

世話をすることについて感じていること別にみると、やりがいを感じているで「いる」の割合が、充実しているで「いる」の割合が、楽しいで「いる」の割合が、特に何も感じていないで「いる」の割合が高くなっています。

単位：％

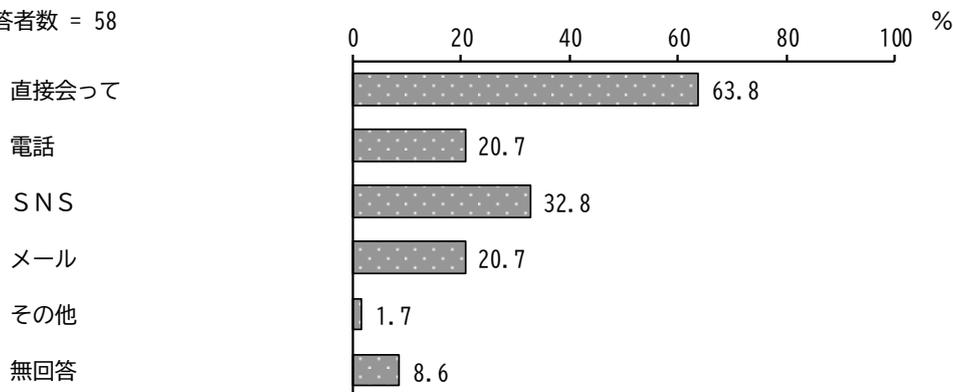
区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	58	77.6	17.2	5.2
やりがいを感じている	12	100.0	—	—
楽しい	24	91.7	8.3	—
充実している	13	100.0	—	—
体力的につらい	6	50.0	50.0	—
精神的につらい	7	28.6	57.1	14.3
時間の余裕がない	6	66.7	33.3	—
特に何も感じていない	18	83.3	5.6	11.1
その他	2	—	100.0	—

問 27 問 23 で「ない」と回答した方におたずねします。

今後、あなたが話したいと思ったときに、どのような方法で話や相談をしたいですか。(あてはまるものすべてを選択)

「直接会って」の割合が 63.8%と最も高く、次いで「SNS」の割合が 32.8%、「電話」、「メール」の割合が 20.7%となっています。

回答者数 = 58

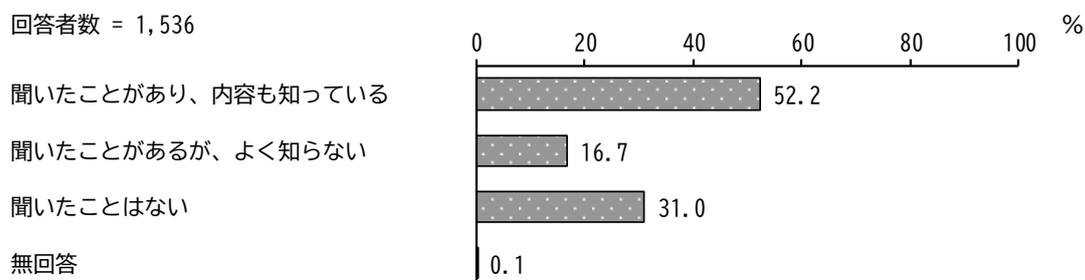


#### IV. ヤングケアラーについて

問28 「ヤングケアラー」という言葉を、あなたはこれまでに聞いたことがありましたか。

「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が52.2%と最も高く、次いで「聞いたことはない」の割合が31.0%、「聞いたことがあるが、よく知らない」の割合が16.7%となっています。

回答者数 = 1,536

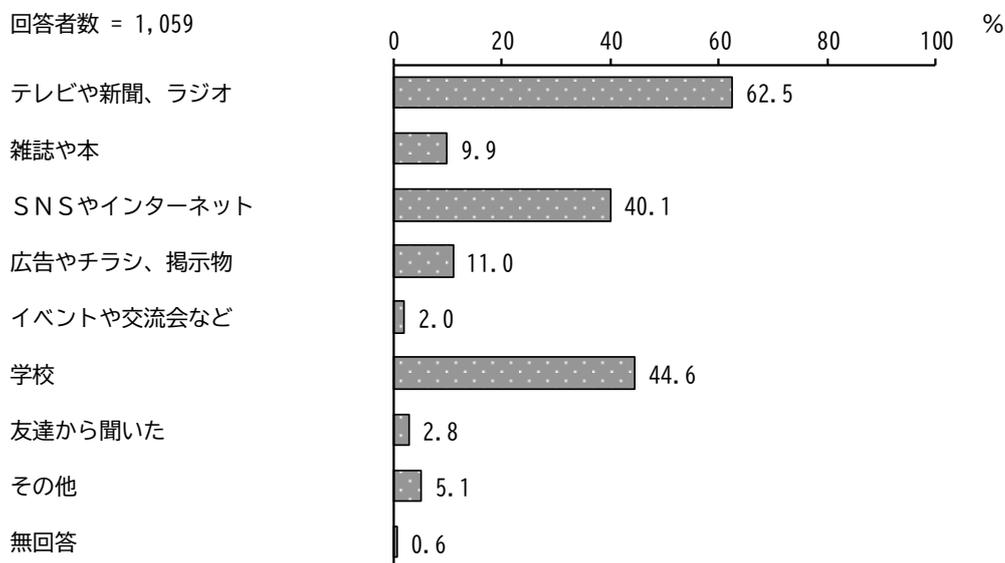


問29 問27で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことがあるが、よく知らない」と回答した方におたずねします。

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてを選択)

「テレビや新聞、ラジオ」の割合が62.5%と最も高く、次いで「学校」の割合が44.6%、「SNSやインターネット」の割合が40.1%となっています。

回答者数 = 1,059



## 自由回答（高校生）

分類回答	件数
1. 周囲の人たちのサポートについて	5件
2. 施設設備の充実について	11件
3. 身近に相談できる環境整備について	34件
4. 支援・助成金について	85件
5. 情報提供の充実について	74件
6. ヤングケアラーについて	29件
7. アンケートについて	13件
8. 意見・要望	56件

### 【分類別の意見】

#### 1 周囲の人たちのサポートについて

- ・ 兄弟のことでヤングケアラーになった人達が楽しく生活するには、親の負担(ストレス)軽減が大切だと思います。
- ・ 我慢する親を見て育てば、子も我慢をします。私は我慢する子だったのですが、「我慢しなくていいのよ」と言われてもあなた達も我慢してるじゃないと思っていたので長い間我慢していました。だからストレス軽減は大切だと思いました。  
また、親がストレスで疲れ切っている時は子供に強く当たってしまうこともあると思うので、ほかの問題から子供を守るためにもお願いします。  
いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
- ・ テスト期間くらいは代わってくれる人が欲しいです。
- ・ 障がいのある方や1人で生活が難しい人は子供がケアするのではなく、家にヘルパーさんと呼ばばいいと思う。安心して任せれるような人の人材確保と無料や安値で提供出来ればいいと思った。
- ・ きっと困っている子供は助けを求めないで全部1人でやろうと無理していると思うのでどうか大人が手を差し伸べて欲しいです。
- ・ 祖父母が近くに住んでいます。なかなか外に出ようとしません。  
スーパーも徒歩2分程度のところにあるのに、自分では行かず毎週父母にお願いしています。
- ・ 私が行くと「今度おじいちゃんとお散歩してあげてね」と自分ではやっていないことを祖母にお願いされます。動けない訳じゃないのに家にこもり、頼りすぎになっているので自立を促すような活動をしてほしいです。  
祖母の知り合いで介護をするのに仕事を辞めた人がいる。親の面倒を見るのは当たり前のことと言っていました。両親は仕事もあるので今の環境が変わるのも不安です。いつ私が、色々お願いされるかと思うととても不安になります。

## 2 施設設備の充実について

- ・ 自分の住んでる近所にデイサービスなどが無いから送り迎えが大変そう。
- ・ 自由に入浴、排便できない人が自分ひとりでできるトイレやお風呂はあるのでしょうか。また、人の助けを借りずにできる道具や方法はあるのでしょうか。お年寄り、人としての尊厳を守られるものはあるのでしょうか。定年退職してしまった方々に子供の世話や料理などボランティア(または仕事)を募集するのもいいかもしれません。昔は良くとも、いまは若者がお年寄りを支えるのにも少子高齢化で難しくなってきました。なら逆に健康的で元気なお年寄りが若者を支えるのはいかがでしょうか。年齢の関係で仕事ができなくなったお年寄りに仕事をする選択肢を増やすのもいかがでしょうか。私はテレビで 8050 の問題をよく見ます。私が見たその問題の結末は悲劇的な形で終わっています。50 代の子供は Young、若くはありませんが子供が親、身内の世話をする状況はヤングケアラーたちと同じですので参考にしてみてもいいでしょうか。ヤングケアラーへの支援を広げていくというのもいいですが健康な人を増やしてヤングケアラーを減らすのもいいかもしれませんね！まあ、それが難しいのが現状なのでしょうね…自由に入力してくださいと言われたので、つい自由に書きちゃいました。長文を早く書いたので誤字脱字で日本がおかしいところもあるかもしれませんが、そこはご愛嬌でお許しください。以上です。
- ・ 施設を作るなら高額にしないで安くする。ヤングケアラーを一括りに「ダメなこと」にしない。
- ・ 親の会社やヤングケアラーの学校と連携を取り、親と子供が交互に休みを取りやすい環境を作るといいと思う。
- ・ 娯楽場をもう少し増やす。
- ・ 大人の助けがすぐに届く環境、お金の支援。
- ・ 特に不満はないが、強いて言うなら家庭外で元気に過ごしすぎるあまりに、家で疲れ切つて不機嫌になるような子供への配慮もしていただけるとありがたい。
- ・ ヤングケアラーが活用できるような無料で子供や高齢者の世話を委託できる施設、またはヘルパーを増やしたほうが良いと思う。
- ・ 施設の拡大。
- ・ 1 人のケアラーに負担がかかりすぎないよう、その人にとっての支えになるものや物資、助けになる施設をより世間に広めたり、増やす。
- ・ 被支援者を受け入れる施設。

## 3 身近に相談できる環境設備について

- ・ 若者が利用しやすい LINE で簡単に相談ができると良い。
- ・ もっと話を聞いてあげる場を作ってあげてほしい。
- ・ 周りがヤングケアラーのことをよく知り、サポートしやすく、相談しやすい環境をつくること。
- ・ 誰かがヤングケアラーの子を見つけた時に専門の人がしっかり相談に乗って、その子がお世話している人を預けられるところなどを増やす。ヤングケアラー専門窓口のような電話番号を作っていつでも誰でも相談できるようにする。

- ・ 誰もが頼りやすい場所があるといいのかなと思います。学校などで配られるとやりづらと思う人もいると思うから、そのような場面での支援があるといいのかなとも思います。
- ・ ヤングケアラーであることがわかるように近隣の人と連携がとれる状況つくるべきだと思う（交流する機会）。
- ・ そういった子どもが気軽に相談できる場を学校内に設ける。  
先生が児童、生徒の様子を見て、明らかにおかしい時は、普段の日常を優しく聞く。  
ヤングケアラーに関するイベントを毎年開催する。  
ヤングケアラーの相談をメール、チャット、電話と広げる。
- ・ ヤングケアラーの子達が相談しやすいようにアンケートなどは定期的にしてあげる。
- ・ 簡単に相談できないような雰囲気を作らないでほしい。子供とかは特に、「世話があるから一緒に遊べない」となると、どうしても「こいつは遊びに誘っても来てくれない」からと遊ばなくなってしまうたり、学校で省かれる原因にもなりかねない為、詳しくではなくてもヤングケアラーとは何なのか、周りは一体何ができるのか、「どうする」を一緒に話してほしいと思う。
- ・ ヤングケアラーが自分への負担を自覚して、気軽に周りに相談したりアドバイスをしてもらったりする環境作りが必要だと思う。
- ・ ヤングケアラーの方に自分が困っていることを言いやすい雰囲気を作ることだと思います。
- ・ ヤングケアラーの他にも、児童虐待と認められるケースが具体的にどのラインからなのかも知りたい。もっと気軽に家庭内のことが相談できる場が増えて欲しい。
- ・ ヤングケアラーに限らず、小学校、中学校の道徳、総合の授業でこういった内容を行うなど、自分の状況が普通とは離れていることを自覚でき、相談し、解決がきちんとできる場があるといいと思います。
- ・ 子どもたちはヤングケアラーの子も親から虐待を受けている子もそうですが、自分の生活が何かによって苦しい状況にあってもそれが普通だと思って生きています。  
難しいかもしれませんがヤングケアラーなどの内容を授業の一貫として小学校1年の頃からやるべきだと思います。そして授業をした上で、最低でも1年に1回全校生徒にカウンセラーを受けさせたほうが良いと思います。正直、私が小学生のとき家庭内での悩みが多かったです。しかし、カウンセラーの存在を知っていながらもカウンセラーに行くと誰かに茶化されるかもしれないと思ったり、放課後に行ったら「親にどこに行ってたの？」と聞かれてしまうリスクがありました。中学校のときに1人の親友が亡くなりました。そのとき、学年全員とカウンセラーの方、1対1でお話をしました。この対策によって私の心が軽くなりました。このことから授業の時間を削ってでも、カウンセラーの方とお話することはとても大事だと気づくことができました。SNSが発展しているこの時代ですから、年々自分の知らないところで悪口を言われているかもしれないという恐怖と戦う子どもは増えていると思います。だからこそ、最低でも年に1回全員がカウンセラーとお話する機会を持つことによって、子どもの悩みも減っていき、自殺する子も減ってくるのではないのでしょうか。
- ・ 相談の場を広げる。
- ・ 学校だと相談すると親に伝わってしまうから、悩みを打ち明けづらい。だから親や周りの人に伝わらないで悩みを話せる場所があるといいと思う。自分の行きたい時に行けて、気軽に相談できるような場所。
- ・ 気軽に相談できる場所があること、当事者に罪悪感を抱かせないようにすること。
- ・ 相談センターの設置とその情報を SNS で拡散。相談だけじゃなくて、実際に手助けしてあげる。

- ・ 本人に自覚がない場合や、自覚があっても言えない場合があるので、学校の先生や周囲の大人が気づいてあげるべきだと思う。本人がそれで満足しているなら一概に悪いとは言えないが、居眠りが多かったり遅刻が多かったりするのには理由があることが多いので、まずは怒らずに話を聞いてみるのが大切だと思う。
- ・ もっと相談できる、相談しやすい環境作りや、家庭内だけでなく公的な手助けを受けられるような支援を国や自治体で取り組んで欲しいと思います。
- ・ 気楽に愚痴を聞いてくれる場所(ちょっとしたことでも、居酒屋での愚痴みたいなのも言える場所)。
- ・ ヤングケアラーと思われる根拠が少なくても、実際に家を職員の方々が尋ねてほしいです。少しでもヤングケアラーの疑いがあればすぐに職員の方々が訪れてほしいです。
- ・ 言える環境を作る。
- ・ もっと気軽に頼れる場所があると良いと思う。  
家庭の問題を解決できなくても、和らげられるようにして欲しい。
- ・ 公立の小中学校を中心に、担任と生徒の個人面談で家族の世話をしすぎていないか確認する。
- ・ 児童館のような、誰か大人が自分の話を聞いてくれる場所を増やし、相談窓口を24時間対応にする。
- ・ 自分はヤングケアラーではないのですが、このアンケートのような自分が助けを求められる環境が必要だと思います。
- ・ 似たような支援に相談した友人がいますが、大体の支援サービスがまともに取り合って貰えないようです。また、SNSで虐待を受けて児童相談所に行った時、親の判断で家に返されるなどされたことがある人をみかけ、子供の意見はあまり尊重されないようです。もちろん子供にはできなくて大人にできるものは沢山ありますし、子供だと精神的にも未熟で大人から見ると信用出来ない、保護者に守ってもらわなければならない、と思う方が多いのも分かります。しかし、子どもにも権利はあります。特に中学、高校生は大人が思っているより、広い世界を見て、自分のアイデンティティを確立しつつあると思います。だからこそ、この支援サービスにも対象になっている子どものように、家族の世話を引き受け、きちんとこなせる子が増えているのではないのでしょうか。そして、その子の家族もそれだけ子どもを信頼しているということです。家族の世話というのはお互いの信頼がないとできません。しかし、信頼関係があるゆえに他人に相談しにくいのではないのでしょうか。もちろん色々なご家庭がありますし、信頼がある家庭しかない訳ではありません。ですが、支援サービスとして家族に他人が踏み込むということはそれだけハードルが高いことです。なので、まず支援サービスが困っている人を助けるために、信頼関係を築いていくべきだと思います。もちろん難しいこととは重々承知しておりますが、何か、家庭と支援サービスの信頼を築くような企画があればと思います。長文の上、明確な意見ではなく申し訳ございません。ここまでお読み頂きありがとうございました。
- ・ 気軽に相談できる場所があると良いと思います。
- ・ 周りにヤングケアラーらしき人がいたら、その子の話を聞いてあげて、困っていることがあったら助けてあげたいと思います。ヤングケアラーを減らすことはできないと思います。なぜなら、ヤングケアラーの人は悩みを打ち明けたくないからです。心のなかでは苦しんでいても、誰にも相談せず一人で抱え込んでいる人がほとんどだと思います。しかし、そのような状況がずっと続いてしまうと、ヤングケアラーの人は学力も下がってしまったり、友人関係が複雑になってしまったりするので、病気の家族を施設に入れたり、お金の困っていたらお金の支給をしたほうが良いと思いました。
- ・ ヤングケアラーが置かれている環境が少しでも良いものになるように大人がちゃんと動いてほしい。もちろんメンタルケアもしっかりしてほしい。
- ・ 身近なことから自分にとって大切なことまで相談できる相手が必要だと思う。

- ・ ヤングケアラーである事自体を名乗りでることが難しい環境なのではないかな、と思います。学校の先生がひどく疲れている様子の生徒を見つけたら、直接聞くのでは無く、その子の周りの子達から話を聞いてみるのもありなのではないでしょうか。私の周りの友達にも先生と話す時に壁を感じて話しにくい、という人もいます。
- ・ 周りの友達などが気づいて直接的なことはできなくても、その子の話を聞いてあげたり精神面でのサポートをしてあげることが大事なのだと思います。

#### 4 支援・助成金について

- ・ 公共の助成金が必要だと思う。
- ・ ケアをしている子供の自由や、負担の軽減のために、大人の派遣や金銭面の補助など、さまざまな寄り添いをしてあげられると良いと思う。
- ・ お金あげる。
- ・ お金がなくて十分な措置を受けられないという人が一定数いるから、出来ればそれに関する支援をしてほしいと思う。
- ・ 難しいかもしれないが、区とかでヤングケアラーの代わりにになれる家政婦などを雇って、支援する。
- ・ 区からの生活費支援や在宅介護のヘルパーの無償支援、進学などの金銭的補助、カウンセリングなど幅広く支援する必要があると思う。
- ・ 私は外国人の母親を持つ一人親家庭です。母は日本語があまりよく分からず働ける所も限られていて所得も少ないと言っていました。なのでそういう家系に向けたお金の援助がほしいです。
- ・ その家庭に支援金を贈る。ケアされてる人を施設に入れる。ヤングケアラーの方の話を聞く。
- ・ ヤングケアラーが居る家庭に支援金を与える。  
看護師とかサポートできる人をボランティアで集めて、必要な家庭の助けをする。  
これらは僕が思うヤングケアラーへの支援アイデアです。  
頑張ってください。
- ・ ヤングケアラーであることを自覚している人には生活にかかる費用を支援したり、無料で大人の方が来てくれる制度を作ったりする。
- ・ アンケートにとどまらず、適切な支援を届くようにするべき。
- ・ 18歳以下の遊びたい時期に遊べていない友達がいる、私は何もできないし解決案も思いつかない。どうにか板橋区で支援して欲しい。
- ・ お金の面をきっちりした方がいいと思う。
- ・ 私立高校の学費全額援助。  
現在の支援では全く足りません。大学進学まで無事にできるように援助に力を入れてください。困ってます。
- ・ ヤングケアラーの家庭に無償で家政婦をつける。
- ・ お金の支援。
- ・ ヤングケアラーの心のケア、安価、又は無料の支援。
- ・ もっと多くの人にこの実態を知ってもらう必要がある。また、もっと理解されるべきだと思う。そのための講演や、ヤングケアラーへの資金援助をはじめとする様々な方向からの支援を継続して行なっていただきたい。

- ・ 自由な時間が欲しいです。というかください。あと、ヤングケアラー＝良い奴 みたいな風潮やめてください、俺みたいなメンタル的に辛いクソ人間もいます、あと金ください。
- ・ 支援金の給付や支援者を増やす。
- ・ ヤングケアラーに対するカウンセリングを充実させること。
- ・ サービスの提供。
- ・ お金の支援。
- ・ このような実態調査や支援も当事者に届いてないなければ意味が無いので、学校などを通じて、ヤングケアラーの支援があることや、相談したり助けを求めたりできる場所があることをもっと周知していくべきだと思う。また、自分は当事者じゃないから関係ない、ではなく、もし自分の身近にヤングケアラーがいたときに何ができるのか、何をすればいいのかなど、当事者以外にもヤングケアラーの存在や支援について知る機会を作る必要がある。
- ・ ヤングケアラーを原因に学校に通えない子や社会に出てくいく上で十分でない教育しか受けられないような状況であれば、資金、時間、お世話の対象となる人の支援を意識した政策が必要だと思う。
- ・ 親の介護で高校生が学校に行けないなどはあってはならないこと。行政が支援する(お金をばら撒くとかではなく、要介護認定の度合いに関わらず一時預かりなどを行う)本当に必要な支援を行うべき。
- ・ 金銭的な支援。
- ・ 私はそうじゃないからわからないけれど、それよりもヤングケアラーの方々に実際に聞いて、その方々が必要としてる支援をするべきだと思います。
- ・ 人的サポート。
- ・ 今はヤングケアラーよりヤングケアラーが世話をしている障がいのある家族や、幼い兄弟、両親などの方への支援のほうが手厚く、ヤングケアラーへの支援が少ないと聞いたことがある。だから、ヤングケアラーへの支援も手厚くすることが必要だと思う。その支援も、お金を給付したりで終わるのではなく、学業や部活にしっかり励めるように学校へいる時間は世話をしてくれる人が来て家族の世話をしてくれるサービスが無償でつけたり、相談を受けることができるようにしたり、ヤングケアラー一人ひとりに寄り添った長期的な支援が大切だと思う。
- ・ もっと家庭にお金をあげた方がいいと思う。
- ・ 相談窓口や支援などを充実させる。金銭的支援。
- ・ お世話している子供のケア。
- ・ 子持ち家庭に給付金もっとください。
- ・ ヤングケアラーへの支援（資金、補助等）。
- ・ 私はヤングケアラーではありませんが、ヤングケアラーの立場に立って支援策を考えることが支援をしていく上で大事だと思います。例えば自分が悩み事をしている時、学校の先生などは相談するように言ってくれますが、いくらそのように呼びかけてくれていたとしても実際には自分の心を開示できる人にしかそのことを話せないと思います。このように、口先だけでなく、当事者の気持ちに立ってみて分かったことを活かすことが、本当の意味での支援になるのではないかなと思いました。
- ・ 国や地方自治体が子供のケア責任を引き受けないためのサービス、介護などをしっかりとどの家庭にも行き届けられるようにするべき。
- ・ 各家庭にお金を渡して欲しい。

- ・ コロナで修学旅行に行けなかった人たちに旅行代を寄贈するか何かをして支援してください。青春の1ページが消えました。
- ・ ある程度の支援やサービスは必要だと思う。しかしアルコール依存症の家族に対応している子に対してお金を寄付したらそれがお酒のお金になってしまう恐れがあるので、どのようなヤングケアラーかを聞いて対処すべきだと思う。
- ・ 介護者の派遣や資金面での援助を進めることが必要だと思う。
- ・ 施設に入れる費用の軽減、シングルマザーやファザーへの給付金、施設契約を学生でもできるようにする。
- ・ 福祉サービスの充実。
- ・ 金銭的支援。また、お金があってもそれを自分に使える時間が無いことも多いと思うため、ヤングケアラーの時間確保のために、施設や保護職員の手配をすると良いのではないかな。
- ・ 区による子供が学校に通っている低所得の家への金銭的またはサービスによる支援があればその子供たちが家族の心配をせずに勉強に集中することができる。  
また、個人の学費と収入を見比べてからの必要家庭への学費のための金銭援助。
- ・ 給付金を出す。
- ・ 金銭面の支援。お金がないので塾に行けなかった。  
大学に進学するための資金も足りない。  
コロナ禍で厳しくなった家計と、兄に必要な支援サービスを利用するためのお金、私の進学金等、様々なお金が足りていないのが現状。  
家族は気にしなくて良いと言ってくれたが、アルバイトをして家計補助に回すべきか考えている。
- ・ 生活費の支援。自分の困ってることを気軽に話せる場が欲しい。
- ・ 外部の方へ介護の依頼をしやすくなるような取り組み。  
例えば、月に何回か無料で介護を外部に任せられるチケットや、デイサービスの無料券など。介護のための出費で習い事を受けられない人に対して、習い事の為の資金援助などなど。
- ・ 親や家族に左右されずに、自分自身の青春を全うできるように支援があった方がいいと思う。

- ヤングケアラーの支援のために必要なことは、その人の家族構成を理解し、その家族にあったサポートを周りの大人や板橋区がすることだと思います。その中でも大事なことだと思うのが、ちゃんと困っている人のところにお金が行くことです。

わたしはヤングケアラーには当てはまらないと思っていますが、父親がモラハラをする人です。給付金なども世帯主である父親に入ってきてしまっています。母親は現在働いておらず、私も都立志望でしたがうまくいかず私立に通うことになりました。しかし学費は父親が払ってくれないので、祖父が援助してくれています。学校がアルバイト禁止なため、祖父に重い負担をかけていますが、生活費もちゃんと払ってくれない人に学費などを願い出来ませんし、お願いしたところで機嫌を悪くして、物を投げつけたりするのが怖いと言えません。祖父も事情をととても理解してくれているので、援助してくれますが、その状況下にいることにととても罪悪感を抱いてしまいとても辛いです。父親はモラハラ行為をする人ではありますが、会社は有名企業に勤めている上、二面生なため会社ではモラハラするような人と思われていません。そのため、東京都から援助される私立学校の給付金などは、母親や私たち子供には十分にお金が渡されてなくてもお給料的には父親は稼いでいるため、対象にならずお金を支援してもらえません。

最近では会社に行くようになりましたが、テレワークが推奨されていた時期は平日も殆ど家で仕事を行っていたため、監視されている状況がとても苦しかったです。

ヤングケアラーやモラハラなど、パワハラとは違って見えにくいけれど、辛い環境にいる人は程度は違ってもたくさんいるのではないかと思います。できれば、全員が少しでも辛いと思わせるような環境にいてほしくはないですが、わたしは現在早く別居して欲しいです。ただ、母親には稼ぎがないこと、家も借りられないこと、弁護士にお願いするととてもお金がかかると、などなど…私も母と相談して頑張っているつもりですが、なかなかうまく進めておらず、母親はともかく私は死にたいくらい追い詰めてしまうことがあります、鬱気味になっています。

もしお願いできるとするならば、まず給付金などが支給される時は母親にちゃんと入るようにすること。相談に乗って欲しいこと。板橋区に家を貸してくれる場所があると聞きました、その家に5人、せめて一年近く住ませて欲しいです。

この意見が届くこと、またこの意見をもとに少しでも板橋区の方々が動いてくださることを願っています。そのためにボランティアなどがあれば、積極的に活動もしたいです。

最後にこのようにアンケートして下さりありがとうございました。
- ヤングケアラーの支援を広げるためには国が国立の介護施設を作る他ないと思います。我々が介護施設などを作っても費用が高くなるだけです。国が税金を使って行るのが良いと思います。他には、子供達が逃げれる場所を作るとかでしょうか？

それこそ独立できる手伝いとかですね。板橋区に求める支援、要望は今のところありません。
- 金銭的な支援と身体的な支援。
- 私立高校に行ったら金銭面で親に迷惑をかけてしまうからそこを少しサポートして欲しいです。
- ヤングケアラーが大学に行きやすくなるために、奨学金やその介護の負担を軽くする為の政策を作ること。
- 貧乏な家にだけ、子育て給付金を配らないでほしい。配るなら全家庭に配ってください。家族の世話で、通院や迎えに行かなくてはならないときに、インフルエンザのように公欠が欲しいです。
- お金の援助をしてあげて学ぶ環境を作ってあげるなど。
- 私自身はヤングケアラーではないが、支援を広げるために、区が資金援助したり、区が介護の肩代わりをするべきだと思う。
- 子供の時間を増やせるような支援。
- ヤングケアラーの方に支援金などを出す。

- 私の家は皿洗い、米とき、お風呂掃除、机の上の片付け、洗濯、たまに夜ご飯の準備を兄妹で役割分担し、行っています。現在はありませんが、私が中学生の頃は、皿洗い、米とき、机の上の片付け、洗濯、妹の迎え、お風呂掃除、弟、妹の面倒を見るということをして一人でやっていた時期がありました。家事はもちろん、子供も手伝うべきです。それは分かっていますが、ここまでやるのは常識とは思えません。現在の私は学業に専念し、学校の勉強はもちろんのこと生徒会もやりながらバイトもし、将来は公務員になりたいと思い、勉強をしています。たまに、勉強をしてると「家事を手伝え、お前は何もやらなさすぎる」と言われます。一応、当たり前のことですが、私は自分のことは自分でやっています。お弁当は自分で用意しますし、自分の洗い物は自分で洗います。

ですが、このようなことを言われてしまいます。では何故このようなことを言われてしまうのか、それは、金銭面で私の家が追い込まれてるからです。6 人家族の共働き家庭で両親はどちらも収入が少なめです。結局的な心の余裕、時間の余裕というのはお金があって初めて生まれるものだと思います。もし、私の家にお金があればもう少し皆幸せに暮らせるのではないかと日々考えます。なので少しでも金銭面的な支援があると嬉しいです。
- お金を給付する。逃げ場所をもっと親しみやすくする。
- 片親における所得制限の負担をどうにかして欲しい。制限がかかるほど稼いでいるとは言えども、片親であるため、周りの共働きの家庭と大差ない。父母共にいて、どちらかもしくはは両者が所得制限を設けられるなら、どちらかが働けなくなったとしても保護者が居るので多少の不安は消えるが、私の家庭では母が1人一生懸命働いているだけである。父が死んだ時も、母は涙を堪え父に関する書類を整理していた。また、母が仕事に復帰してからも父がいない分、家で家事をする時間が十分に裂けないため、妹の世話や食事、買い出し等私に回ってくることが多い。全日制の高校へ行っており、部活動もしていると、これらの仕事はなかなか難しい。死別の他に離婚などで片親の家庭からすると、所得制限は実に重い足枷であるように感じる。母が働けなくなったらどうするのか、忙しく働く母を見ていると不安に思うことも多いが、所得制限の分無くなればまだ家庭での余裕が出てくると思う。今までにも進路を決める上で所得制限がどこまでもついてまわり、全くもって希望の進路に着くことが出来なかった。今の母の状況を見ていると、これからも進路先について諦めることが多いと思う。所得制限に関しては板橋区云々じゃないですね。ただこの様な家庭の事情で進んだ先の進路で今非常に後悔しています。勉強する時間ない。
- 若い時期に出来ることは本当に限られていると思うので、自分の意思では無いことで自由を奪われることがない世の中にできるような支援をヤングケアラーの人にはしてあげるべきだと思います。
- まだ働けるシルバー人材を活用しその賃金は区が負担する。  
子供が育ち時間ができた主婦の方などを対象に介護資格を取ることができる勉強の場を区が設けるなどし、その方々をヘルパーのような形でヤングケアラーのいるお宅に派遣する（給料は区が負担）。
- 友達が高校生でバイトしながら携帯代とか払って国公立を目指してる子がいて、見てて辛そうなので早く対策をして欲しいです！
- 家庭環境に恵まれず困っている子供の中には犯罪をしたり、反社会な団体とつながりを持ってしまう子がいると聞きます。そうした子供達が勉強や自分のやりたいことができるように支援する居場所を提供できるような政策を行って欲しいと考えます。
- 金銭的、人間的援助。
- これからも様々な方へのご支援よろしくお願いします。

- ・ ヤングケアラーへの家庭にお金を普及する。無料でお世話に行ったりする。税金でこれらを賄う。
- ・ 親への言語教育講座の開設。支援金の支給など。
- ・ 必要であると思う。金銭的援助や精神的な支援。
- ・ 大人の介入、物資の支援。
- ・ まずはこの言葉を多くの人に知ってもらい理解を深めることが大切だと思います。そして、このように苦労している子供たちが気軽に助けを求められる場所を作ったり、代わりに介護してくれる人を頼めるような補助金など自治体が支援していくべきだと思います。
- ・ ヤングケアラーの人たちの負担を減らすために、区がお金を出してお手伝いさんのような人を雇う。食べ物や飲み物の支援をしてあげる。
- ・ ヤングケアラーはもちろん減らして欲しい。補助金や奨学金も場合によっては出すべきだと思う。
- ・ 大学に入学した場合のお金がとても高く、奨学金を借りるしかないので、お金を援助してくれると嬉しいです。
- ・ 金銭的援助、お金が無く働くため家事が出来ないという悪循環だから。
- ・ 敬老祝品の贈呈のようなものを縮小してその分若く困っている方々を支援したらいいと思います。
- ・ ヤングケアラーの枠組みには正しくは入るか怪しい位置付けには思うが、離婚すること自体や実家等の支援をあてにすることができずにいる片親家庭というのは、割とその時点でさまざまな歪みがあるからそうなるから、何かしら危ないところがあるように思う。論理の上では解決策があるのにという状況だからそこに支援を考えるには行政的に煮え切らないシチュエーションには思うけれど、解決策が取れないからそうなっているので、知っておいてもらうこと自体、何か良い方向に行くのではと思って書いています。あと、支援＝負けた考えが全体に拭えなすぎているのも。不正受給の心配は分かれるが、もっと困っているという人が困っているなら支援を受けられるという単純なシステムが当然に動けばいいのと思う。難しいのはわかっていますが、周りは助けられないの？とかでなく、本人が困ってるなら困ってるってただ受け止めて。
- ・ 支給金と、メンタルサポートが足りてなさすぎる。
- ・ ヤングケアラーへの援助金制度を作る。
- ・ 金銭面の支援。あいキッズ、学童保育の支援を広げる。

## 5 情報提供の充実について

- ・ さっきまでヤングケアラーを知らなかったので小、中学校で学習の機会を増やした方がいいのではないかと思った。
- ・ ヤングケアラーの支援を広げていくためにはみんなにヤングケアラーについて詳しく知ってもらう必要がある。学校でももう少し授業すべきだと思う。
- ・ ヤングケアラーや悩みを抱えている人ほど、積極的に支援を受けている人が少ないように感じるの、そんな人でもこういう支援があることを SNS などでもっとアピールすれば多くの人の目に止まると思う。
- ・ ヤングケアラーという存在の認知。子供への関心。
- ・ 学校の授業内容に入れる。ヤングケアラーに関して特別公演を行う。
- ・ 学校の授業で扱う。
- ・ ヤングケアラーのことについて学校でも知る機会があればもっと多くの人がヤングケアラーについて理解を深め、考えたり行動したりすることができると思います。

- ・ 私は将来介護士をやりたいので、こういった問題については重点的に考えるべきだなと思いました。
- ・ このようなアンケートや学校での授業などでヤングケアラーの実態や数を把握して面談をしたり、金銭的援助を更に増やすことで少しでも同年代のヤングケアラーの人たちを少なくしてあげてほしい。学校には小中高様々な場においてヤングケアラーのとはなにか、今の状況はどうなのかなどの授業を行い、周りにそういう子がいたら手助けをしてあげられる環境を整えたり、意識を高められるようにしてほしい。
- ・ ヤングケアラーについて、周りにそのような人がいた時どうすればいいかを知る機会が欲しい。
- ・ もっと大々的に宣伝をする。
- ・ 学校でヤングケアラーについて授業をする。
- ・ ヤングケアラーの認知度と実情を知ってもらうために、専門家を招いた講演会の開催を積極的に行なうべきだと思います。
- ・ ヤングケアラーを支援する。プリントなどを学校で配る。
- ・ ヤングケアラーであることを明言したくない、同情などの感情を抱いてほしくないという人もいると思うので、ひとまず現状を全員が知っておくことが必要なことだと思う。
- ・ 学校の先生が保護者から得た情報や、養護教諭・SSW が生徒の日常の様子から得た情報などを、迅速に共有することが早期発見につながると思う（仮に誰かが気付いても、報告や共有する場が無ければ埋もれてしまうから）。そのための情報共有や事例検討の場を設けたり、ヤングケアラーの可能性のある場合の対応マニュアルを全ての関係者・関係機関が共有し、柔軟に連携することが大切だと思う。
- ・ 学校などでプリントとして配布をすれば少しでも多くの人に知ってもらう事でやって見たいと言う人が出てくると思う。
- ・ ヤングケアラーという自覚がない人もいると思うのでアンケートや絵本で分かりやすく伝えるなどして辛い思いをする人を少なくして欲しいです。
- ・ 高島平駅前のある大きいスクリーンにヤングケアラーに関する動画などを流す。
- ・ 学校でもっとヤングケアラーについて話すことが必要だと思います。
- ・ 学校でヤングケアラーについての公演をしていくことが、認知度を広げるために必要だと思います。
- ・ 学校にヤングケアラーについての理解や対応のマニュアルがあったら凄くいいと思います。
- ・ 支援を行っていること自体を知らない人も多いと思うので、支援について周知を図ることが必要だと思います。
- ・ SNS など若い人が使うところでヤングケアラーを広げる動画など出したらいいと思う。
- ・ 学校の授業で取り扱うことでヤングケアラーに関する知識を広める。
- ・ ヤングケアラーという言葉を知らなかったの、学校などでそういう人がいるということを知る機会があるといいと思う。
- ・ まずは全国のテレビでヤングケアラーについてとりあげてもらおう。SNS を活用することも大事だと思います。理由は、今の若者たちはほぼ毎日 SNS などを見ているので広告を SNS などのアプリで流すのも必要だと考えます。  
色々な学校に行きヤングケアラーについての探究授業を試みるのも1つの手だと考えています。今は SNS の時代なので今人気の YouTuber などに案件を受けてもらうことで多くの人に支援をもらえるのではと思います。
- ・ 支援制度の拡充、講演会の開催。

- ・ ヤングケアラーの方は健康的である人の人口に比べ、人数が少ない。だからこそ、見かけた時に少しびっくりするような行動であったり、よく知らないからこそ協力することもできなかつたりする。  
まずは知る機会を増やして、世の中にはいろんな人がいて自分たちもその中の1人であると提示していくべきだと思う。自分との共通点だけで人を判断するのではなくて自分自身も個性の中の一員と思えれば協力する人たちも増えると思う。
- ・ ヤングケアラーだということを知らない子どももいると思うから、講座などを学校で行って認知・自覚してもらい、実際にヤングケアラーである子どもに支援をしてあげることが必要だと思う。
- ・ 掲示板にヤングケアラーに関するポスターを貼る。
- ・ ヤングケアラーについて、もっと理解を深めたいと思っている人もいると思うので、身近な実体験などを話す講演会などがあると参加したいと思う。
- ・ 中学校でのヤングケアラーについてのセーフティ教室。
- ・ ヤングケアラーについてもっと知ってもらいそれで学校に来れない人などにも教育を受けさせる対策をするべきだと思う。
- ・ ザノンフィクションで放送する。
- ・ 学校の授業で総合の時間をつくる。
- ・ 中学、高校で広める活動をする。
- ・ プリントなどを作る。
- ・ 学校の授業内でヤングケアラーとは何かを学ぶ時間を作れば良いと思う。
- ・ ヤングケアラーについて学校教育の段階から一般常識として浸透させることが必要  
それを通してヤングケアラーの人々への支援をヤングケアラー本人に周知させる  
また誰にでも分かりやすく、簡単に頼ることができるようなシステムを構築させる。
- ・ SNSでの発信をすべき。
- ・ 学校で習う機会を増やしたほうが良いと思います。
- ・ 目を引くようなポスターでたくさんの人に認知させる。
- ・ 学校でヤングケアラーを知ってもらうための授業などを行うと良いと思います。
- ・ 学校などの授業でヤングケアラーについて触れれば理解が広まると思う。
- ・ 広告だとスルーしてしまう人が多いが、CMだと音声も入るため目に留まることが多い。その際、実際にヤングケアラーの立場にある人の意見や日常の様子を撮らせてもらって使う(顔はモザイクをかけ、声はボイスチェンジャーを使って変える)。
- ・ 学生たちにヤングケアラーは他人事ではなく、自分事であり、身近な自分たちと同じような立場の人達が経験していることなんだと知らせること、伝えることが必要だと思う。そのために、学校やSNSなどを利用して広げていくべきだと思う。
- ・ 小学校や中学校、高校に行ってヤングケアラーがどういうものなのかを伝えるワークショップのようなものをするのはどうでしょうか？もしかしたら、自分だけが知らなくて他の人はヤングケアラーのことを知っているのかもしれないが、私と同じようにヤングケアラーの存在を知らない人もいます。なのでとりあえず知名度のようなものをあげるのがあるのではないのでしょうか。
- ・ 学校で学ぶことの継続。大人向けで、テレビやSNS発信。
- ・ 実際にヤングケアラーの人たちの理解をして悩みなどを相談できる場所や機会を増やすことが大切だと思います。また、もっとヤングケアラーという言葉だけではなく、その内容を多くの人知ることが必要であると思います。
- ・ ネットうまく活用する。

- ・ ヤングケアラーについての知識について学ぶ機会を設ける。ヤングケアラーの人が世の中にいるという認識を広め、休みやすい環境づくりをする。
- ・ ヤングケアラーという言葉を知ったのが最近で、もっと早く知っておくべきことだと思ったので小中学校から総合の時間などで扱ってくれるといいと思いました。
- ・ ヤングケアラーの存在をまず知ってもらうのが前提にある。そのために学生がよく使うスマホ(アプリならインスタ、TikTok、Twitter など)を利用していきべき。反響があれば、存在ぐらいは覚えてもらえるはず。それを経て支援が必要な人を呼び掛けることで広まっていくのではと思う。
- ・ 学校でヤングケアラーについての授業をする。
- ・ 気づいてあげれる環境や、ヤングケアラーの正しい情報を知ることが必要だと思います。
- ・ ヤングケアラーという言葉も学校の授業でも取り扱われるようになりましたが、この言葉知らない人もまだ多くいます。言葉の知名度をあげることも、また、そのような人はまだ多くいることを広報すべきと考えます。
- ・ 知らない人が多いと思うので、皆の目に留まる所にポスターを貼ったり、配布したりすることが必要だと思います。
- ・ ポスターなどを掲示して、人の目に止まるようにする。
- ・ 大学受験を考えているので、そのようなことをできる想像がつかない。他の人もおおよそ同じ意見であると思う。保険などの教科でこのことについて学ぶことが、まず第一に認知することに繋がるのでは？
- ・ SNS をうまく使う。
- ・ 若い子たちの目に触れるために、小中学校で講習会をしたり SNS など呼びかけるのが有効だと思います。
- ・ ポスターを貼る。
- ・ ヤングケアラーの子供に対する子供からの目を変え、互いに理解しあっていく為に実際にヤングケアラーだった方の体験談を話す授業などを行ってみるのはいかがでしょうか？それと定期的にこのようなアンケートをとるのは子供の目線を大人が感じられることができ大人と子供の目線のズレを修正することができると思うので引き続き行ったほうが良いと考えます。
- ・ 親には子供に家事をさせない意識を、子供には多くの家事は受け持つ必要が無いという意識をもたせる活動を進める。(チラシなど)
- ・ プリントを見て初めて「日本語が第一言語でない家族のために通訳をしている」というのもヤングケアラーに含まれることを知りました。周りの友達でも何人か見た事があったので、他人事ではないと改めて気づきました。  
恐らく私のように、周りの人や、じぶんがあてはまっても気づいていないことがあると思うので、まずは同世代の人やそれを助けられる世代の人に知ってもらうことが大切だと感じました。思い返してみると、その友達は日本語が分からない親に代わって携帯の通信会社に電話してしまえば繋がることもあり、1 時間ほど時間が奪われ授業の予習ができなかったと言っていました。
- ・ まずはみんながヤングケアラーという言葉、意味を知り、そういう人が世の中にいることを知ることが必要だと思う。
- ・ 難しいかもしれないが、少なくとも完全把握はしてほしい。
- ・ 小学校の授業で取り上げる。

- ・ 様々なメディアを通してヤングケアラーの言葉を知っている人はたくさんいるようです。しかし、当事者や周りの人がどんな支援を受けられるのかが分からないことが多いと感じています。地域の情報に目を向けていない人々に意識をむいてもらうことが重要だと常々思っています。学校、または駅、掲示板にある紙のポスターは生徒が毎日自然と目に入るので、印象に残ることが多く呼びかけにはとても良いものと思います。参考になれば幸いです。
- ・ ヤングケアラーと呼ばれる人達がどれだけいるのかをもっと発信した方がいいと思う。
- ・ もっと広めていく。
- ・ よりネットを通してヤングケアラーを広めて、ボランティアを増やしていく。
- ・ 自分の子供がヤングケアラーだと自覚していない家族もいると思うので、広く知られるようになると思う。

## 6 ヤングケアラーについて

- ・ ヤングケアラーは責任感が強い人が多かったり、人の世話で忙しく自分について考える時間がなかったりしてそもそも自身がヤングケアラーだと気づかないことがあると聞いた。そのため、ヤングケアラーが自身のことに気づくことができるよう、このようなアンケートの他にも自分の状態を把握できるような取り組みがあればいいなと思う。(具体的でなくてすみません)
- ・ ヤングケアラーに理解のある団体を作った方がよいと考えます。
- ・ よくわからないけど、お年寄りが健康で強くなれば自身の青春を謳歌できないヤングケアラーたちの負担を減らすことができると思います。  
人伝えに聞いた話ですが、お年寄りの方々を集めて筋トレを定期的にしたら健康的で強くなり、認知症にならず仕事を継続できて人たちが過疎化している地域にいると聞きました。なので定期筋トレの会とか開いてみるのはどうでしょう。ただ募集するだけでは来ないと思いますが、そういった趣旨のこと(体を鍛えて家族を安心させよう!)や何かしらの賞、人との交流等メリットも書いて募集した方が来ると思います。
- ・ ヤングケアラーの子たちが1人でも多く減るようにヤングケアラー達の相談が出来る相手とか相談が出来る場所を作ってあげたら1人でも多くのヤングケアラーの子達が救われると思います。
- ・ 学校でヤングケアラー関係で休んだときに欠席ではなく出席停止にすれば良いと思った。
- ・ 本当にヤングケアラーの人は、この質問にすら答える時間が無いと思います。ですが、今の日本ではこういう形でしか、確かめる方法がありません。ヤングケアラーという定義や条件がわかりにくいものは、もっと共通認識として認知度を上げ、一人でも多くの同世代の子が夢や理想を持てる日本になるといいなと思います。
- ・ 卒業した中学の友達がヤングケアラーで家の家事をほとんどひとりでしていました。学校でヤングケアラーかどうかのアンケートをした方がいいと思います。
- ・ 介護士などの福祉に関する職業の給料を殖やすことでヤングケアラーを助ける介護士という職業が少しでも働きやすくなって数も増えることに繋がるかもしれないと思う。
- ・ ヤングケアラーへの偏見をなくすこと。  
学校教育などでヤングケアラーについて学ぶことで知識を深め、間違った情報やイメージを払拭することで、周りに相談しやすい環境にする。

- ・ 我々のような未成年が望めば話を聞いてもらえる場所があり、否定せずに受け止めてくれる大人がいるという体制を作る必要がある。寄り添い、支援が必要かなど、どのような支援が欲しいか等を聞き取ってあげることが重要だ。また、ヤングケアラーという単語を知らない人も多いため、学校で講演会を行う等も視野に入れて欲しい。
- ・ 当事者などで集まり、話しやすい場を作る。それでもきっと、ケアなどで参加できない人も大勢いるだろうから、チャット機能だったり、オンライン上での開催がいいと思います。
- ・ ヤングケアラーへの支援を広げていくためには、ただ一方的に助けるのではなく、援助する側もされる側も理解を持って行うことが必要だと思います。何が一番大変で手伝って欲しいのかは人それぞれだと思うので、さまざまなサポートについて情報をより身近なところから簡単に得られるようになって欲しいです。
- ・ ヤングケアラー向けの相談窓口を用意する、ヤングケアラーがケアの代行を依頼できるような福祉サービスを提供する等。
- ・ あまり詳しいことは存じ上げませんが、根本的な問題として多く挙げられるのが金銭面だと思います。そこを解決するのは簡単ではないのでヤングケアラーの自身へ当てる時間を少しでも作る為にボランティア人員を集めて学童のようなものを運営するのはどうでしょうか？
- ・ スマホを持ってない子やいじめられない環境にいる子とかもいるから、そういう子が助けを求められることができるようにして欲しい。  
あと、ヤングケアラーであることが当たり前だと思ってる子もいるから、そういうことがわかるような授業をしたり、その子が勉強とか他のことに力を入れるように、血縁関係がかわらずに助ける支援をすべきだと思う。
- ・ アンケート用紙に記載されていた例も含めて、更にヤングケアラーである人のお話や家族のケアをする上でどのように大変であるかをより具体的に記載し、掲示板などで拡散する。その上で、ヤングケアラーの方が肩身の狭い思いをするかもしれないため、世間に占めるヤングケアラーの方の統計を取り、その存在が身近であり、現日本ではどうしても必要な存在であることを記載する。
- ・ ヤングケアラーと言っても、家庭によって程度の違いがあると思う。さらに、親からの虐待などがヤングケアラーとなってしまいう原因にあることも否定できない。深刻な状態であることが分かった場合は、放置せずに本人と直接のコンタクトを取り、救いの手を差し伸べる素早い対応をお願いしたい。
- ・ ヤングケアラーへの支援を広げていくためには、以下の4つのことが重要だと思います。(前提として、私はヤングケアラーではありません)ヤングケアラー同士の交流の機会を増やす。財政的な支援をより充実させる。ヤングケアラーでない高校生と同じように行事に参加したり大学受験をできるように、無償で介助師を雇ったり一時的に入院できるようなシステムを作る。ヤングケアラーケアラーのような人をつくる。ヤングケアラーは、自分の愛する親などを介護するため、自分の辛さに気づきにくいと聞いたことがあります。そのため疲れが溜まり、取り返しがつかなくなる前からケアすることが大切だと思います。想像以上にヤングケアラーの数が多いということや、具体的にどのようなことが大変なのか、再現ドラマなどよりイメージしやすい方法で伝える。私はヤングケアラーではないので分からないことも沢山ありますがお力になれば嬉しいです。
- ・ ヤングケアラーの問題をもっと大きく扱うべきです。

- ・ ヤングケアラーの友達がいた時にどのようにして相談に乗ってあげれば良いか、どのような言葉をかけてあげれば良いかを教えて欲しい。学校のイベントなどで大々的に行ってしまうとヤングケアラーだと言いつらい人が居ると思うので、専用 Web サイトを作り、そこに質問できる場所を作れば良いと思う。ヤングケアラーの子も相談された友達も大人に相談出来る場所を作って欲しい。
- ・ 自分は別に嫌ではないし、苦に思っていない。ヤングケアラーにあたる全ての人が可哀想だと思わないで欲しい。
- ・ ヤングケアラー専用の学校のようなものを開設し、子供たち同士で交流を深めたり、勉強したりすることで、精神的な負担を減らす。
- ・ ヤングケアラーと思われる人に困っていませんかと手紙を送る。
- ・ ヤングケアラー自身の認識の薄さ。
- ・ ケアラーされてる人の気持ちを知る事が必要だと思う。
- ・ ヤングケアラーに対する理解を深める。
- ・ 国が障害者のニーズに応えていない。SDGs では全ての人が暮らしやすくといっているがその全ての人に障害者が組み込まれていない気がする。国がより障害者に対しての行動を起こせば自然とヤングケアラーの問題も解決すると思う。
- ・ ヤングケアラーは今も大分認知が広まってきてはいますが、まだまだ当事者がそれを認識したり支援に繋げていくことは難しい状況だと思います。本人たちはお世話をすることがあたりまえになっていてなかなか気づきにくい状況だと思うので、もっと色々な媒体で情報発信をしたり、相談できる場所をつくれたら少しでもヤングケアラーの負担軽減に繋がるのではないかなと思います。
- ・ ヤングケアラーの専門家（学校と連携）が遅刻や提出物の遅れが目立つ生徒を定期的に訪問し、家庭内の状況を調べる。（自分から相談できる人は少ないはず。）→信頼関係を築ける専属のヤングケアラー支援員を送り、家事や勉強を頼む（ケアラーとのコミュニケーションを大切に）また、介護が必要な親族へのホームヘルパーを送る。

## 7 アンケートについて

- ・ このような調査を定期的に行うことが大切だと思います。
- ・ このようなアンケートをもっと定期的にする事で、あまり言いたくないと思って自分がヤングケアラーであることを隠していた子たちや、自分がヤングケアラーだと自覚していない子たちも、相談するという機会を増やして欲しいと思う。
- ・ こんなアンケートでほんとに解決すると思っているのがとても腹立たしい。
- ・ 学校等で状況の調査を定期的にするべきだと思います。いじめや体罰のアンケートはあるけれど、ヤングケアラーについての調査はなかったのです。
- ・ 質問の欄で友達が困っていきそうな人はいないかという質問も作った方が良いと思います!! もっと支援を受けるべき人がたくさん見つかると思います。
- ・ 高校生向けであるこのアンケートにおいて、初等義務教育レベルの漢字に振り仮名が振られているのはナンセンスであり、非常に読みづらい。一部の学習障害者等用にのみ現在の形式でアンケート調査をすれば良いと思う。

- ・ アンケートの調査協力の用紙に「アンケートに答えるのには 10 分から 15 分程度かかります。」と記述されていて、これでは「こんなに時間がかかるなら答えないでおこう」と感じる人がとても多いと思います。何かしらアンケートを手短に答えれる工夫を考えて、導入すべきなのではと感じます。一方で QR コードを読み取り、インターネットでアンケートに答えるのはとても簡単でやりやすかったです。ですがアンケートの実施連絡は、紙で送るアナログな方法ではなく、メール等のデジタルな方法で連絡が入ると、スムーズにアンケートに答えられるのではと感じました。せっかくインターネットで回答できる仕組みなので、なるべくデジタルな方法で完結できるといいと思います。ぜひこれからもインターネットを活用して様々なことに取り組んで欲しいです。
- ・ 家に送るのではなく、学校で回答させるべきだと思う。(スマホやタブレットを持っていなかったり、親に手紙を捨てられたりする子もいるかもしれないから)。
- ・ このような匿名のアンケートの実施が大切だと思う。
- ・ 学校で、ヤングケアラーのアンケートを全員に実施すると思います。そこで分かった情報をもとに、ヤングケアラーに当てはまりそうな子は先生方が個別に話を聞いたりすると良いと思います。
- ・ 板橋区からこのお便りが私の家に届き母が私に手渡しました。そして QR コードを読み取って私はこのアンケートに答えています。本当に支援が必要なヤングケアラーはこのアンケートまで実際に辿り着くのかと疑問になりました。私が知っている近所のヤングケアラーにこのアンケートが届くといいと思っています。そして適切な支援が届くいいと思っています。そのヤングケアラーに私は何が出来るか教えてください。
- ・ このようなアンケートの実施を増やして困っている人を救ってあげる。
- ・ 高校世代の人向けのヤングケアラーの実態調査を、郵便で家に送るのをやめたほうがいいと思います。封筒は基本的に家のポストに入れられるため、宛先は高校生個人の名前になっていたとしても親が開ける可能性があります。そのような場合、本当にヤングケアラーとして困っている人たちは、アンケートを実施出来ないかもしれません。通学していない人にはどうしたらいいのかわかりませんが、通学している人には学校単位でアンケートをやらせたりするのがいいのではないのでしょうか。

## 8 意見・要望について

- ・ ニュースでよく何人の子供がとか人数がはっきり出ることがたまにあるからそういうのはやめて欲しい。情報を守ると言ったなら責任もって全て何も言わずに出さずに守って欲しい。でなきゃ大人は信用できなくなってしまうし、誰も頼れなくなってしまう。
- ・ 高校生や中学生年代たちで集まった勉強会、大学生の方達をお呼びして進路のことなどを相談させてもらう。親から離れられないなどの理由があればオンラインでの勉強会などをすべきだと思う。
- ・ 働く時間を自分で決められるようにする。
- ・ 学歴で評価するのではなく実力と人柄で評価する社会に徐々にしていくことが必要。
- ・ 保育園や幼稚園で受け入れる人数を増やす。
- ・ 僕よりも支援が必要な人に支援してください。まだ苦しくないです。
- ・ 長男がうるさくてすごく困っています。施設に預けたいんですけど、父親がお金の使い方が荒くて預けられない状況です。どうすればいいんですか？
- ・ やはり孤立させないことが大切だと思います。学校に行ってる場合は先生が把握し、友達を作れる環境作りが必須だと思います。

- ・ 学生でも働けるところを増やす。
- ・ 法を作る。老人に限らず中高生のいる家庭にもサポートを充実させる。
- ・ もうちょっと介護を雇いやすくしてほしい。
- ・ 東京オリンピックの時から飛行機の航路が変わってうるさい。オリンピックが終わっても元に戻らないのはおかしい。
- ・ みんなで助け合おう。
- ・ その人のやりたいことや進路についてお金などのサポートをする。
- ・ 物価が上がり勉強道具や参考書を買うのに抵抗がある。（お小遣い制ではないため、親にお願いして買ってもらいます。）区内で使える割引券などを配って欲しい。
- ・ 今、1人親世帯で都営住宅を応募したいのですが、近くで新しい都営住宅がたくさん建っているのですが空き部屋ばかりですが募集にないです。どうかしてください。
- ・ ひと月に一万円を国から出す。
- ・ 板橋区に金がなくても入れる施設を作る。
- ・ 介護施設をもっと増やし、介護の大変さや、生活への影響を、介護される側もする側もしっかり認知しなければいけないと思う。
- ・ 家事や介護を経験するイベントなどを増やす。
- ・ 義務教育や学業を通過することが当たり前、みたいな社会の風潮が悪い。学歴社会・高齢化社会も相まって文明単位での見直しが必要だと思う。だが、それは、現実的・人道的な問題によって不可能だと言える。代案として、学歴を求めない社会があると、学校などに行かなくて良くなり、家庭問題に本人らは集中できる。
- ・ 同じ立場の人たちとの交流があると気持ちが楽になると思います。
- ・ 地域で助けになれることはしたいので、誰かのお使いを頼まれるとか簡単なことを学生、ニートができるような機会があればと思います。
- ・ ヤングケアラーが減るように施設をつくってください。
- ・ 親戚の方たちも声をかけたり、手伝えることは手伝ってあげる。
- ・ 子ども食堂を、各小学校の徒歩5分以内の範囲内で設置する。
- ・ 政府が真面目に働くこと。政府や国のトップの人達。
- ・ 休みを増やす。
- ・ 市や区の予算を増やす。
- ・ 将来困らないように学習面での不自由をなるべくなくして欲しい。
- ・ 日中にケアが必要な人を見れる施設を作る。
- ・ 最低賃金をあげて欲しい。
- ・ 少しでも子供達に将来を考えられるような、余裕と希望のある生活を与えてあげられるように、家事代行や老人ホーム、託児施設等を増やし、そして対象者への対応が出来るようになってほしい。
- ・ 思いやりの心を持って接していくことがとても大切だと思う。
- ・ 社会福祉の充実。
- ・ テレビなどで見かける、気軽に立ち寄れて、安くご飯を食べることのできる、こども食堂のようなものが身近にあるといいと思う。
- ・ 世帯を孤立させない。
- ・ 福祉関係に就く人を増やす。
- ・ 子供の下校の時間の見回り(特に冬)

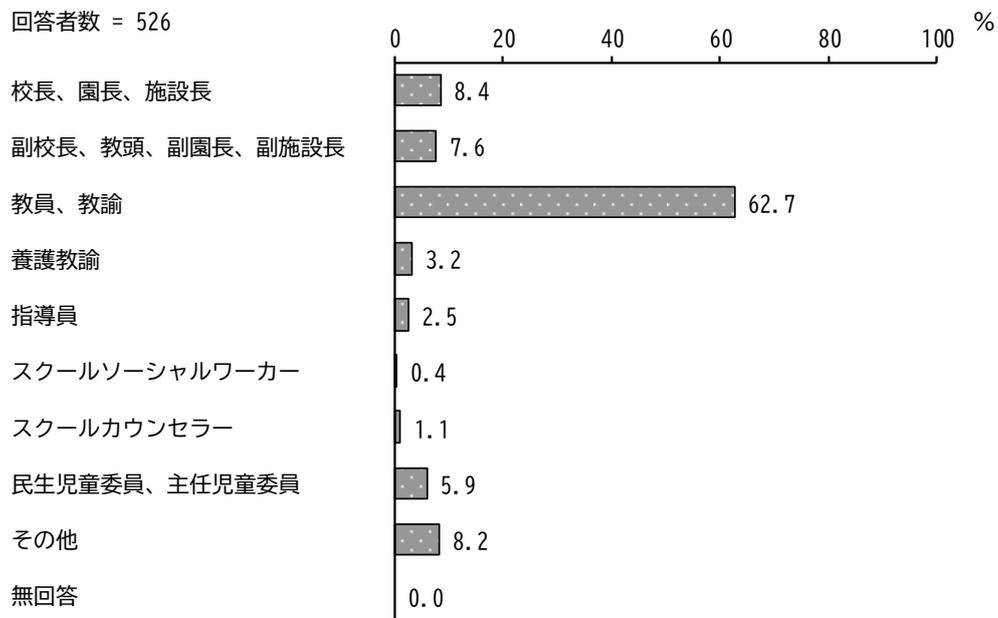
- ・ 子供の声をもっと区の政治に取り入れられるよう子供向けの選挙などを行うべきだと思う。ヤングケアラーの子たちはおそらくそもそも人に相談する時間がないので、声を挙げづらい。学校の時間中に区へ要望を出せるような時間が設けられるべきだ。
- ・ 無料で使える自習室などを作る（1人になれる時間、空間を作る）。
- ・ 18歳までではなく高校三年生までの医療無料。
- ・ 介護施設や保育園幼稚園の増設。また職員を増やし手当を厚くし労働環境を整えてサポートする。
- ・ 税金を安くするとか授業料がなくなれば親の負担が少なくなる。親の余裕がなければ家の雰囲気も悪くなる。
- ・ 介護者を雇えるようにする。
- ・ みんなが優しく対応してくれる街になってほしい。
- ・ 食事の準備や、感情面のサポートを自分の出来る限りしていく。
- ・ ヘルパーさんを安価にしてほしい。
- ・ 中学1～3年のことを7年生8年生9年生というのは個人的に違和感がある。
- ・ 認知症のおばあちゃんのお世話がメンタル的にも辛かった。
- ・ 孤立させない。
- ・ 私は長男です。ヤングケアラーではなさそうですが、3人の弟の性格が面倒です。このせいなのかはわからないけど警察沙汰になったことがあります。
- ・ 若い頃はたくさん遊んだ方がいい。
- ・ きちんとやる。
- ・ 隣りの家は小学生以下の子供達が住んでいるが、親が仕事で忙しいらしく、子供達だけで過ごしているのが少し気になる。
- ・ 自分からしようとする気持ちが必要。

## 4 関係機関

### I. 基本情報

問1 ご回答される方の職種を教えてください。

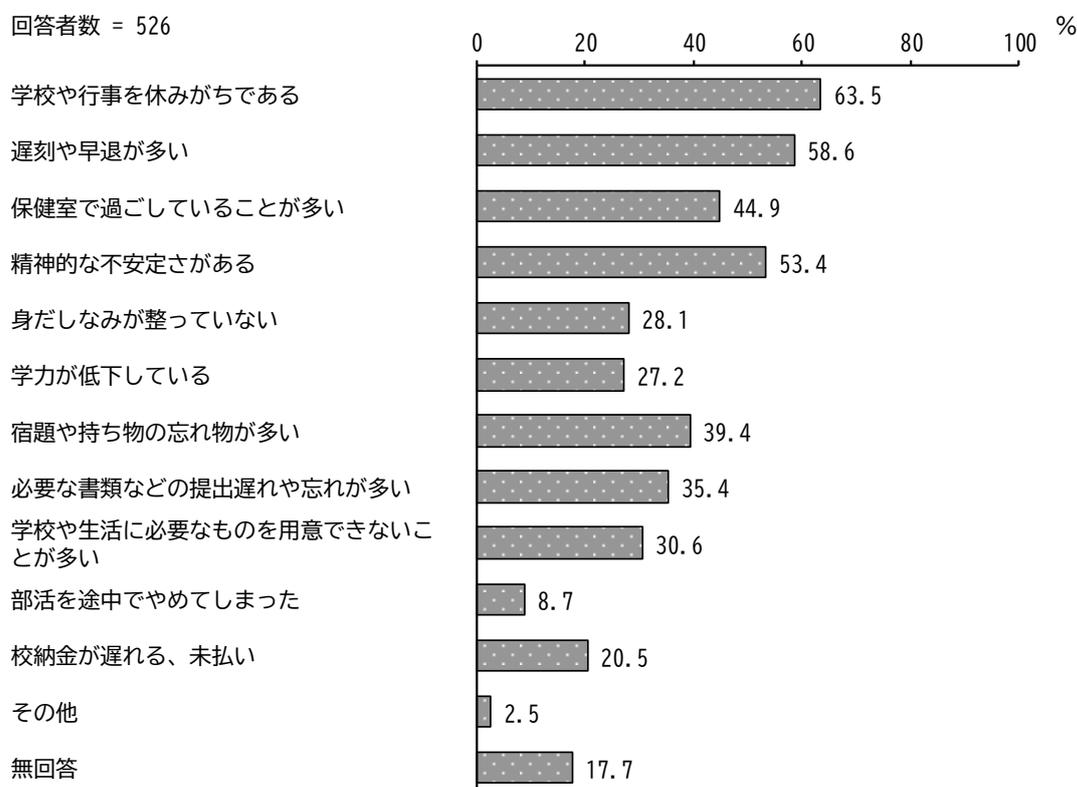
「教員、教諭」の割合が62.7%と最も高くなっています。



## Ⅱ. 支援が必要と思われる子どもへの対応について

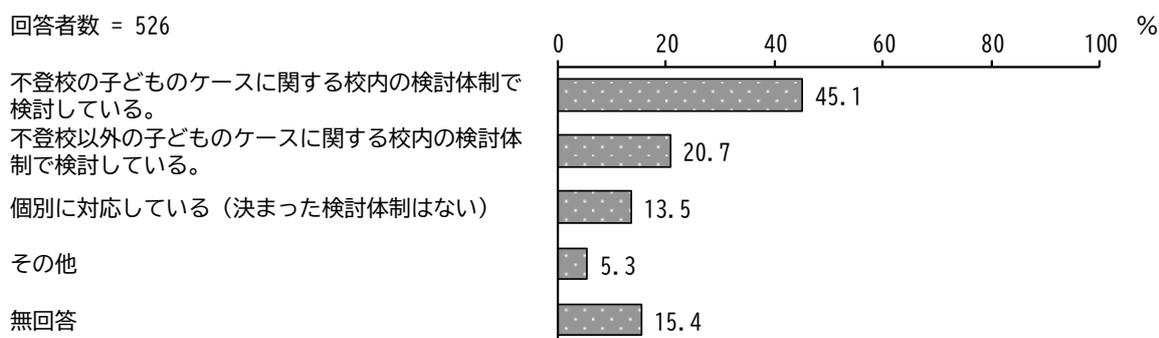
問2 下記の子どもについて校内・園内・施設内で共有しているケースはありますか。  
(あてはまるものすべてを選択)

「学校や行事を休みがちである」の割合が63.5%と最も高く、次いで「遅刻や早退が多い」の割合が58.6%、「精神的な不安定さがある」の割合が53.4%となっています。



問3 問2のケースについて、どのような体制で情報共有・対応を行っていますか。最も多いと思うケースでご回答ください。

「不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している。」の割合が45.1%と最も高く、次いで「不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している。」の割合が20.7%、「個別に対応している（決まった検討体制はない）」の割合が13.5%となっています。

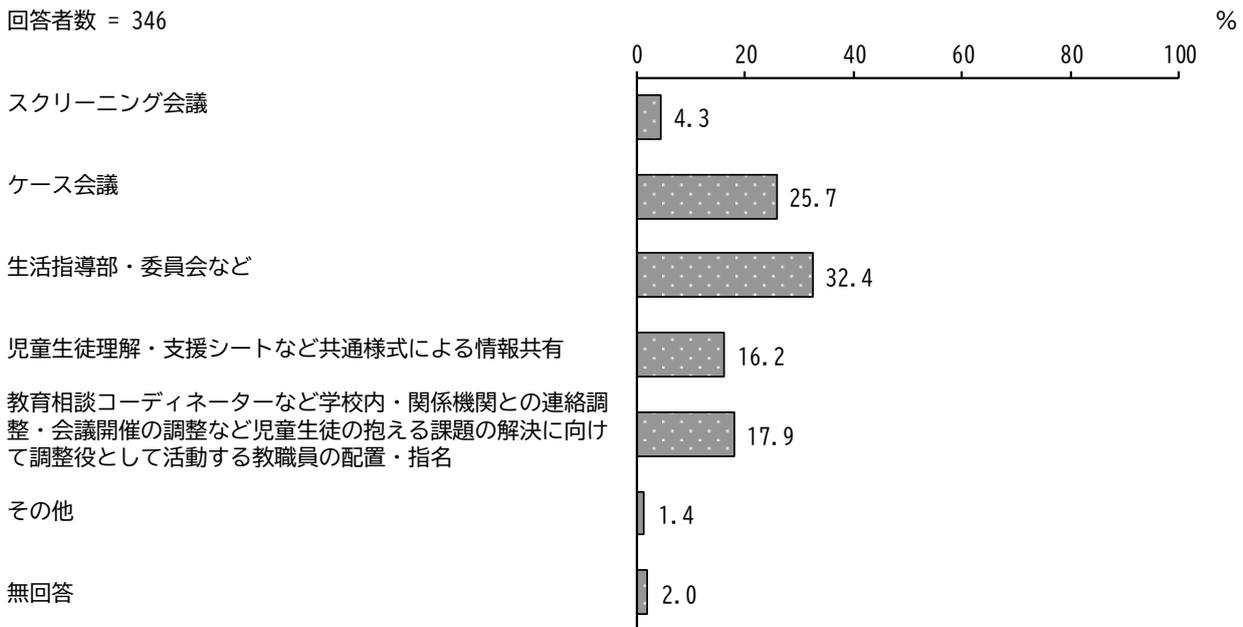


問4 問3で「1. 不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」「2. 不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」と回答した方におたずねします。

① 校内ではどのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。

「生活指導部・委員会など」の割合が32.4%と最も高く、次いで「ケース会議」の割合が25.7%、「教育相談コーディネーターなど学校内・関係機関との連絡調整・会議開催の調整など児童生徒の抱える課題の解決に向けて調整役として活動する教職員の配置・指名」の割合が17.9%となっています。

回答者数 = 346



- ② 問4①で「1. スクリーニング会議」「2. ケース会議」「3. 生活指導部・委員会など」「6. その他」と回答した方におたずねします。  
どの教職員が参加していますか。また、会議の頻度はどのくらいですか。  
(あてはまるものすべてを選択)

#### 「参加者」

他に比べ、『生活指導部・委員会など』で「指導員」「スクールソーシャルワーカー」の割合が高くなっています。

単位：％

	全体	校長、園長、施設長	副校長、教頭、副園長、副施設長	教員、教諭	養護教諭	指導員	スクールソーシャルワーカー	スクールカウンセラー	外部の関係機関	その他	無回答
スクリーニング会議	15	93.3	93.3	100.0	73.3	6.7	33.3	53.3	-	6.7	-
ケース会議	89	94.4	92.1	95.5	79.8	10.1	30.3	46.1	6.7	3.4	-
生活指導部・委員会など	112	90.2	87.5	99.1	83.0	15.2	36.6	50.0	4.5	1.8	-
その他	5	60.0	60.0	60.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	20.0

#### 「頻度」

他に比べ、『生活指導部・委員会など』で「2週間に1回以上」の割合が、『ケース会議』で「月に1回程度」の割合が高くなっています。

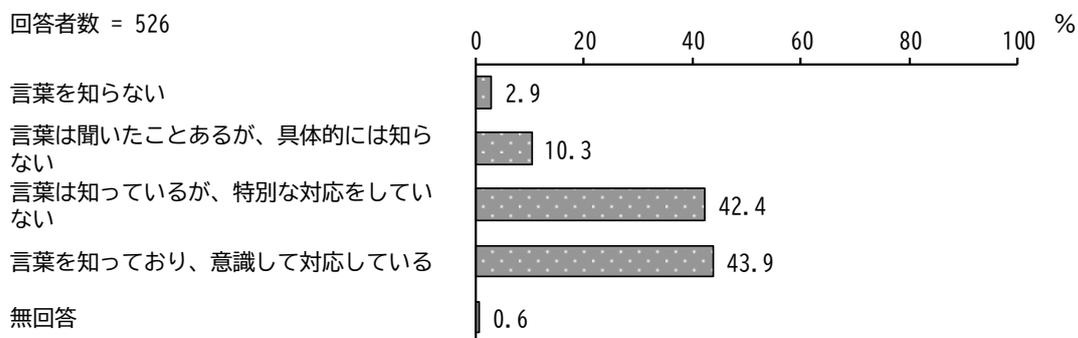
単位：％

	全体	2週間に1回以上	月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	無回答
スクリーニング会議	15	20.0	66.7	13.3	-	-
ケース会議	89	10.1	71.9	14.6	3.4	1.1
生活指導部・委員会など	112	60.7	33.0	6.3	0.9	-
その他	5	60.0	20.0	-	-	20.0

### Ⅲ. ヤングケアラーについて

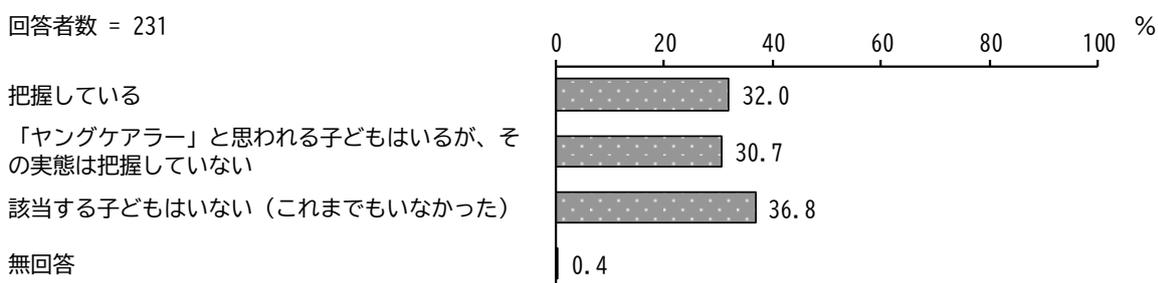
#### 問6 「ヤングケアラー」という概念を認識していますか。

「言葉を知っており、意識して対応している」の割合が43.9%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、特別な対応をしていない」の割合が42.4%、「言葉は聞いたことあるが、具体的には知らない」の割合が10.3%となっています。



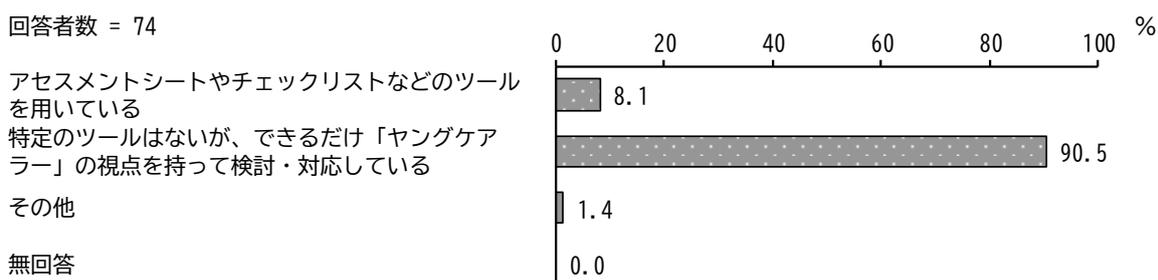
#### 問7 問6で「言葉を知っており、意識して対応している」と回答した方におたずねします。「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態を把握していますか。

「該当する子どもはいない（これまでもいなかった）」の割合が36.8%と最も高く、次いで「把握している」の割合が32.0%、「「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない」の割合が30.7%となっています。



#### 問8 問7で「把握している」と回答した方におたずねします。「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握していますか。

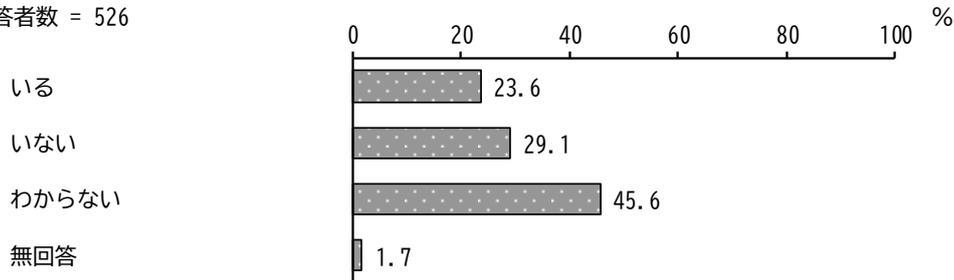
「アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている」の割合が8.1%、「特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している」の割合が90.5%となっています。



問9 現在、貴校・貴所・身近にヤングケアラーと思われる（可能性含めて）子どもはいますか。

「わからない」の割合が45.6%と最も高く、次いで「いない」の割合が29.1%、「いる」の割合が23.6%となっています。

回答者数 = 526

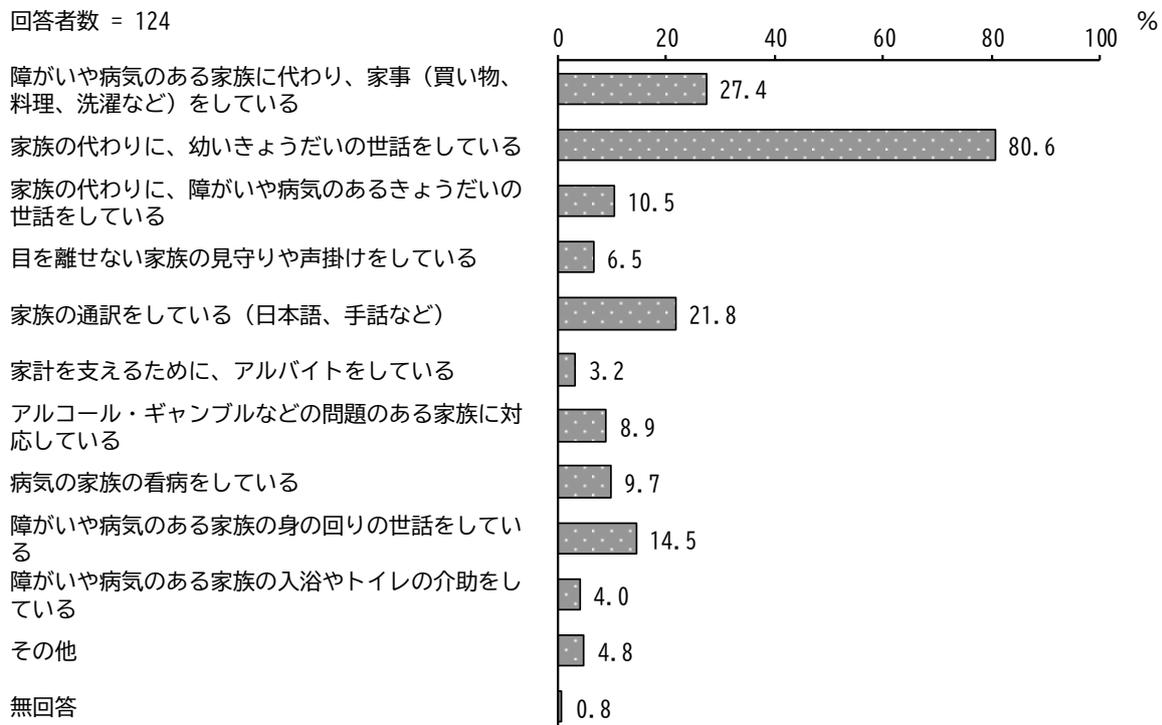


問10 問9で「いる」と回答した方におたずねします。

- ① ヤングケアラーと思われる子どもの状況は下記のうちどれですか。  
（あてはまるものすべてを選択）

「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」の割合が80.6%と最も高く、次いで「障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯など）をしている」の割合が27.4%、「家族の通訳をしている（日本語、手話など）」の割合が21.8%となっています。

回答者数 = 124

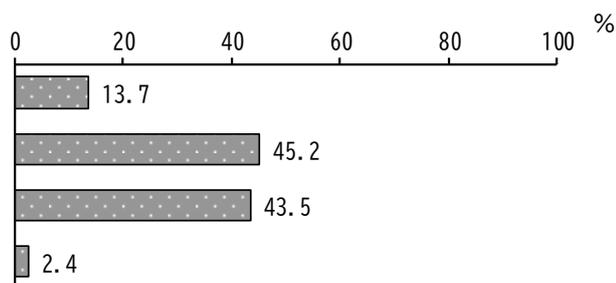


② ヤングケアラーと思われる子どもについて、具体的に学校以外の外部（区役所、教育委員会、要保護児童対策地域協議会など）の支援につなげたケースはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

「要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある」の割合が45.2%と最も高く、次いで「外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）」の割合が43.5%、「要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある」の割合が13.7%となっています。

回答者数 = 124

要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある  
 要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある  
 外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）  
 無回答

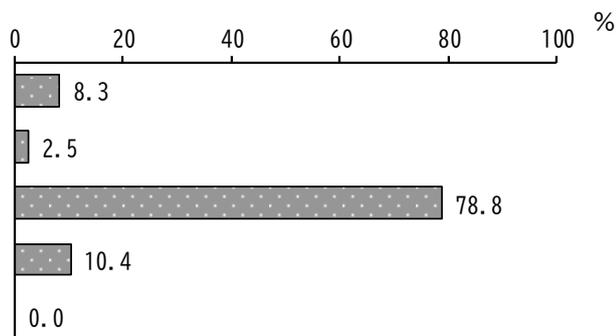


問11 問9で「わからない」と回答した方におたずねします。  
 その理由を教えてください。

「家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい」の割合が78.8%と最も高くなっています。

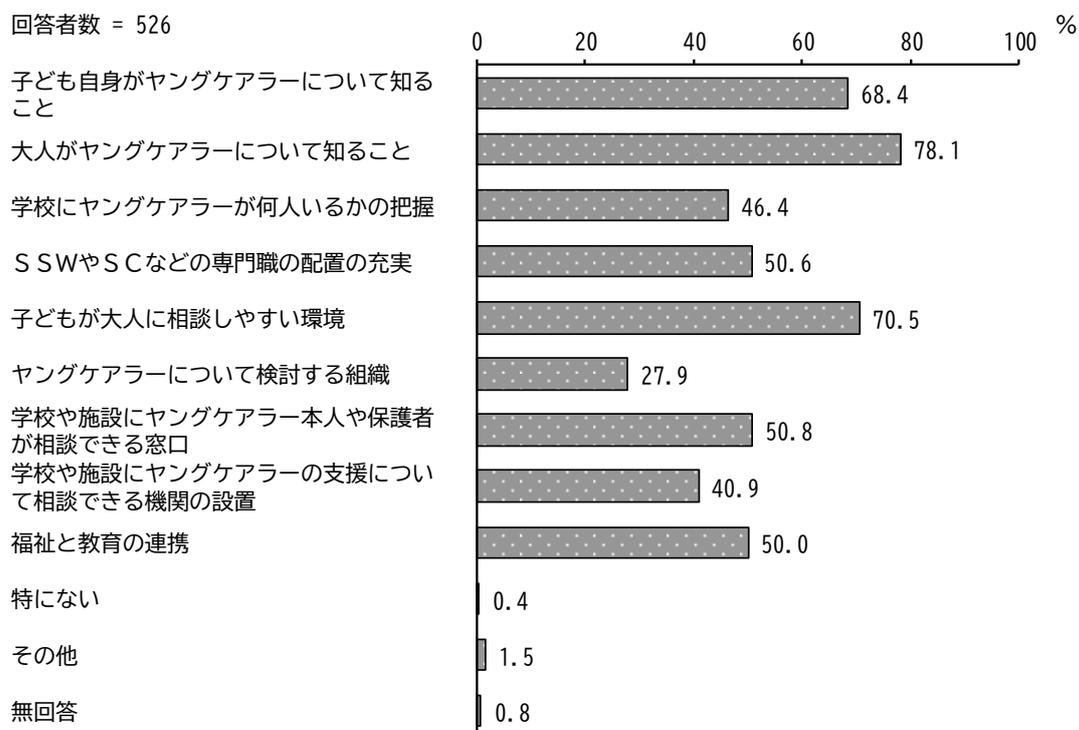
回答者数 = 240

「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している  
 不登校やいじめなどに比べて緊急度が低い  
 ため、実態の把握が後回しになる  
 家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい  
 その他  
 無回答



問12 ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか。  
 (あてはまるものすべてを選択)

「大人がヤングケアラーについて知ること」の割合が78.1%と最も高く、次いで「子どもが大人に相談しやすい環境」の割合が70.5%、「子ども自身がヤングケアラーについて知ること」の割合が68.4%となっています。



## 自由回答（関係機関）

分類回答	件数
1. 家族や周囲の人たちのサポート	9
2. 認知度、理解促進、教育	19
3. 悩みなど相談しやすい環境づくり	6
4. 支援・補助について	12
5. 施設・環境整備の充実	13
6. 意見・要望	17
7. アンケートについて	2
8. ヤングケアラーについて思っていること	14
9. ヤングケアラーの実態把握	36

### 【分類別の意見】

#### 1 家族や周囲の人たちのサポート

- ・ 家族のケアをすることは悪いこととは思わないが、家庭内の個々の負担が大きくなることは心配である。大人を含め相談、支援できる体制を整えることが必要ではないかと思う。
- ・ 家族の一員としての役割と考えられると、家族のためにということが最優先になりがちである。やらせてよいこと、やらせるべきでないことをしっかりと伝えていく必要があると考える。
- ・ それぞれの家庭の事情はあるだろうが、子どもたちが今やるべきことを行える環境を作ってあげることが必要だと感じる。
- ・ 学校や保護者だけでなく、地域の方々の協力や情報共有が大切だと思います。今後大切だと思います。
- ・ あいキッズ施設の施設長であるが、ヤングケアラーやネグレクトとはっきりしたことは言えないが、ヤングケアラー気味な児童がいる。その児童については職員間で共有し、また学校にも共有を行って注視している。
- ・ 自分自身がそうでした。私のような家庭環境にいと、周りの子たちとの違いから自己肯定感が低くなりがちで(自分は何も悪くないのに)何をやっても自信を持てなかったのですが、良い担任の先生に巡り会えてそれはいくらか払拭されました。大人の理解があると、そういう子たちは気持ちの上でとても助かると思います。
- ・ 共働きの家庭が増えていく中、自身の子どもに家事を要求するケースもあるとは考えられる。ご家庭により事情も様々であることから一概によくないことと決めつけることはできないが、あくまで保護者を主体に行い、子どもは手伝いという認識であることが大切である。
- ・ 家庭環境を子供が安心して生活を出来る様に真剣に考える必要がある。

- ・ 昨年度からヤングケアラーの疑いのある児童について、子家総に情報提供をしている。今年度は中学生になっているが、兄弟が本校に在籍しているので、今後も様子を見守っていく。

## 2 認知度、理解促進、教育

- ・ 子ども自身が積極的に保護者を支援しているのなら問題はないと思うが、本人の意思に反して強制的にやらされているのは問題と思う。本人から相談してくるケースは余程の事だと思う（状況が過酷で相談せざるをえない）が、そこまではいかないけれども、小さい頃から家庭内の慣習として当たり前になっている状況では、本人も気付かずヤングケアラーに該当していると思うので、子ども自身へのヤングケアラーについてのことを教える必要があると思う。ヤングケアラーについての概念はまだ一般化していないと思うので、もっとメディアなどを通して問題提起をして全国的に関心を起こさなければならぬと思う。
- ・ 子どもには何の罪もない。保護者自身も適切な教育を受けていないケースも多いだろうから、負の連鎖を断ち切るのは容易ではない。
- ・ ヤングケアラーである子どもが、かわいそうと云うのも違うところです。子ども自身が、自分がかわいそうだと思うせない配慮が必要だと思います。
- ・ 子ども自身が「お手伝いの範囲内」と「お手伝いの範囲外」について知ることが必要。子どもたちに関わる大人がしっかりと教えてあげなくてはならない。
- ・ そういった環境に置かれている子どもがいるということを知ることからはじめ、どのような支援や配慮が必要か、組織として検討していくことが必要である。
- ・ ヤングケアラーについて問題意識を高めていきたい。
- ・ ヤングケアラーと家庭での手伝いとの境目が難しく、親と子供の認識の違いがあるように思われる。
- ・ 不登校の生徒のためにある教育施設で、働いていた時、不登校の理由の一つに、ヤングケアラーであるということが結構あった。家庭に踏み込むことになるので思うように解決策が取れなくて歯痒かった。現在は、小学校勤務なので、あまり話は聞かないが、社会でもっと取り組めるようになって欲しい。
- ・ 本人が気づいていない、ということもあるので、子供のうちから知ることが大事だと思います。
- ・ ヤングケアラーへの認識を深めるよう、研修等を重視していく必要がある。
- ・ まず、本人が自分自身のことをヤングケアラーとして認識して良いことを知るのが大事だと思います。
- ・ こども本人に自覚がないケースが多いのではないかと懸念している。こども本人と自分との信頼関係が強くなる前に尋ねると、警戒されて話してくれなくなるのではと思い、間合いの詰め方が難しい。
- ・ 大人がもっと学んでいくことが大切だと思います。（大人自身が支援される側の方が多い）
- ・ 保護者の理解だけでなく、社会全体の問題でもあると思います。そのため、学校でできることは、発見と報告に限らないのではないかと思います。
- ・ 家庭の在り方が支援によって変化する際、外からはわからない葛藤や罪悪感、自責感があることを忘れずに支援する必要がある。その家族の形によって作られてきた子どものアイデンティティがあり、それをいたずらに脅かすことのないよう、適切な心理教育と、大人との良い関係を継続することを心がけていきたい。

- ・ ヤングケアラーの実態を把握出来ないと支援が難しいので、子供が相談しやすい環境と、子供の当然の権利を子供や家族が理解を出来るように教育する事が大事だと考えます。
- ・ 子ども自身良かれと思ってやっている事や親も当たり前と思っている人が多いのでは、子ども大人も含めて学べる場、認識を改める場を設けると良いと思います。
- ・ 児童は、知識がない故に、自身がヤングケアラーという認識を持ってない場合が多いので、ヤングケアラーについて教える必要を感じる。
- ・ 大人も子供もヤングケアラーの知識を知る機会が必要。家族だから助け合うのが当たり前という考えが行き過ぎることのないようにしないといけないと思う。

### 3 悩みなど相談しやすい環境づくり

- ・ 現在把握している児童はいませんが、いつでも相談できる体制や信頼関係をつくっていきます。
- ・ 万が一、ヤングケアラーがいるのであれば、学習や生活の保障の力になってあげたいと思います。そこで、子ども自身が知ることと相談しやすい環境や場を設定することが大切だなと思いました。
- ・ 周囲の人が気を配り、言葉かけを子どもにしてくれるだけでも困っていることが吐き出せたらと思う。周囲に親切な大人が1人いるだけでその人の顔を見るだけでホッとしたなあと当時を思い出しました。
- ・ 板橋は児相機能が加わって、子家センの動きが悪くなったと思います。以前は相談だけでも聞いてくれて、ケースによってはその後の様子を積極的に聞いてくれたので、相談しやすかったです。今は子家センからのアプローチは一度もありません。子家センに相談することに不安を感じます。
- ・ 話しやすい環境作り
- ・ 子どもが相談しやすい場を作ること

### 4 支援・補助について

- ・ 20年以上前、東南アジアを旅行した時は、まだ4～6歳位らしいと思われる女兒が屋台で料理を作って、客に提供しているのを見て驚いた。明らかに生活困窮者だとわかり、経済的な余裕があれば、そのような状況にはなっていないと思う。行政も予算を経済的に困窮している家庭に多く配分して支援していかなければならぬ。経済的な問題が解決しなければ、この問題は絶対になくならないし、今後も増えてくると思う。必ずしも経済的な理由だけではないと思うが、そこが一番大きいと思う。
- ・ 実際にヤングケアラーの生徒がいたとして、相談以外に具体的な支援を是非教えてもらいたい
- ・ 生徒が困っていた際にはいつでも手を差し伸べたい。
- ・ 予算が必要。きれいごとになってしまう。国が、国民の平均年収を上げるよう努力してほしい。
- ・ 自分も家事などの手伝いは積極的に行ってきたが、ヤングケアラーはそれ以上に大変な環境にあるのだと思う。なので、もしもヤングケアラーだと思われる児童がいた場合は、積極的に声掛けを行い、対応を考えると共に、自分の出来る最大限の支援をしていく。
- ・ 家庭環境がいかなる場合であっても、児童生徒の学びの機会は保証されるべきである。行政の支援の拡充をお願いしたい。
- ・ 期間ができる範囲を広げて救済できるようになれば良い。

- ・ 早期発見をし、適切な関係機関等につなぐ。
- ・ 福祉の現場は高齢者中心だが、障害を持つ親やその子への支援が必要だと思う。
- ・ 発見後に家事援助など必要な支援に繋ぐには子ども家庭支援センターなどとの連携が必要だと思います。
- ・ 貧困が大きな原因となっていると思うので、今後の対策に期待したい。
- ・ 子どもにしか頼れない大人(保護者)の支援

## 5 施設・環境整備の充実

- ・ 園(学校)だけに任せるのはかなり負担がある。児相も自治体も頑張ってくださっているが状況変わらずで、どうして良いのかわからない。
- ・ ヤングケアラーだけに関わらず、実態把握のためには、専門の教職員の配置が望ましい。現在は、教職員の人数も限りがあり、授業などに追われ対応できる人も時間もない。教職員を配置してほしい。
- ・ なんでも学校になると、学校が崩れていく。イニシアチブは他の部署で
- ・ 学校だけでは無理があるため、区のほうで積極的に行ってほしい。
- ・ 根本的に、日本社会が弱者を支える体制の構築が必要と感じます。
- ・ 子どもたちが学びに集中でき、他のことで負担にならないよう環境を整えたい。
- ・ 学校は情報を把握しやすい立場にあるが、実質的な支援は、専門機関で担うべきである。
- ・ 把握は学校でも可能かもしれないが、家庭の問題なので対応は厳しい。学校以外の機関が主導権をもって動いてほしい。
- ・ 学校ではできることに限界がある。家庭に入り込むことは難しいと感じる。情報を得、児童の状況を垣間見ることはできるので、その後の対応は、福祉やSSWなどが対応の中心になってくれるとよいと思う。
- ・ 学校の教員に役割を担わせるのは厳しい。福祉の部署がフットワークよく対応してほしい。
- ・ 家庭内で解決できないような負担が大きい場合には、地域の公的機関に相談できる仕組み、体制を構築していくべきだと思います。
- ・ 福祉の充実
- ・ 学校は教育機関であり、福祉の専門集団ではない。学校でできること、できないことをきちんと区別しながら対応することが必要だと思う。

## 6 意見・要望

- ・ 公共機関で相談窓口があるとよい。
- ・ 相談窓口があるとよいと思います。
- ・ やむを得ない事情でヤングケアラーとなっている児童、生徒を、具体的に支援できるような機関を知り、必要な場合には適切につなげていくための情報を共有したい。
- ・ 学校でヤングケアラーの人数を把握し、子供本人や周りの大人が相談できる窓口の設置が必要
- ・ ヤングケアラー本人、周りの大人たちが支援について相談窓口の設置が必要
- ・ 福祉を充実させる。人員の確保及び給与の確保。
- ・ 外部との連携が必要。

- ・ 親兄弟など家族の面倒を見ているというのは、素晴らしいことです。問題は自己犠牲を強いられている程度が、明らかに許容範囲を超えていることだと考えます。とはいえ許容範囲がどのぐらいかは、個々の例により様々でしょう。まずはヤングケアラー本人とケアされている人と家族と学校や福祉事務所などの公的機関とが話し合い、連携して、バランスの取れた自助、共助、公助を行うことが重要だと思います。
- ・ 私の管轄外ですが、数件把握しています。行政のルールや大人都合でひとり親が病死直後に団地を退去せざるを得ない親のいないヤングケアラーが過去ありもどかしかったです。
- ・ 問題が表にでにくい為民生委員としては、実態把握が難しいかと思えます。他の機関との連携が必要不可欠となりますので、これからもご教示の程宜しくお願い申し上げます。
- ・ ヤングケアラーという用語が最近使われていますが、戦後、50～60年前から、共働きやひとり親家庭の子どもたちの中には、今以上にヤングケアラーが存在していたと思っています。ただ、昔は近隣の方々が見守ってくれていたのが、今日のように問題視されることが無かったのでしょうか。共助の考え方が無くなっている昨今では、個人情報保護などもあり、如何にして見つけ出し、支援につなげるかが重要課題だと思います。SSW やSCなどの専門職が子どもの家庭環境の変化を察知し、子どもからも相談できる体制を是非整えていただきたい。主任児童委員や児童委員との連携も具体的であってほしいと考えます。
- ・ 登校状況（遅刻、早退、欠席状況）や服装、表情など注視し、職員間で連携をとりながら早期発見、対応ができればと考えます。
- ・ 子どもの学びや安心な生活を確保したい。
- ・ 家庭内の事なので、実態の把握が難しいのが現状、また、その環境に生まれた時からいることにより、児童自身の自覚がないこともある。また、下の子の面倒を見ることで、特に学力の低い児童は、あえて学校での勉強から逃れる口実になっている場合もあり、判別しがたい。学校にできる事は限界に来ている事実も把握して欲しい。
- ・ 他人の家族に入り込むのは難しく、多兄弟の親は、赤ちゃんがいるからとか自立させたいからとか理由をつけて正しいことをしているから口出ししないしてほしいと思っているのではないかと。子供を産んだ時に啓発できるといいと思う。
- ・ ヤングケアラーなのか、家庭内の考え方の違いで介入が難しい場合もある。本当に介入が必要な場合は公的立場の人がやるべき。学校の職員や一般人の民生委員が手助けする様なことではないと思う。高齢者の介護が必要な人にケアマネジャーという資格をもった人がプランを提供するのと同じ考え方が必要ははず。ヤングケアラーの対応を考えるなら、そういう体制をつくり行政がやるべきことです。
- ・ 保護者もかつてヤングケアラーとして生きてきており、「家族とはそういうものだ」という考えのもとで現在の子育てをしている家庭に出会ったことがある。数十年、何世代にも渡る家族の考え方に一石を投げ支援をするのが担任だけでは難しかった。

## 7 アンケートについて

- ・ 児童へのアンケートについては情報共有をお願いしたいです。
- ・ 子供の気質にもよるが、家庭環境はなかなか言い出しにくい事だと思われるので、話しやすい環境や、学校や周囲からの働きかけが定期的にあるといいのではと思う。本人がヤングケアラーと気づいてないこともあると思われるので、具体的な例を挙げ、家庭内で自分がそれを行っていないかアンケートを取ったりする。

## 8 ヤングケアラーについて思っていること

- ・ 先日テレビ放映でヤングケアラーの実態を知りました。子どもは当たり前のように生活していました。子どもの力のみではどうすることもできない事（金銭や子ども自身の将来等）を誰に相談していけたら良いのか、誰がその役割を担っていったら良いのかをもっと周りの大人たちが関われるような組織作りをしていかなければならないと思いました。
- ・ 今回この調査をしてもまだよく分かっていない自分があります。しっかり理解できるよう勉強していきたいです。
- ・ まだ実際にヤングケアラーになってしまっている児童との関わりはありませんが、1人でもヤングケアラーが減ってほしいと思います。
- ・ 身近に、ヤングケアラーがいない事を祈ります。
- ・ 今まで身近にいなかったのですが、もし当園や周りにヤングケアラーのお子さまがいた場合、しっかりと援助してあげたいと思いました。当園は学童も行っておりますので、引き続き、お子さまの様子を見守ってまいります。
- ・ あまり意識せずに生活してきたので、意識していきたい。
- ・ ヤングケアラーの子達が自分の状況をどう思っているのか、聞いてみたいです。
- ・ 言葉は知っていても内容について詳しく理解していなかったため、理解でき、今後の対応を検討することが出来てよかったです。
- ・ 担当地区内のヤングケアラーが存在するのか大変興味があるが、いざいた場合何が出来るか心配です
- ・ これをきっかけにヤングケアラーについて調べ、自現場の取り組みに繋げていきたいです。
- ・ 家族は支え合うものだと考えるが、それが児童を苦しめている現状がある。まだ、依存の中にいてよいはずの子どもが、共依存となっているとしたら、なんとかしなくてはならないと思う。
- ・ 親も子も自覚がないことが多い。また親自身、子供の頃ヤングケアラーだった人は、当たり前のこととして捉えているように感じる。
- ・ 生活力は高いので、給食の配膳や家庭科の調理実習などは周りの子よりできる場合が多い。
- ・ 振り返れば、私自身もヤングケアラーでした。家族の不安なく、学業に専念できる環境づくりをしてあげたいです。

## 9 ヤングケアラーの実態把握

- ・ 私の所属している施設では、放課後の遊び場利用として来ている児童が保護者就労の為預かりをしている児童が利用している為、現状利用児童の中でヤングケアラーがいる可能性は低いと考えております。また、出席が原則という訳ではない為、利用していない登録児童の問題は非常に表出化しにくいものと考えられます。ただ、お迎えに兄弟しか来ない家庭や電話連絡の窓口が兄弟の家庭などはヤングケアラーの可能性も視野に入れて対応。情報収集を行うようにしております。
- ・ 早目に見つけて、情報共有することが、大切。
- ・ 児童からすると当たり前になってしまっているため、児童の家庭での様子を知る手段が必要になってくる。日記や普段の会話など、家庭での児童を知る場を大切にしたい。

- ・ 実際に校内にヤングケアラーが存在していないか把握をしているかと言われたら、そうだとはいいい切れない。
- ・ 把握すること、関係機関と連携することが大切である
- ・ 本人がその状況を良いとしていたりする場合もあるだろう。周りが気づいてあげないといけない。
- ・ 把握の仕方が難しいと思う。ヤングケアラーなのかそうでないのかの線引きが難しい。
- ・ 子ども本人はお手伝いの範疇だと思っているかもしれませんが。中学生だと、他の家庭と比べてウチは違うと思う生徒もいるかもしれませんが、ウチはこうなのだとあきらめているのではないのでしょうか。地域柄、日本語が第一言語ではない家族のために通訳をしている家庭は結構います。
- ・ 私自身も今おもえばヤングケアラーにあてはまると思った。当時は、家庭の問題だし仕方がないとおもって過ごすしか術はなかった。
- ・ 児童、保護者から直接の相談があった事がなく、学校から情報が降りてきた段階で児童の様子を共有して対策を取る形を取っている。今年度は学校からヤングケアラーについては情報が降りてきた児童がいない。(その他気になる児童については共有している)
- ・ 介護を必要とする保護者が高齢者であったので地域包括センターに連絡を入れたことがあった。素早い対応で解決へ進めた。
- ・ ヤングケアラーに関する実態を、時々把握しないといけないなと感じた。
- ・ 日頃から服装や髪型などに気を配り、生徒の SOS を見過ごさないように心がける。
- ・ 昨年民生委員児童委員につきましたので具体的な事例は、わかりません。意識して、報道やテレビ情報を見ています。本日も、テレビ報道で子供食堂と学習の教室を開いている方が、この2つからヤングケアラーを見つける場となっていると。子供は、当たり前のように家族の世話をしているので、自身が「ヤングケアラー」と知らない。故に、誰にも相談なんかしません。学校なのでの周知と大人たちの子どもたちの生活観察とその状況を改善するシステムは、不可欠な事と思います。
- ・ まずは実態を知ることから始まる、と強く感じている。
- ・ 子ども自身は、自分の家族の状況について、「当たり前」だと捉えることも多く、また、親が頑張っているのを間近で見ているからこそ、自分が辛いと言えないことがある。
- ・ 日本ではまだ定義がないとのこと。何歳までヤングケアラー というのかヤングケアラー。過ぎた人たちもこのような状態に置かれている人たちがたくさんいる気がします。またヤングケアラーであることを周りに分かると当事者はもちろん家族を傷つけることになるというのも研修で以前ヤングケアラーだった方の口から聞きました。とても繊細で難しい問題だと思います。が、それで 学習の機会就職の機会がなくなるのであれば誰かが 気づいて守らなければいけないと思います。そのような相談があったらいつでもできる限りの見守りサポート 連携繋げるなどの行動をしたいと思います。
- ・ 生活保護など福祉に関わっている場合は気付かれる可能性は高いですが、虐待より見えにくい問題だと思います。当事者が声を上げやすい状態を作ることが大事だと思います。
- ・ ヤングケアラーについての現状を理解し、組織で対応していくことが大切なのだとわかった。
- ・ 子ども自身から発信がないと、問題に気付けないこともあり、子供の様子や変化を常に把握して教員が変化に敏感にならねばならないと思う。
- ・ 実態の把握方法について学びたい
- ・ ヤングケアラーを把握する事は、なかなか難しいです。日頃から色々アンテナを張って、情報を得られると、少しでも早く、見つけることが可能かもしれません。
- ・ 子ども本人がどの程度自覚をしているか、どの程度困っているかの把握と、適切な機関につなぎ本人の精神的サポート。

- ・ 民生児童委員が直接見つける事は難しい。
- ・ 確実に増えてきているが、自覚なく過ごしている子どもも多いと言われているので子どもがどういった状況のことを言うのか知ることや大人が窓口を作り、実態を把握していくことがこの問題に対する対応の1歩を動かしていくと思う
- ・ 学校教育に携わっている大人は、ヤングケアラーも含めてもっと注意深く子どもたちを見ていく意識が必要だと思います。
- ・ 子供たちが負担している状況を、把握できるよう、協力していきたい。
- ・ 身の回りにはいないと思っていますが気が付かないだけかもしれません。今後意識していきたいと思います。
- ・ 見つけることは容易ではないと思います。
- ・ 実態を把握するには、家庭の深いところまで踏み込まないといけない。そこが難しい。
- ・ ヤングケアラーは外部から見えにくい部分が多い。SSW や児童相談所などと連携して、現状把握と対応について意識を高めていきたい。
- ・ 表出していない隠れヤングケアラーを早めに発見し、地域とともに対応していける環境を整えていきたい。
- ・ まずは知ることが大切だと思います。そして、自分ごととして捉えることが必要です。
- ・ まずは全員が同じ認識で対応することが大切だと思います。
- ・ ヤングケアラーに当てはまる状態である子どもは居るが、実際の家庭の中での状況まではわからない。
- ・ 道徳観や倫理観の観点から、家庭での自助努力や家族での役割、仕事を美德とする傾向がある。それを踏まえて、本人も望んでいる場合、家庭内での問題のため、その程度や頻度の実態把握が出来ないことは問題解決が困難なのではないかと考えている。

# IV 調査票

## 1 小・中学生

### 板橋区 毎日の生活についての調査（小・中学生用） （ヤングケアラーに関する実態調査）

I. あなたのことについておたずねします。

問1 あなたが通っている学校について教えてください。

1. 板橋区立 2. 私立

問2 あなたの学年を教えてください。

- （小学生用） 1. 4年生 2. 5年生 3. 6年生  
（中学生用） 1. 1年生（7年生） 2. 2年生（8年生） 3. 3年生（9年生）

問3 あなたのせいぜいつを教えてください。

1. 男 2. 女 3. その他 4. 答えたくない

問4 あなたが、いっしょに住んでいるのは誰ですか。

1. お母さん 6. お姉さん（ ）人  
2. お父さん 7. 弟（ ）人  
3. おはあさん 8. 妹（ ）人  
4. おじいさん 9. その他（ ）人  
5. お兄さん（ ）人

II. あなたのふだんの生活についておたずねします。

問5 学校生活について教えてください。

① あなたは学校をけっせきすることがありますか。

1. しない 2. ほとんどしない 3. たまにする 4. よくする

② あなたは学校をちこく・そつたいすることがありますか。

1. しない 2. ほとんどしない 3. たまにする 4. よくする

③ あなたは放課後やお休みの日に、部活動やじゆく・習いごとをしていますか。

1. はい 2. いいえ

④ あなたのふだんの学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。

（あてはまるものすべてを選択）

1. じゆく中 になてしまうことが多い 5. ほけんしつでござごすことが多い  
2. 宿題ができていないことが多い 6. 学校ではひとりですごすことが多い  
3. わすれ物やていしゆつづつを山すのが遅れることが多い 7. 友達と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない  
4. 部活動や習いごとなどを休むことが多い 8. その他（ ）※入力  
9. とくにない

問6 あなたは、やんだりこまったりしていることはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

1. 友だちのこと 8. 自分と家族との関係のこと  
2. 学校の成績（勉強）のこと 9. 家族の人間関係のこと  
3. 通路のこと 10. 精気やしようがいのある家族のこと  
4. 部活動のこと 11. 自分のために使える時間が少ないこと  
5. 学校生活にひつようなお金のこと 12. その他（ ）※入力  
6. じゆくや習いごとができないこと 13. とくにない  
7. 食費など生活にひつようなお金のこと

問7 問6で1～12のいずれかを回答した人におたずねします。回答した人やまこまりごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

1. いる 2. いない 3. 相談や話をしたくない

Ⅲ. あなたの家族や家族についておたずねします。

問8 家族の中に、あなたがお世話をしている方はいますか。

1. いる → 問9へ 2. いない → 問17へ

※お世話は、以下のようなことです。

○家事 (食事の用意や後かたづけ、そうじ、せんたく、買い物など)

○きょうだいの世話やほいく園などへの送りむかえ

○着替えやおふろ、トイレの手つだいなど

○病院や買い物、さんぽにいつしよに行き、手助けをする

○こまりごとを聞く、話し相手になるなど

○見守り (転んだり、あぶないことをしたりしないか見守るなど)

○通やく (日本語の通やくや手話での通やくなど)

○家のお釜のかん理 (お釜の使い道を考えたり、はらったりするなど)

○薬のかん理 (薬を飲んだかたしめたり、わたしたりするなど)

○通院などのケア (病院への付きそいをしたり、医師が薬をほう筒したときの対おうなど)

○医りよう前ケア (たんの吸いとりやけいかんえいようのかん理など)

○家計のサポート (家計をささえるためにアルバイトをしたり、働いたりすること)

問9 問8で「1. いる」と回答した方におたずねします。

① あなたがお世話をしている方はどなたですか。(あてはまるものすべてを選択)

1. おばあさん
2. お父さん
3. おばあさん
4. おじいさん
5. きょうだい
6. その他 ( ) 人

② その方がどのような理由でお世話をひつようとしているのか教えてください。

(あてはまるものすべてを選択)

1. おとしよりのため
2. おさない (小さい) ため
3. にんちしよのため
4. 障がいがあるため (身体・知てきなど)
5. かいごがひつようなため  
※ここでのいうかいごとは食事や身の回りのお世話などのことです
6. ころろの病気のため ※うつ病など
7. いぞんしよのため  
※ここでのいういぞんしよとは、おさけ・ギヤンブルなどをやめられず、生活に困難をかかえていることです
8. その他の病気やケガのため
9. 日本語が苦手なため
10. その他 ( ) ※入力
11. わからない

③ あなたはその方への世話をだれかといっしよにしていますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 自分のみ
2. お母さん
3. お父さん
4. おばあさん
5. おじいさん
6. きょうだい
7. 親せき
8. 福祉サービス (ヘルパーなど) を利用
9. その他 ( ) ※入力

④ あなたはその方どのようなお世話をしていますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 家事 (食事の用意・後かたづけ、そうじなど)
2. きょうだいの世話やほいく園などへの送りむかえ
3. 着がえやおふろ、トイレの手つだいなど
4. 買い物、さんぽにいつしよに行き手助けする
5. こまりごとを聞く、話し相手になるなど
6. 見守り (あぶないことをしないか見守るなど)
7. 通やく (日本語や手話での通やく)
8. 家のお釜のかん理
9. 薬のかん理 (薬を飲んだかたしめたり、わたしたりするなど)
10. 病院への付きそいなど
11. たんの吸いとりなどの医りよう前のお世話
12. 家計のサポート (家計のために働くなど)
13. その他 ( ) ※入力

⑤ お世話をひつようとしている方は、**図**がていきまようするサービス（ホームヘルパーなど）を使っていますか。

1. している    2. していない    3. 分からない

⑥ あなたはその方へのお世話をどのくらいしていますか。

1. ほぼ毎日    2. 週3～5日    3. 週に1～2回    4. 1か月に数回    5. その他 ( ) ※入力

⑦ あなたは平日と土日それぞれで、1日何時間くらいその方へのお世話をしていますか。

プルダウンで1時間未満から1時間、2時間…と選択肢を用意し、平日と土日それぞれで回答者が選択

問10 あなたは家族のお世話をしていることで、以下のようないけいけんをしたことはありませんか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 友だちと遊べないことがある    5. 自分の時間が取れない  
 2. 話しかけたいことが思うようにできない    6. すいみんが十分取れない  
 3. 勉強する時間がない    7. その他 ( ) ※入力  
 4. 通学にいきまようがでる    8. とくにない  
 5. 学校に行けなかったり、ちこくやせうたいをする

問11 あなたはお世話をすることについて、どのようなことを感じていますか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. やりがいを感じている    5. せいしんてきにつらい  
 2. 楽しい    6. 時間のよゆうがない  
 3. ぼんやりしている    7. とくに何も感じていない  
 4. 体力ができにつらい    8. その他 ( ) ※入力

問12 あなたが学校やまわりの友人に勧めてほしいことや、ひつようとしているしえんはありますか。  
 (あてはまるものすべてを選択)

1. 自分の話を聞いてほしい    8. 連絡などのしようらいの相談に乗ってほしい  
 2. 家族のお世話について相談のってほしい    9. 学習のサポートをしてほしい  
 3. お世話の仕方などについて教えてほしい    10. 家庭へのお金の前でのしえんをしてほしい  
 4. 家族での相談・話し合いにさんかしてほしい    11. とくにない  
 5. お世話を代わりにやってくれる人がほしい    12. 分からない  
 6. 自由に使える時間がほしい    13. その他 ( ) ※入力  
 7. 自由にすごせる場所がほしい

問13 あなたはお世話をひつようとしている家族のことや、お世話のなやまをだれかに相談したことはありますか。

1. ある → 問14へ    2. ない → 問15へ

問14 問13で「1. ある」と回答した方におたずねします。あなたはだれに相談しましたか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 家族    8. 相談まどぐち (メール、SNS)  
 2. 親せき    9. 病院  
 3. 友達    10. 福祉サービスの人 (ヘルパーなど)  
 4. 学校の先生 (ほけん室の先生以外)    11. 区役所の人  
 5. ほけん室の先生    12. 子どもなんでも相談  
 6. スターカウんセンサーやスクールソーシャルワーカー    13. SNS上で知り合った人  
 7. 相談まどぐち (電話)    14. その他 ( ) ※入力

問15 問13で「2. ない」と回答した方におたずねします。あなたが相談しない理由を教えてください。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 相談するほどのなやみではない
2. だれに相談するかが分からな
3. 相談できる人が身近にいない
4. 家族のことを話しにくい
5. 家族のことを知られたくない
6. 家族に対してへんけんを持たれたくない
7. 相談してもじょうきょうがかわらぬと思えない
8. 相談しても分かってもらえない
9. 自分がかわいそうなどと思わなくな
10. なやみはない
11. その他 ( ) ※入力

問16 問13で「2. ない」と回答した方におたずねします。今後、あなたが話したいと思ったときに、お

世話をひつようとしてくれる家族のことや、お世話のなやみを聞いてくれる人はいませんか。

1. いる
2. いない

問17 問13で「2. ない」と回答した方におたずねします。今後、あなたが話したいと思ったときに、ど

のような方法で話や相談をしたいですか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 直接来て
2. 電話
3. SNS
4. メール
5. その他 ( ) ※入力

IV. ヤングケアラーについておたずねします。

ヤングケアラーとは、「ふつうは大人がするとされている、お家のことや、家族の世話などを、普段から子どもが行っていることにより、子ども本人がやりたいことができな

ないと思われる18歳未満の子ども」のことをいいます。

問18 「ヤングケアラー」という言葉を、あなたはこれまでに聞いたことがありましたか。

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことがあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

問19 問18で「1. 聞いたことがあります、内容も知っています」「2. 聞いたことがあるが、よく知らない」と回答した方におたずねします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。

(あてはまるものすべてを複数)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. テレビや新聞、ラジオ  | 5. イベントや交流会など  |
| 2. ざっしや本       | 6. 学校          |
| 3. SNSやインターネット | 7. 友達から聞いた     |
| 4. チラシやけいじぶつ   | 8. その他 ( ) ※入力 |

問20 家族のお世話をしている子どもやヤングケアラーのために、ひつようだと感じる、学校や周りの大人にももらいたいこと、このアンケートへの感想、なやみやお願したいことなどがあれば自由に

入力してください。

自由入力欄 ※入力



問8 問4で「2. 通学せずに働いている」「3. 通学しながら働いている」と回答した方におたずねします。仕事の状況について教えてください。

① あなたは仕事を欠席することがありますか。

1. しない 2. ほとんどしない 3. たまにする 4. よくする

② あなたは仕事を遅刻・早退することがありますか。

1. しない 2. ほとんどしない 3. たまにする 4. よくする

③ あなたの学校の生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 任事中に居眠りすることがある 4. 友達と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない  
2. 仕事に集中できていないことが多い 5. 趣味や好きなことをする時間が少ない  
3. 勤務先では1人で過ごすことが多い 6. その他 ( ) ※入力

問9 問4で「1. 通学している」と回答した方におたずねします。

現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 友達との関係のこと 8. 自分と家族との関係のこと  
2. 学校の成績のこと 9. 家族同士の人間関係のこと  
3. 進路のこと 10. 精気や障がいのある家族のこと  
4. 部活動のこと 11. 自分のために使える時間が少ないこと  
5. 学校生活に必要なお金のこと 12. その他 ( ) ※入力  
6. 塾や習いごとができないこと 13. 特にない  
7. 食費や家賃など生活に必要なお金のこと

問10 問9で1～12のいずれかを回答した方におたずねします。回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

1. いる 2. いない 3. 相談や話をしたくない

問11 問4で「2. 通学せずに働いている」と回答した方におたずねします。

現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 友達との関係のこと 7. 家族同士の人間関係のこと  
2. 職場での人間関係のこと 8. 精気や障がいのある家族のこと  
3. 仕事の内容のこと 9. 自分のために使える時間が少ないこと  
4. 自分のこれからの生活のこと 11. その他 ( ) ※入力  
5. 食費や家賃など生活に必要なお金のこと 12. 特にない  
6. 自分と家族との関係のこと

問12 問11で1～11のいずれかを回答した方におたずねします。回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

1. いる 2. いない 3. 相談や話をしたくない

問13 問4で「3. 通学しながら働いている」と回答した方におたずねします。

現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 友達との関係のこと 9. 自分のこれからの生活のこと  
2. 学校の成績のこと 10. 食費や家賃など生活に必要なお金のこと  
3. 進路のこと 11. 自分と家族との関係のこと  
4. 部活動のこと 12. 家族同士の人間関係のこと  
5. 塾や習いごとができないこと 13. 精気や障がいのある家族のこと  
6. 学校生活に必要なお金のこと 14. 自分のために使える時間が少ないこと  
7. 職場での人間関係のこと 15. その他 ( ) ※入力  
8. 仕事の内容のこと 16. 特にない

問14 問13で1～15のいずれかを回答した方におたずねします。回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

1. いる 2. いない 3. 相談や話をしたくない

簡15 簡4で「4. 家で過ごしている」と回答した方におたずねします。

損差、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 友達との関係のこと
2. 自分からのこと
3. 長費や家賃など生活に必要なお金のこと
4. 自分と家族との関係のこと
5. 家族同士の人間関係のこと
6. 精気や糧 がいのある家族のこと
7. 自分のために使える時間が少ないこと
8. その他 ( ) ※入力
9. 特にない

簡16 簡15で1～8のいずれかを回答した方におたずねします。回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

1. いる
2. いない
3. 相談や話をしたくない

### Ⅲ. あなたの家庭や家族についておたずねします。

簡17 家族の中に、あなたがお世話をしている方はいますか。

1. いる → 簡18へ
2. いない → 簡27へ

※お世話は、以下のようなことです。

- 家事 (食事の準備や後片づけ、掃除、洗濯、買い物など)
- きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え
- 着替えや入浴、トイレの手伝いなど
- 病院や買い物、散歩に一輪に行き、手助けをする
- 感情面のサポート (感謝を聞く、話し相手になるなど)
- 見守り (転んだり、危ないことをしたりしないか見守るなど)
- 通訳 (日本語の通訳や手話での通訳など)
- 家のお金の管理 (お金の使い道を考えたり、支払ったりするなど)
- 薬の管理 (薬を飲んだか確認したり、渡したりするなど)
- 通院などのケア (病院への付き添いをしたり、医師が家を訪問したときの対応など)
- 医療的ケア (たんの吸引や経管栄養の管理など)
- 家計のサポート (家計を支えるためにアルバイトをしたり、働いたりすること)

簡18 簡17で「1. いる」と回答した方におたずねします。

① あなたがお世話をしている方はどなたですか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 母
2. 父
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. その他 ( ) ※入力

② その方がどのような理由でお世話を必要としているのか教えてください。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 高齢 (お年寄り) のため
2. 弱い (小さい) ため
3. 認知症のため
4. 障がいがあるため (身体・知的など)
5. 介護が必要のため
6. ころの病気のため
7. 依存症のため
8. その他の病気やケガのため
9. 日本語が苦手なため
10. その他 ( ) ※入力
11. わからない

③ あなたはその方へのお世話を誰かと一緒にしていますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 自分のみ
2. 母
3. 父
4. 祖母
5. 祖父
6. きょうだい
7. 姉妹
8. 福祉サービス (ヘルパーなど) を利用
9. その他 ( ) ※入力

④ あなたはその方にとどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 家事 (食事の準備・後片付け、掃除など)
2. きょうだいのお世話を保育園などへの送り迎え
3. 着替えや入浴、トイレの手伝いなど
4. 買い物、散歩と一緒に歩き手助けする
5. 感覚過敏のサポート (話し相手になるなど)
6. 見守り (危険なことをしないか見守るなど)
7. 通訳 (日本語や手話での通訳)
8. 家のお金の管理
9. 薬の保管や服薬の確認
10. 病院への付き添いなど
11. たんの吸引などの医療的なお世話
12. 家計のサポート (家計のために働くなど)
13. その他 ( ) ※入力

⑤ お世話を必要としている方は、区が提供するサービス (ホームヘルパーなど) を利用していますか。

1. している
2. していない
3. 分からない

⑥ あなたはその方へのお世話をどのくらいしていますか。

1. ほぼ毎日
2. 週3～5日
3. 週に1～2回
4. 1か月に数回
5. その他 ( ) ※入力

⑦ あなたは平日と土日それぞれで、1日何時間くらいその方へのお世話をしていますか。

ブルダウ内で1時間未満から1時間、2時間…と選択肢を用意し、平日と土日それぞれで回答者が選択

問19 あなたは家族のお世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 友達と遊べないことがある
2. 部活動や習いごとが思うようにできない
3. 勉強する時間がない
4. 恋愛をしたくてもできない
5. 学校や仕事に行けなかつたり遅刻や早退をする
6. 自分の時間が取れない
7. 睡眠が十分に取れない
8. その他 ( ) ※入力
9. 特になし

問20 家族のお世話をしていることによる、あなたの進路への影響について教えてください。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 進学を諦めて、就職を考えている。または、すでにそうした
2. 進学や就職をあきらめて、お世話に専念しようと考えている。または、すでにそうした
3. 進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている。または、すでにそうした
4. 就職の際は、自宅から通えるところを選択しようと考えている。または、すでにそうした
5. 進路を考えるにあたって、特に影響を受けていない
6. その他 ( ) ※入力

問21 あなたはお世話をすることについて、どのようなことを感じていますか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. やりがいを感じている
2. 楽しい
3. 充実している
4. 体力的につらい
5. 精神的につらい
6. 時間の余裕がない
7. 特に何も感じていない
8. その他 ( ) ※入力

問22 あなたが学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 自分の状況を聞いてほしい
2. 家族のお世話について相談に乗ってほしい
3. お世話の仕方などについて教えてほしい
4. 家族での相談・話し合いに参加してほしい
5. お世話を代わりにやってくれる人がほしい
6. 自由に使える時間がほしい
7. 自由に過ごせる場所がほしい
8. 連絡などの将来の相談に乗ってほしい
9. 学習のサポートをしてほしい
10. 家庭への金銭面での支援をしてほしい
11. 特にない
12. 分からない
13. その他 ( ) ※入力

問23 あなたはお世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。

1. ある → 問24へ
2. ない → 問25へ

問24 問23で「1. ある」と回答した方におたずねします。あなたは誰に相談しましたか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 家族
2. 親戚
3. 友達
4. 学校の先生 (保健室の先生以外)
5. 保健室の先生
6. スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー
7. 相談窓口 (電話)
8. 相談窓口 (メール、SNS)
9. 医師や看護師、その他病院の先生
10. 福祉サービスの先生 (ヘルパー等)
11. 区役所の先生
12. 子どもなんでも相談
13. SNS上で知り合った先生
14. その他 ( ) ※入力

問25 問23で「2. ない」と回答した方におたずねします。あなたが相談しない理由を教えてください。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 相談するほどの悩みではない
2. 誰に相談するかが分からない
3. 相談できる人が身近にいない
4. 家族のことを話しにくい
5. 家族のことを知られたくない
6. 家族に対して偏見を持たれたくない
7. 相談しても状況が変わると思えない
8. 相談しても分からなかったら思えない
9. 自分がかかわりそうなどと思われたくない
10. 悩みはない
11. その他 ( ) ※入力

問26 問23で「2. ない」と回答した方におたずねします。今後、あなたが話したいと思ったときに、お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。

1. いる
2. いない

問27 問23で「2. ない」と回答した方におたずねします。今後、あなたが話したいと思ったときに、どのような方法で話や相談をしたいですか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 直接会って
2. 電話
3. SNS
4. メール
5. その他 ( ) ※入力

IV. ヤングケアラーについておたずねします。

ヤングケアラーとは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や

家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どものことをいいます。



©一般社団法人日本ケアラー連盟 / Illustration: Izumi Shiga

問28 「ヤングケアラー」という言葉を、あなたはこれまでに聞いたことがありましたか。

- 1. 聞いたことがあります、内容も知っています
- 2. 聞いたことがあります、よく知らない
- 3. 聞いたことはない

問29 問27で「1. 聞いたことがあります、内容も知っています」「2. 聞いたことがあります、よく知らない」と回答した方におたずねします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。

(あてはまるものすべてを選択)

- 1. テレビや新聞、ラジオ
- 2. 雑誌や本
- 3. SNSやインターネット
- 4. 広告やチラシ、視覚的
- 5. イベントや交流会など
- 6. 学校
- 7. 友達から聞いた
- 8. その他 ( ) ※入力

問30 ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと想うことや、あなたがお世話をしていること

で困っていること、学校や福祉に求める支援、要望などがあれば自由に記入してください。

自由入力欄 ※入力

## 2 高校生

### 板橋区 ヤングケアラーに関する実態調査 (高校生世代用)

I. あなたのことにしておたずねします。

問1 あなたの年齢を教えてください。

1. 15歳 2. 16歳 3. 17歳 4. 18歳

問2 あなたの性別を教えてください。

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 答えたくない

問3 あなたが現在、一緒に住んでいる家族を教えてください。(離れている家族を除く)

1. 母 6. 姉( )人  
2. 父 7. 弟( )人  
3. 祖母 8. 妹( )人  
4. 祖父 9. その他( )人  
5. 兄( )人

問4 あなたの状況について教えてください。

1. 通学している (通信制高校を含む) 3. 通学しながら働いている (定時制高校を含む)  
2. 通学せずに働いている 4. 家で過ごしている (通学せず働いていない)

問5 問4で「1. 通学している」「2. 通学しながら働いている」と回答した方におたずねします。

あなたの通っている学校について教えてください。

1. 全日制高校 3. 定時制高校  
2. 通信制高校 4. その他( ) ※入方

問6 問4で「3. 通学せずに働いている」と回答した方におたずねします。

あなたの働き方について教えてください。

1. 正社員 3. 自営業  
2. 非正規雇用 (派遣・契約社員、アルバイトなど) 4. その他( ) ※入方

II. あなたの普段の生活についておたずねします。

問7 問4で「1. 通学している」と回答した方におたずねします。学校生活について教えてください。

① あなたは学校を欠席することがありますか。

1. しない 2. ほとんどしない 3. たまにする 4. よくする

② あなたは学校を遅刻・早退することがありますか。

1. しない 2. ほとんどしない 3. たまにする 4. よくする

③ あなたは放課後やお休みの日に、部活動や塾・習いごとをしていますか。

1. はい 2. いいえ

④ あなたの普段の学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 授業中に居眠りすることが多い 6. 学校では一人で過ごすことが多い  
2. 宿題や課題ができていないことが多い 7. 友達と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない  
3. 忘れ物や提出物を出すのが遅れることが多い 8. その他( ) ※入方  
4. 部活動や習いごとなどを休むことが多い 9. 特にな  
5. 保健室で過ごすことが多い

問8 問4で「2. 通学せずに働いている」「3. 通学しながら働いている」と回答した方におたずねします。仕事の状況について教えてください。

① あなたは仕事を欠席することがありますか。

1. しない 2. ほとんどしない 3. たまにする 4. よくする

② あなたは仕事を遅刻・早退することがありますか。

1. しない 2. ほとんどしない 3. たまにする 4. よくする

③ あなたの普段の生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 任事中に居眠りすることがある 4. 友達と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない  
2. 仕事に集中できていないことが多い 5. 趣味や好きなことをする時間が少ない  
3. 勤務先では1人で過ごすことが多い 6. その他 ( ) ※入力

問9 問4で「1. 通学している」と回答した方におたずねします。

現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 友達との関係のこと 8. 自分と家族との関係のこと  
2. 学校の成績のこと 9. 家族同士の人間関係のこと  
3. 進路のこと 10. 精気や障がいのある家族のこと  
4. 部活動のこと 11. 自分のために使える時間が少ないこと  
5. 学校生活に必要なお金のこと 12. その他 ( ) ※入力  
6. 塾や習いごとができないこと 13. 特にない  
7. 食費や家賃など生活に必要なお金のこと

問10 問9で1~12のいずれかを回答した方におたずねします。回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

1. いる 2. いない 3. 相談や話をしたくない

問11 問4で「2. 通学せずに働いている」と回答した方におたずねします。

現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 友達との関係のこと 7. 家族同士の人間関係のこと  
2. 職場での人間関係のこと 8. 精気や障がいのある家族のこと  
3. 仕事の内容のこと 9. 自分のために使える時間が少ないこと  
4. 自分のこれからの生活のこと 11. その他 ( ) ※入力  
5. 食費や家賃など生活に必要なお金のこと 12. 特にない  
6. 自分と家族との関係のこと

問12 問11で1~11のいずれかを回答した方におたずねします。回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

1. いる 2. いない 3. 相談や話をしたくない

問13 問4で「3. 通学しながら働いている」と回答した方におたずねします。

現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 友達との関係のこと 9. 自分のこれからの生活のこと  
2. 学校の成績のこと 10. 食費や家賃など生活に必要なお金のこと  
3. 進路のこと 11. 自分と家族との関係のこと  
4. 部活動のこと 12. 家族同士の人間関係のこと  
5. 塾や習いごとができないこと 13. 精気や障がいのある家族のこと  
6. 学校生活に必要なお金のこと 14. 自分のために使える時間が少ないこと  
7. 職場での人間関係のこと 15. その他 ( ) ※入力  
8. 仕事の内容のこと 16. 特にない

問14 問13で1~15のいずれかを回答した方におたずねします。回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

1. いる 2. いない 3. 相談や話をしたくない

簡15 簡4で「4. 家で過ごしている」と回答した方におたずねします。

頻発、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 友達との関係のこと          | 6. 精気や糧 がいのある家族のこと   |
| 2. 自分のこれからのこと         | 7. 自分のために使える時間が少ないこと |
| 3. 長費や家賃など生活に必要なお金のこと | 8. その他 ( ) ※入力       |
| 4. 自分と家族との関係のこと       | 9. 無い                |
| 5. 家族同士の人間関係のこと       |                      |

簡16 簡15で1～8のいずれかを回答した方におたずねします。回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

- |       |        |               |
|-------|--------|---------------|
| 1. いる | 2. いない | 3. 相談や話をしたくない |
|-------|--------|---------------|

Ⅲ. あなたの家庭や家族についておたずねします。

簡17 家族の中に、あなたがお世話をしている方はいますか。

- |       |   |      |        |   |      |
|-------|---|------|--------|---|------|
| 1. いる | → | 簡18へ | 2. いない | → | 簡27へ |
|-------|---|------|--------|---|------|

※お世話は、以下のようなことです。

- 家事 (食事の準備や後片づけ、掃除、洗濯、買い物など)
- きょうだいのお世話や保育園などへの送迎
- 着替えや入浴、トイレの手伝いなど
- 病院や買い物、散歩に一輪に行き、手助けをする
- 感情面のサポート (感謝を聞く、話し相手になるなど)
- 見守り (転んだり、危ないことをしたりしないか見守るなど)
- 通訳 (日本語の通訳や手話での通訳など)
- 家のお金の管理 (お金の使い道を考えたり、支払ったりするなど)
- 薬の管理 (薬を飲んだか確認したり、渡したりするなど)
- 通院などのケア (病院への付き添いをしたり、医師が家を訪問したときの対応など)
- 医療的ケア (たんの吸引や経管栄養の管理など)
- 家計のサポート (家計を支えるためにアルバイトをしたり、働いたりすること)

簡18 簡17で「1. いる」と回答した方におたずねします。

① あなたがお世話をしている方はどなたですか。(あてはまるものすべてを選択)

- |      |      |       |       |          |                |
|------|------|-------|-------|----------|----------------|
| 1. 母 | 2. 父 | 3. 祖母 | 4. 祖父 | 5. きょうだい | 6. その他 ( ) ※入力 |
|------|------|-------|-------|----------|----------------|

② その方がどのような理由でお世話を必要としているのか教えてください。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 高齢 (お年寄り) のため
2. 弱い (小さい) ため
3. 認知症のため
4. 障がいがあるため (身体・知的など)
5. 介護が必要のため
6. ころの病気のため
7. 依存症のため
8. その他の病気のケアのため
9. 日本語が苦手なため
10. その他 ( ) ※入力
11. わからない

③ あなたはその方へのお世話を誰かと一緒にしていますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 自分のみ
2. 母
3. 父
4. 祖母
5. 祖父
6. きょうだい
7. 親戚
8. 福祉サービス (ヘルパーなど) を利用
9. その他 ( ) ※入力

④ あなたはその方にとどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 家事 (食事の準備・後片付け、掃除など)
2. きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え
3. 着替えや入浴、トイレの手伝いなど
4. 買い物、散歩に一緒に行き手助けする
5. 療養室のサポート (話し相手になるなど)
6. 見守り (危険なことをしないか見守るなど)
7. 通訳 (日本語や手話での通訳)
8. 家のお金の管理
9. 薬の保管や服薬の確認
10. 病院への付き添いなど
11. たんの吸引などの医療的なお世話
12. 家計のサポート (家計のために働くなど)
13. その他 ( ) ※入力

⑤ お世話を必要としている方は、区が提供するサービス (ホームヘルパーなど) を利用していますか。

1. している
2. していない
3. 分からない

⑥ あなたはその方へのお世話をどのくらいしていますか。

1. ほぼ毎日
2. 週3～5日
3. 週に1～2回
4. 1か月に数回
5. その他 ( ) ※入力

⑦ あなたは平日と土日それぞれで、1日何時間くらいその方へのお世話をしていますか。

ブルダウ内で1時間未満から1時間、2時間…と選択肢を用意し、平日と土日それぞれで回答者が選択

問19 あなたは家族のお世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 友達と遊べないことがある
2. 部活動や習いごとが思うようにできない
3. 勉強する時間がない
4. 恋愛をしたくてもできない
5. 学校や仕事に行けなかったり遅刻や早退をする
6. 自分の時間が取れない
7. 睡眠が十分に取れない
8. その他 ( ) ※入力
9. 特になし

問20 家族のお世話をしていることによる、あなたの連絡への影響について教えてください。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 通学を諦めて、就職を考えている。または、すでにそうした
2. 通学や就職をあきらめて、お世話に専念しようと考えている。または、すでにそうした
3. 進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている。または、すでにそうした
4. 就職の際は、自宅から通えるところを選択しようと考えている。または、すでにそうした
5. 連絡を考えると、特に影響は受けていない
6. その他 ( ) ※入力

問21 あなたはお世話をすることについて、どのようなことを感じていますか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. やりがいを感じている
2. 楽しい
3. 充実している
4. 体力的につらい
5. 精神的につらい
6. 時間の余裕がない
7. 特に何も感じていない
8. その他 ( ) ※入力

問22 あなたが学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 自分の状況を聞いてほしい
2. 家族のお世話について相談に乗ってほしい
3. お世話の仕方などについて教えてほしい
4. 家族での相談・話し合いに参加してほしい
5. お世話を代わりにやってくれる人がほしい
6. 自由に使える時間がほしい
7. 自由に過ごせる場所がほしい
8. 連絡などの将来の相談に乗ってほしい
9. 学習のサポートをしてほしい
10. 家庭への金銭面での支援をしてほしい
11. 特にない
12. 分からない
13. その他 ( ) ※入力

問23 あなたはお世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。

1. ある → 問24へ
2. ない → 問25へ

問24 問23で「1. ある」と回答した方におたずねします。あなたは誰に相談しましたか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 家族
2. 親戚
3. 友達
4. 学校の先生 (保健室の先生以外)
5. 保健室の先生
6. スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー
7. 相談窓口 (電話)
8. 相談窓口 (メール、SNS)
9. 医師や看護師、その他病院の先生
10. 福祉サービスの先生 (ヘルパー等)
11. 区役所の先生
12. 子どもなんでも相談
13. SNS上で知り合った先生
14. その他 ( ) ※入力

問25 問23で「2. ない」と回答した方におたずねします。あなたが相談しない理由を教えてください。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 相談するほどの悩みではない
2. 誰に相談するかが分からない
3. 相談できる人が身近にいない
4. 家族のことを話しにくい
5. 家族のことを知られたくない
6. 家族に対して偏見を持たれたくない
7. 相談しても状況が変わると思えない
8. 相談しても分からなかった
9. 自分がかかわりそうなどと思われたくない
10. 悩みはない
11. その他 ( ) ※入力

問26 問23で「2. ない」と回答した方におたずねします。今後、あなたが話したいと思ったときに、お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいませんか。

1. いる
2. いない

問27 問23で「2. ない」と回答した方におたずねします。今後、あなたが話したいと思ったときに、どのような方法で話や相談をしたいですか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 直接会って
2. 電話
3. SNS
4. メール
5. その他 ( ) ※入力

IV. ヤングケアラーについておたずねします。

ヤングケアラーとは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どものことをいいます。



©一般社団法人日本ケアラー連盟 / Illustration: Izumi Shiga

問28 「ヤングケアラー」という言葉を、あなたはこれまでに聞いたことがありましたか。

1. 聞いたことがあります、内容も知っています

2. 聞いたことがあります、内容も知っていません

3. 聞いたことはありません

問29 問27で「1. 聞いたことがあります、内容も知っています」「2. 聞いたことがあります、内容も知っていません」と回答した方におたずねします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. テレビや新聞、ラジオ

2. 雑誌や本

3. SNSやインターネット

4. 広告やチラシ、視覚的

5. イベントや交流会など

6. 学校

7. 友達から聞いた

8. その他 ( ) ※入力

問30 ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、あなたが世話をしていること

で困っていること、学校や福祉に求める支援、要望などがあれば自由に記入してください。

自由入力欄 ※入力

### 3 関係機構

#### 板橋区 ヤングケアラーに関する実態調査（関係機関用）

##### I. 基本情報

問1 ご回答される方の職種を教えてください。

1. 校長、園長、施設長
2. 副校長、教頭、副園長、副施設長
3. 教員、教諭
4. 養護教諭
5. 指導員
6. スクールソーシャルワーカー
7. スクールカウンセラー
8. 民生児童委員、主任児童委員
9. その他 ( ) ※入力

※「8. 民生児童委員、主任児童委員」を選ばれた方は、「II. 支援が必要と思われる子どもへの対応について」は回答せず、「III. ヤングケアラーについて」以降を回答してください。

##### II. 支援が必要と思われる子どもへの対応について

問2 下記の子どもについて校内・園内・施設内で共有しているケースはありますか。

（あてはまるものすべてを選択）

1. 学校や行事を休みがちである
2. 遅刻や早退が多い
3. 保健室で過ごしていることが多い
4. 精神的な不安定さがある
5. 身だしなみが整っていない
6. 学力が低下している
7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い
8. 必要な書類などの提出遅れや忘れが多い
9. 学校や生活に必要なものを用意できないことが多い
10. 部活を途中でやめてしまった
11. 校納金が遅れる、未払い
12. その他 ( ) ※入力

問3 問2のケースについて、どのような体制で情報共有・対応を行っていますか。最も多いと思うケースでご回答ください。

1. 不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している。
2. 不登校以外の子どもへのケースに関する校内の検討体制で検討している。
3. 個別に対応している（決まった検討体制はない）
4. その他 ( ) ※入力

問4 問3で「1. 不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」「2. 不登校以外の子どもへのケースに関する校内の検討体制で検討している」と回答した方におたずねします。

① 校内ではどのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。

1. スクリーニング会議※
2. ケース会議
3. 生活指導部・委員会など
4. 児童生徒理解・支援シートなど共通様式による情報共有
5. 教育相談コーディネーターなど校内・関係機関との連絡調整・会議開催の調整など児童生徒の抱える課題の解決に向けて調整役として活動する教職員の配置・指名
6. その他 ( ) ※入力

※すべての子どもを対象として、問題の未然防止のために、データに基づいて、潜在的に支援の必要な子どもや家庭を適切な支援につなぐための迅速な識別を行う会議。

② 問4①で「1. スクリーニング会議」「2. ケース会議」「3. 生活指導部・委員会など」「6. その他」と回答した方におたずねします。どの教職員が参加していますか。また、会議の頻度はどのくらいですか。（あてはまるものすべてを選択）

1. スクリーニング会議
2. ケース会議
3. 生活指導部・委員会など
4. その他

※上記1～4それぞれに、次ページ「参加者」と「頻度」の選択肢を設ける。

##### 「参加者」

1. 校長、園長、施設長
2. 副校長、教頭、副園長、副施設長
3. 教員、教諭
4. 養護教諭
5. 指導員
6. スクールソーシャルワーカー
7. スクールカウンセラー
8. 外部の関係機関 ( ) ※入力
9. その他 ( ) ※入力

##### 「頻度」

1. 2週間に1回以上
2. 月に1回程度
3. 半年に1回程度
4. 年に1回程度

問5 問3で「3. 個別に対応している（決まった検討体制はない）」と回答した方におたずねします。問2のケースについて、どのような体制・方法で情報共有・検討を行っていますか。かかわる関係者、情報共有や検討の方法、頻度等について、具体的に教えてください。

自由入力欄

##### III. ヤングケアラーについて

問6 「ヤングケアラー」という概念を認識していますか。

1. 言葉を知らない → 問9へ
2. 言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない → 問9へ
3. 言葉は知っているが、特別な対応をしていない → 問9へ
4. 言葉を知っており、意識して対応している → 問7へ

問7 問6で「4. 言葉を知っており、意識して対応している」と回答した方におたずねします。

「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態を把握していますか。

1. 把握している → 問8へ
2. 「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない → 問9へ
3. 該当する子どもはいない（これまでいなかった） → 問9へ

問8 問7で「1. 把握している」と回答した方におたずねします。「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握していますか。

1. アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている
2. 特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している
3. その他 ( ) ※入力



板橋区  
ヤングケアラーに関する実態調査報告書  
令和5年9月

発行：子ども家庭部 子ども政策課  
〒173-8501 東京都板橋区板橋二丁目 66 番 1 号  
TEL：03-3579-2471  
FAX：03-3579-2487